

5 ボデー

5-1	ボデー	79
[1]	ボデー マウント	79
(1)	トラック	79
(2)	バン, トライ	80
[2]	ドア	81
■	準備品	81
■	構成部品	81
■	整備要領	85
(1)	ドア	85
(2)	トリムパネル	90
(3)	ドアガラス&レギュレータ	91
(4)	インナリモート&スライドドア アウトハンドル	94
(5)	ドアラッチ&キャブドアアウトハンドル	94
(6)	センタアーム	95
(7)	センタレール	95
(8)	ウェザストリップ	96
[3]	集中ドアロック	97
■	構成部品	97
■	トラブルシューティング	97
[4]	リヤゲート(バン, トライ)	100
■	構成部品	100
■	整備要領	100
[5]	ウインドガラス	106
■	整備要領	106
(1)	フロントウインドガラス	106
(2)	リヤゲートガラス&リヤクォータ ウインドガラス	108
[6]	ウェザストリップ	109
■	整備要領	109
[7]	サンサンルーフ	110
■	構成部品	110
■	トラブルシューティング	111
■	整備要領	112
(1)	フロントサンルーフ	112
(2)	リヤ サンルーフ	113

5-2	ボデー外装	116
[1]	バンパ	116
■	整備要領	116
(1)	フロントバンパ	116
(2)	リヤバンパ(バン系)、エンジンフード(トラック系)	117
[2]	マッドガード	118
■	整備要領	118
[3]	アンダガード	119
■	整備要領	119
[4]	マーク類	120
■	整備要領	120
[5]	アウトミラー	121
■	整備要領	121
[6]	アウトハンドルプロテクタ(トライ)	122
■	整備要領	122
[7]	アウトパーツ	123
■	整備要領	123
[8]	乗降用ステップ(トライ×V)	125
■	整備要領	125
5-3	ボデー内装	126
[1]	インストルメントパネル	126
■	構成部品	126
■	整備要領	127
[2]	コンソールボックス	128
■	整備要領	128
[3]	フロントシート	129
■	整備要領	129
(1)	トラック	129
(2)	バン	131
(3)	トライ	133
(4)	回転シート(トライ×V)	135
[4]	リヤシート	137
■	整備要領	137
(1)	バン	137
(2)	トライ	138

[5]	シートベルト.....	139
■	整備要領.....	139
[6]	デッキ.....	140
■	整備要領.....	140
[7]	トリム類.....	141
■	整備要領.....	141
(1)	インテリアトリム.....	141
(2)	ルーフトリム.....	142

[8]	フロアマット.....	146
■	整備要領.....	146
[9]	インテリア アタッチメント.....	148
■	整備要領.....	148

〔1〕 ボデーマウント ■ 整備要領 (1) トラック

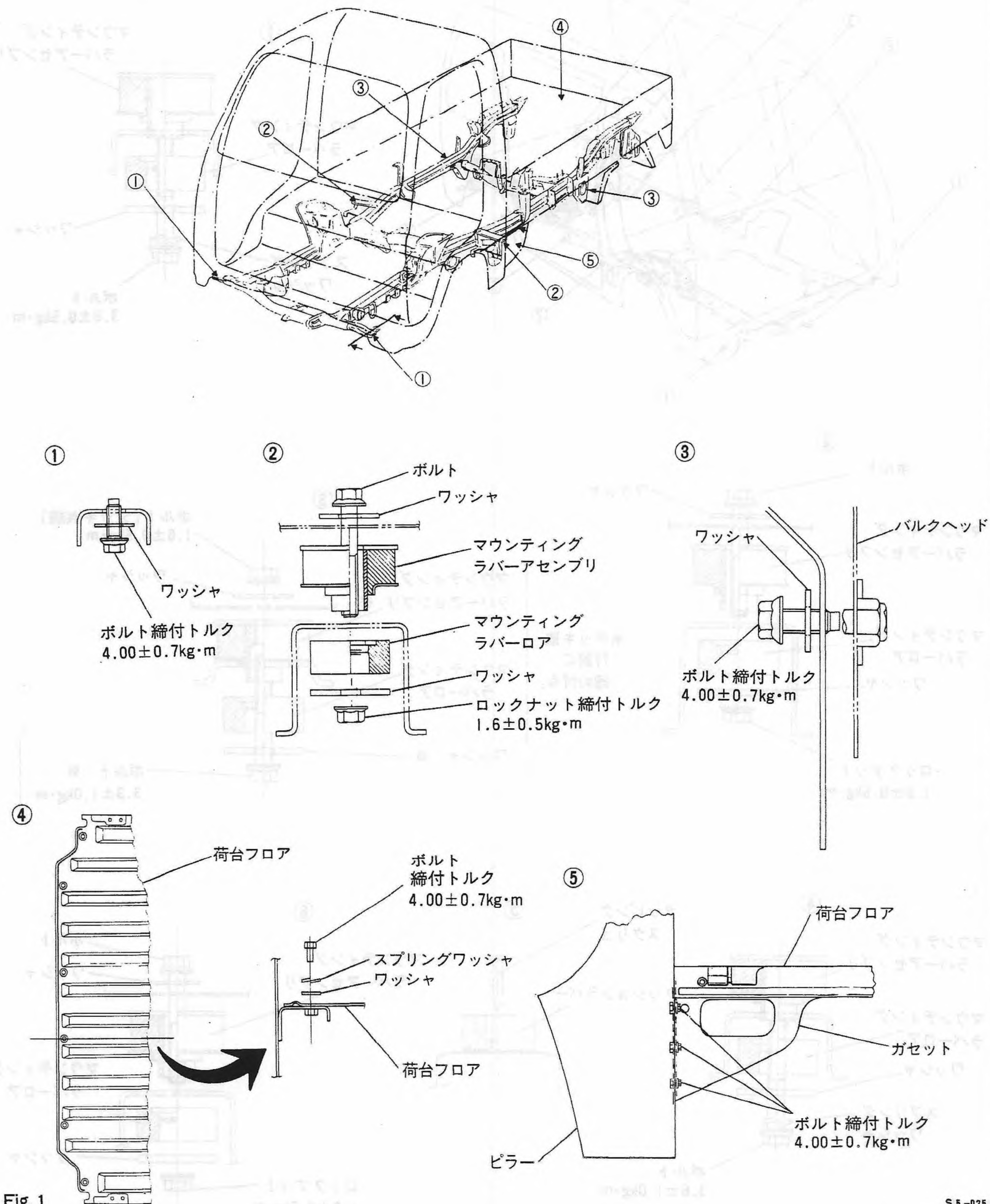


Fig. 1

S5-025

(2) バン, トライ

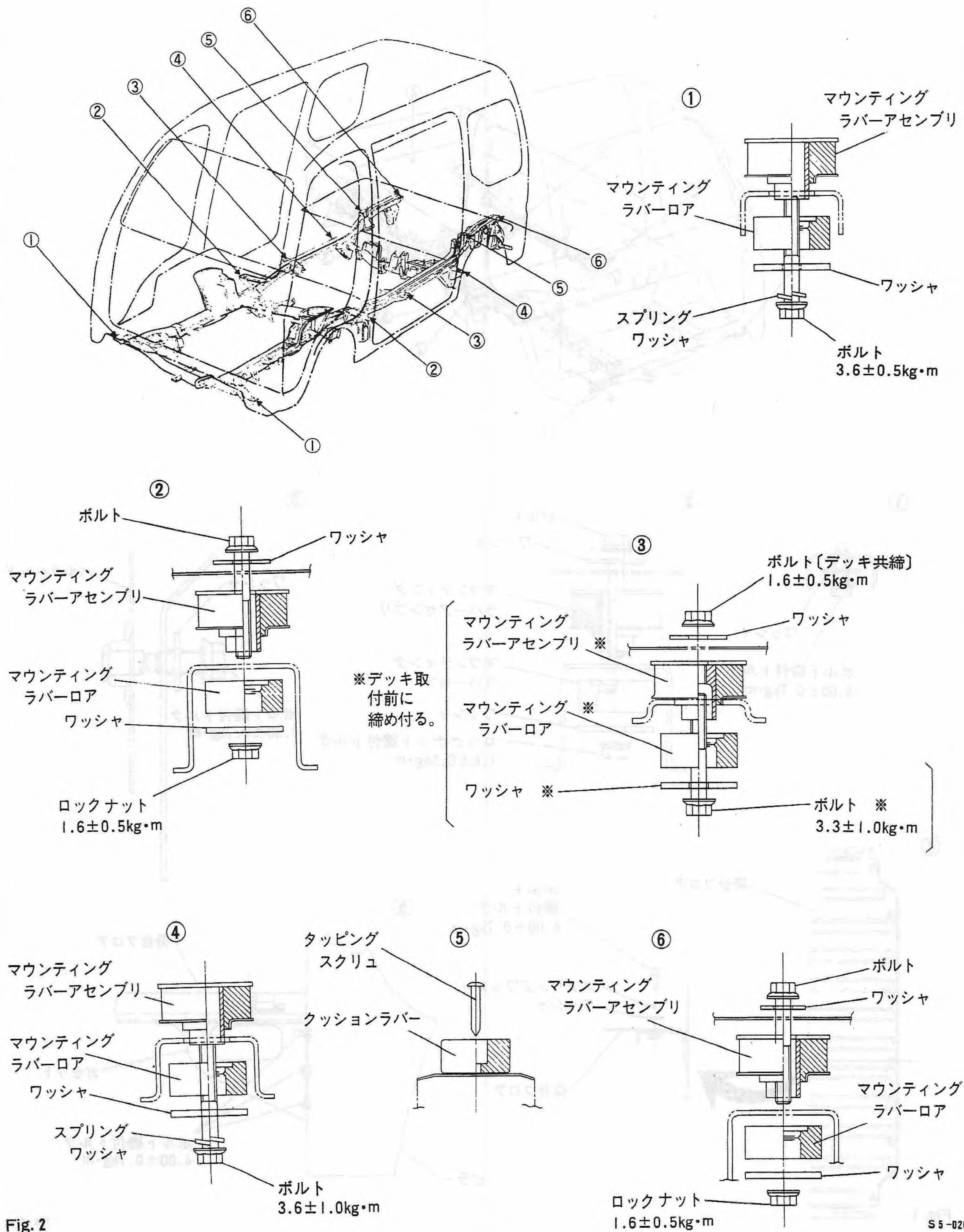



Fig. 2

S 5-026

〔2〕 ドア ■ 準備品

ST	925580000	プーラ(クリップ)	トリムパネル取付クリップ の取外しに使用する。	
----	-----------	-----------	----------------------------	---

■ 構成部品

キャブドア

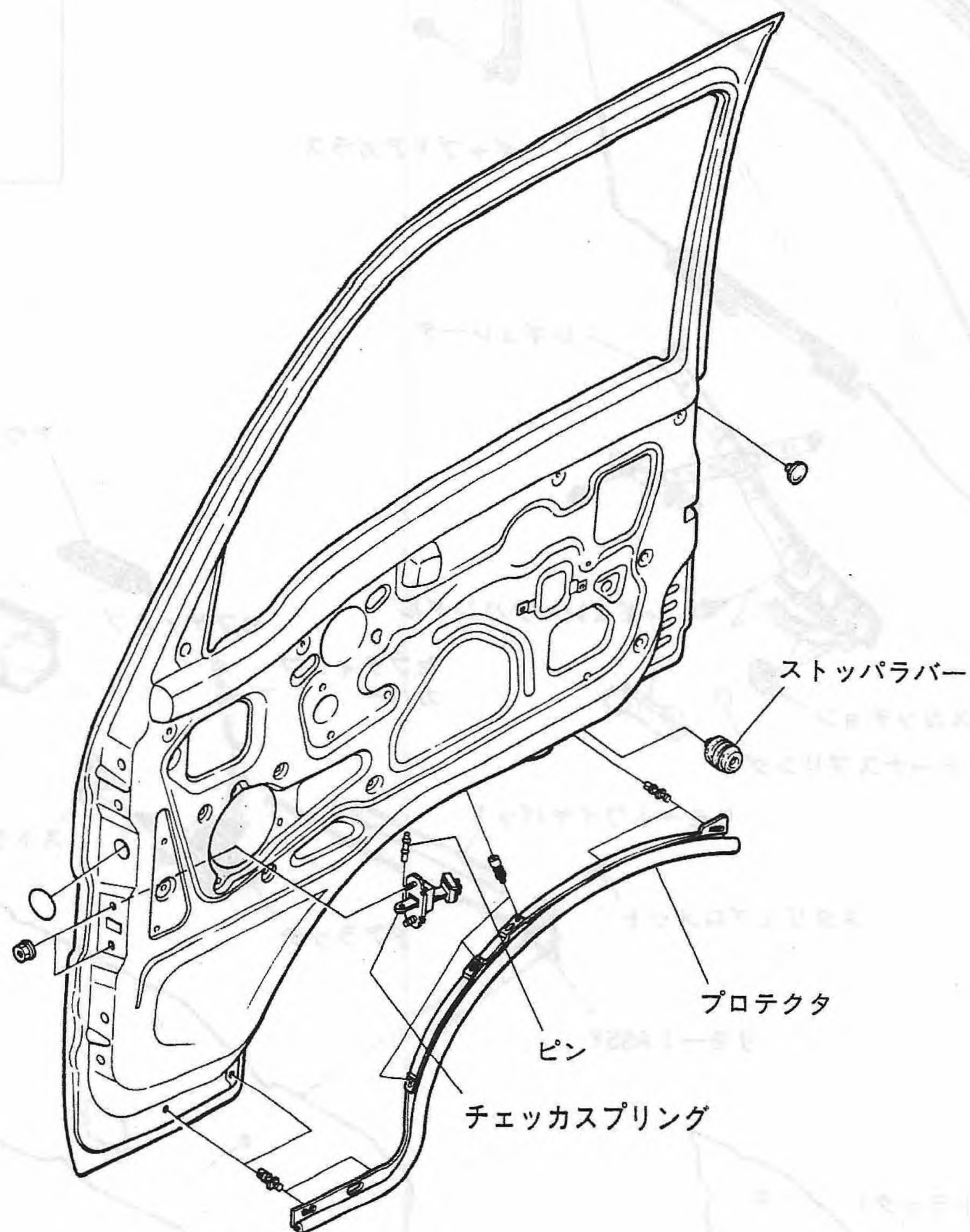


Fig. 3

S 5-081

キャブドア

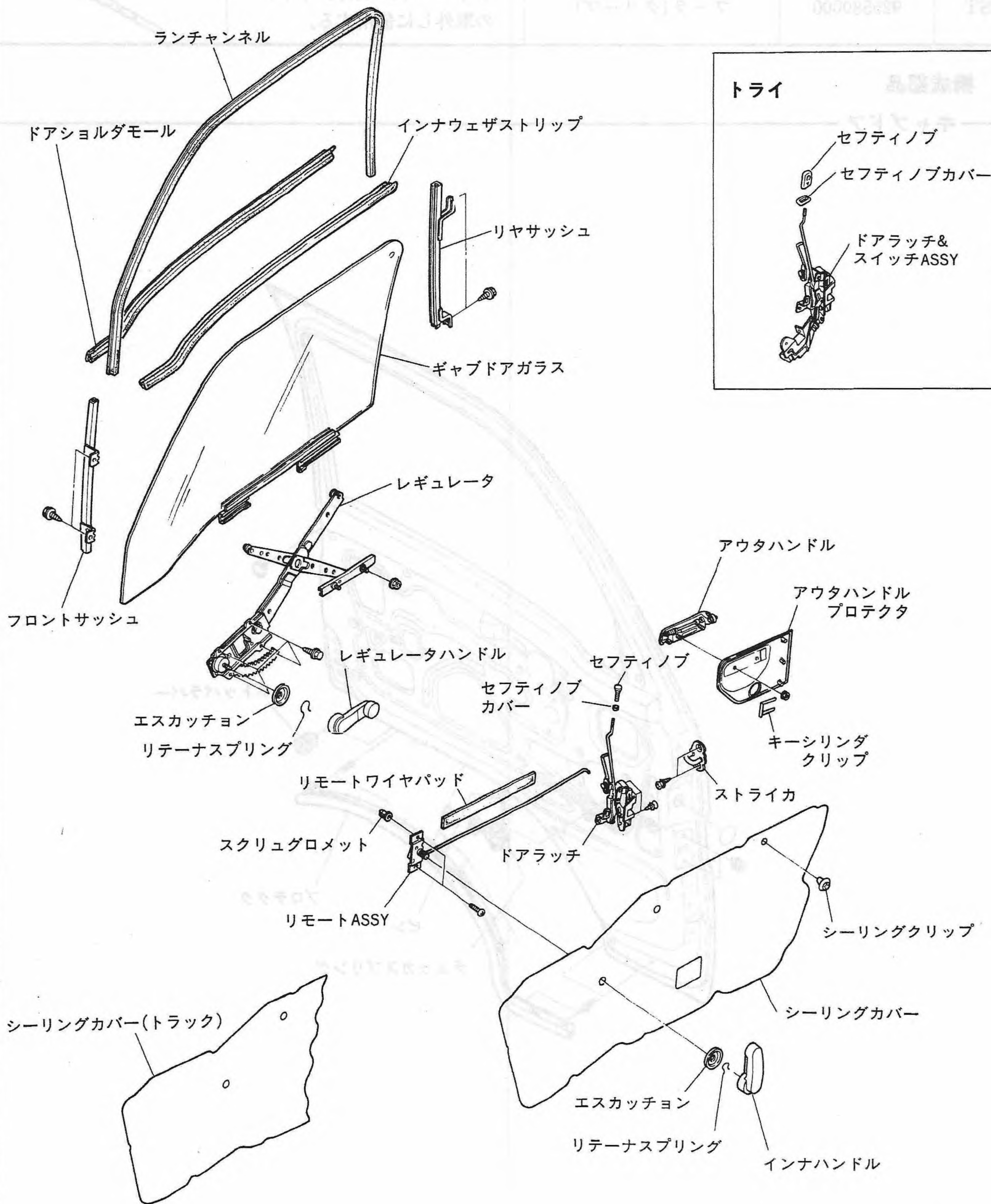


Fig. 4

S5-083

スライドドア

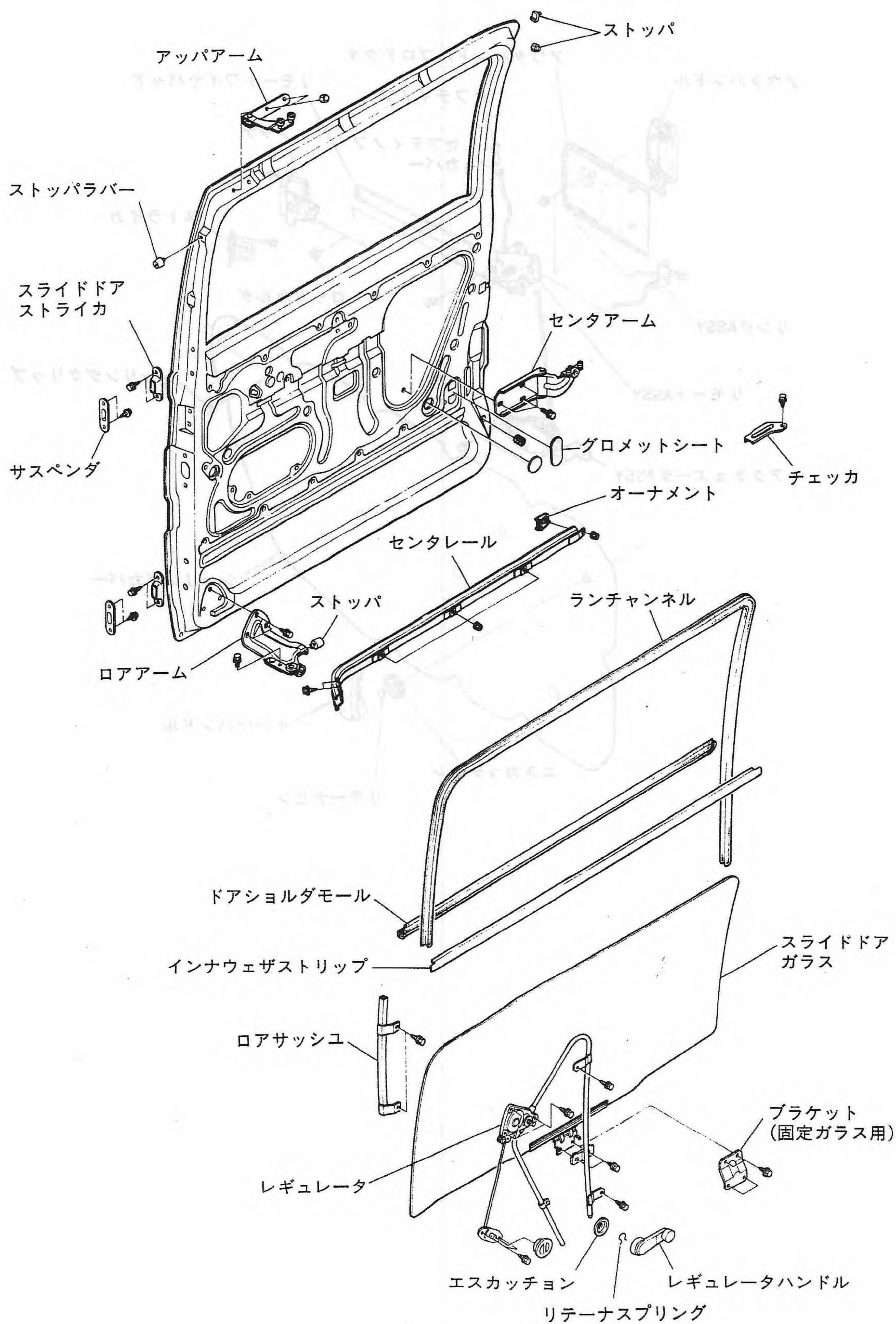


Fig. 5

S5-085

スライドドア

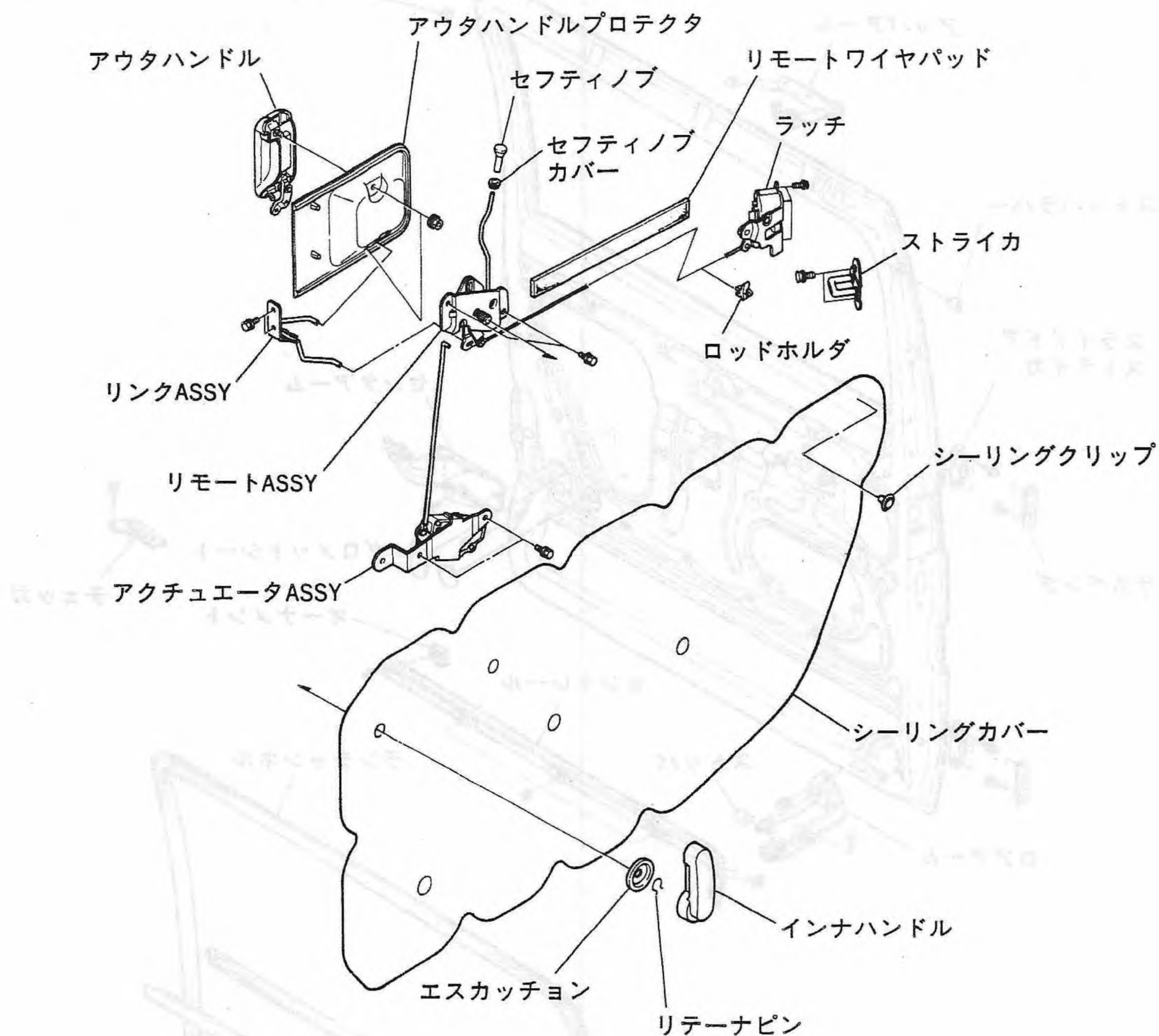


Fig. 6

S5-086

■ 整備要領 (1) ドア

脱着

キャブドア

- (1) ドアを全開にし、車体側に取付いているピンを上方へ打ち抜く。

注意

ドアの艤装品を取外さず、ドア本体を車体から取外す場合は、チェックスプリングがドア内へ落ちないようにスプリングの頭部に針金を結んでおくが良い。

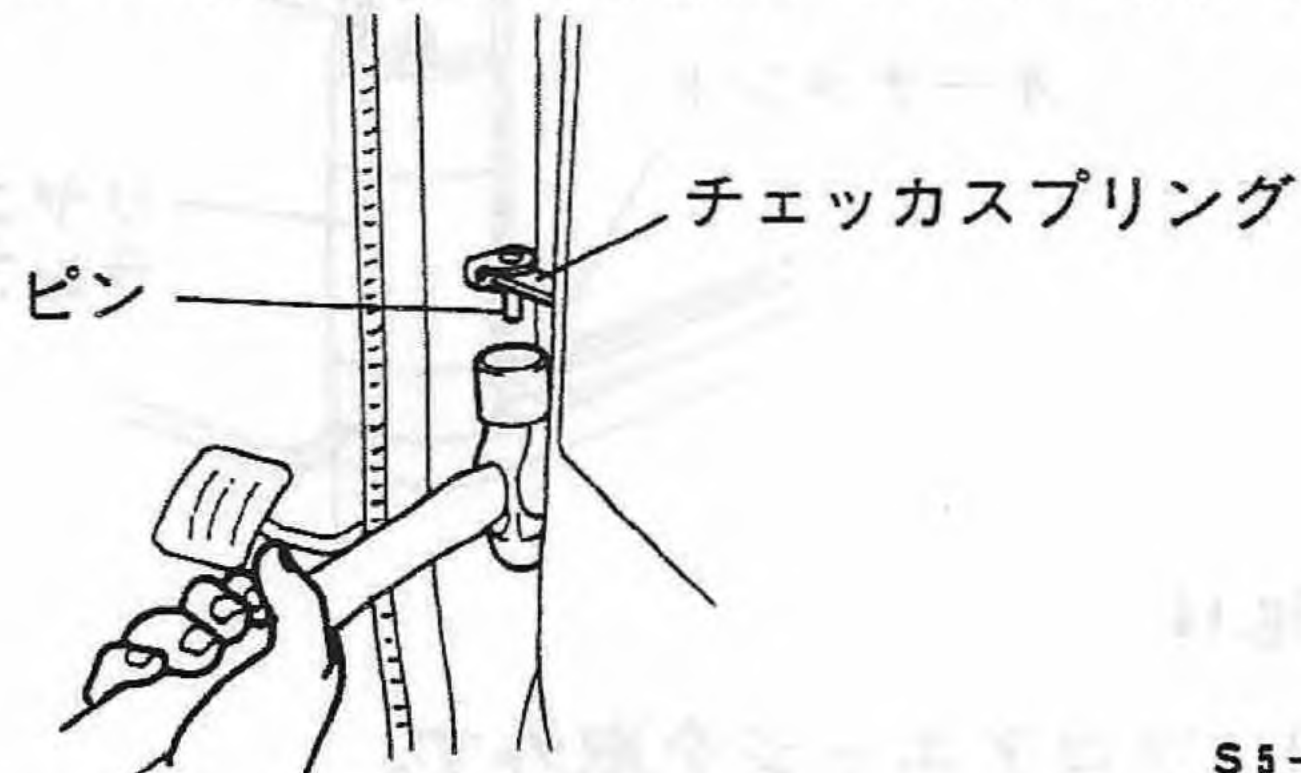


Fig. 7

S5-087

(チェックスプリングはドアパネルを取外した後、チェックスプリングの頭を軽くたたいてドア内へ移動し、ドアの作業孔から手を入れると取り出せる。)

- (3) アップおよびロアヒンジのドア側取付けボルトを外してヒンジからドアを取外す。

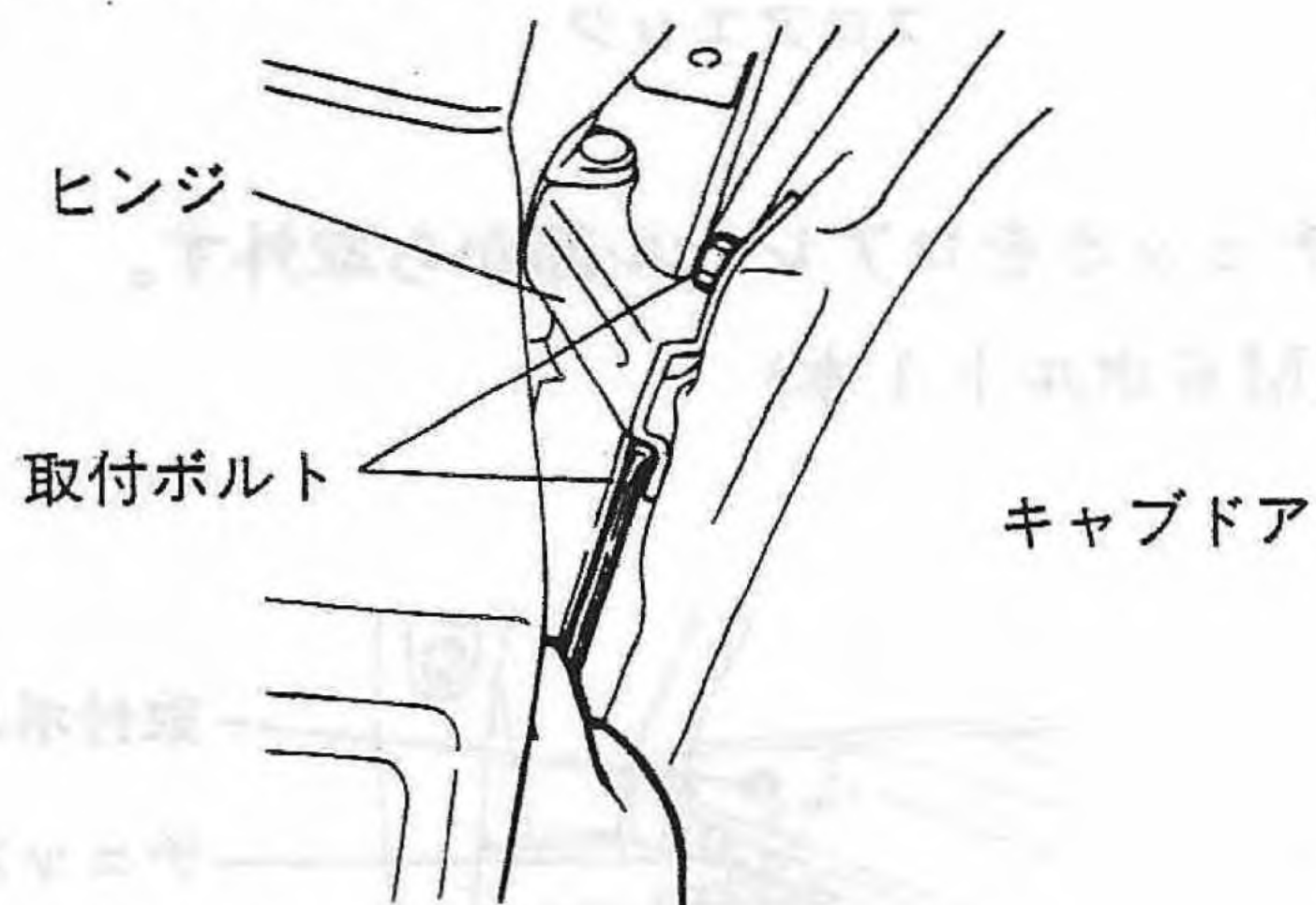


Fig. 8

S5-088

- (4) 取付けは取外しの逆順序で行なう。

注意

取付けるときは図のように支えると容易に行なえる。

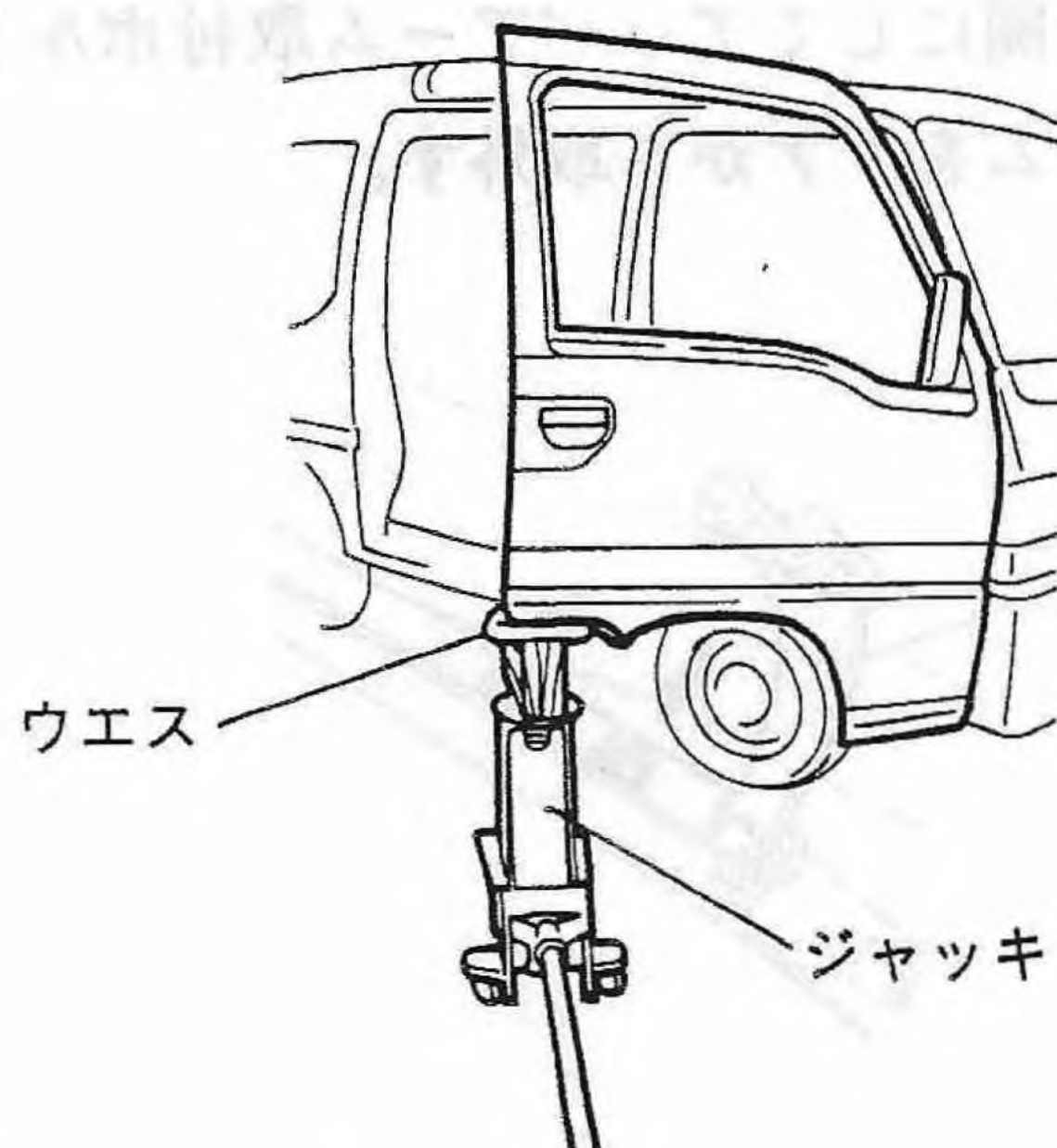


Fig. 9

S5-089

〈建付け調整〉

- (1) 前後および上下方向の調整は、アップ、ロアヒンジのボデー側取付ボルトをゆるめて行なう。
- (2) ドアの開閉方向の調整は、ドアストライカをゆるめて行なう。

ヒンジ締付トルク(ボデー側)	3.0±0.5kg-m
ヒンジ締付トルク(ドア側)	2.5±0.5kg-m

〈ドアヒンジ調整〉

- (1) 調整はドアを開け、メガネレンチを使用して行なう。又、フロントバンパ、グリル及びフロントサイドパネルを取外すと、普通工具で容易に調整できる。

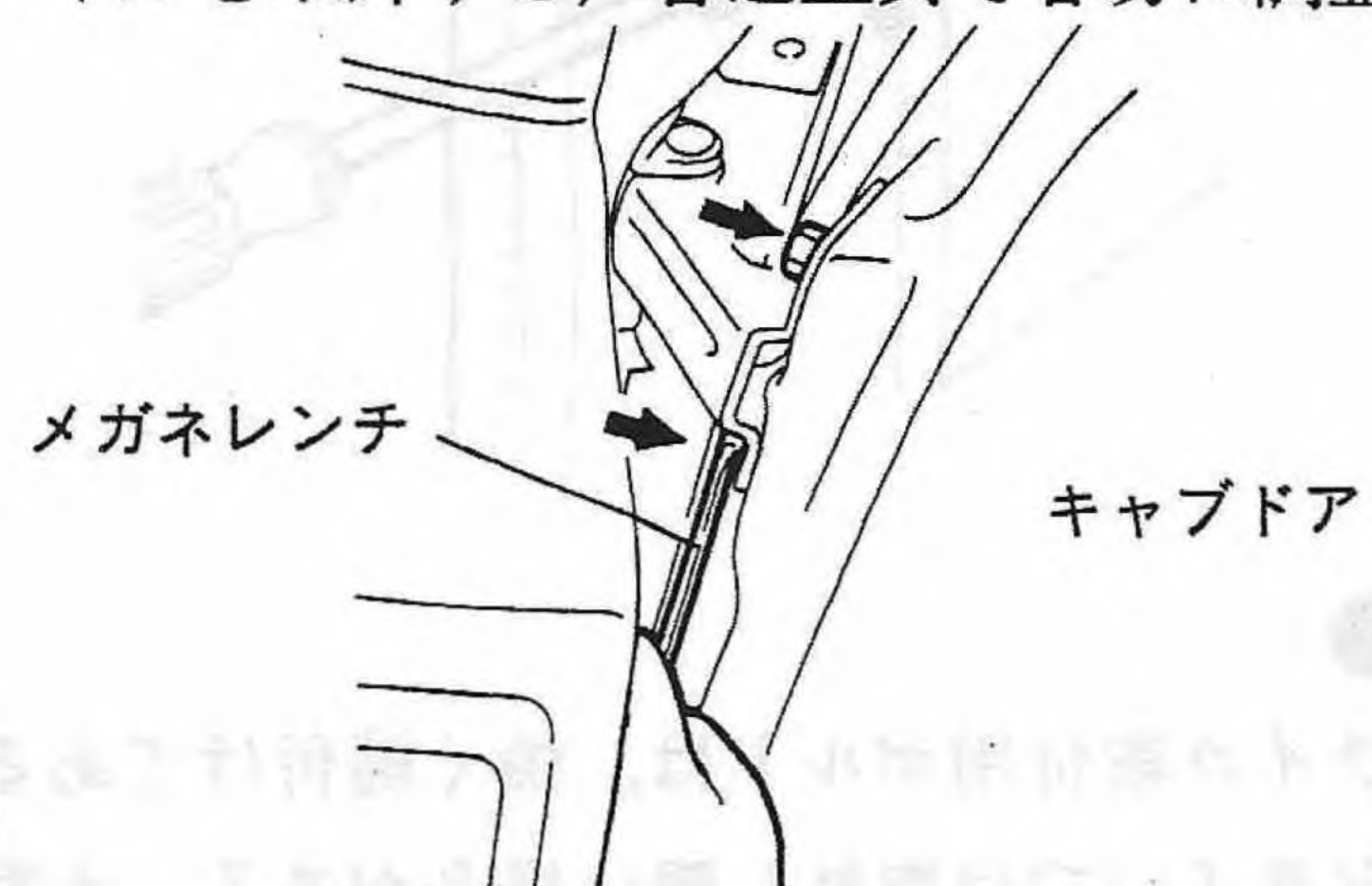


Fig.10

S5-088

- (2) ドア上下、前後の調整は、ピラー側ヒンジボルトをゆるめて行なう。

(PS塗装が取れるので、再度PS塗装を行なう。)

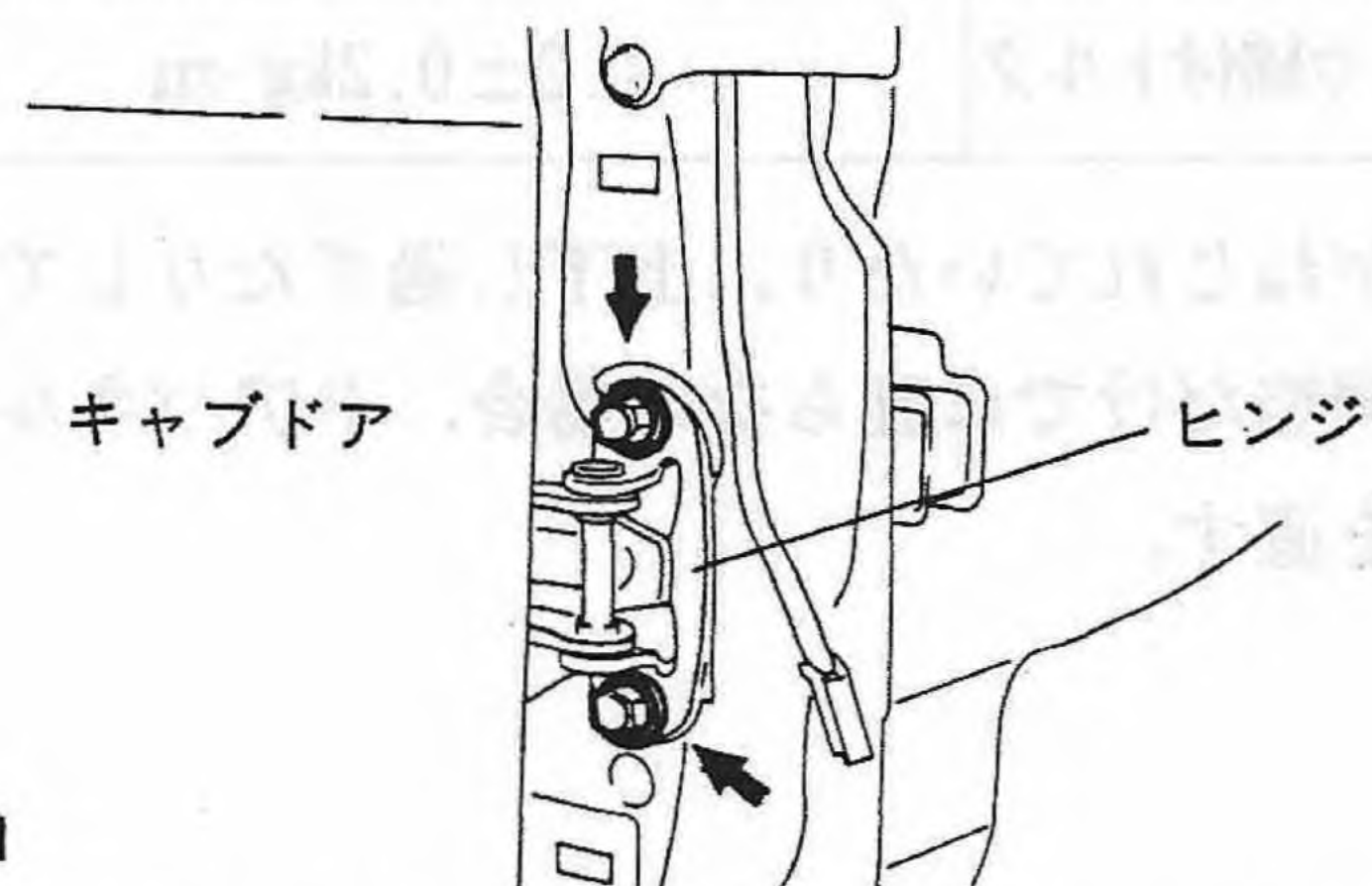


Fig.11

S5-091

- (3) ドア左右方向の段差、上下方向の調整は微少の場合、ドア側ヒンジボルトをゆるめて行なう。

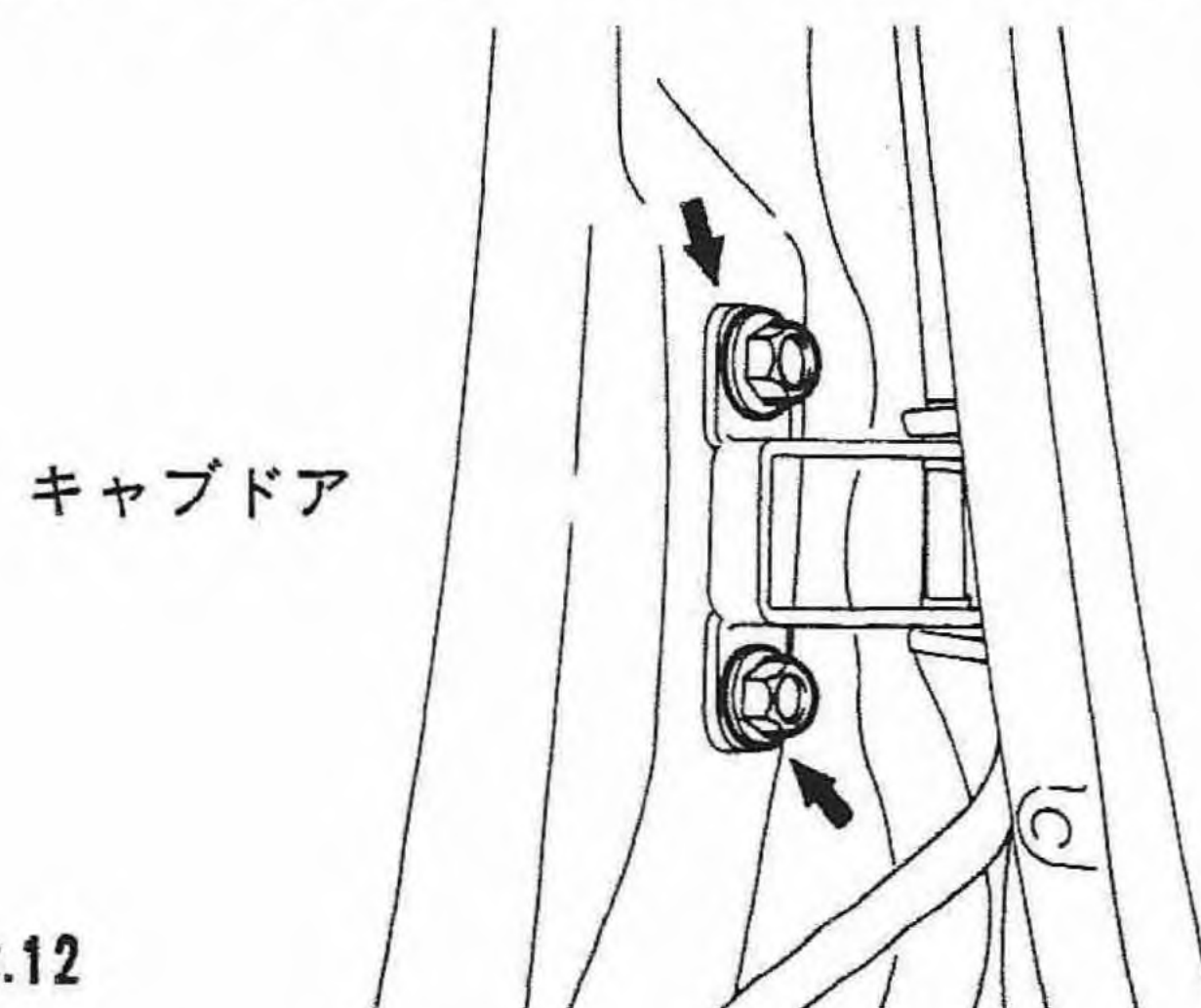


Fig.12

S5-092

脱着

- (4) これでも調整できない時は、ピラー側ヒンジ取付面へシムをかい調整を行なう。

＜ドアストライカ調整＞

- (1) ストライカ取付位置をラッチに合せ、上下、左右に移動して、ドアが軽く閉り、且つ戸当りウエザストリップが全周当るように調整する。

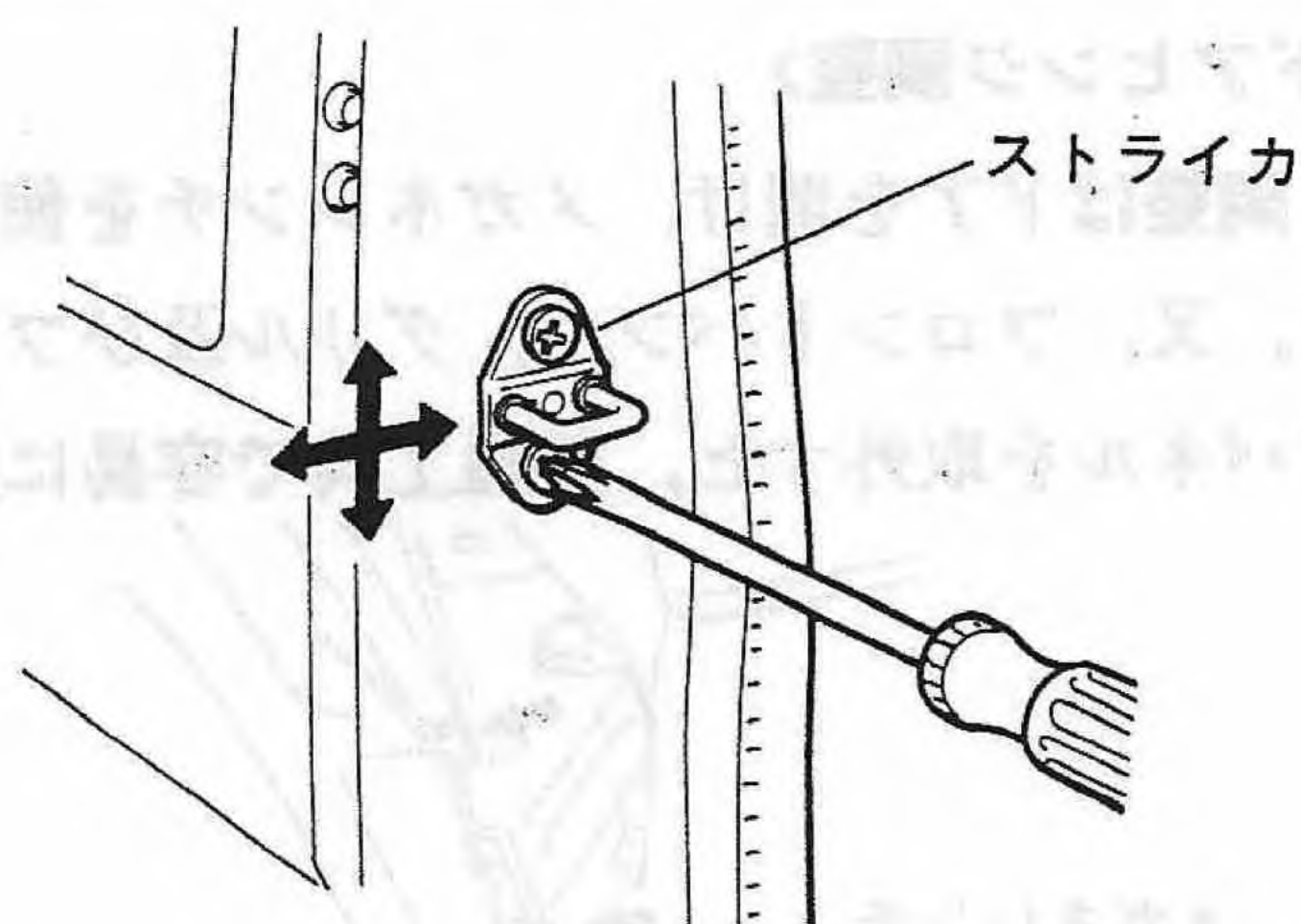


Fig.13

S5-093

注意

ストライカ取付用ボルトは、強く締付けてあるので、普通ドライバでは取外し難い場合がある。大型ドライバをL字型に折曲げて使用すると容易に取外し及び取付けができる。

ストライカ締付トルク	1.2±0.2kg-m
------------	-------------

- (2) ドアがねじれていたり、上下し過ぎたりしていると(1)の調整だけでは直らない場合、ドアパネル本体の姿勢を直す。

脱着

スライドドア

注意

必ず2人作業で実施すること。

- (1) リヤコンビネーションランプ及びオーナメントを取外す。

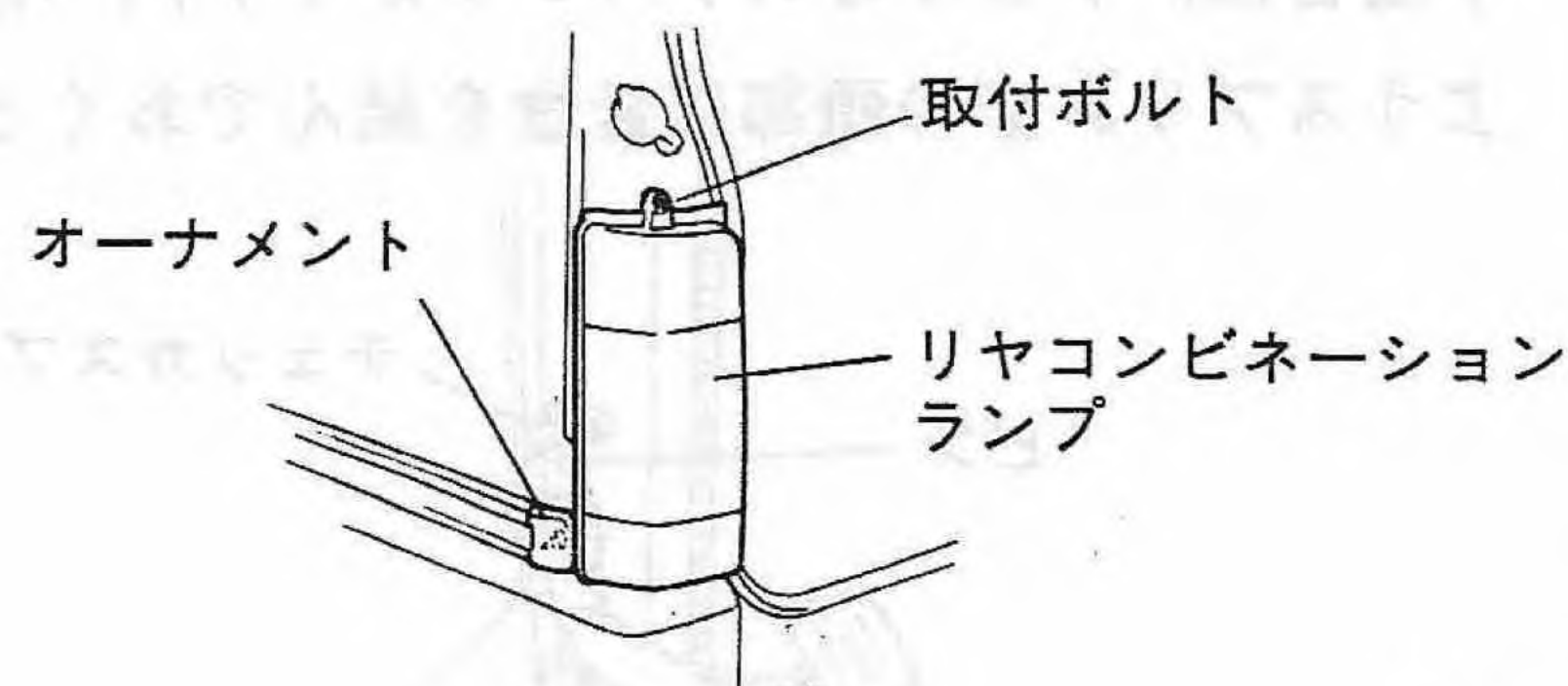


Fig.14

S5-094

- (2) フロアエッジを取外す。

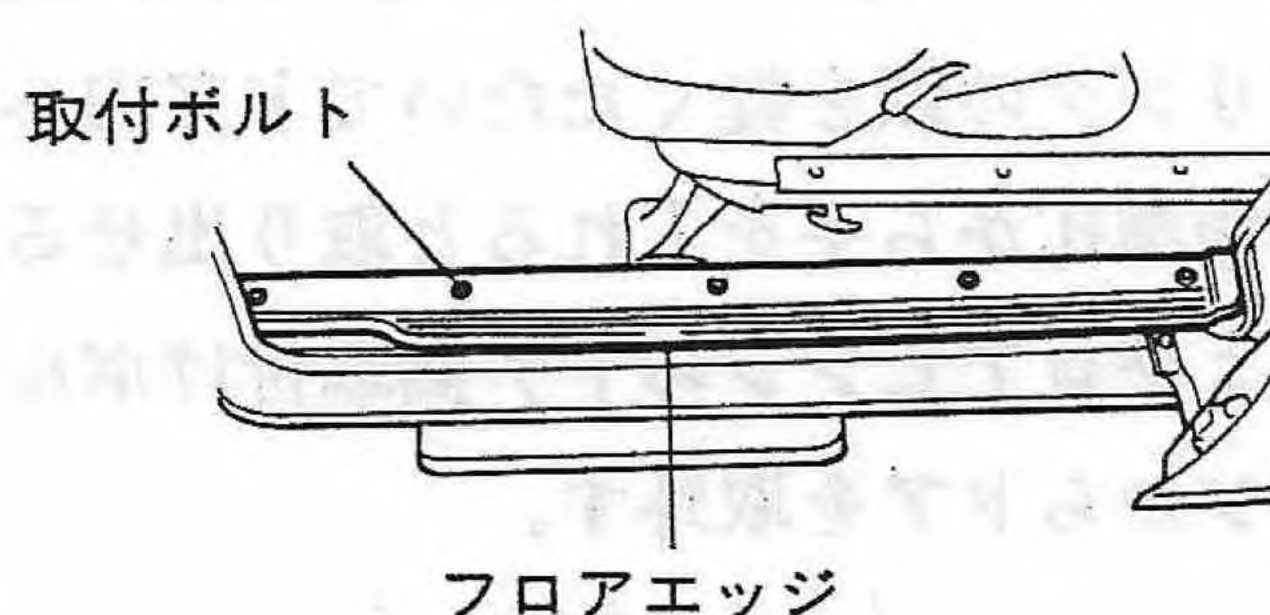


Fig.15

S5-095

- (3) チェッカをロアレール部から取外す。
(M6 ボルト1本)

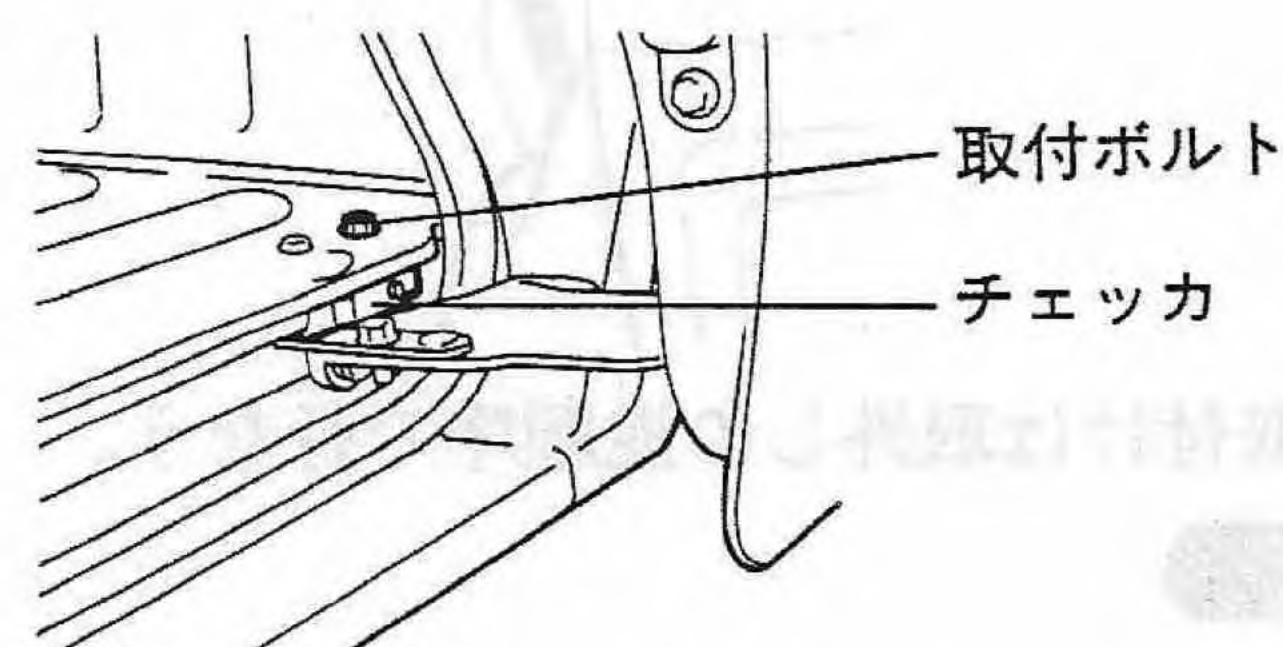


Fig.16

S5-096

- (4) ドアを半開にしてアッパーム取付ボルトを外し、アッパームをドアから取外す。

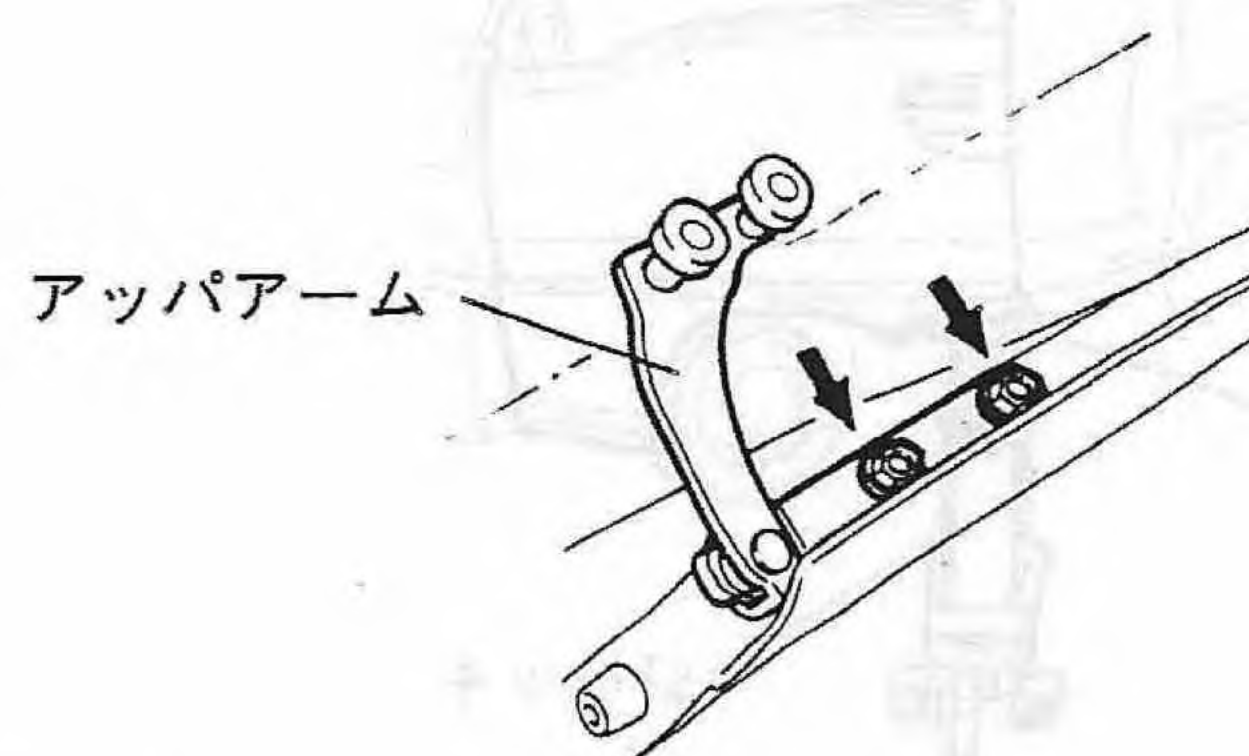


Fig.17

S5-097

脱着

- (5) ロアレール切欠部よりロアアームを手前に引いて抜き出す。

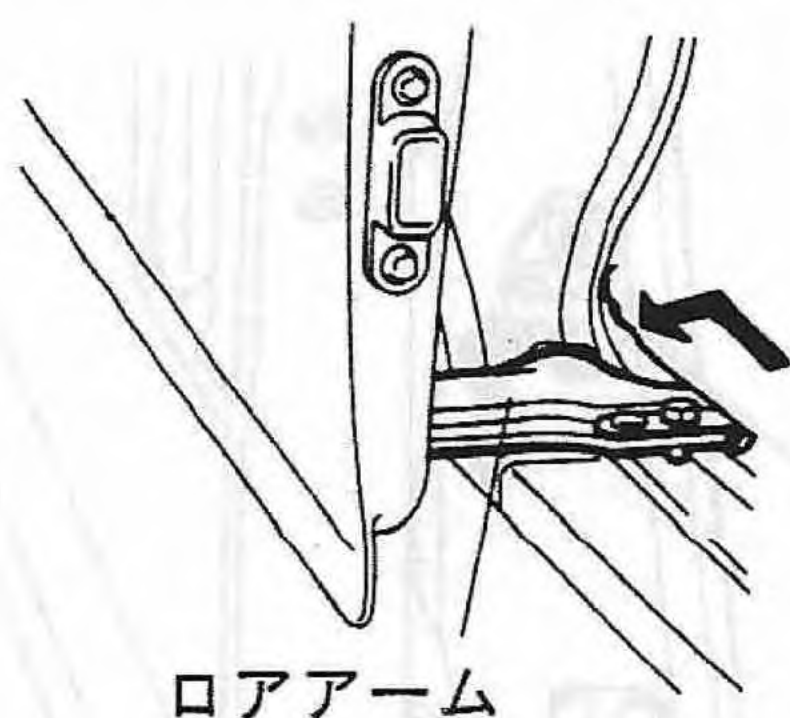


Fig.18

S5-098

- (6) リヤコンビネーションランプ及びオーナメント(スライドドアストッパ)を取外してから、センタレール後端よりセンタアームスライダを抜き出す。

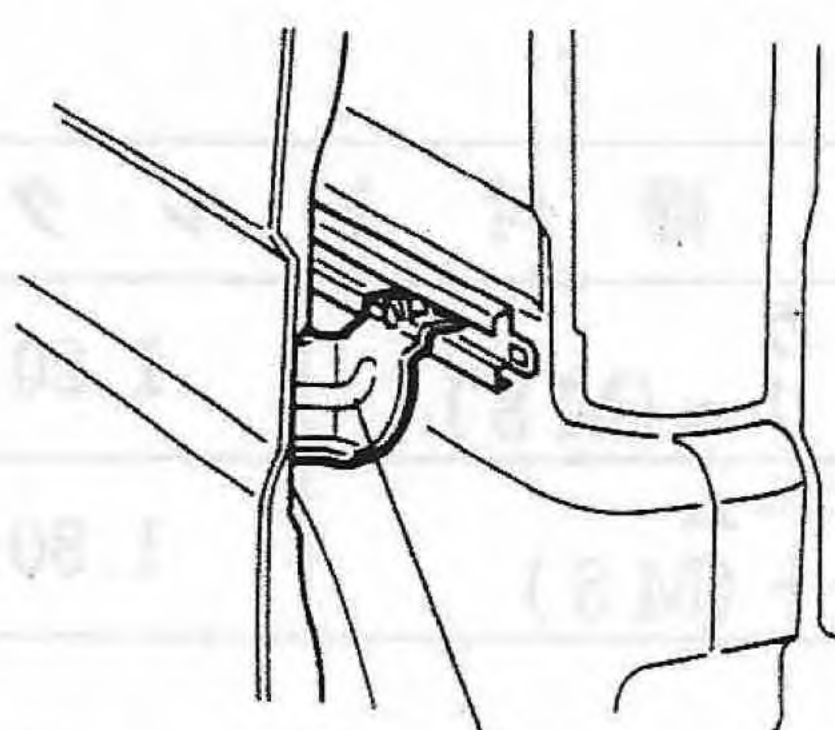


Fig.19

センタアームスライダ

S5-099

注意

- ローラ及びセンタアームスライダでボデー表面に傷を付けないこと。
- 外したドアは塗面の傷防止のため、ウレタンフォーム、古タイヤ等の上に置くこと。

- (7) 取付けは取外しの逆順序で行なう。

締付けトルク	チェッカ締付ボルト(M6)	$0.75 \pm 0.2 \text{ kg-m}$
--------	---------------	-----------------------------

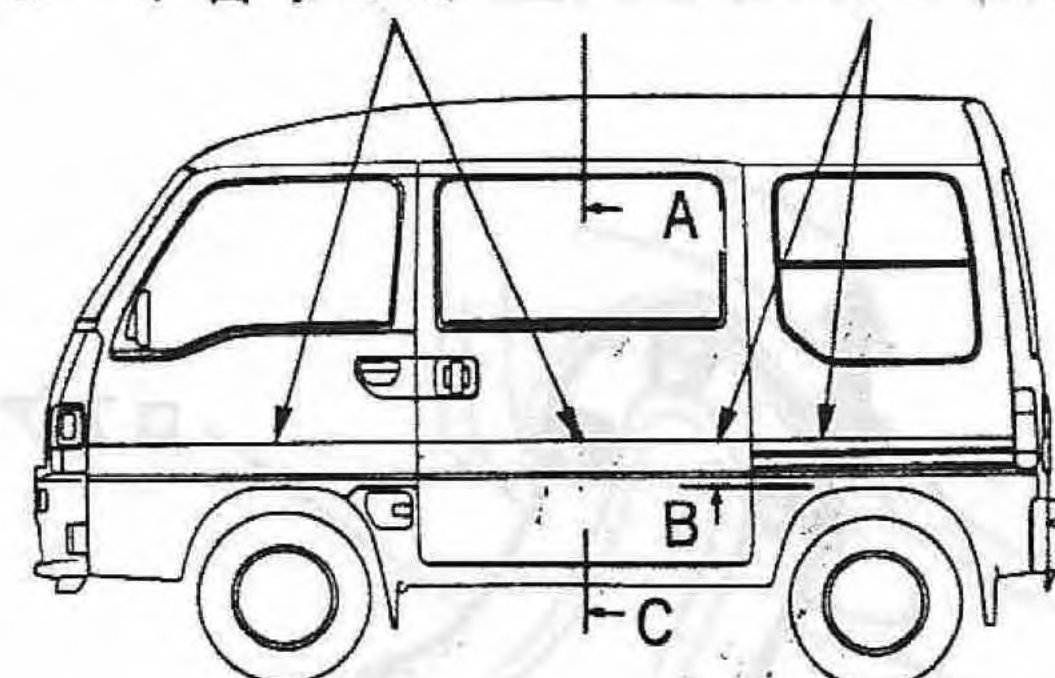
調整

〈建付け調整〉

- (1) 建付調整基準

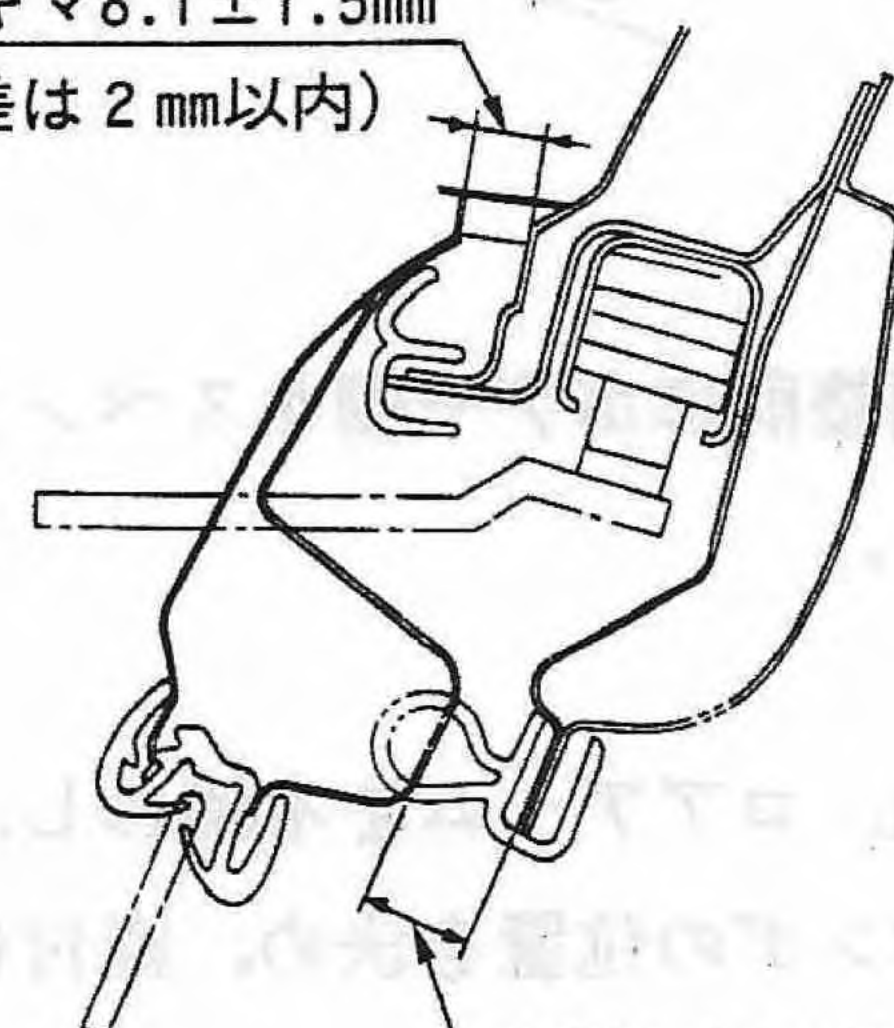
下記基準を満足するように調整する。

ビード合うこと



分割スキマ $8.1 \pm 1.5 \text{ mm}$

(差は 2 mm 以内)



A 断面

分割スキマ $12.4 \pm 1.5 \text{ mm}$

(差は 2 mm 以内)

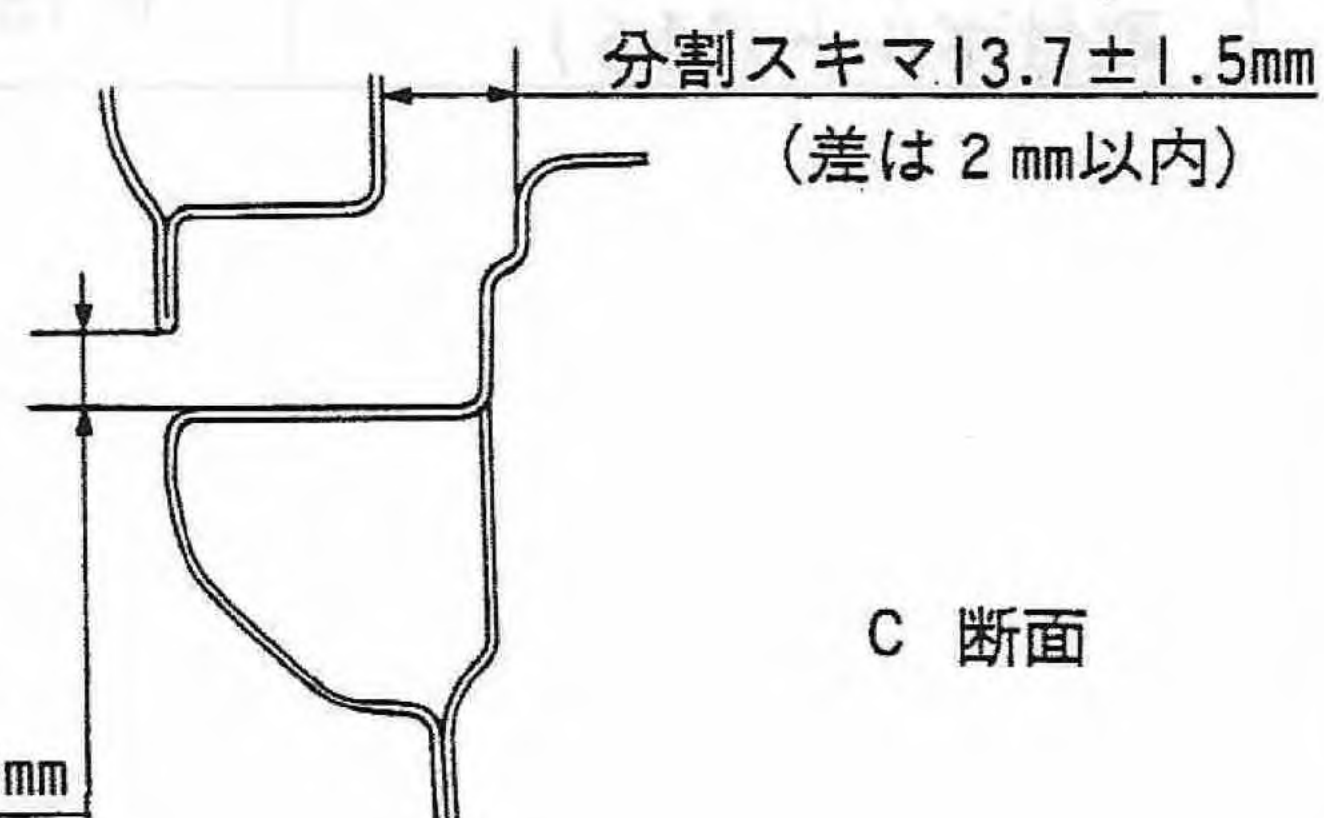


B 断面
(前後共通)

段差
 $+0.5 \text{ mm}$
 -1.0

(差は 2 mm 以内)

分割スキマ $5.0 \pm 1.5 \text{ mm}$



C 断面

分割スキマ
 $5.5 \pm 1.5 \text{ mm}$

分割スキマ $13.7 \pm 1.5 \text{ mm}$

(差は 2 mm 以内)

Fig.20

S5-100

調整

(2) 上下方向の調整

1) 前 側

- ① スライドドアパネル外板ビードとボデーサイド外板ビードとの高さが合うようにロアアーム取付部で高さ方向を調整する。

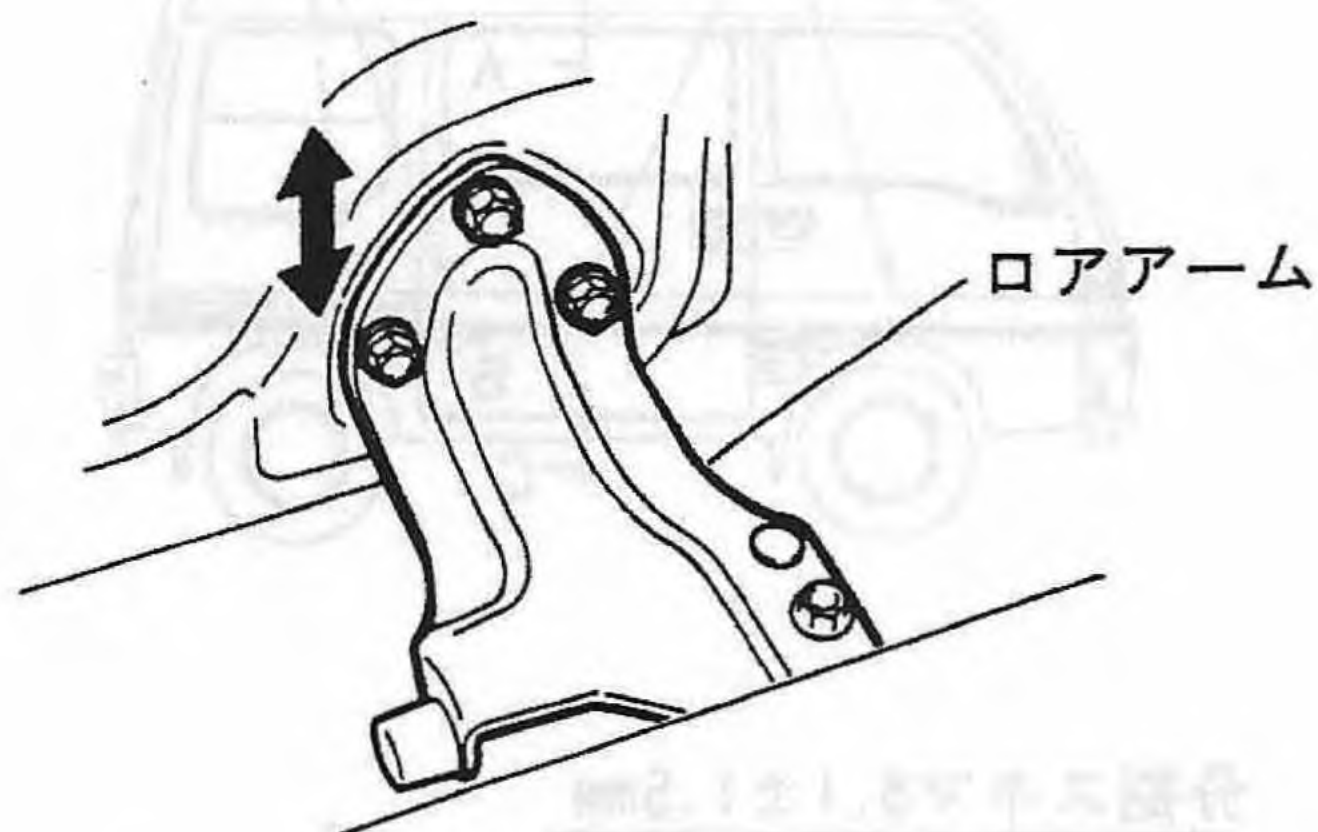


Fig.21

S5-101

注意

ロアアーム調整前にボデー側サスペンダを仮締め状態にしておく。

- ② 調整後、ロアアームを本締めし、ドアを閉めてサスペンダの位置を決め、締付ける。

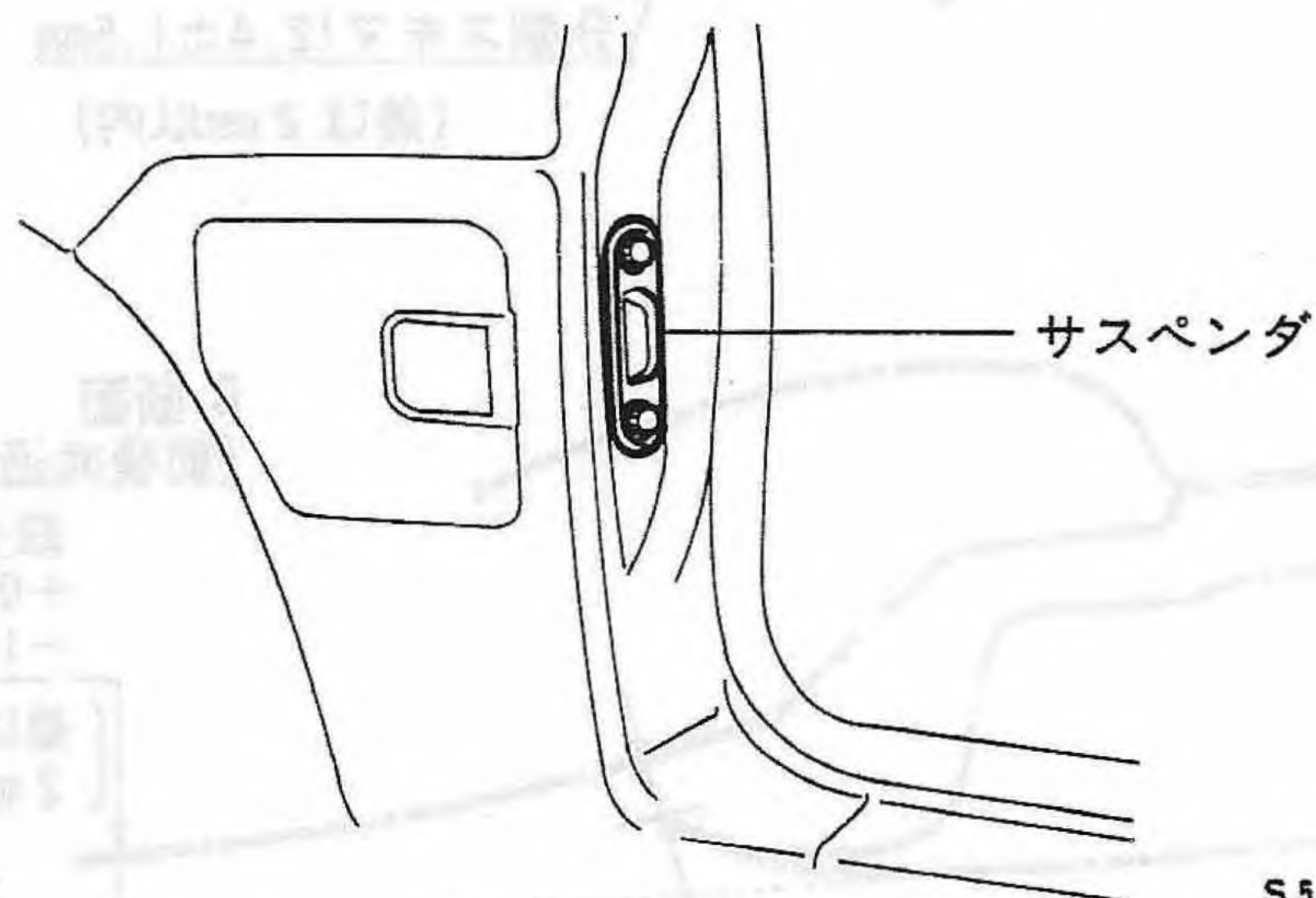


Fig.22

S5-102

締 付 ト ル ク	
ロアアーム 取付ボルト(M8)	1.80±0.50kg-m
サスペンダ 取付ボルト(M6)	0.75±0.20kg-m

2) 後 側

- ① ストライカ取付部で高さ方向を調整する。

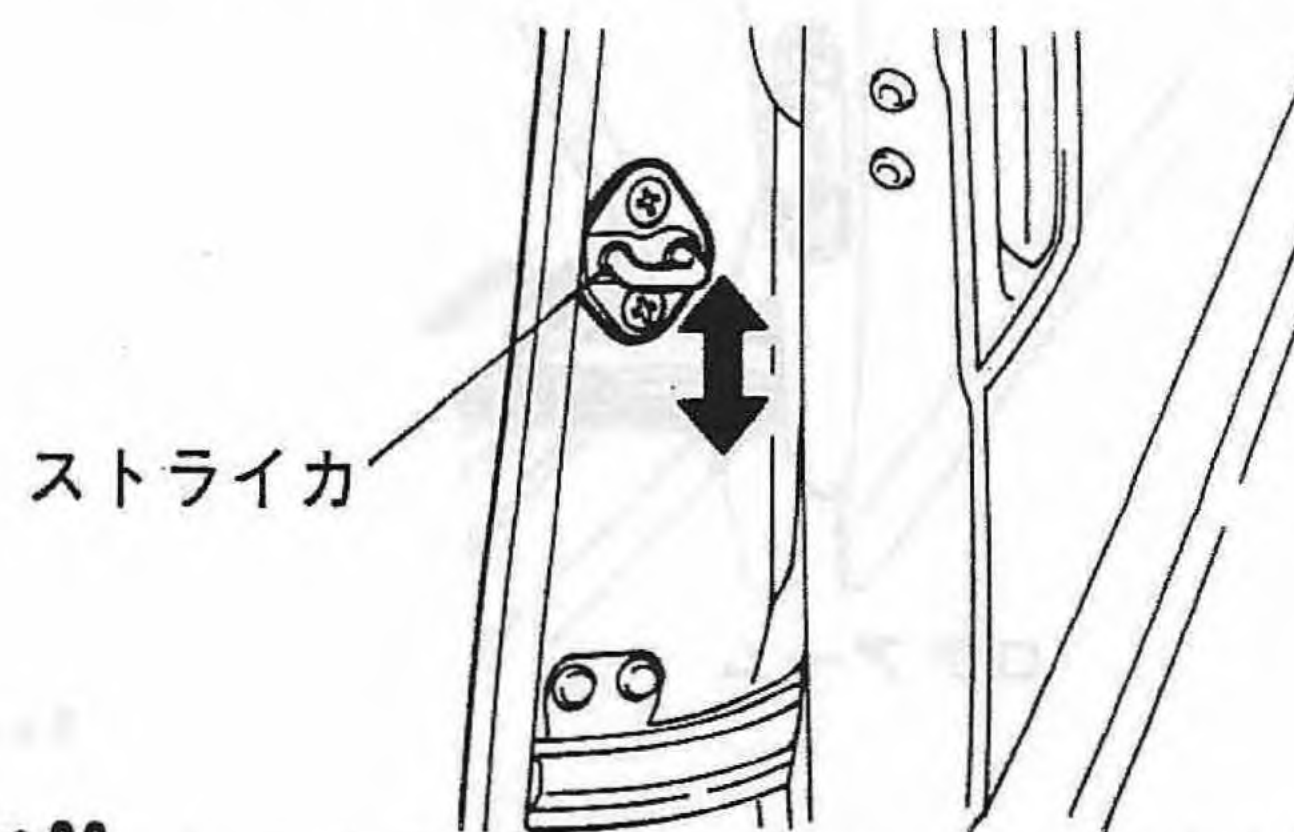


Fig.23

S5-103

注意

ストライカ調整前にセンタアームを仮締め状態にしておく。

締 付 ト ル ク	
ストライカ 取付スクリュ(M8)	1.20±0.20kg-m
センタアーム 取付ボルト(M8)	1.80±0.50kg-m

(3) スライドドアとボデー外板との段差調整

1) 前 側

- ① 上側はアッパアーム取付部で調整する。

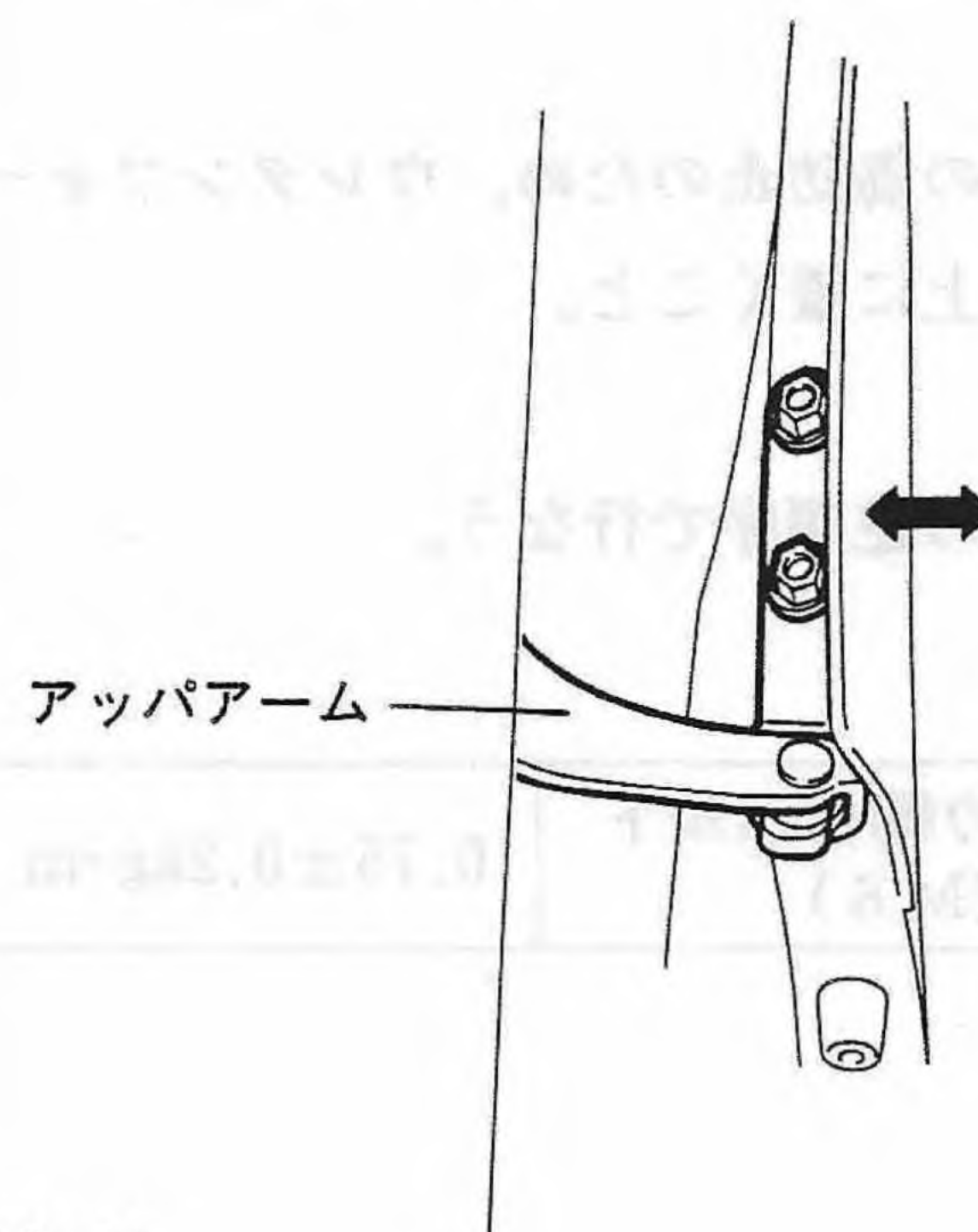


Fig.24

S5-104

注意

アッパアーム調整前にボデー側サスペンダを仮締め状態にしておく。

脱着

- ② 調整後、アッパアームを本締めし、ドアを閉めてサスペンダの位置を決め、締付ける。

締付トルク	アッパアーム取付ボルト (M8)	$1.80 \pm 0.50 \text{kg-m}$
	サスペンダ取付ボルト (M6)	$0.75 \pm 0.20 \text{kg-m}$

- ③ ロアアーム調整用ボルトをゆるめ調整する。

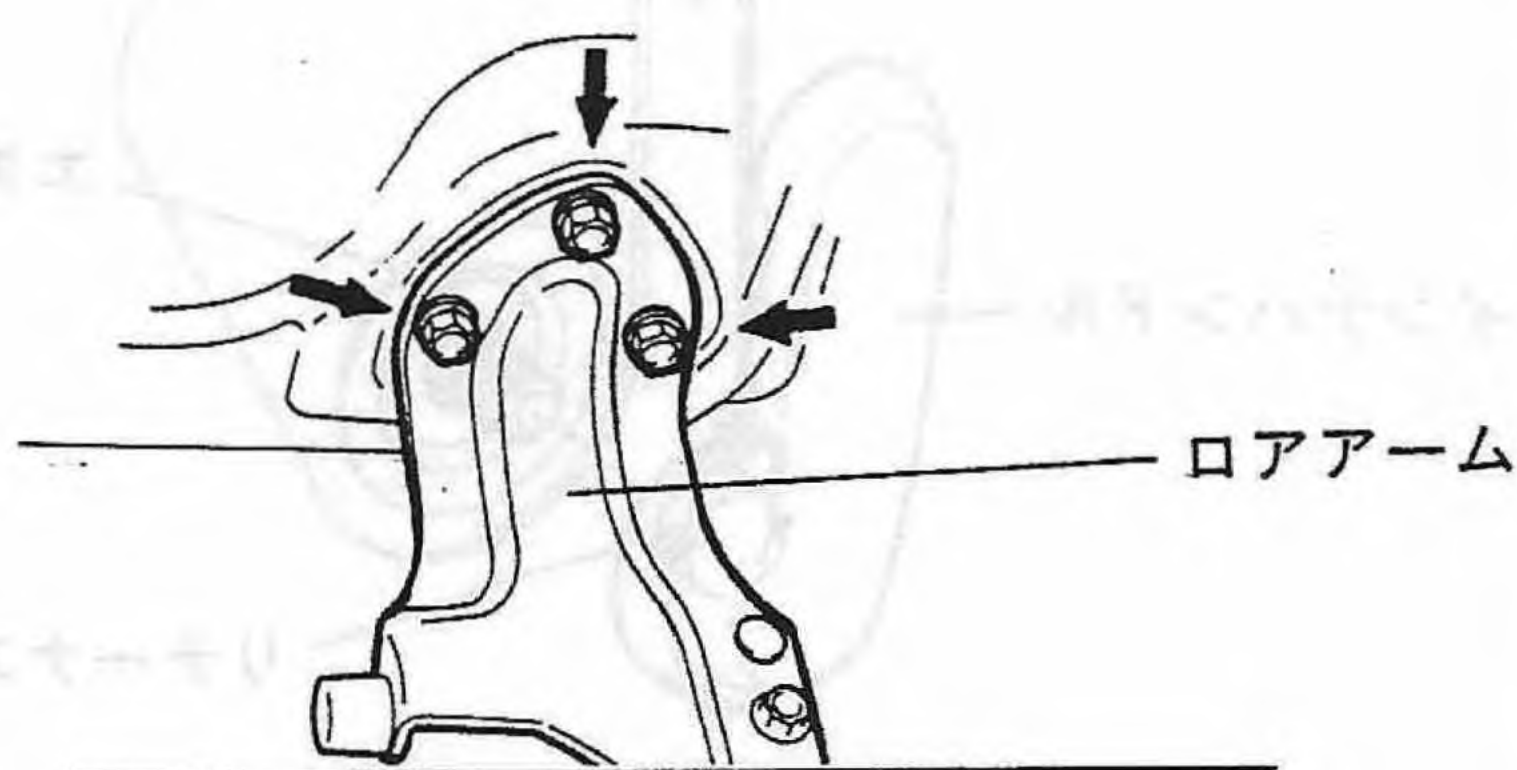


Fig.25

S5-105

注意

調整前にボデー側サスペンダを仮締め状態にしておく。

- ④ 調整後、ロアアームを本締めし、ドアを閉めてサスペンダの位置を決めてから締付ける。

締付トルク	ロアアーム取付ボルト (M8)	$1.80 \pm 0.50 \text{kg-m}$
	サスペンダ取付ボルト (M6)	$0.75 \pm 0.20 \text{kg-m}$

2) 後側

- ① ストライカ取付部で矢印方向に調整する。

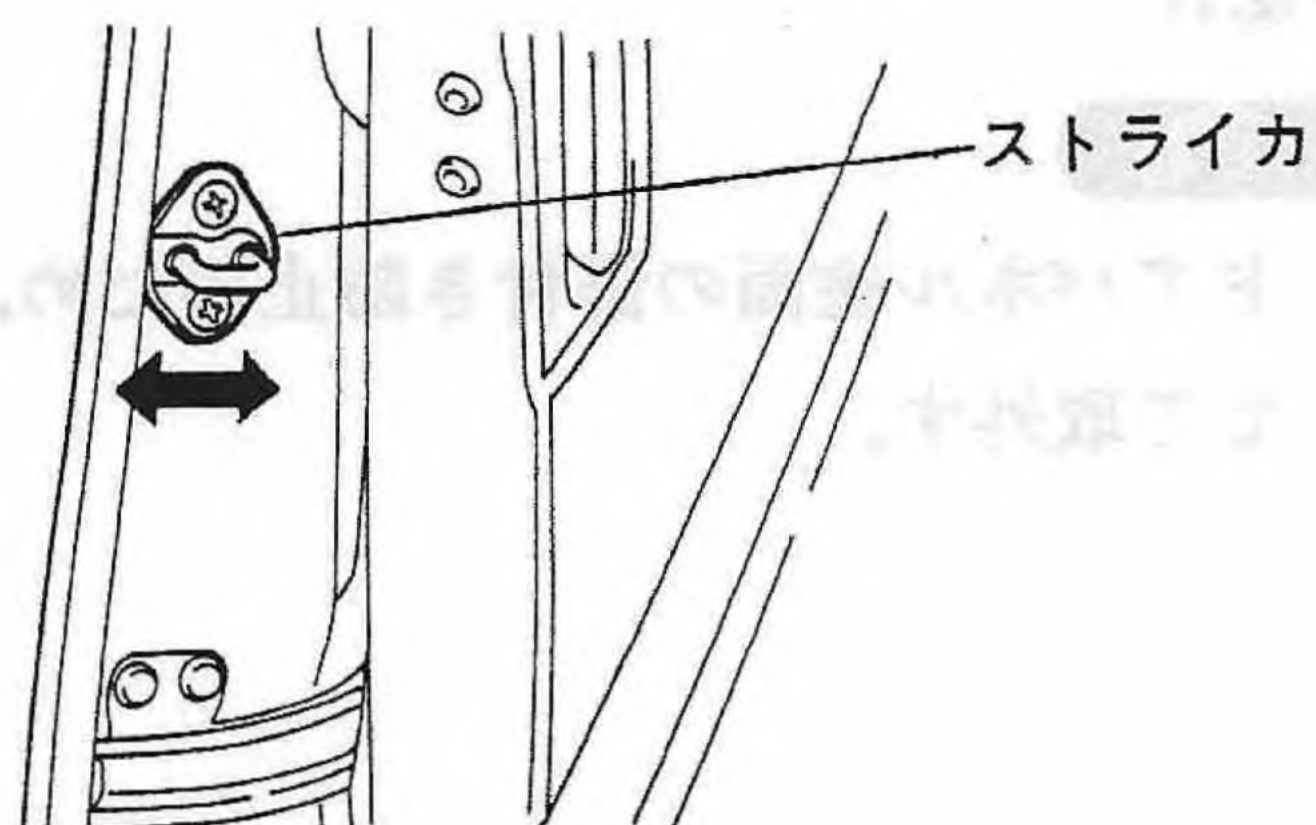


Fig.26

S5-106

- ② 調整後、ストライカを本締めする。

ストライカ取付 スクリュー (M8) 締付トルク	$1.20 \pm 0.20 \text{kg-m}$
--------------------------------	-----------------------------

- (4) 前後方向の調整

スライドドア前後方向の調整は、センタアームを仮締め状態にし、前後の分割スキマが均一になるようにドアを閉め、センタアームを本締めする。

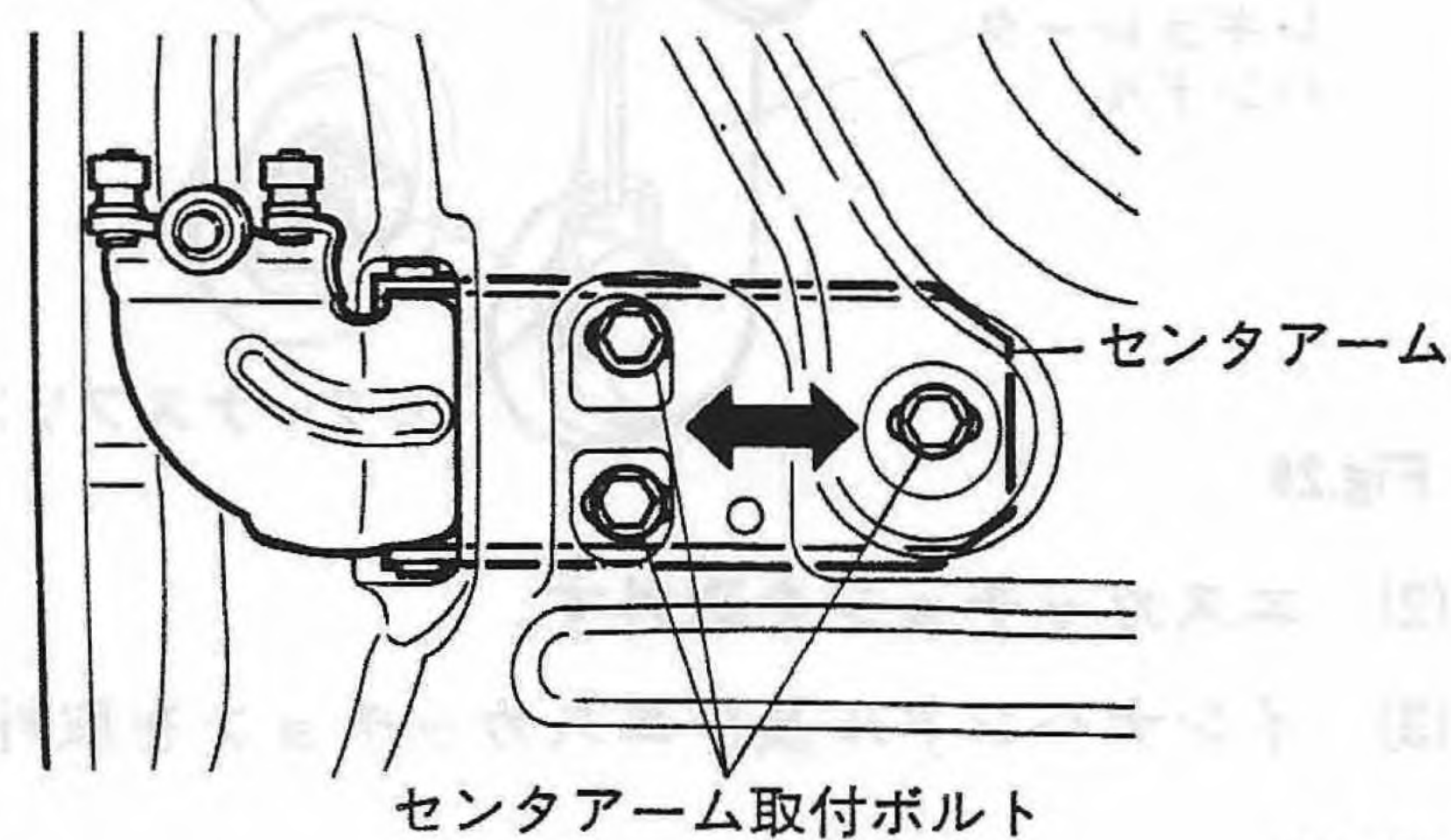


Fig.27

S5-107

センタアーム 取付ボルト (M8) 締付トルク	$1.80 \pm 0.50 \text{kg-m}$
-------------------------------	-----------------------------

(2) トリムパネル

脱着

＜キャブドアトリム＞

- (1) レギュレータハンドルをリテーナスプリングを抜きとり、取外す。

スプリングは太目の針金の先端を折曲げ、リテーナスプリングに引掛け、軽く引張ると外れる。(右記参照)

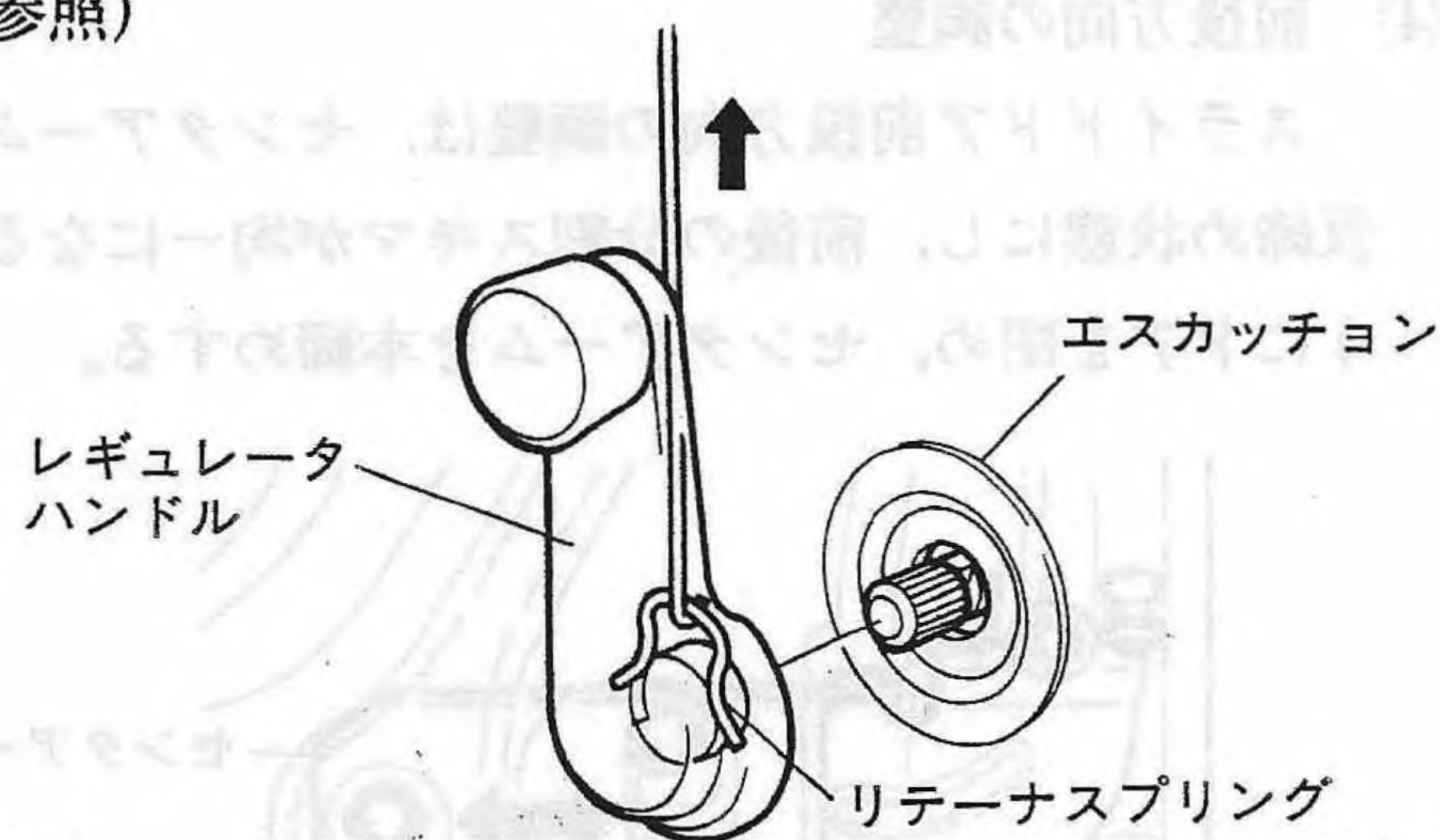


Fig.28

S5-108

- (2) エスカッションを取外す。
- (3) インナハンドル及びエスカッションを取外す。

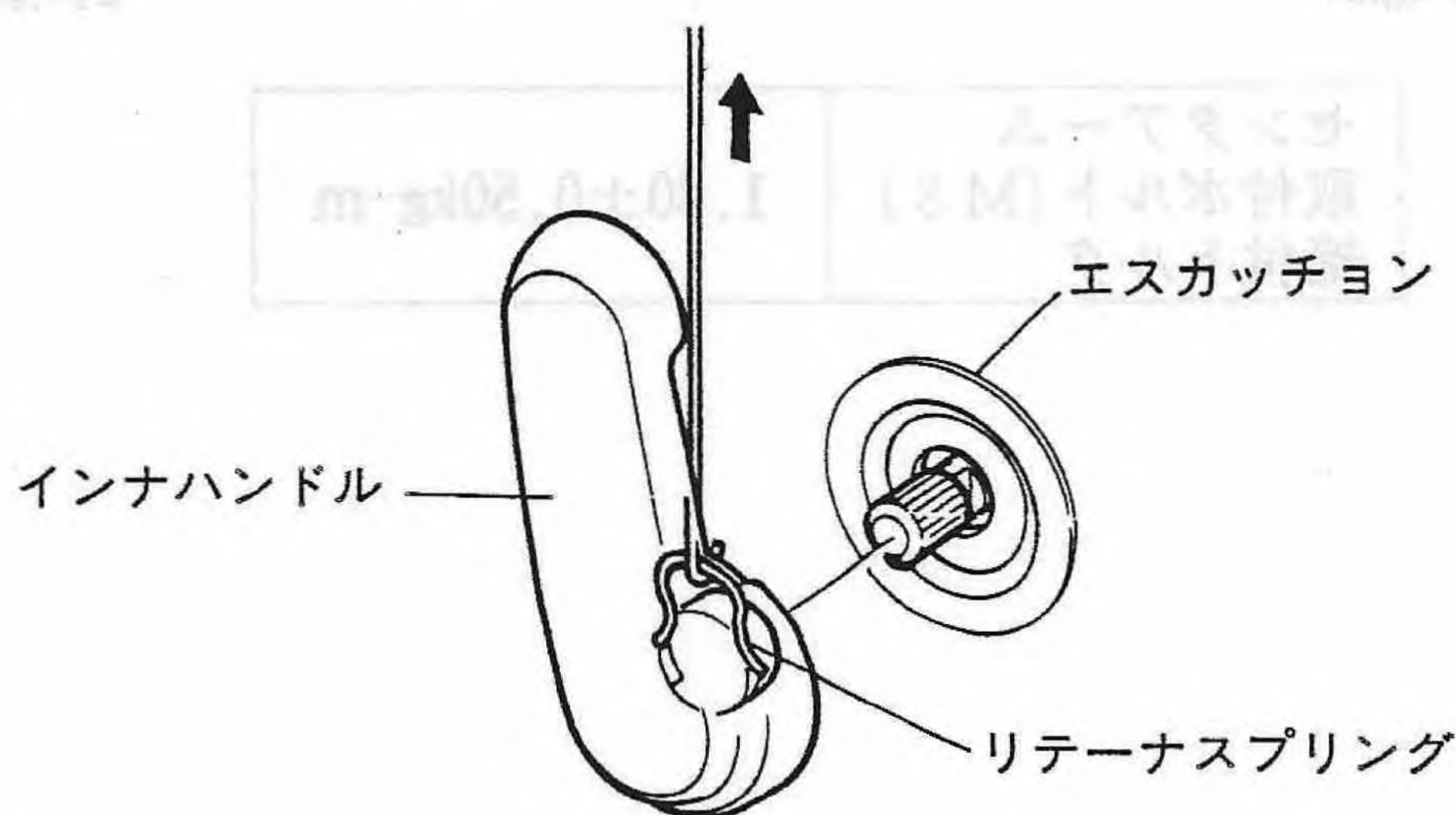


Fig.29

S5-109

- (4) セフティノブ及びセフティノブカバーを取外す。
- (5) トリムパネル取外し用のST・プーラを使用し、取外す。(右記参照)
- (6) 取付けは取外しの逆順序で行なう。

注意

- ・インナハンドルは上向又は少々前傾で取付けること。
- ・レギュレータハンドルはガラス全閉で 45° 前方上位置に組付ける。
- ・エスカッションは裏側に位置決め用凸があるので、裏表に注意し取付けること。

脱着

＜スライドドアトリム＞

- (1) インナハンドル、レギュレータハンドル、リテーナスプリング及びエスカッションを取外す。

ワイヤ先端を一形に曲げた簡易工具を用いるとリテーナスプリング取外しは簡単にできる。

また、リテーナスプリング頭部をマイナスドライバ等で押し、スプリングが広がった状態にしてハンドルを外してもよい。

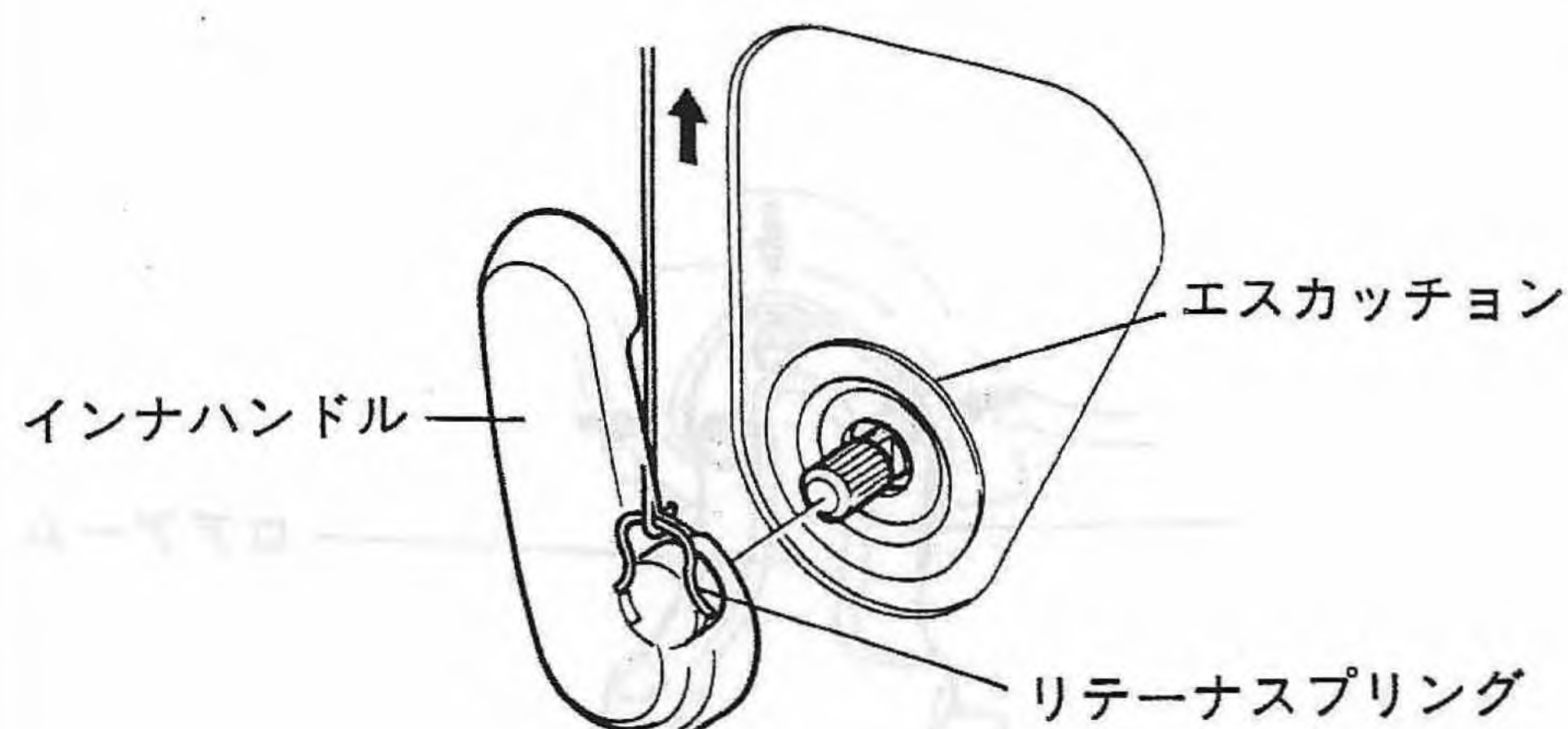


Fig.30

S5-110

- (2) セフティノブ及びセフティノブカバーを取外す。
- (3) トリムパネル取付クリップをST・プーラを使用して外し、トリムパネルを取外す。

注意

クリップは無理に力を入れると破損するので注意すること。

ST 925580000 クリッププーラ

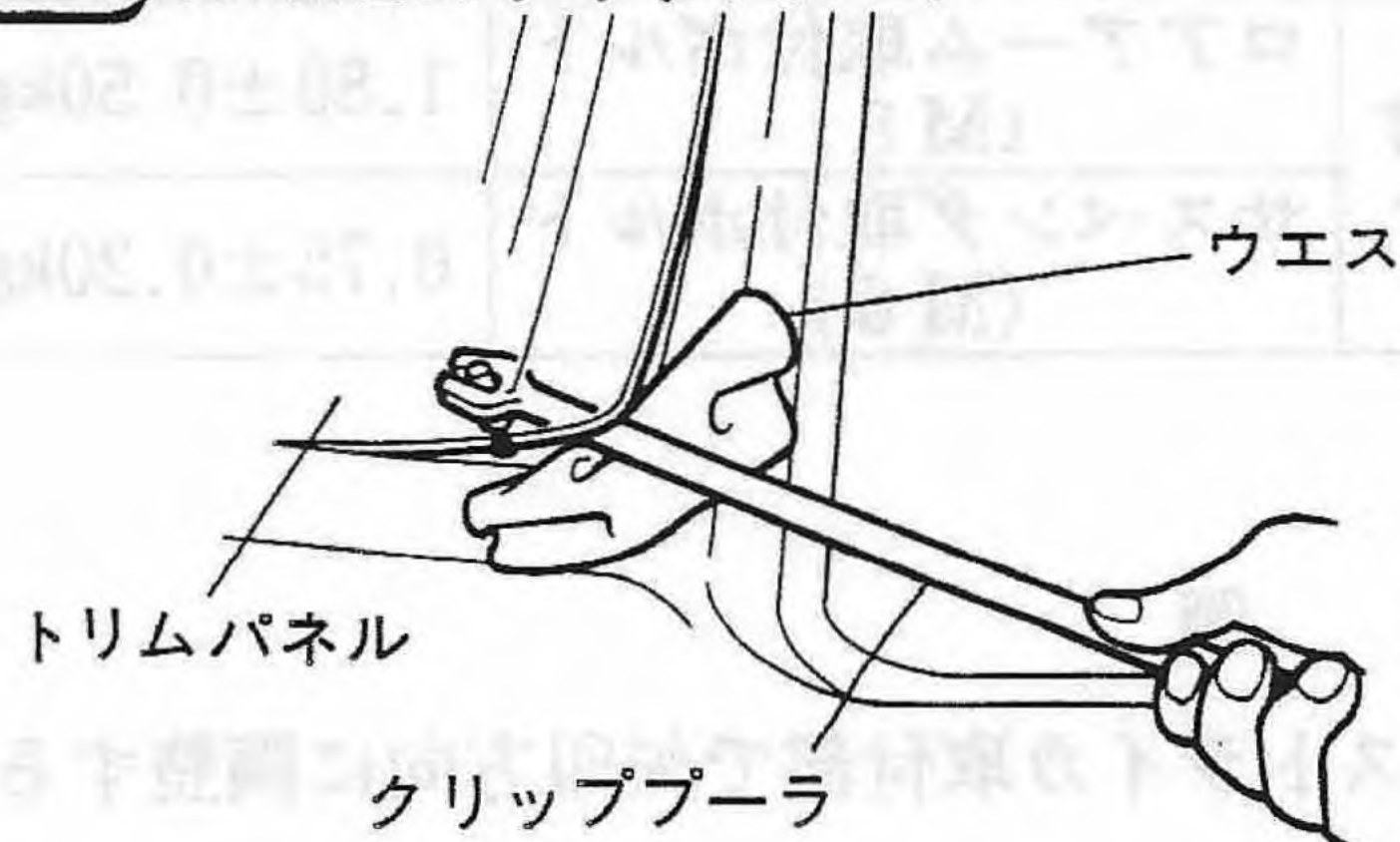


Fig.31

S5-111

注意

ドアパネル塗面の傷付き防止のため、ウエス等を当てて取外す。

(3) ドアガラス&レギュレータ

脱着

(4) 取付けは取外しの逆順序で行なう。

注意

インナハンドルの取付け

ハンドル切り欠き穴にリテーナスプリングを取付け、リテーナスプリングが確実にインナリモートシャフトに入るまでハンドルを押し込む。

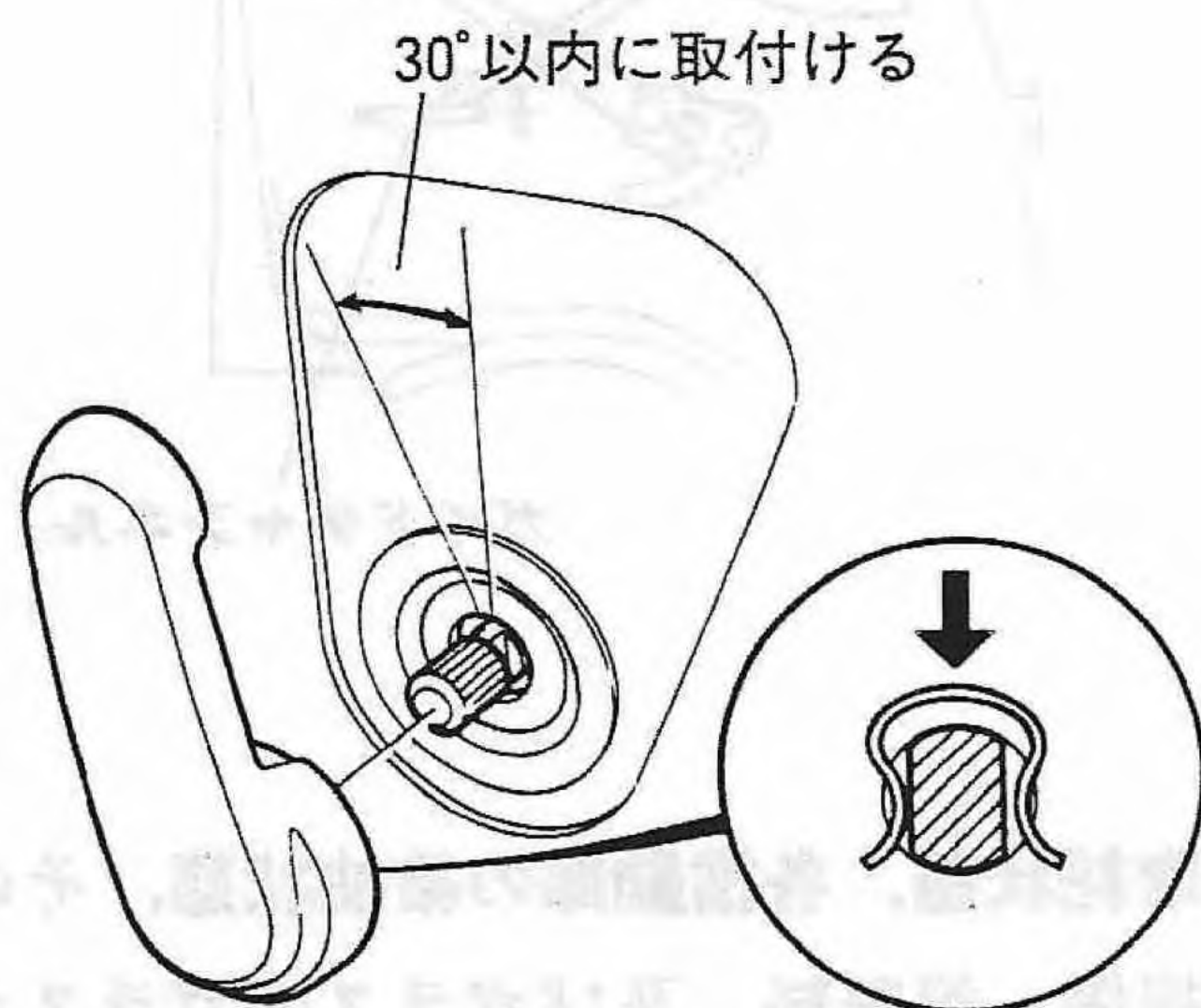


Fig.32

S5-112

脱着

キャブドア

<取外し>

- (1) トリムパネルを取外す。
- (2) シーリングカバーを取外す。
(トライはシーリングカバーを外すまえに、アームレストブラケットを外す。)

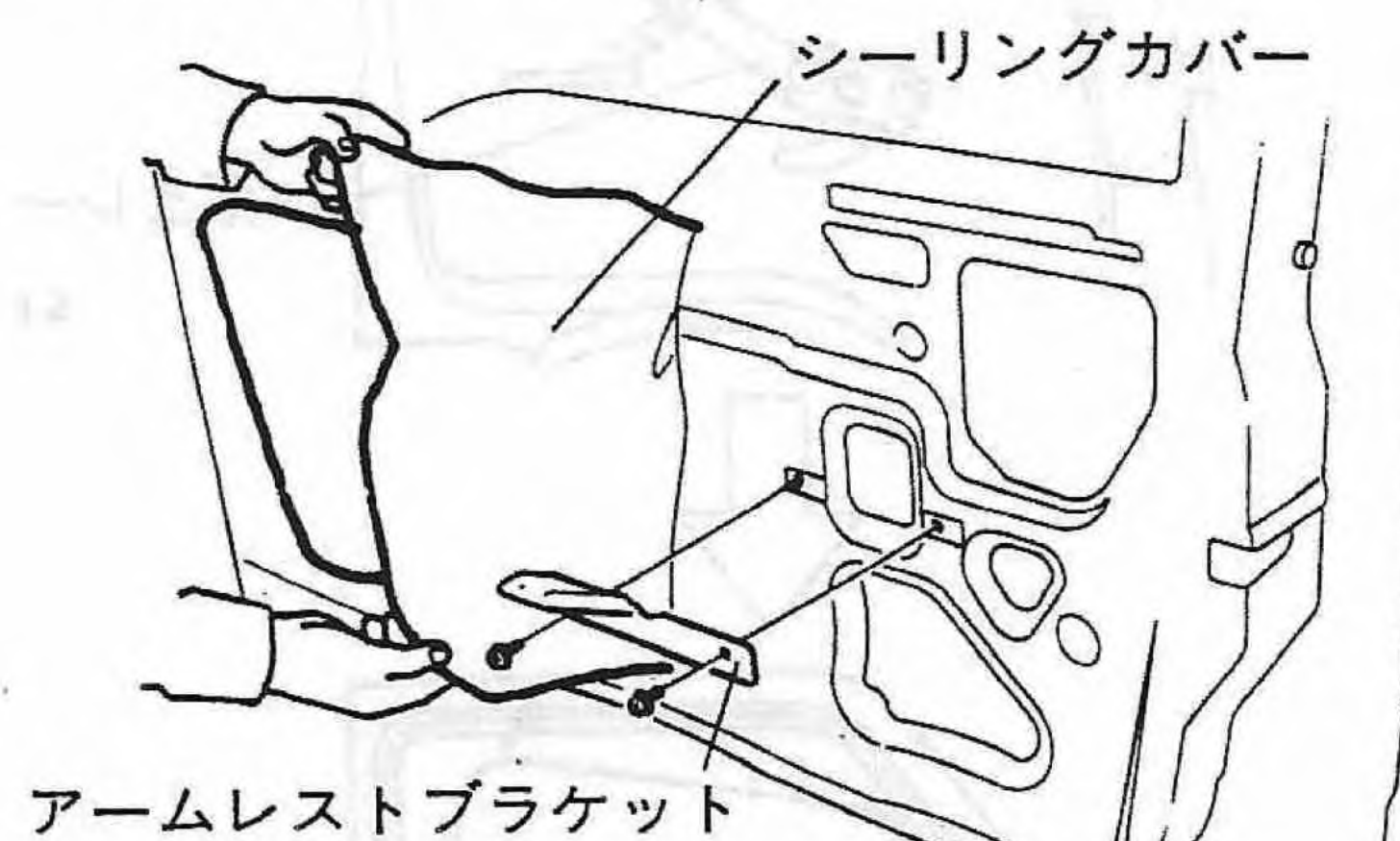


Fig.33

S5-113

- (3) インナウェザストリップを取外す。
- (4) ドアショルダモールを室内側から外す。

注意

塗装面に傷を付けないようにウエス等を当てて作業する。

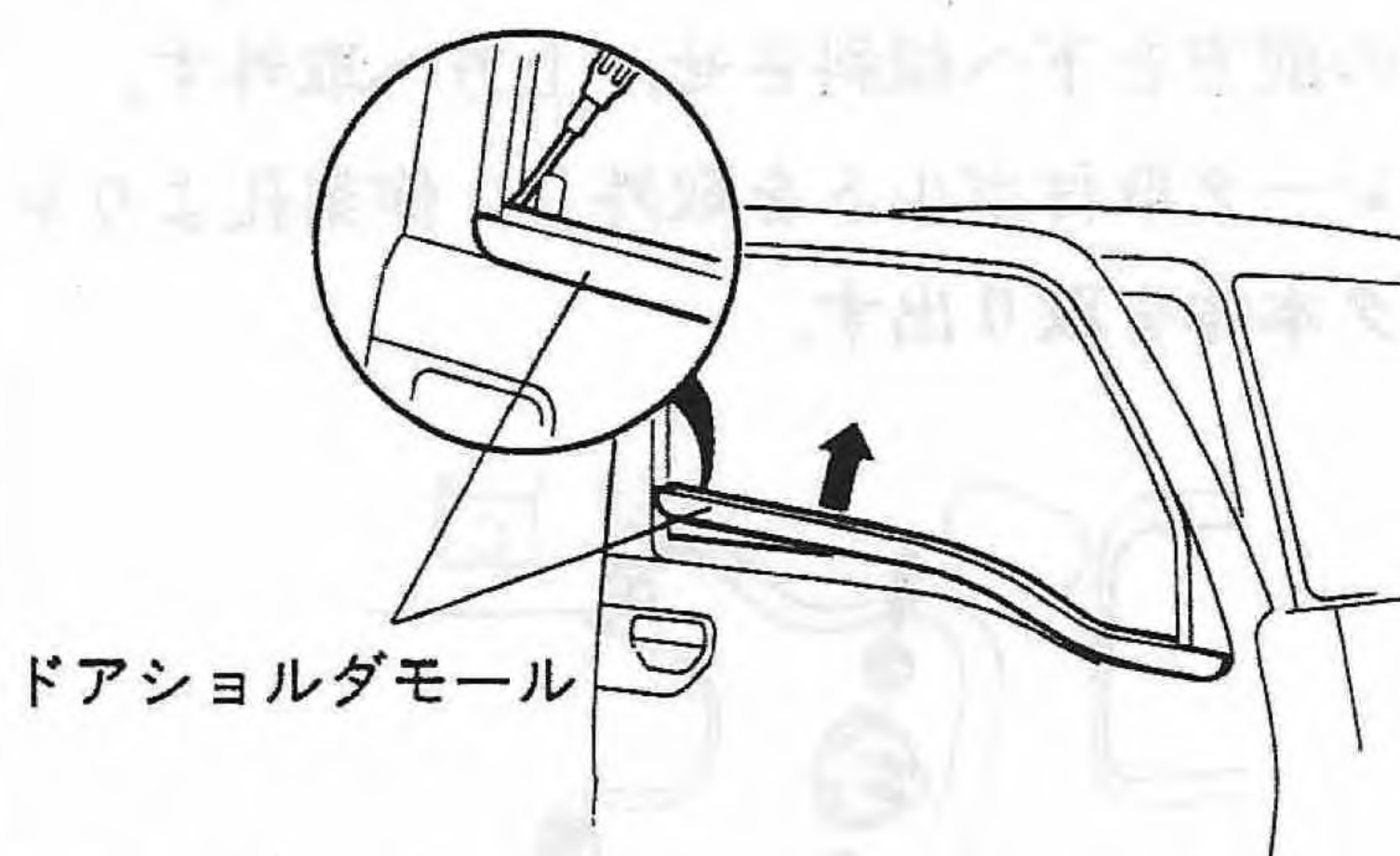


Fig.34

S5-114

- (5) ガラスを上げ、リヤサッシュを取外す。

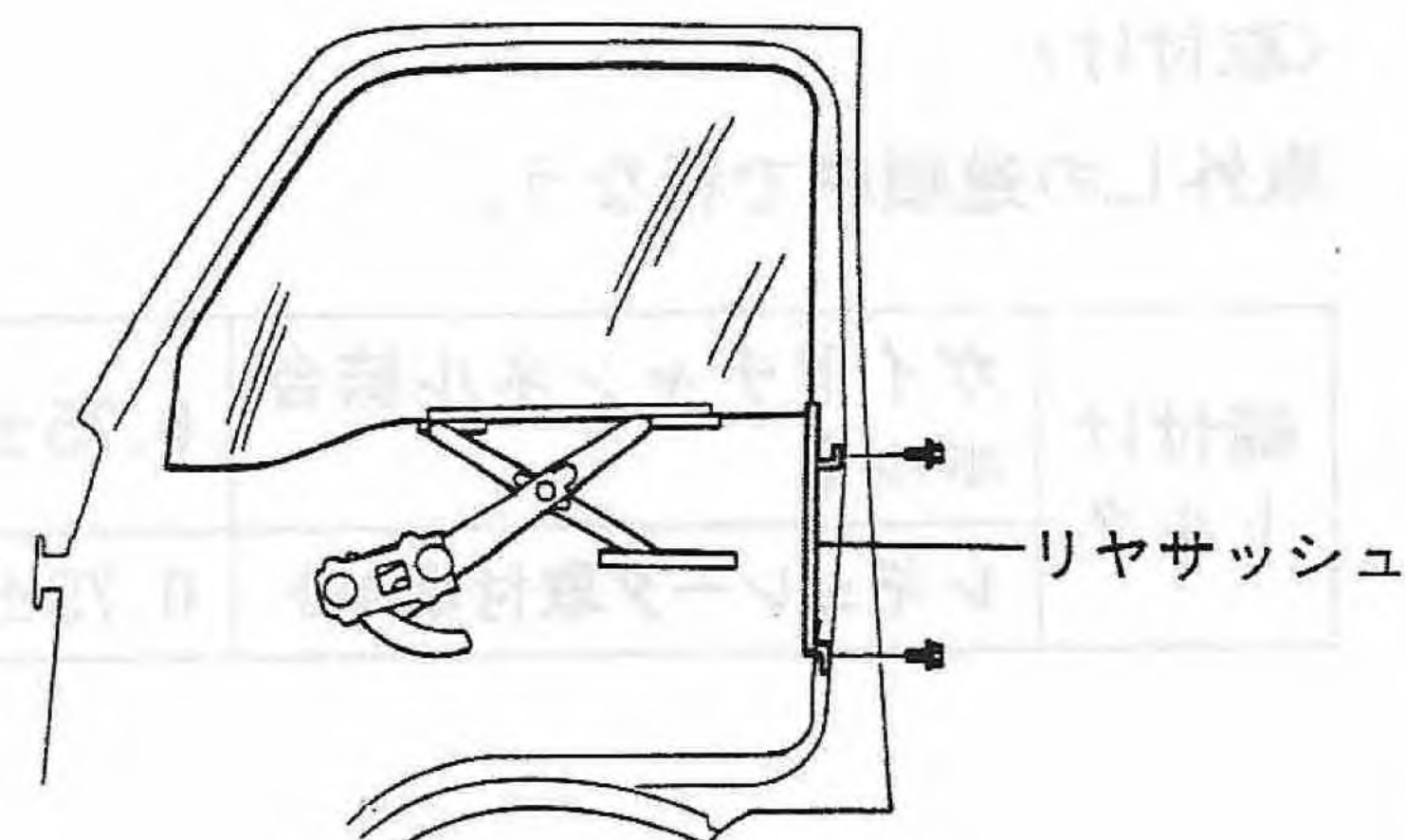
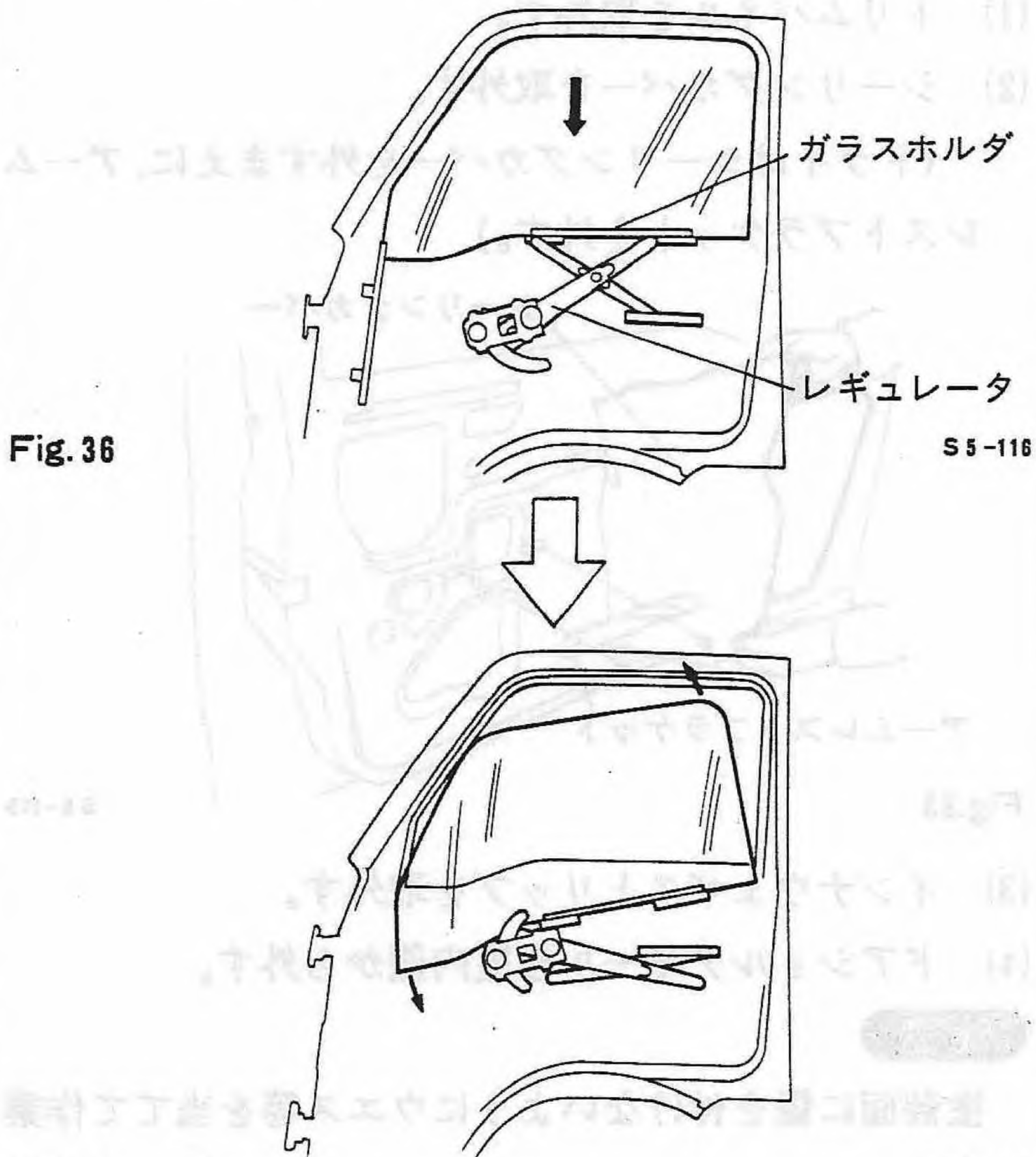


Fig.35

S5-115

脱着

- (6) ガラスを下げ、ガラスを前方にスライドさせガラスホルダからレギュレータのローラを外す。



- (7) ガラスの前方を下へ傾斜させ、上方へ取外す。
(8) レギュレータ取付ボルトを取外し、作業孔よりレギュレータ本体を取り出す。

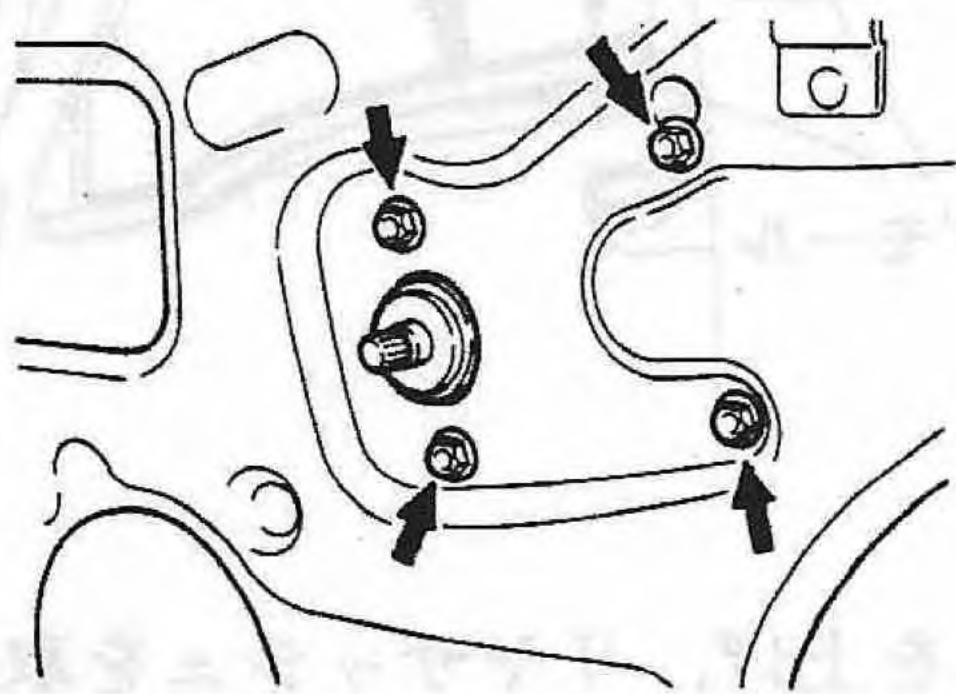


Fig. 38

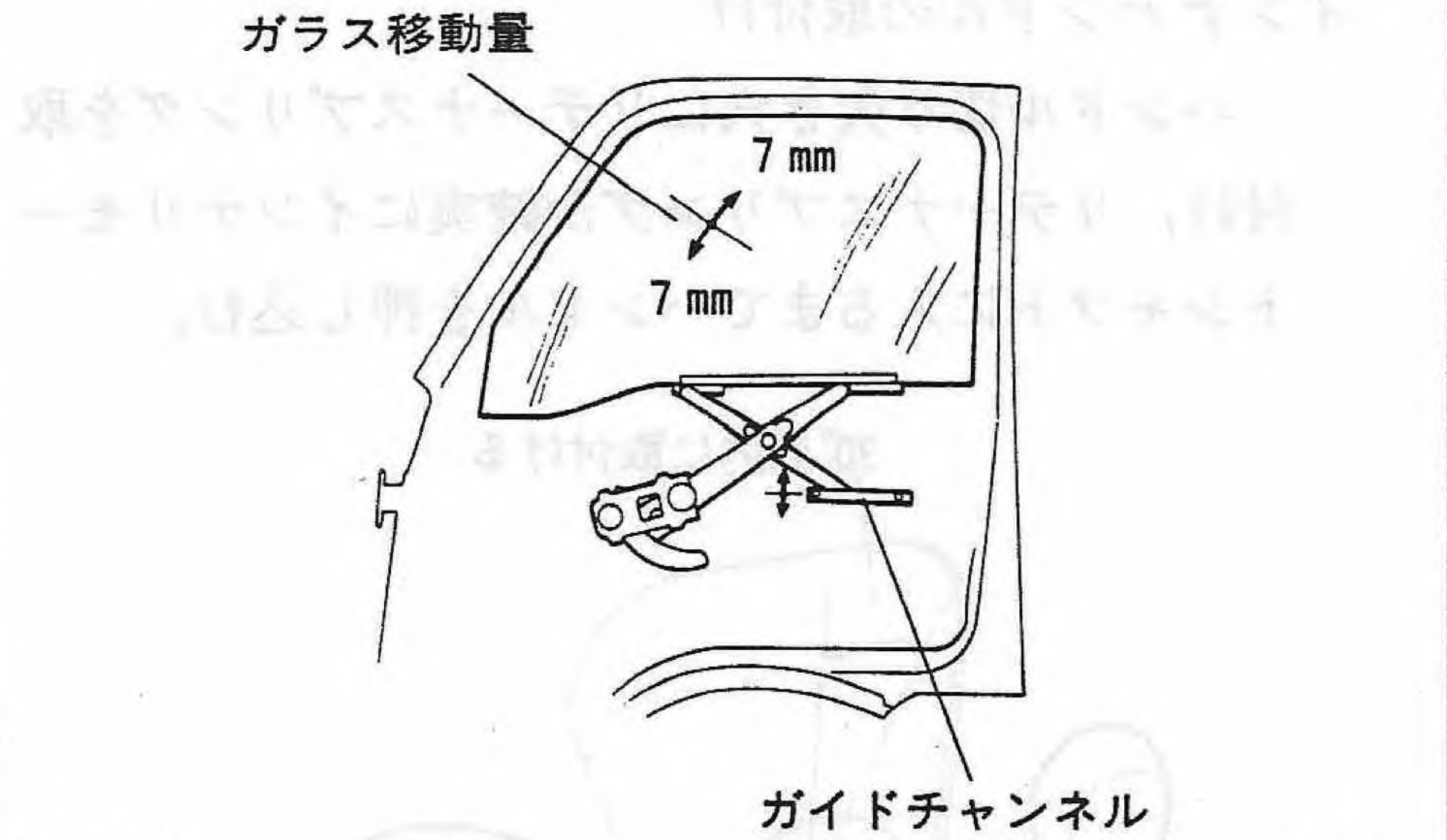
〈取付け〉

取外しの逆順序で行なう。

締付け トルク	ガイドチャンネル結合 ボルト	$0.75 \pm 0.20 \text{ kg-m}$
	レギュレータ取付ボルト	$0.75 \pm 0.20 \text{ kg-m}$

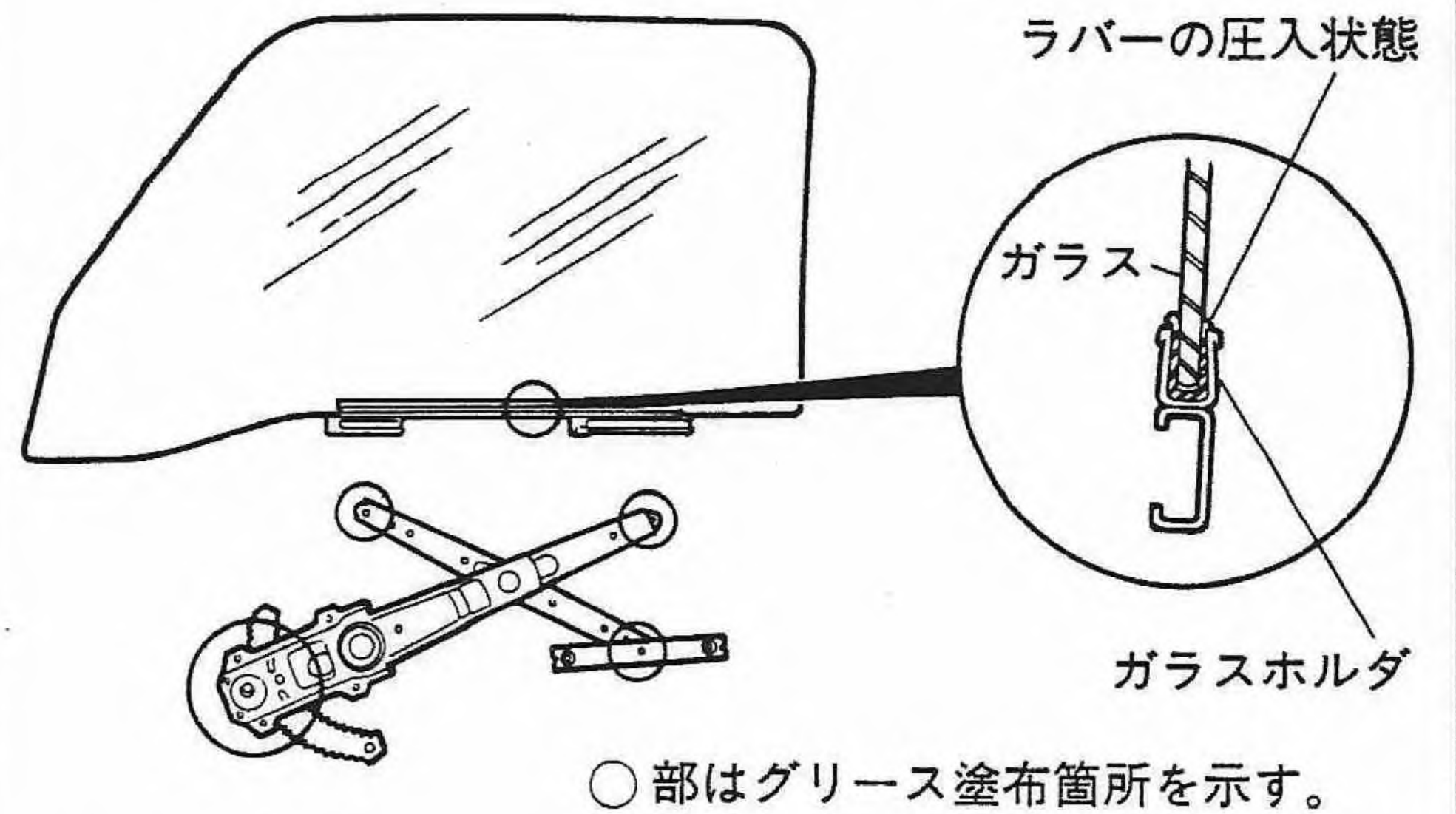
調整

ガラスのサッシュに対しての姿勢調整は、ガイドチャンネル取付けボルトによって行なう。



注意

ギヤの摩耗状態、各摺動部の給油状態、その他構成部品の損傷、偏摩耗、及びガラスのガラスホルダへの圧入(抜けはないか)状態を点検すること。



脱着

スライドドア

〈取外し〉

- (1) トリムパネルを取外す。
- (2) シーリングカバーを取外す。

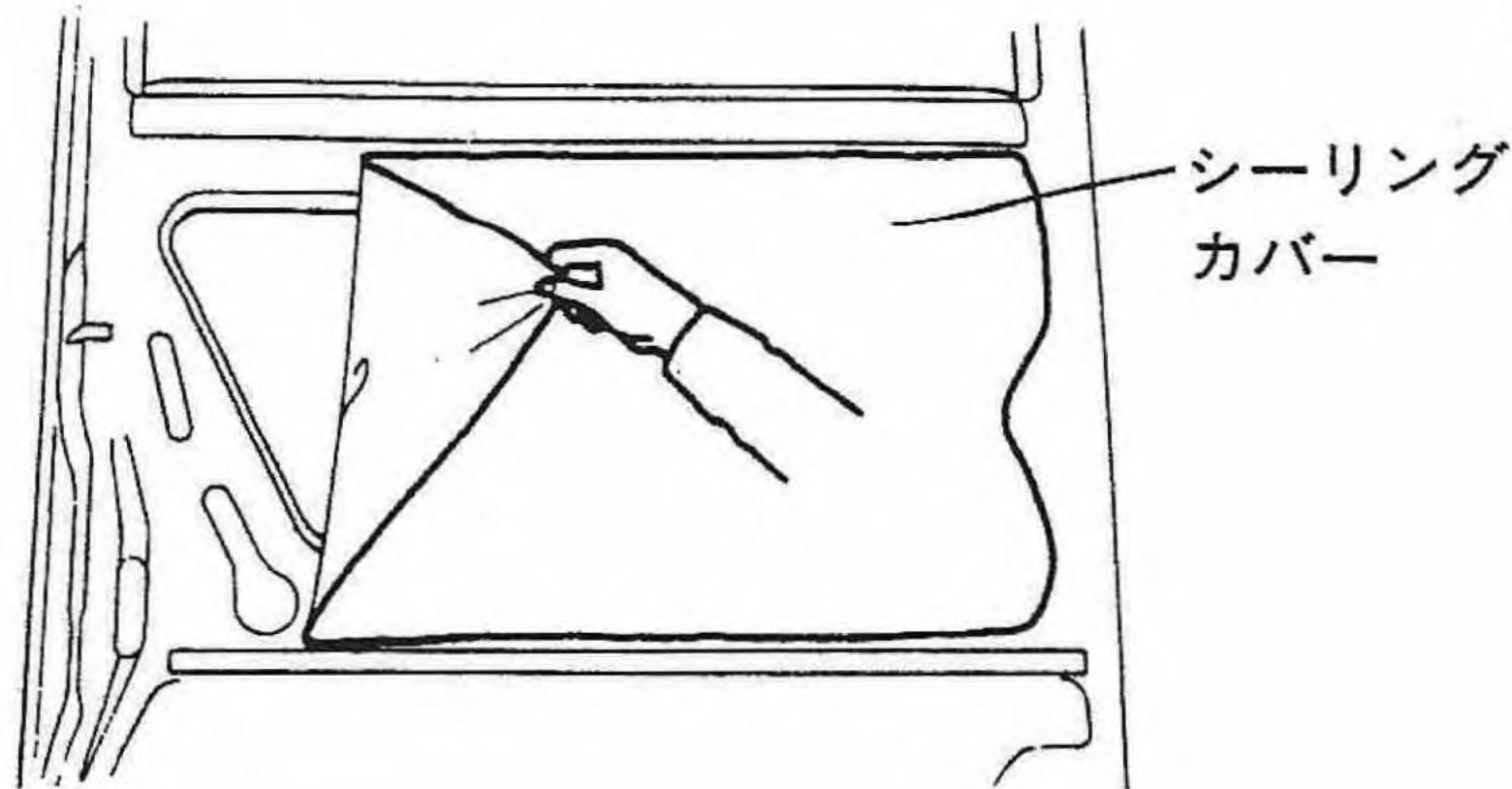


Fig.41

S5-121

- (3) ロアサッシュを取外す。

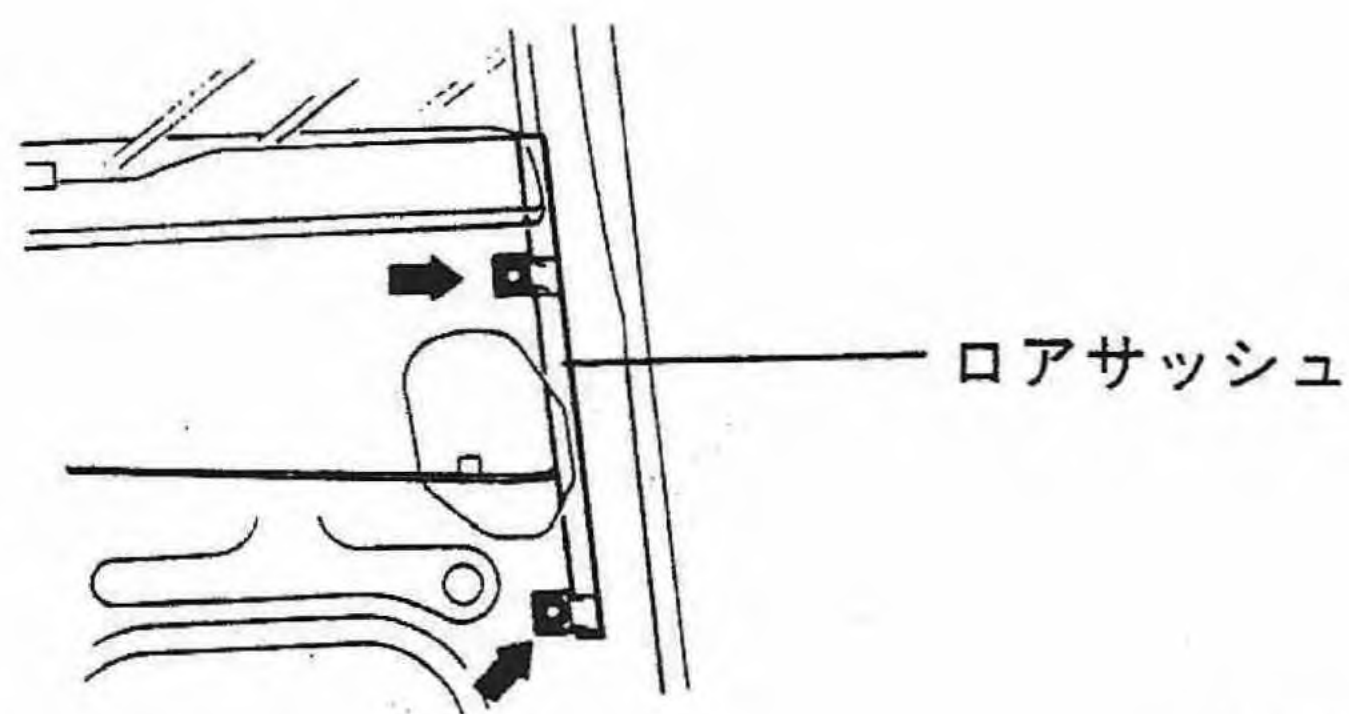


Fig.42

S5-122

- (4) ガラスを下端まで下げランチャネルをドアパネルより引き抜く。
- (5) ガラスをレギュレータのガラスホルダが作業孔にくるまで上げ、ワイヤブラケットと分離する。

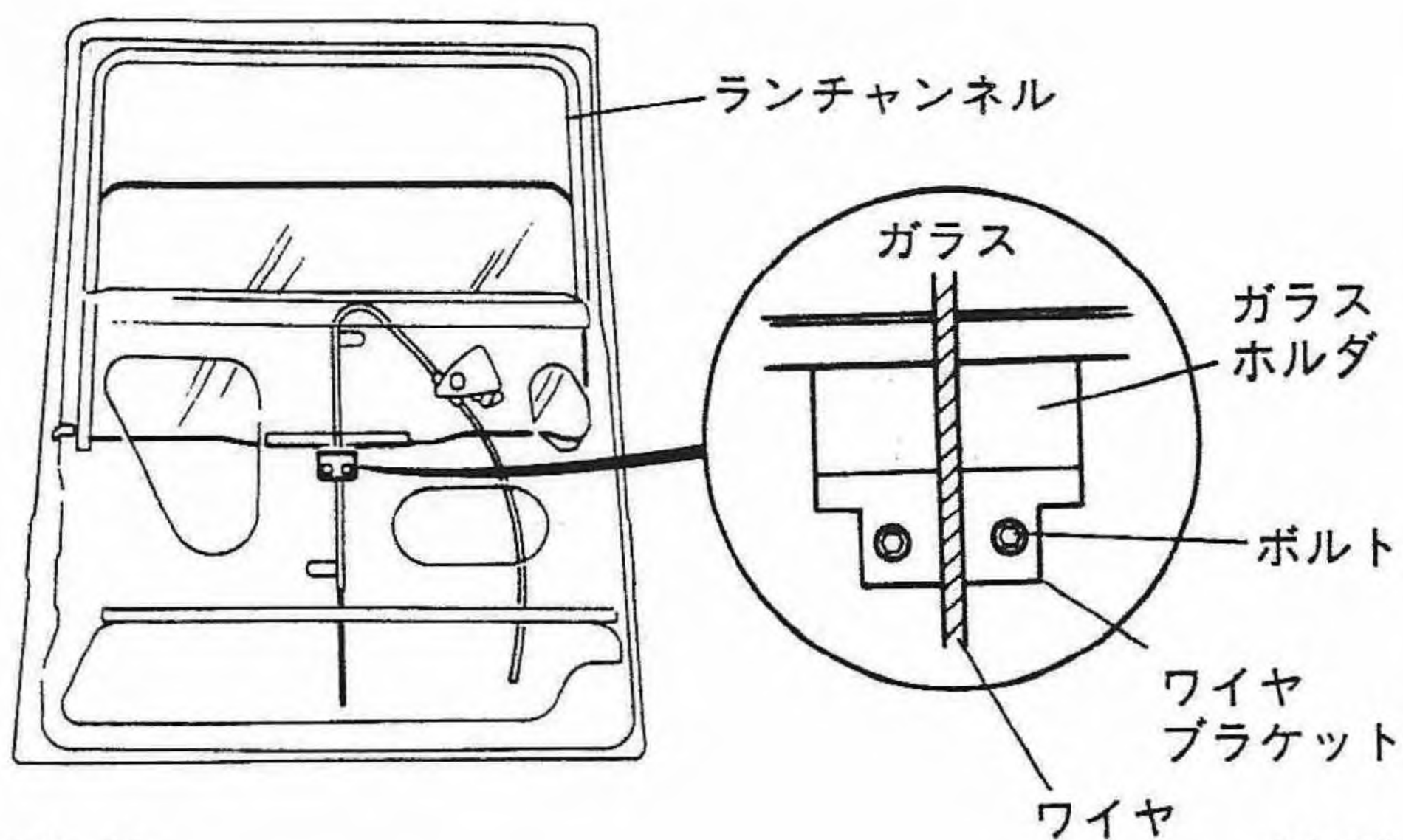


Fig.43

S5-123

- (6) ガラスの後方を上へ傾斜させ、上方へ取外す。

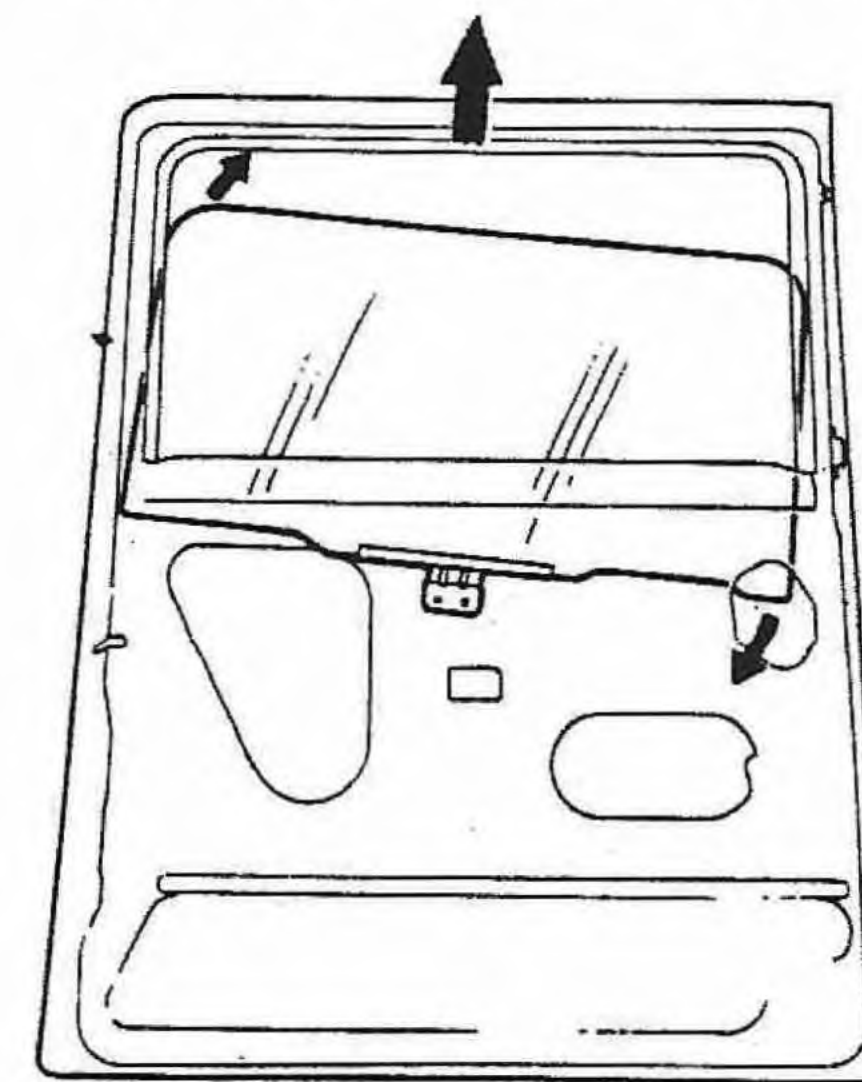


Fig.44

S5-124

- (7) レギュレータ取付ボルト 5 本を取外し、作業孔よりレギュレータ&ワイヤASSYを取り出す。

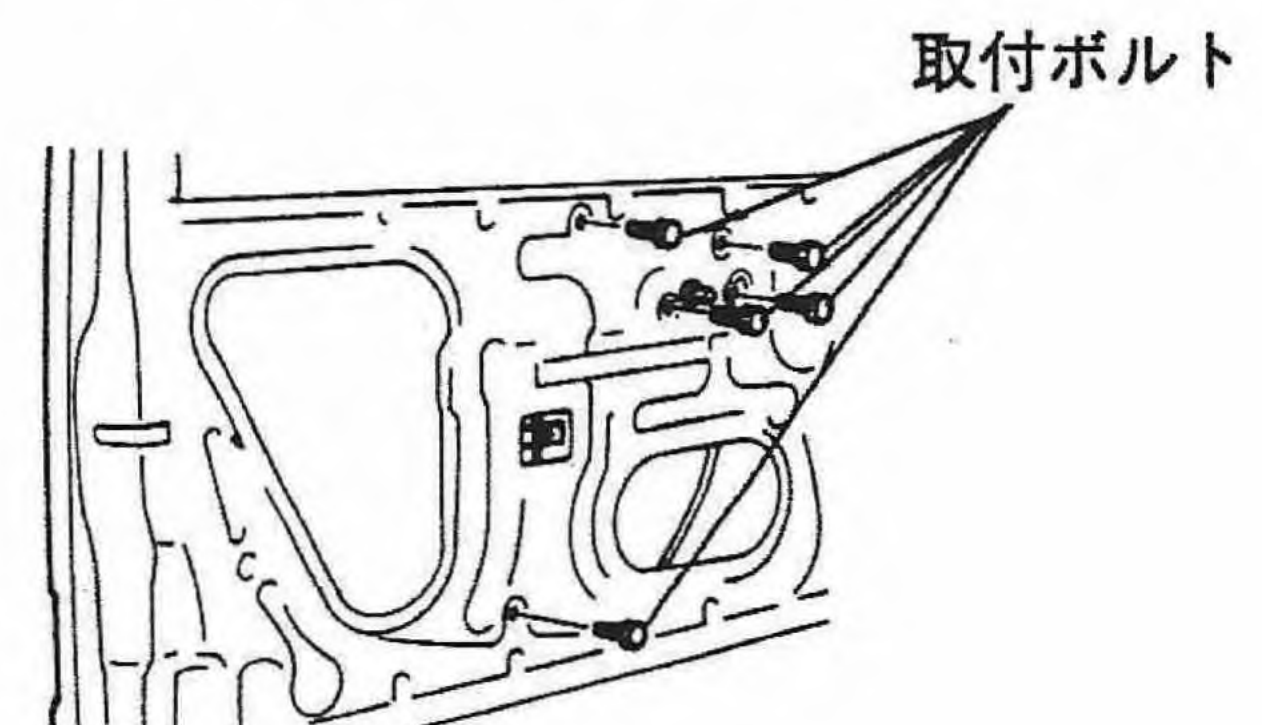


Fig.45

S5-125

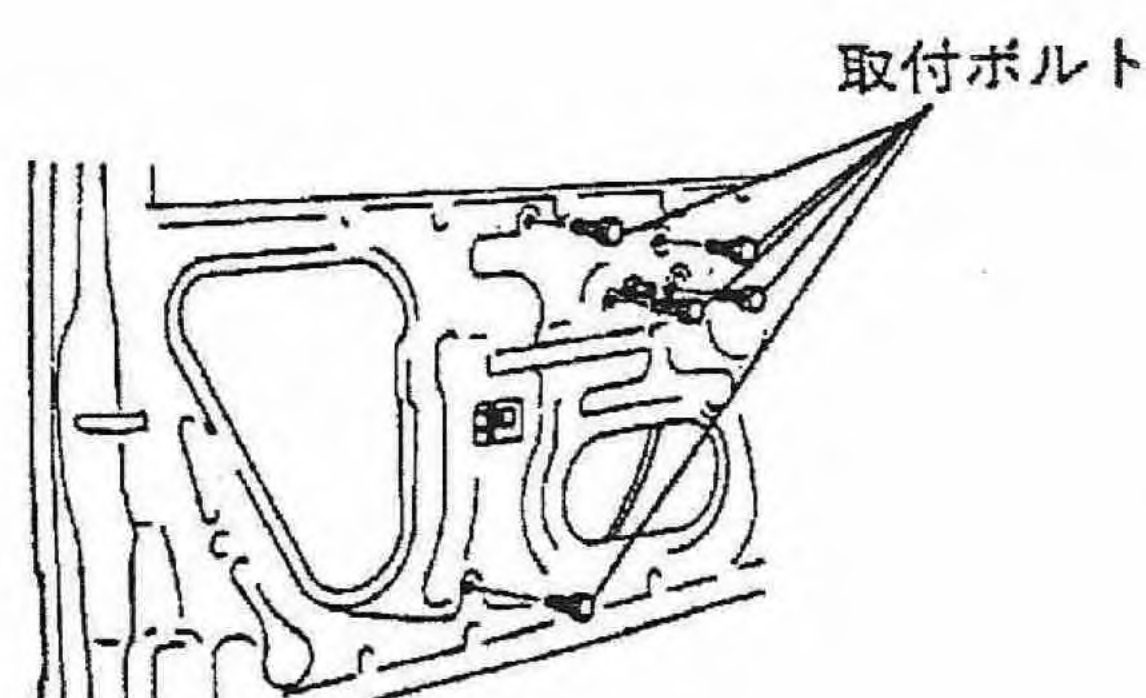
〈取付け〉

取外しの逆順序で行なう。

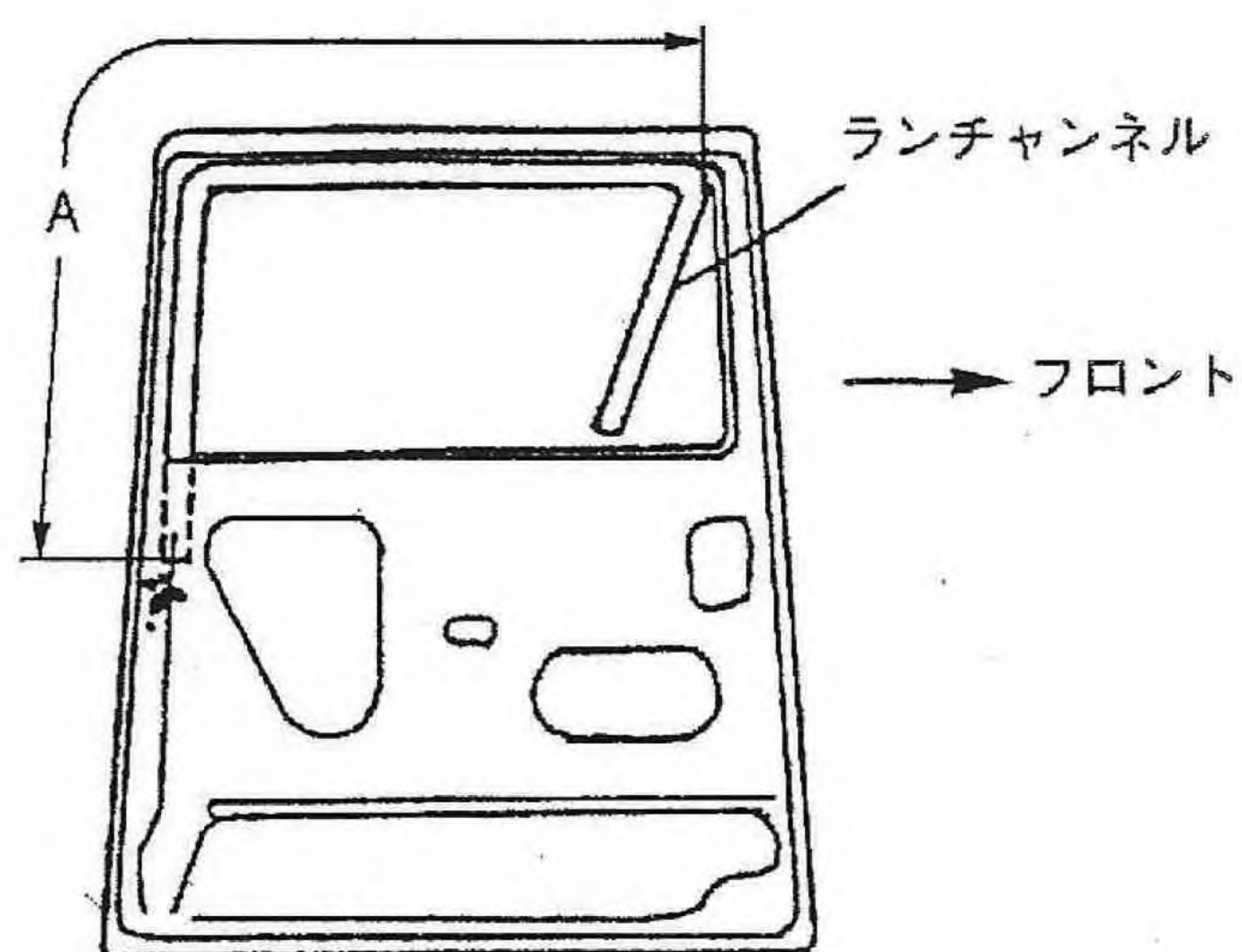
締付け トルク	ガラス結合ボルト	0.75±0.20kg-m
	レギュレータ取付ボルト	0.75±0.20kg-m

<取付け>

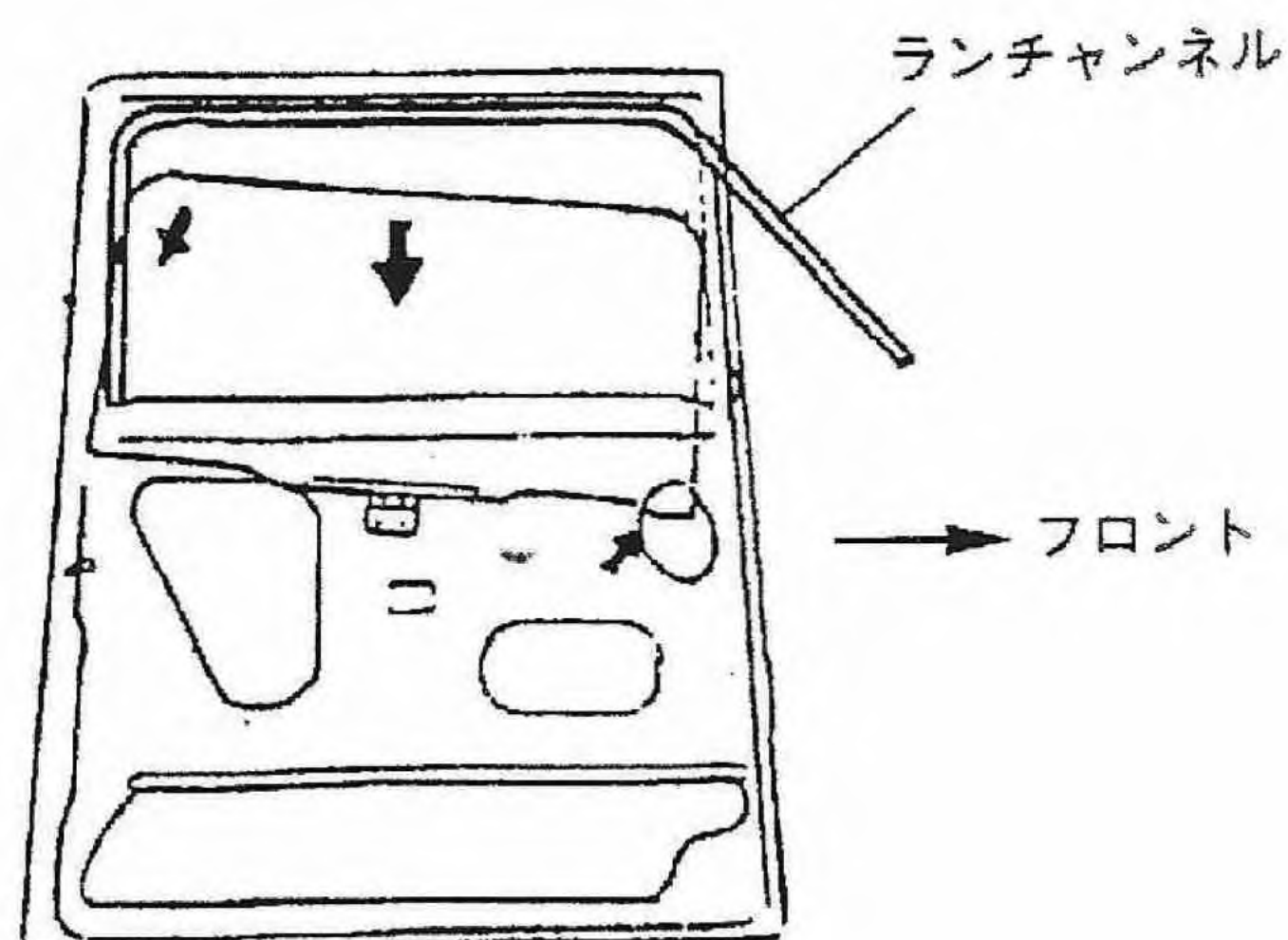
- (1) 作業孔よりレギュレータ&ワイヤーASSYを挿入し、レギュレータ取付ボルト(5本)で固定する。



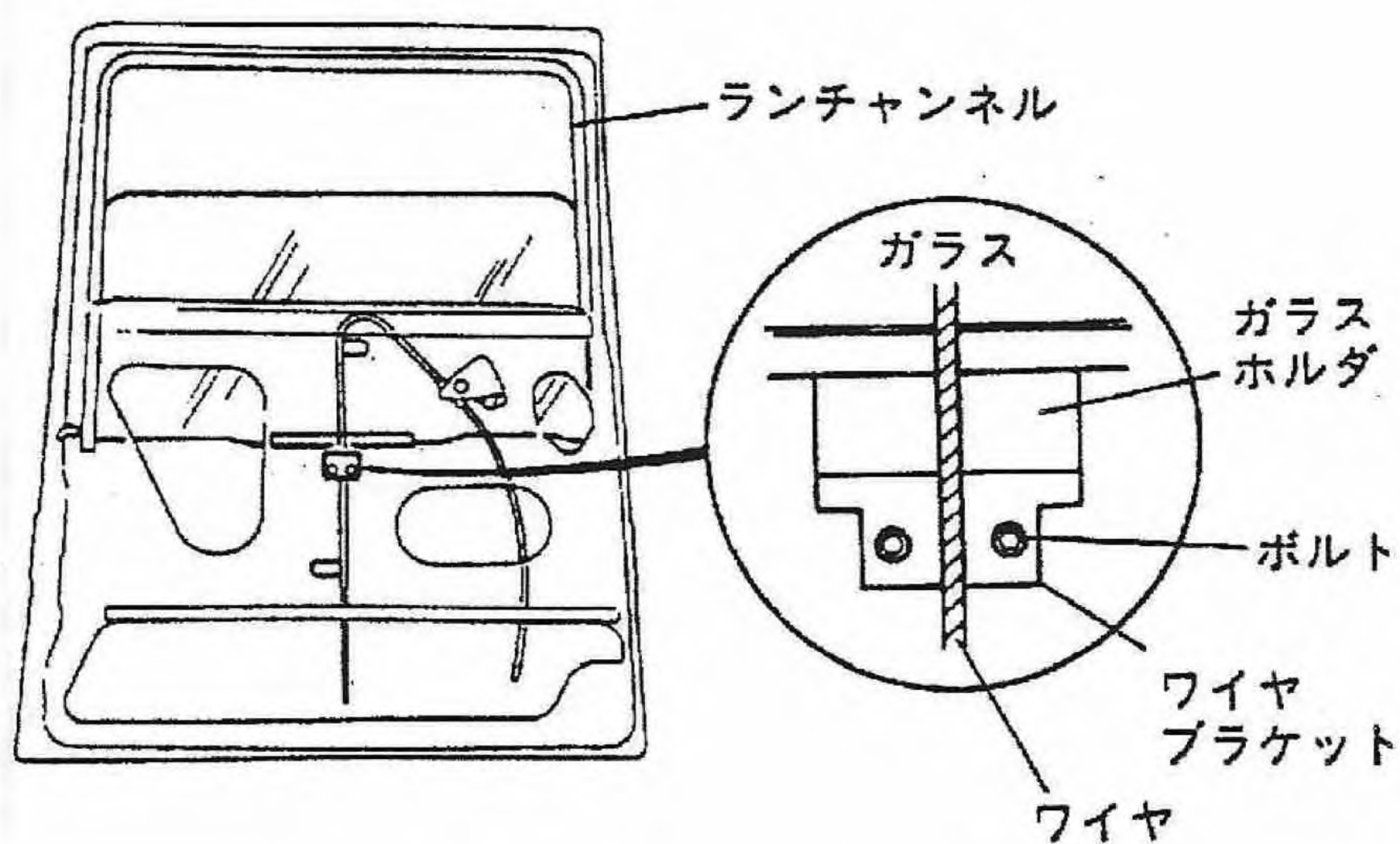
- (2) ランチャンネルをサッシの上辺と後辺に取付ける。(Aの範囲のみランチャンネルに取付ける)。



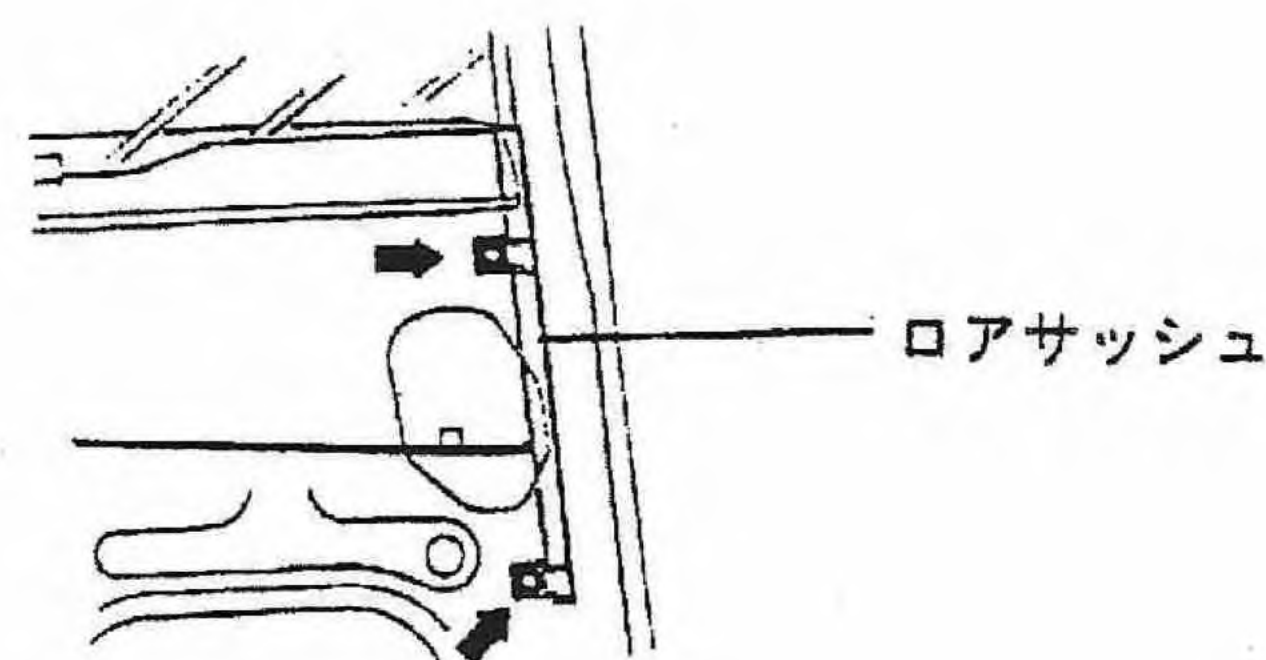
- (3) ガラスの前方を下に傾斜させパネルに組込む。



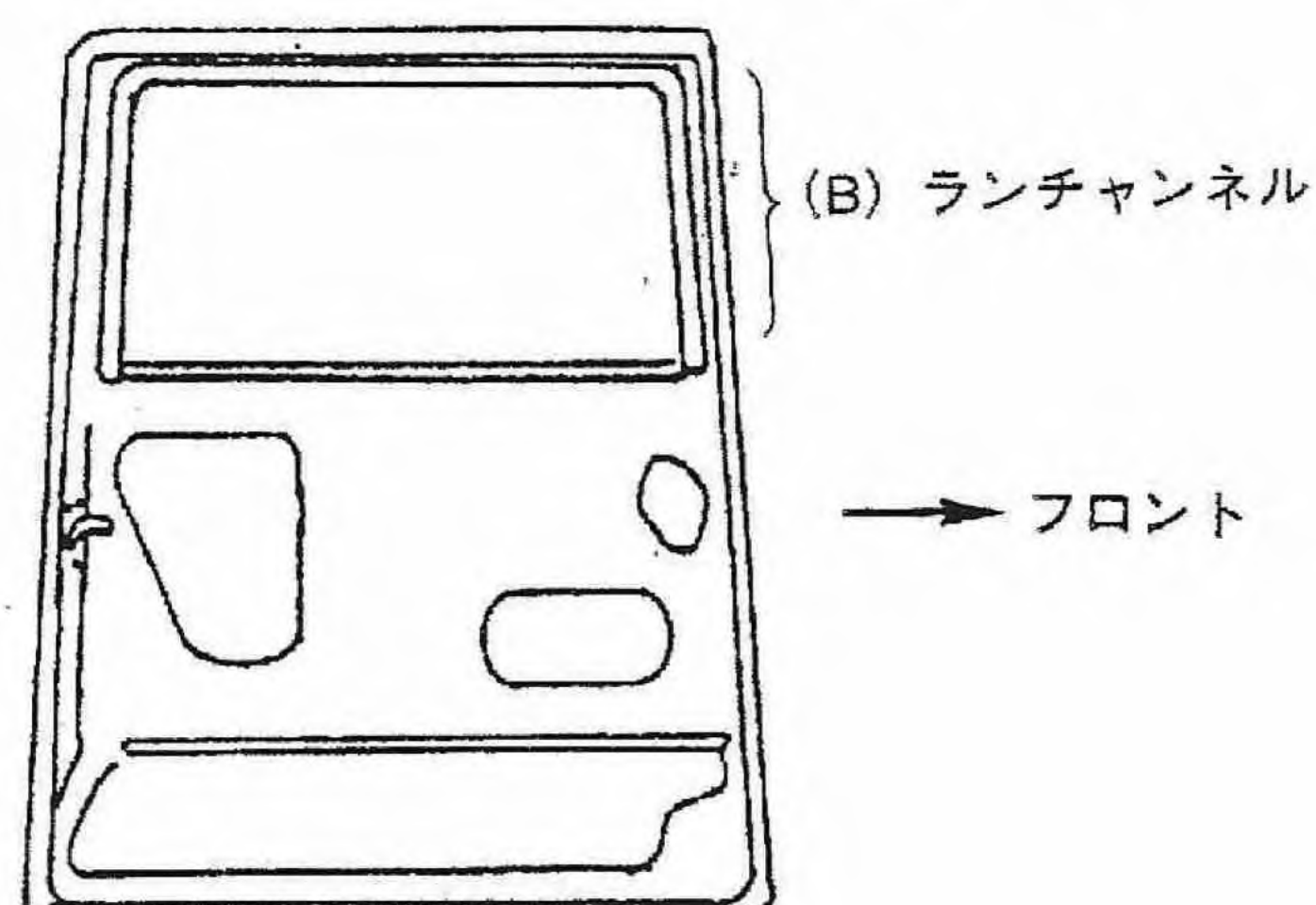
- (4) ガラスをレギュレータのガラスホルダが作業孔にくるまで下げ、ワイヤブラケットと結合する。



- (5) レギュレータを操作し、ガラスを上限まであげる。
(6) ロアサッシュを取付ける。



- (7) レギュレータを操作しガラスを下限まで下げる。
(8) ランチャンネルをサッシュの前辺に取付ける。(Bの範囲をランチャンネルに取付ける)



- (9) シリングカバーを取付ける。
(10) トリムパネルを取付ける。

締付け トルク	ガラス結合ボルト	0.75±0.20kg-m
	レギュレータ取付ボルト	0.75±0.20kg-m

(4) インナリモート&スライドドアアウトハンドル (5) ドアラッチ&キャブドアアウトハンドル

脱着

〈取外し〉

(トリムパネル、シーリングカバーなどを外した状態から)

・キャブドア

- (1) ラッチとの結合ロッドをラッチ側ホルダから外す。

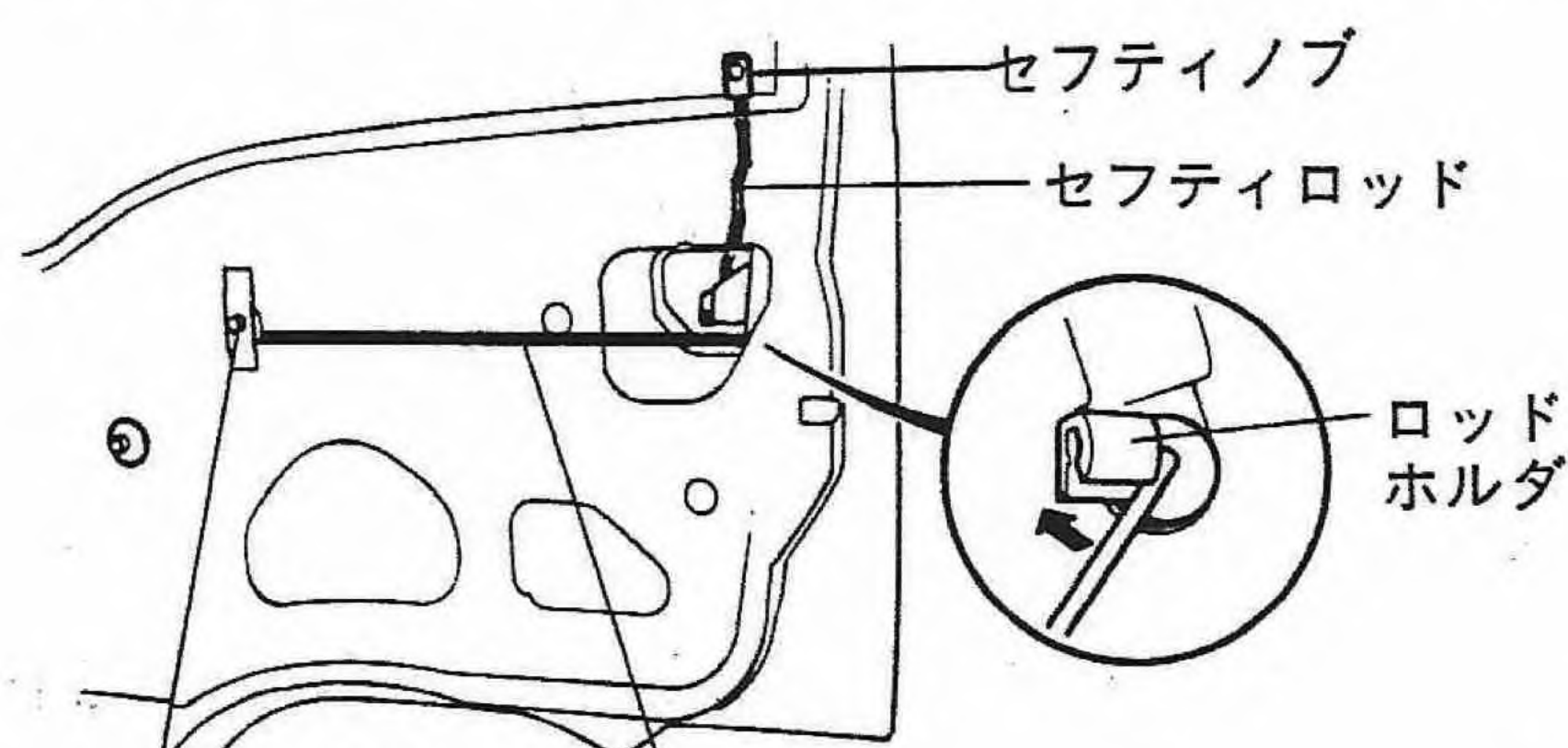


Fig.46 インナリモート ロッド

S 5-126

- (2) インナリモート取付スクリュ2本を外し、インナリモートを取出す。

・スライドドア

- (1) ラッチとの結合ロッドをリモート側で外す。
(2) セフティノブをセフティロッドから外す。

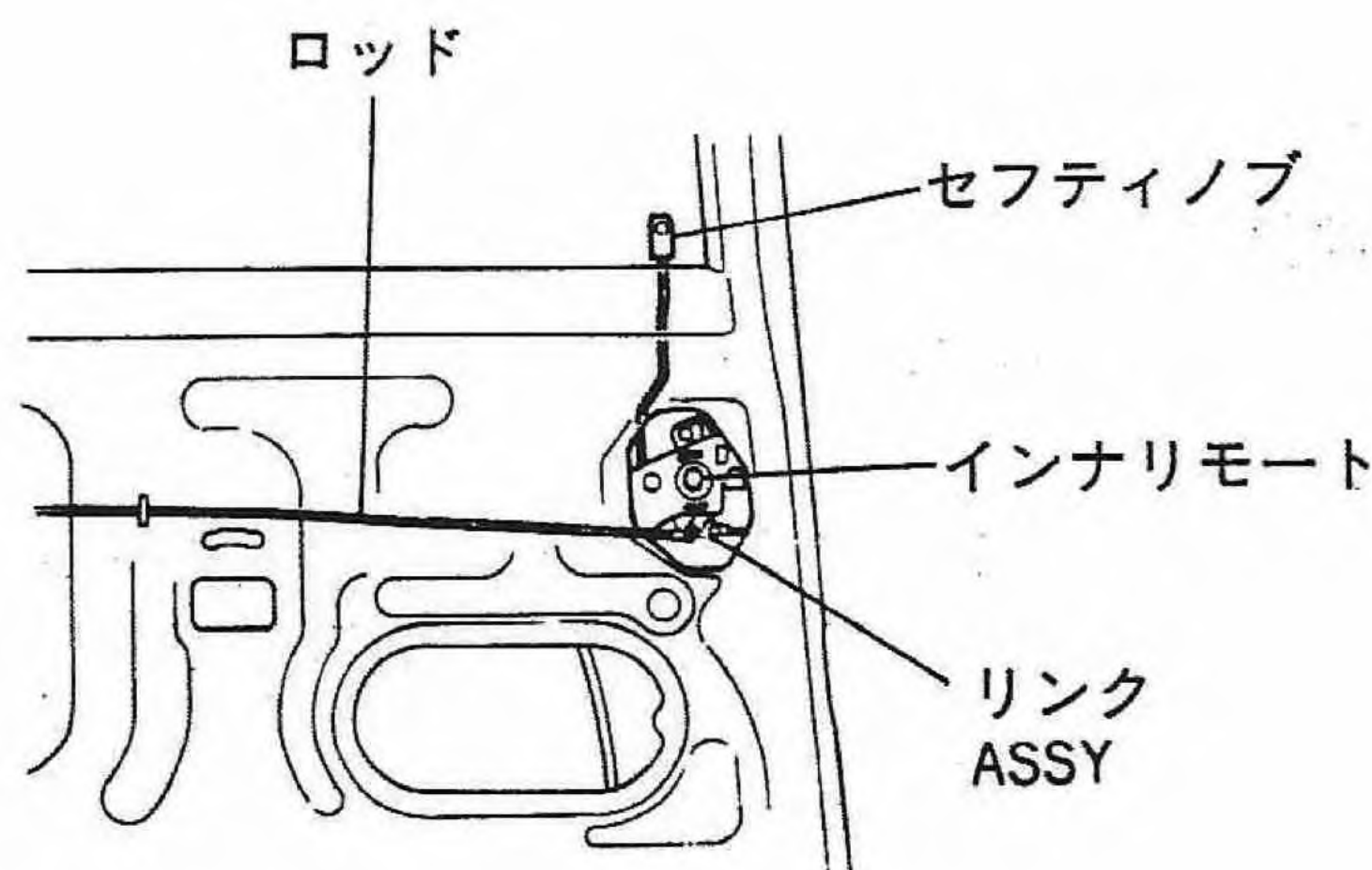


Fig.47

S 5-127

- (3) リンクアASSYとの結合ロッドをリモート側で外す。
(4) インナリモート取付スクリュ2本を外し、インナリモートを取出す。
(5) さらに、リンクASSYとアウトハンドルの結合ロッドを外し、アウトハンドル取付ナットを外してアウトハンドルを取外す。

〈取付け〉 (キャブドア、スライドドア共通)

取外しの逆順序で行なう。

締付トルク	インナリモート取付スクリュ	0.75±0.20kg-m
-------	---------------	---------------

脱着

〈取外し〉

(トリムパネル、シーリングカバーなどを外した状態から)

・キャブドア

- (1) インナリモートとの結合ロッドを外す。
(2) リヤサッシュを取外す。
(3) アウトハンドルとの結合ロッドをハンドル側より取外す。
(4) セフティノブをセフティロッドより取外す。
(5) 取付スクリュ3本を外し、ラッチを取外す。

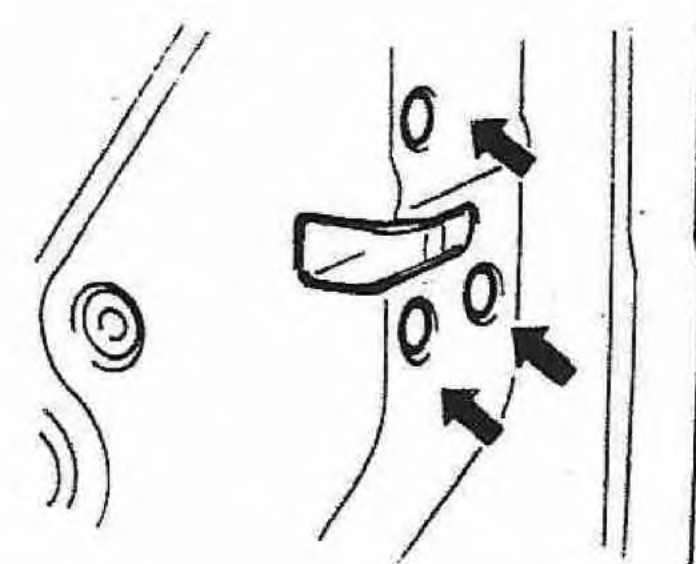


Fig.48

S 5-128

- (6) 取付ナットを外し、アウトハンドルを取外す。

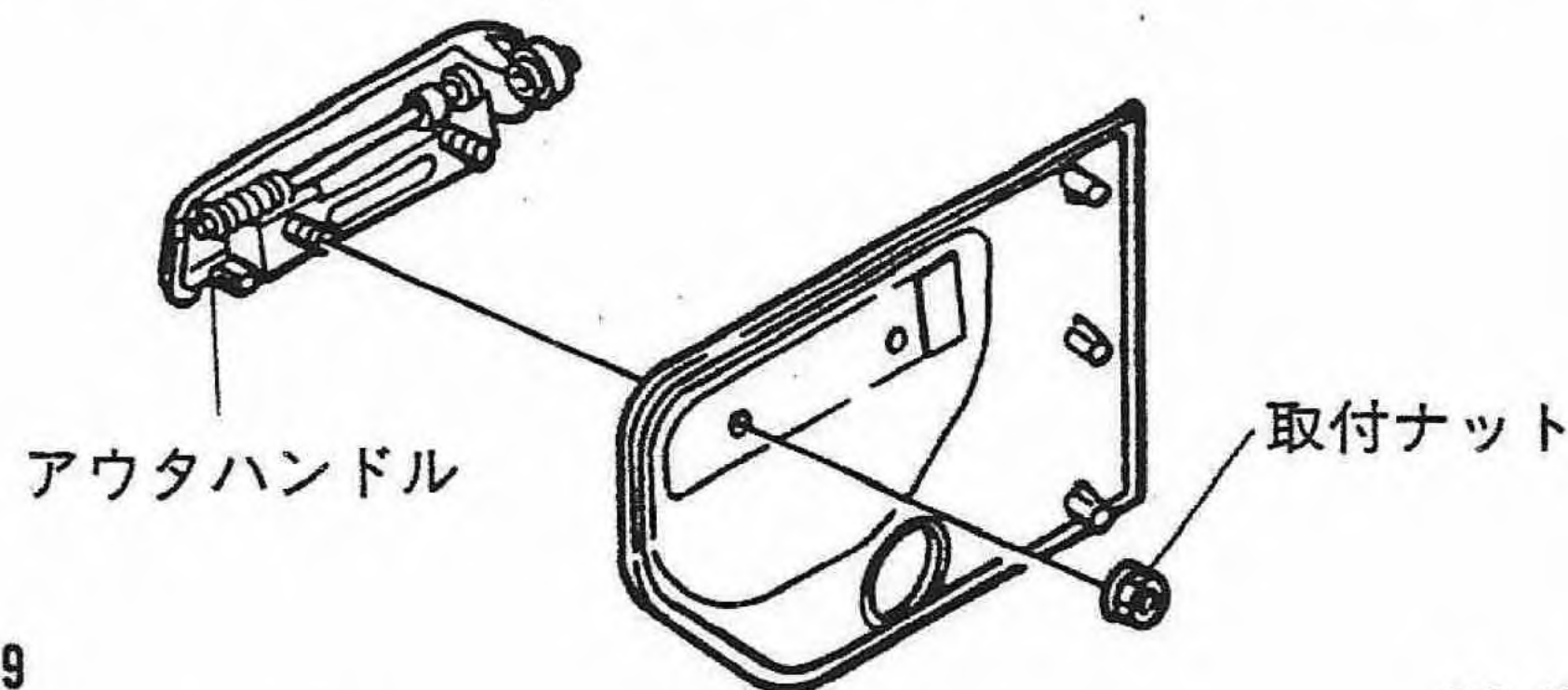


Fig.49

S 5-129

・スライドドア

- (1) インナリモートとの結合ロッドをラッチ側で取外す。
(2) ラッチ取付けスクリュ3本を外し、ラッチを取出す。

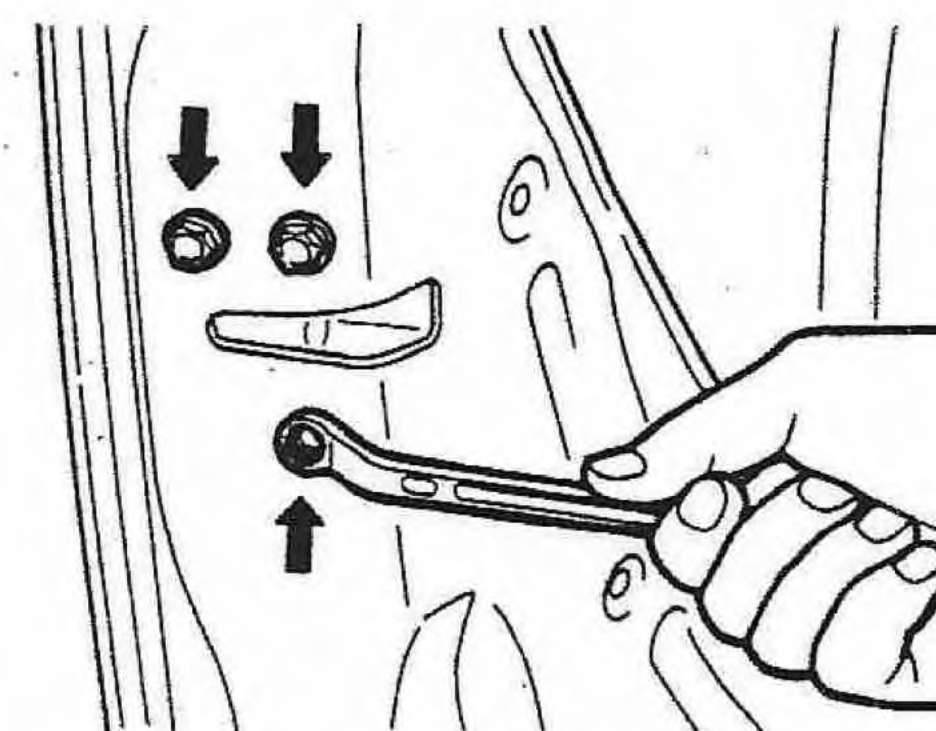


Fig.50

S 5-130

〈取付け〉 (キャブドア、スライドドア共通)

取外しの逆順序で行なう。

締付トルク	ラッチ取付スクリュ	0.75±0.20kg-m
	アウトハンドル取付ナット	0.75±0.20kg-m

(6) センタアーム

脱着

〈取外し〉

- (1) インナハンドル, レギュレータハンドルを外す。
- (2) トリムパネルを外す。
- (3) 取付ボルト 3 本を外し, センタアームを取外す。

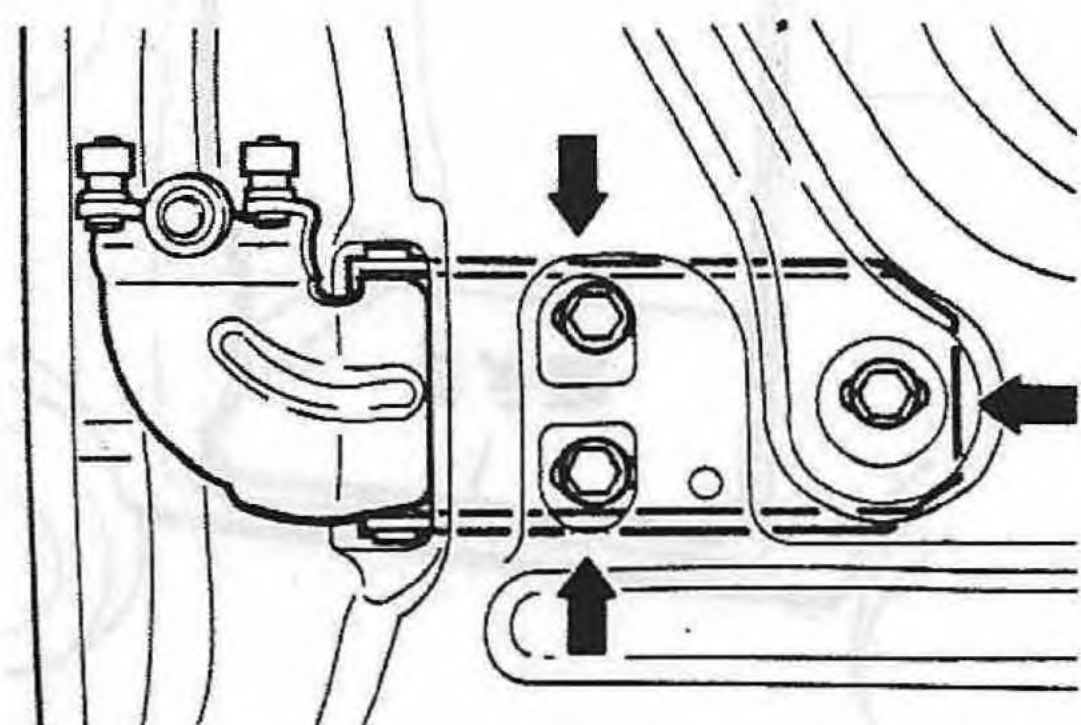


Fig 51

S 5-131

〈取付け〉

取外しの逆順序で行なう。

注意

- ・調整は, スライドドア建付調整の項参照。
- ・センタアームスライダ摺動部にグリースを塗ること。

センタアーム取付ボルト
締付トルク

$1.80 \pm 0.50 \text{ kg-m}$

(7) センタレール

脱着

〈取外し〉

- (1) リヤコンビネーションランプを外す。
- (2) センタレール後端のオーナメントを取外す。
- (3) スライドドアを取外す。
- (4) 取付ボルトと取付ナットを外し, センタレールを取外す。

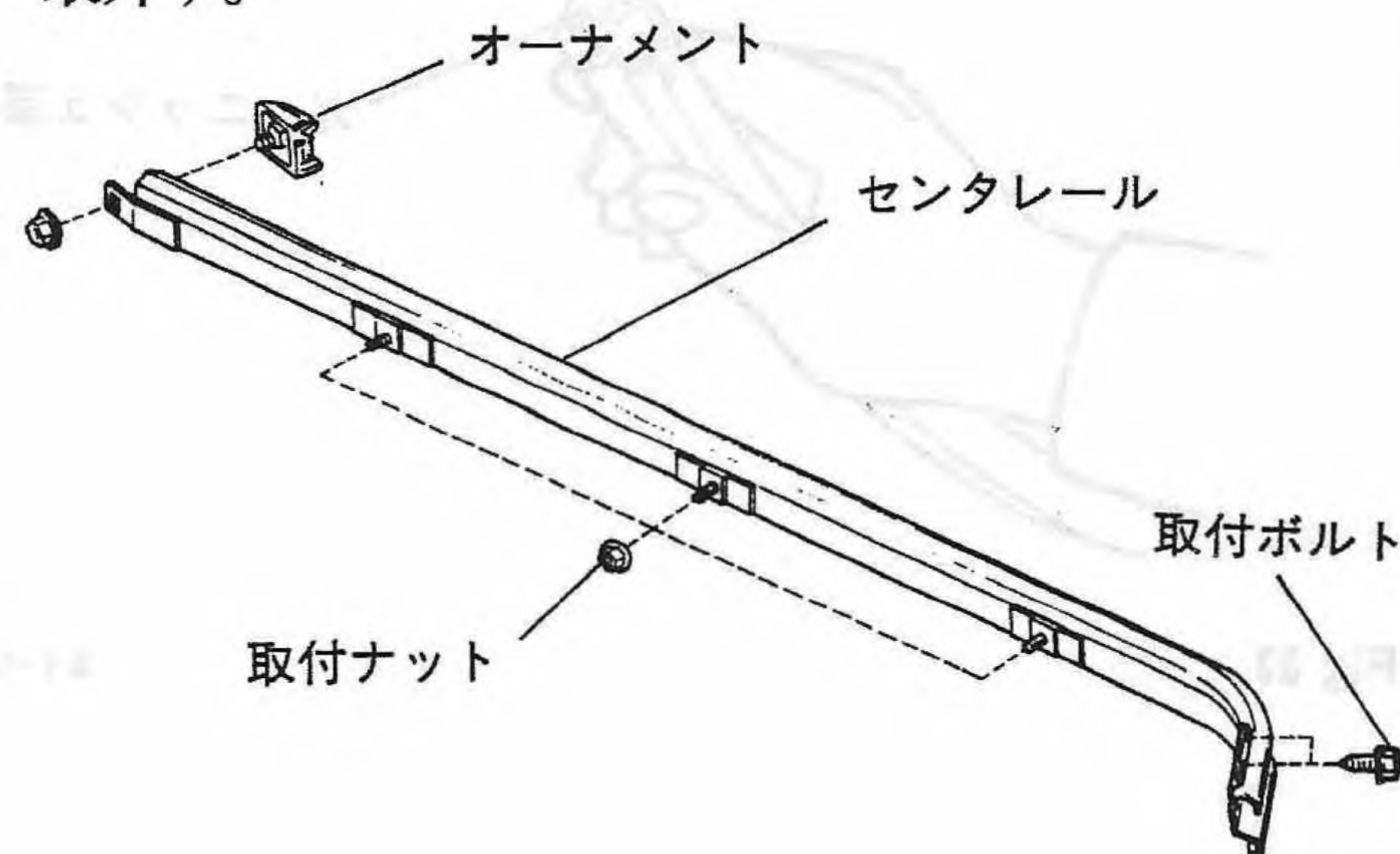


Fig 52

S 5-132

〈取付け〉

取外しの逆順序で行なう。

注意

- ・センタレール取付け時, ボデー表面に傷を付けないように注意する。

センタレール取付ボルト,
取付ナット締付トルク

$0.75 \pm 0.20 \text{ kg-m}$

(8) ウェザーストリップ

脱着

〈取外し〉

ウェザーストリップをボデーフランジから取外す。

注意

ウェザーストリップの取外しは、スポンジ部を持たず、ガーニッシュ部を持って取外す。

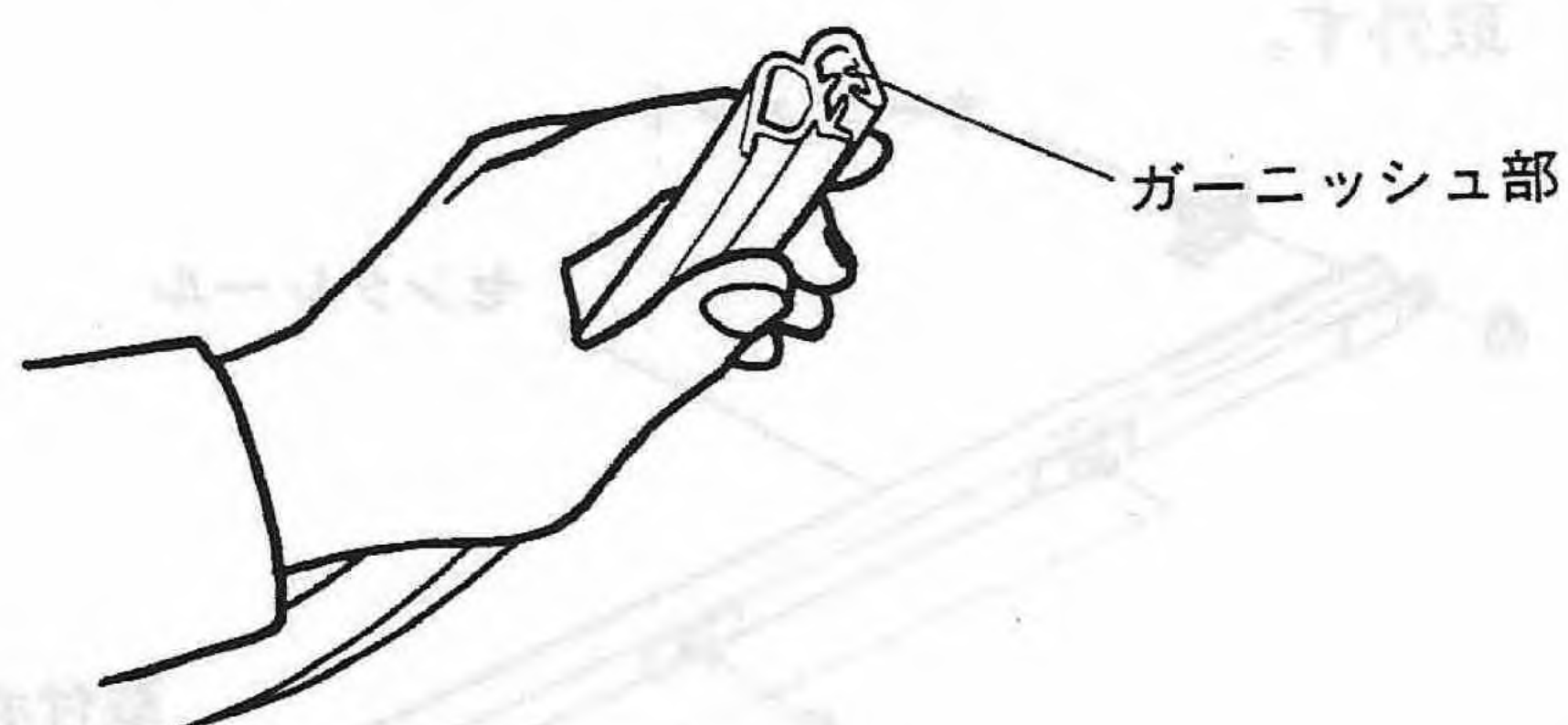


Fig 53

S5-133

〈取付け〉

- (1) ボデーフランジ差し込み式であるが、取付け時は継ぎ目が下部中央になるように取付ける。



Fig 54

S5-134

- (2) ボデーフランジに確実に取付けるために、全周をゴムハンマで軽くたたく。

注意

- ・引張りぎみに取付けしないで、フランジ根元までいねいに挿入すること。
(特にコーナ部は注意すること)
- ・ゴムハンマで強くたたくとフランジ及びウェザーストリップガーニッシュ部が変形するので注意する。

〔3〕 集中ドア ロック ■ 構成部品

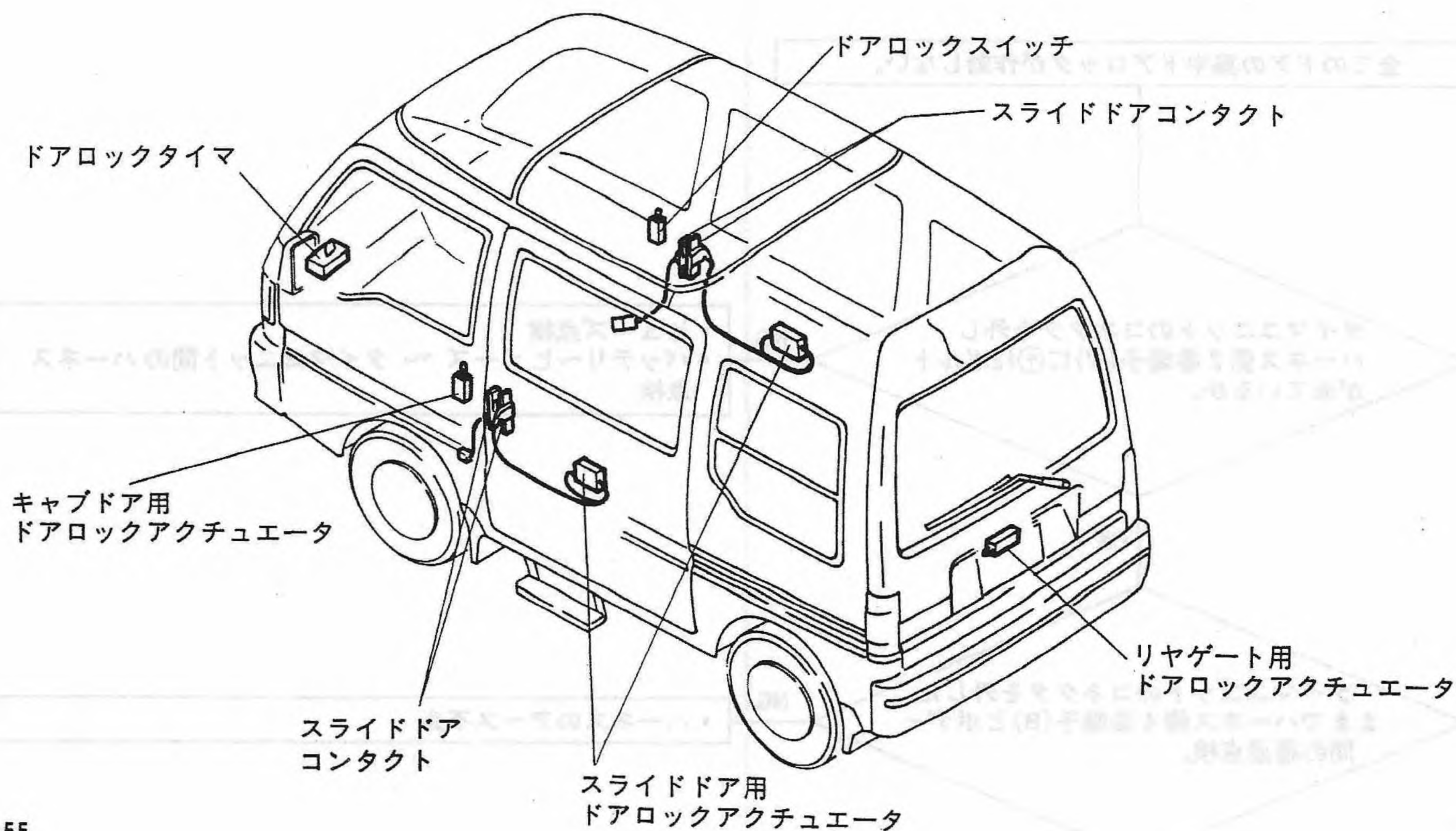


Fig. 55

S 5-135

■ トラブルシューティング

回路図

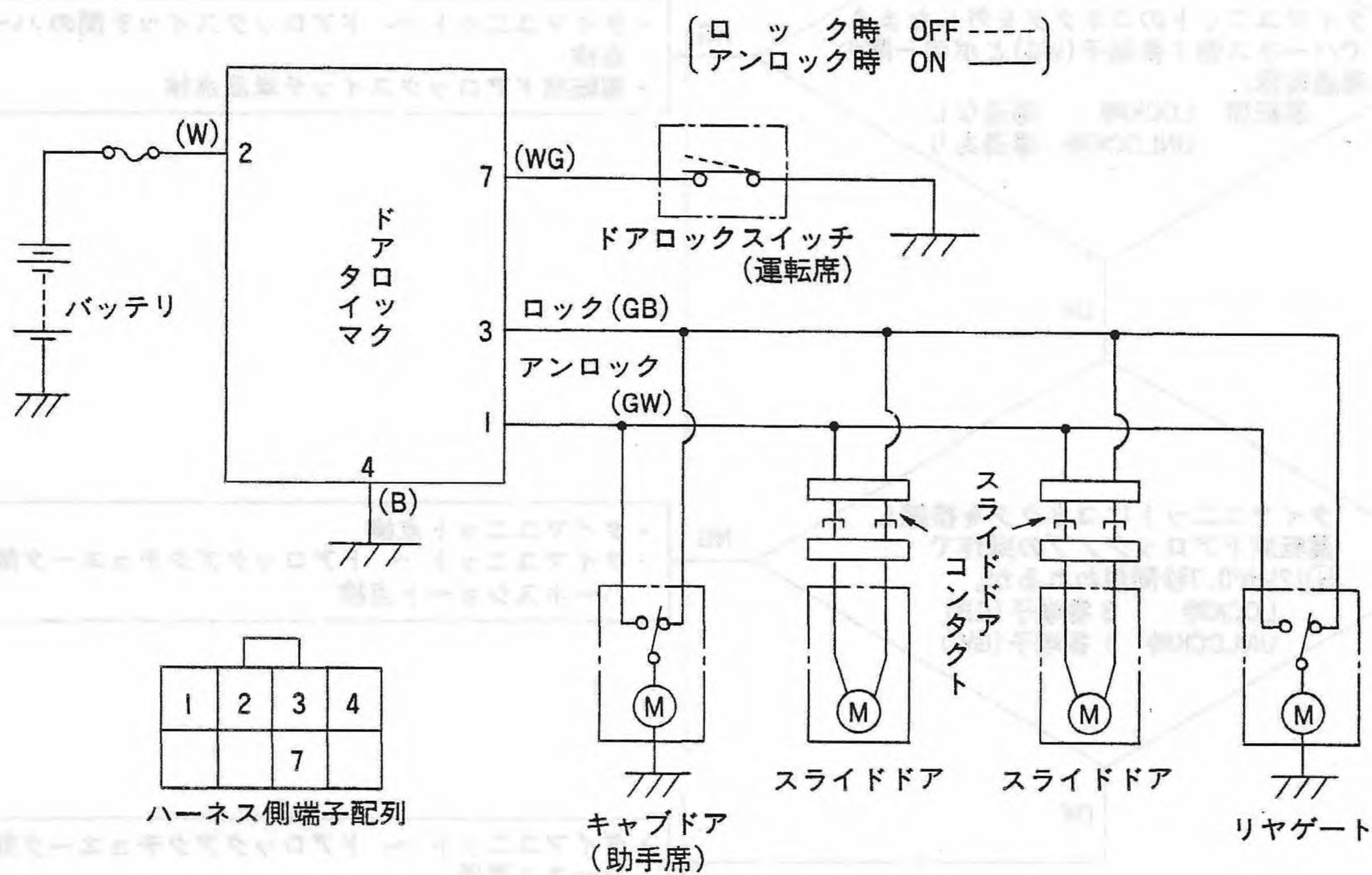


Fig 56

S 5-136

トラブルチャート(1)

全てのドアの集中ドアロックが作動しない。

タイマユニットのコネクタを外し
ハーネス側 2 番端子(W)に⊕12ボルト
が来ているか。

NG

・ヒューズ点検
・バッテリー～ヒューズ～タイマユニット間のハーネス
点検

OK

タイマユニットのコネクタを外した
ままでハーネス側 4 番端子(B)とボデー
間の導通点検。

NG

・ハーネスのアース不良

OK

タイマユニットのコネクタを外したまま
でハーネス側 7 番端子(WG)とボデー間の
導通確認。

運転席 LOCK時 導通なし
UNLOCK時 導通あり

NG

・タイマユニット～ドアロックスイッチ間のハーネス
点検
・運転席ドアロックスイッチ単品点検

OK

タイマユニットにコネクタを接続し
運転席ドアロックノブの操作で
⊕12Vが0.7秒間現われるか。

LOCK時 3 番端子(GB)
UNLOCK時 1 番端子(GW)

NG

・タイマユニット点検
・タイマユニット～ドアロックアクチュエータ間の
ハーネスショート点検

OK

・タイマユニット～ドアロックアクチュエータ間の
ハーネス導通

トラブルチャート(2)

一部のドアの集中ドアロックが作動しない。

助手席のドアロックが作動するか。

NG

- ・助手席ドアロックアクチュエータ点検
- ・タイマユニット～助手席ドアロックアクチュエータ間のハーネス導通点検

OK

リヤゲートのドアロックが作動するか。

NG

- ・リヤゲートドアロックアクチュエータ点検
- ・タイマユニット～リヤゲートドアロックアクチュエータ間のハーネス導通点検

OK

スライドドアのドアロックが作動するか。

NG

- ・スライドドア閉時、スライドドアロックコンタクト導通点検(オス～メス間)
接点汚れ
接点の当り
ドア建て付け不良
- ・スライドドアロックアクチュエータ点検
- ・タイマユニット～スライドドアコンタクト(メス)、スライドドアコンタクト(オス)～スライドドアロックアクチュエータ各間の導通確認

〔4〕 リヤゲート(バン, トライ) ■ 構成部品

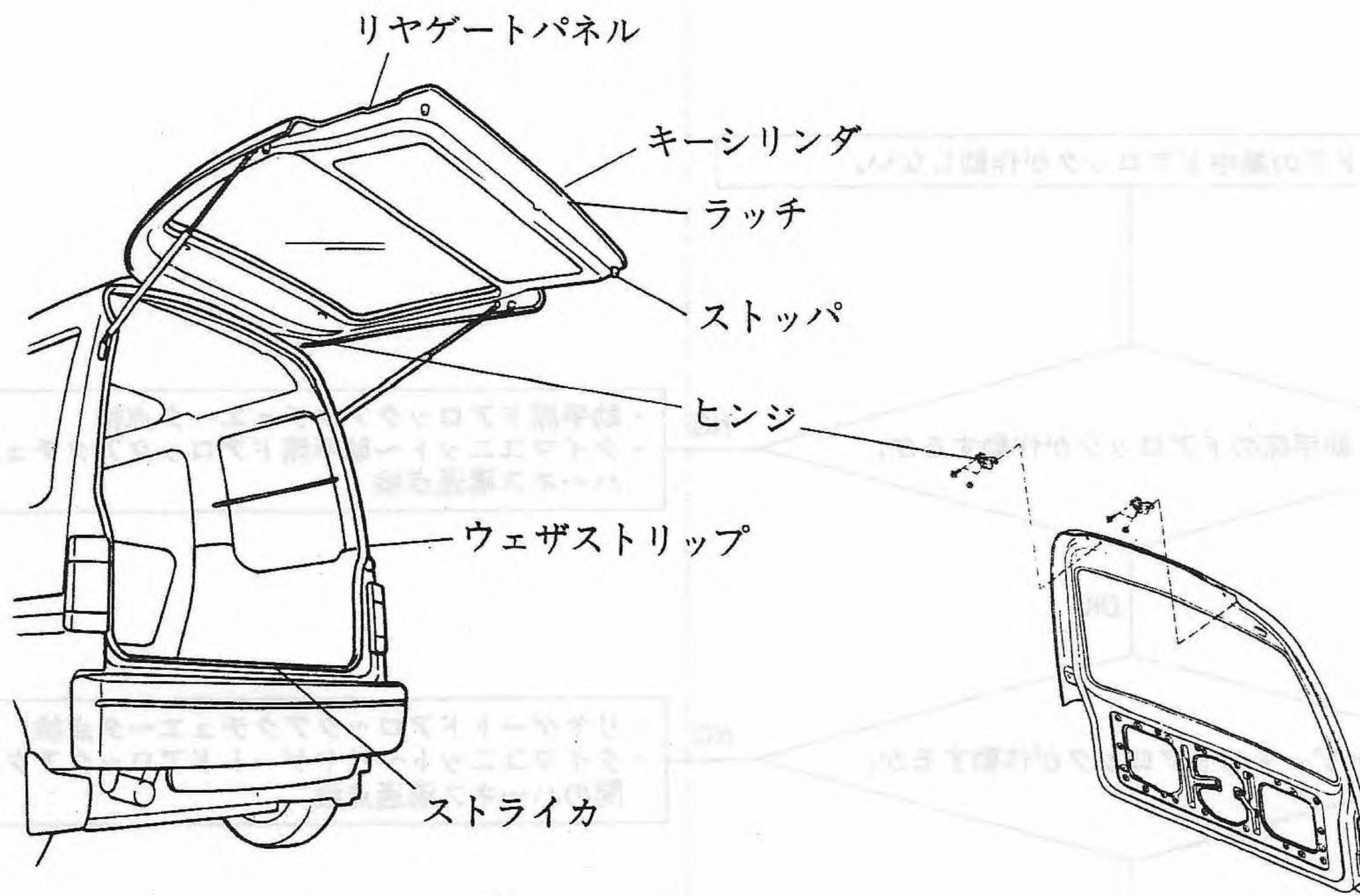


Fig.57

S5-138

■ 整備要領

脱着

〈取外し〉

注意

・部品取外し時、ウェスなどを当てボデー塗装面及びガラスなどに傷を付けないように十分注意のこと。

(1) トリムパネル

ST・クリッププーラを使用して取外す。

注意

パネル塗装面に傷を付けないこと。

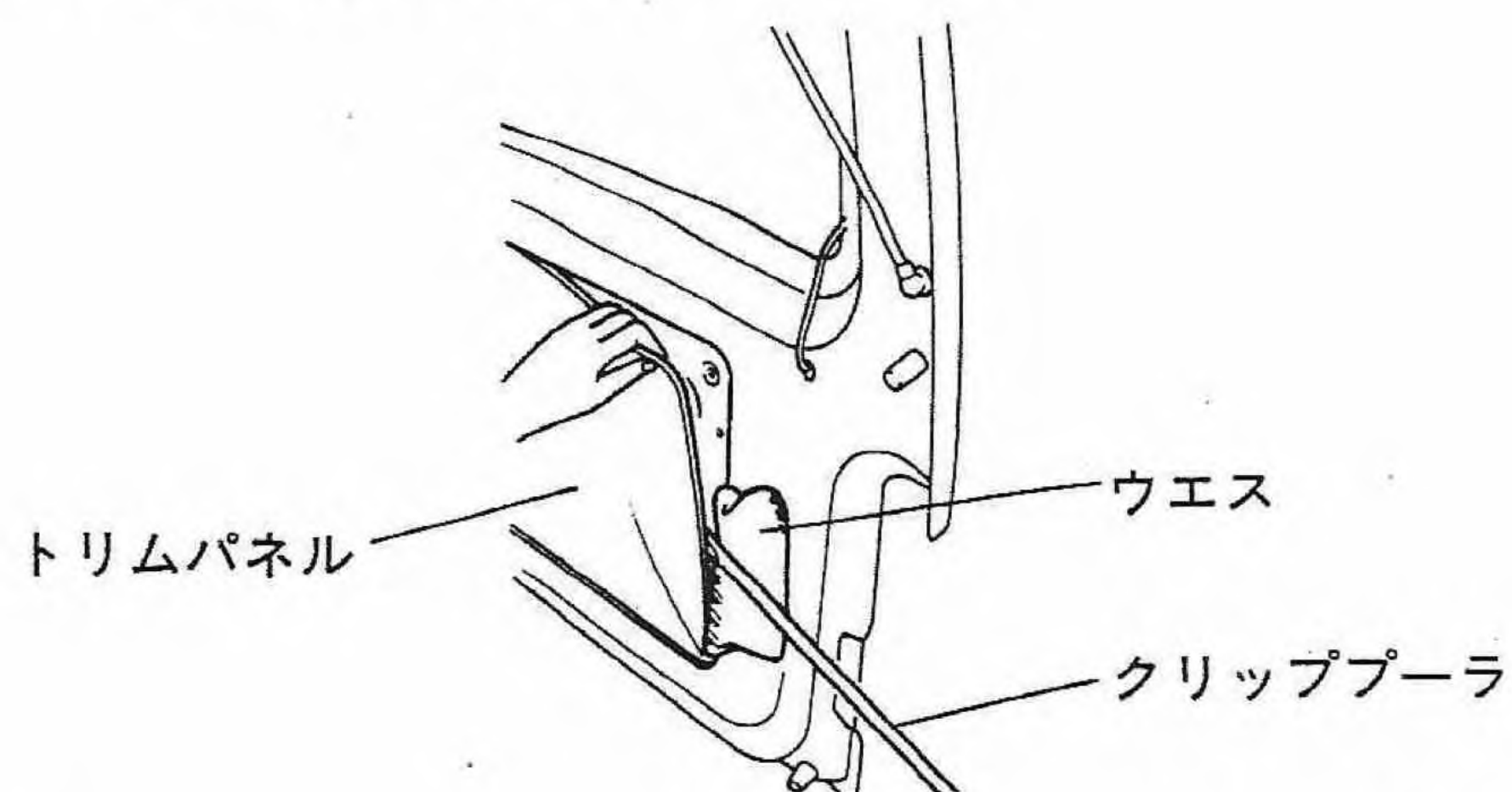


Fig.58

S5-139

(2) デフォガ端子, ドアスイッチ端子, ワイパモータ用コネクタの分離。

注意

コードを持って無理に引き抜かないこと。

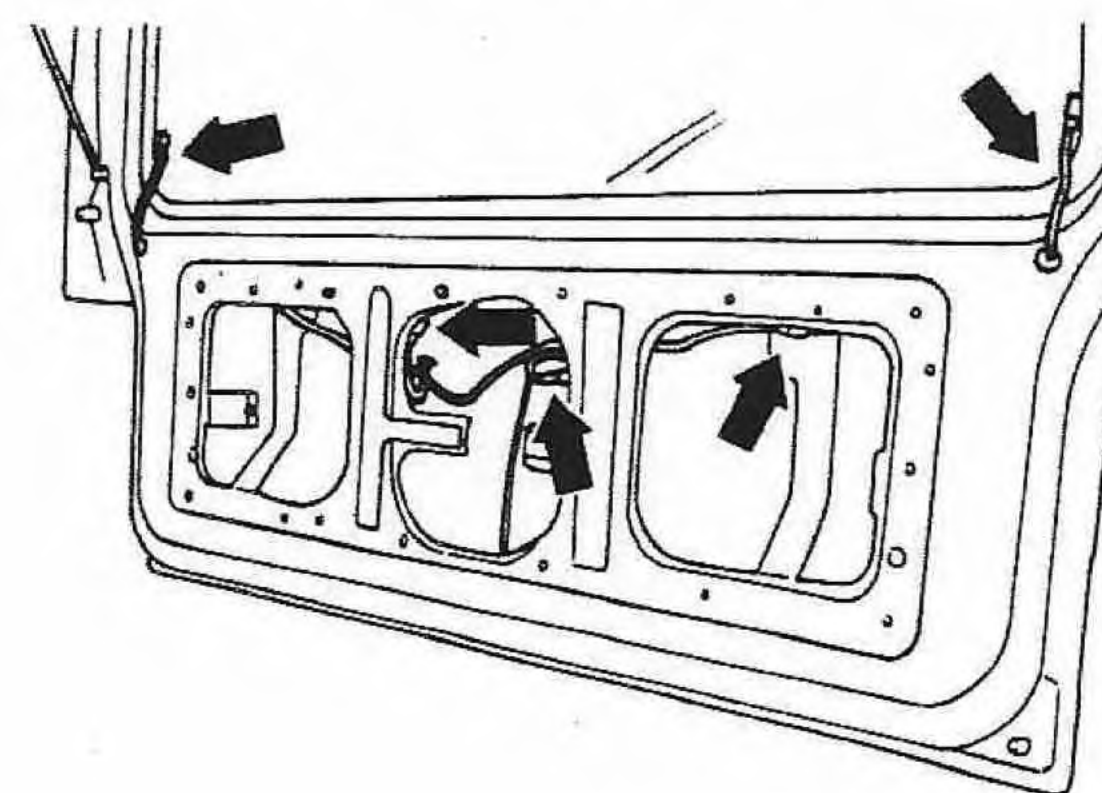


Fig.59

S5-140

(3) ウォッシャホースの分離

カバーを取外し, ウォッシャホースを分離する。

注意

カバーを傷付けないように取外す。

又, 作業孔が狭いのでケガに注意する。

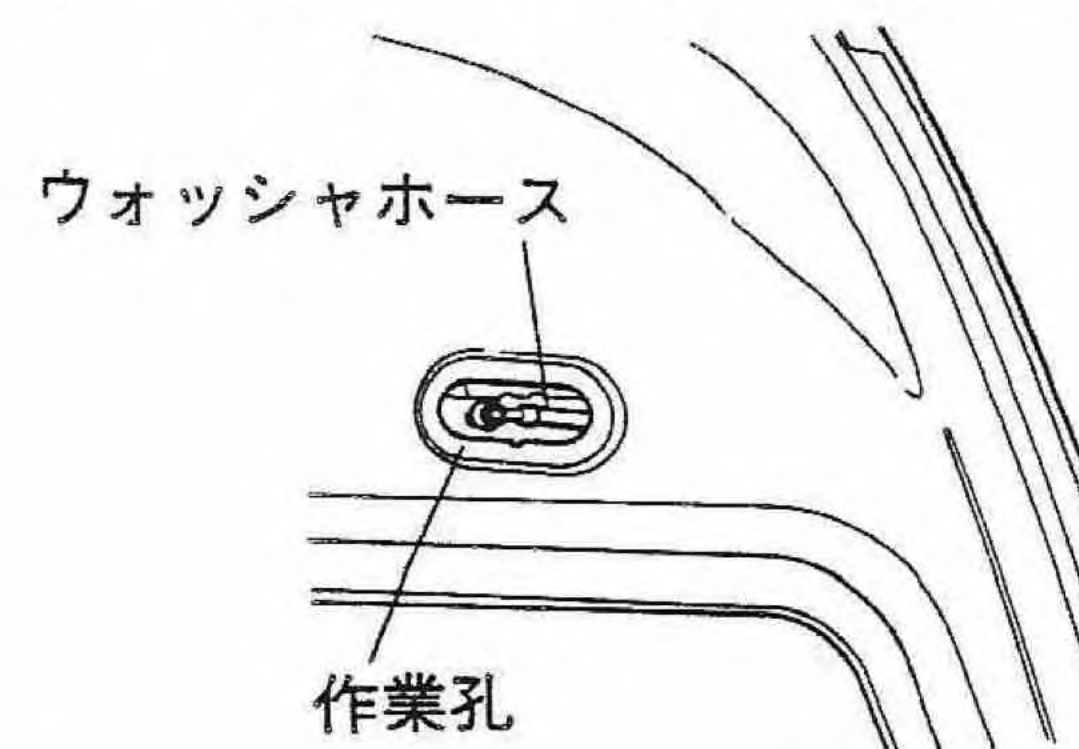


Fig.60

S5-141

脱着

(4) リヤゲートパネル

リヤゲートを再使用する場合、コネクタの端末に針金を結び付けてハーネス類をリヤゲート上部より抜き取る。

針金は、取付け時ハーネス類の引き廻しに役立てるため、ドア内に残しておく。

注意

ハーネス類を抜き取る時は無理に引かず、ハーネス類を前後させながら損傷のないように抜き取る。

(5) リヤ・ワイパ

1) 室外側から取外す。

カバー、アーム、ナット、その他。

2) 室内側からボルト(2本)を取外す。

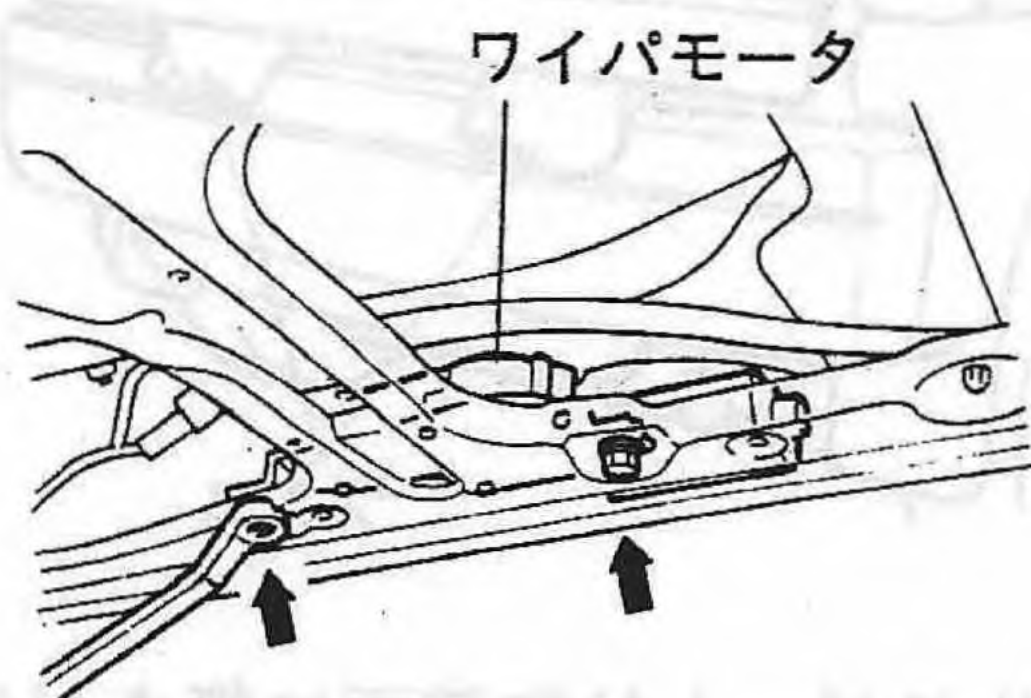


Fig.61

S5-143

(6) ラッチ&アウタハンドル

1) アウタハンドルとの結合アジャストナットをハンドルホルダから取外す。

2) キーとの結合ロッドをキー側ホルダから取外す。

3) アウタハンドル取付ナットを取外し、アウタハンドルを室外側へ取外す。

4) ラッチ取付ボルトを取外し、ドア内から取外す。

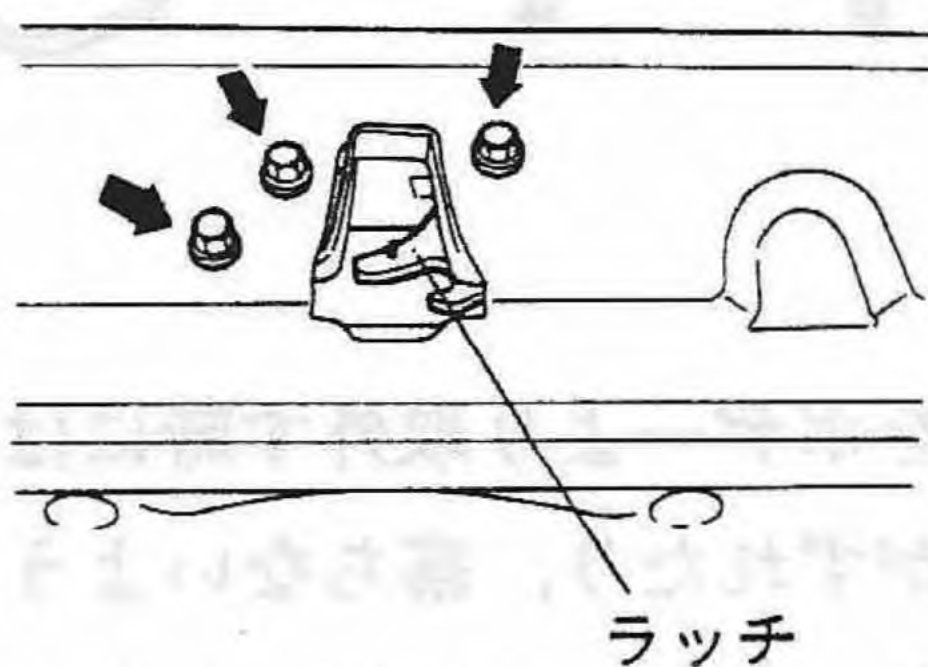


Fig.62

S5-144

(7) ストライカ

ストライカ取付ボルトを取外す。

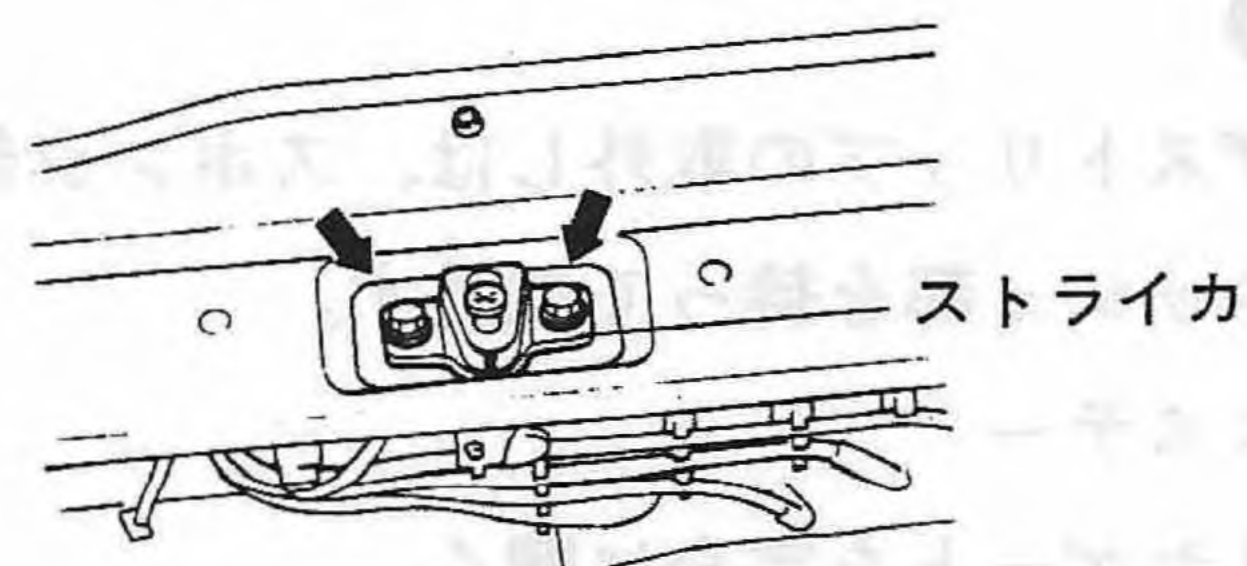


Fig.63

S5-145

(8) キーシリンダ

キーシリンダよりクリップを抜き、キーシリンダを室外側から取外す。

注意

クリップは左右に振りながら引き抜くと抜き易い。

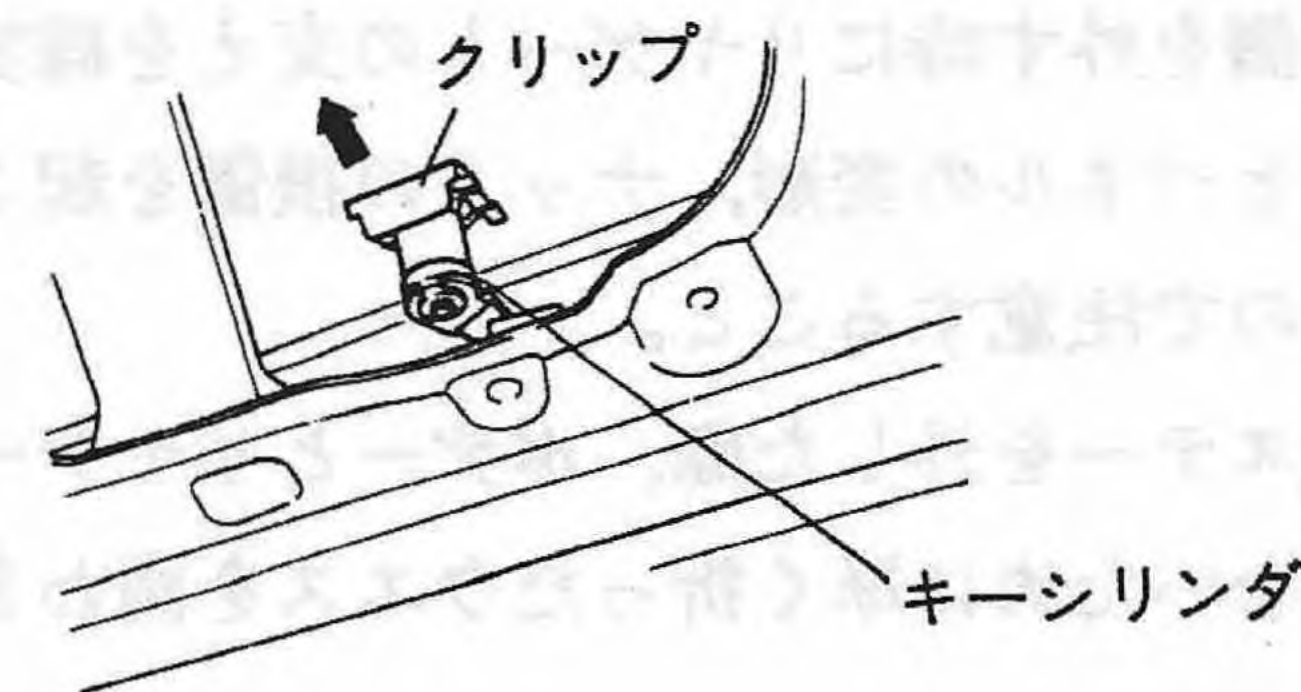


Fig.64

S5-146

(9) ストッパ

リヤゲートパネルから引き抜く。

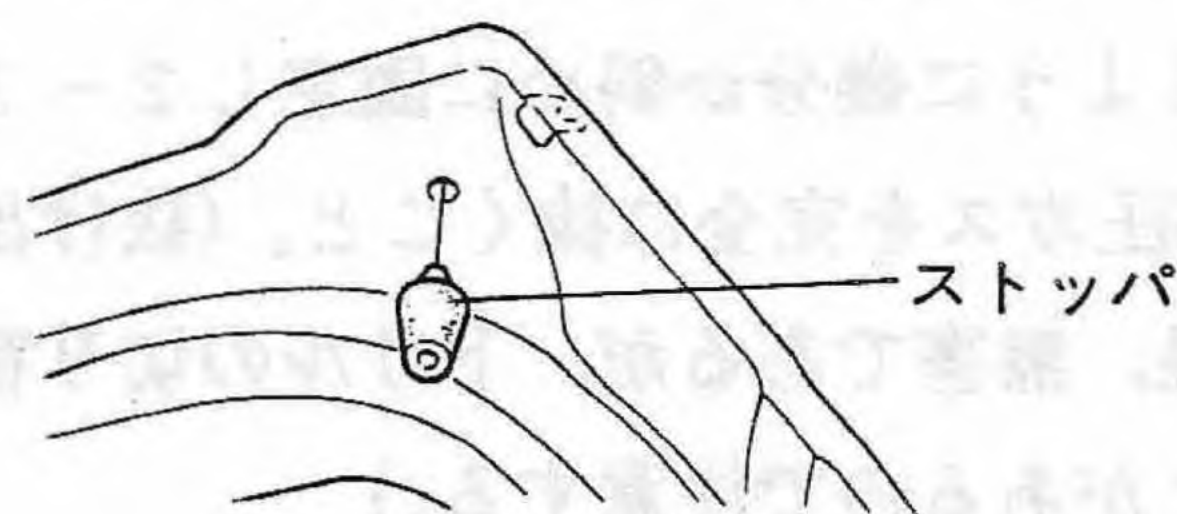


Fig.65

S5-147

(10) リヤゲートカバー

(リヤゲートカバーはアウタハンドルと共締め)

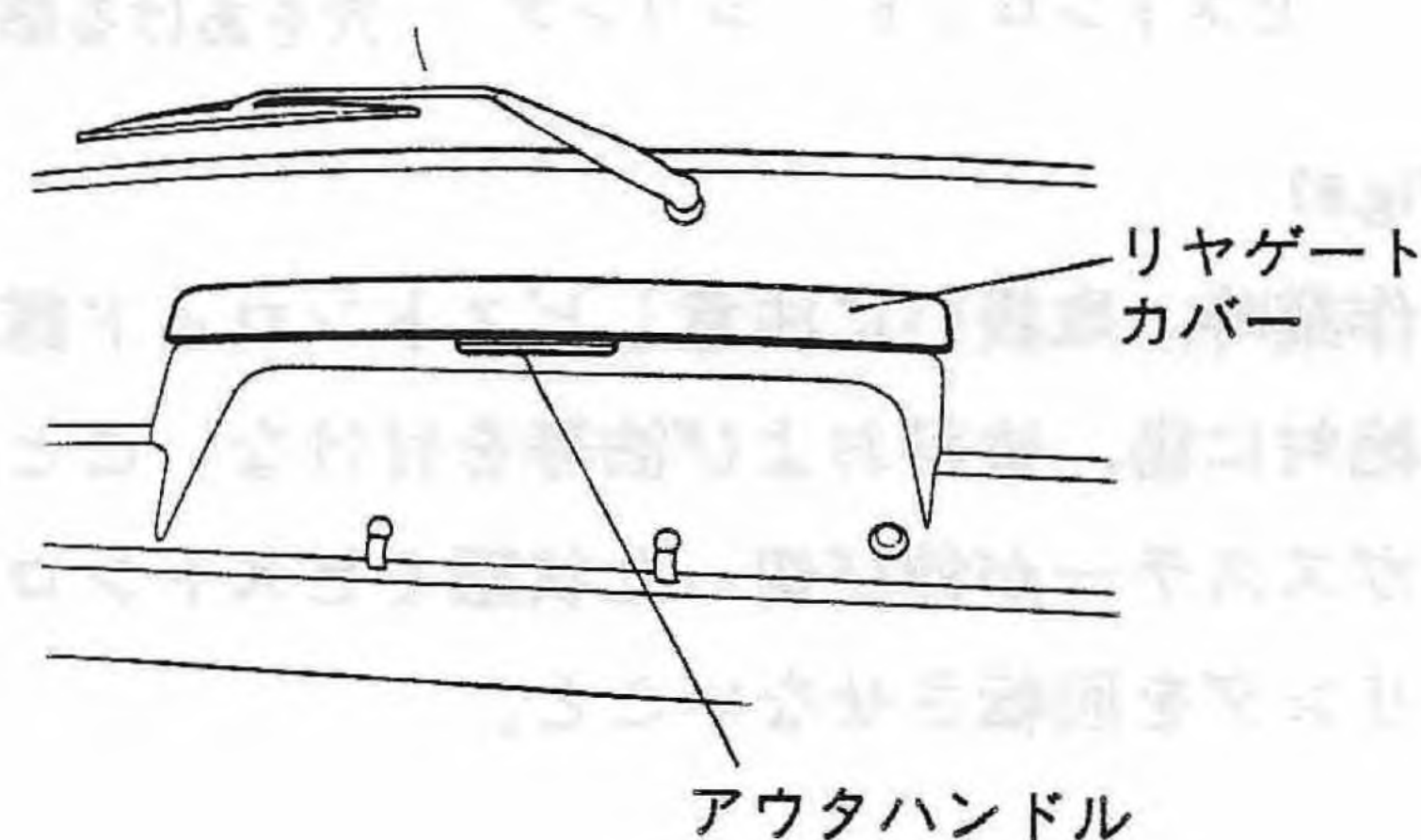


Fig.66

S5-148

脱着

(11) ウエザストリップ

ウエザストリップをボデーフランジから取外す。

注意

- ・ウエザストリップの取外しは、スポンジ部を持たず、ガーニッシュ部を持って取外す。

(12) ガスステー

- 1) リヤゲートを完全に開く。
- 2) ガスステーを取付けているドア側ボルトを取外す。
- 3) ボデー側スクリュを取外す。

注意

- ・ガスステーを1本外すとリヤゲートが下がるので2人で作業を行なうこと。
- ・ドア側を外す時にリヤゲートの支えを確実に行わないとパネルの変形、ナットの損傷を起こす原因となるので注意すること。
- ・ガスステーを外した際、ボデーとリヤゲートに傷を付けないために厚く折ったウエスを両わきにかうこと。
- ・ガスステーは、シリンダ内に高圧ガスが封入されているため、分解しないこと。
- ・ガスステーを廃却する場合、シリンダのボデー側が上になるように幾分か斜めに固定し2～3mmの穴をあけ、高圧ガスを完全に抜くこと。(抜け出るガスは無色無臭、無害であるが、ドリルの切り粉等が飛び出すことがあるので注意する。)

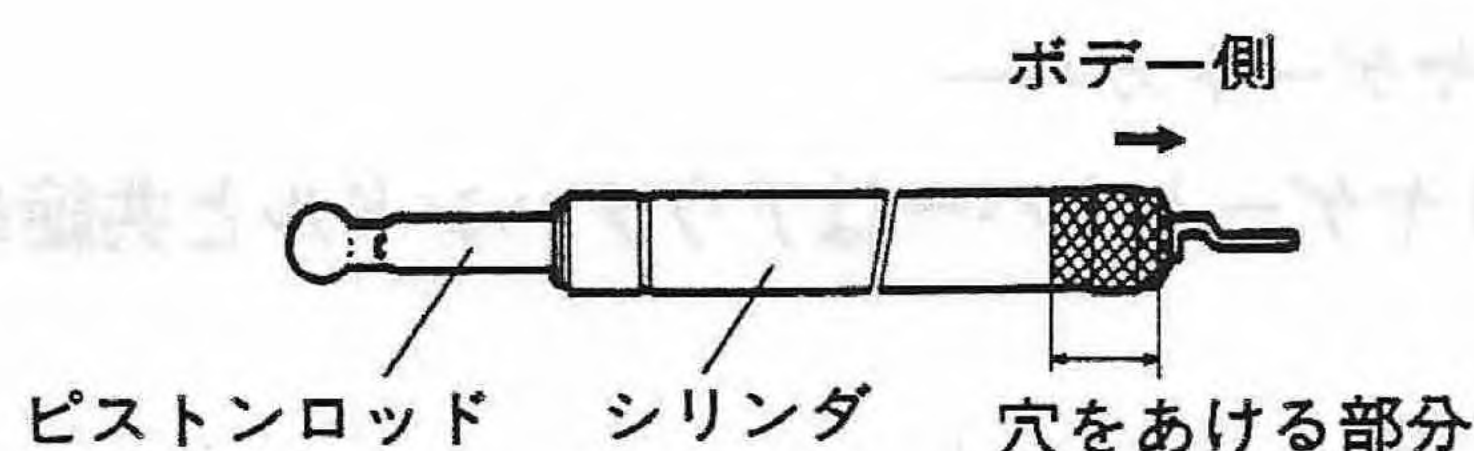


Fig.67

S5-149

- ・作業時、取扱いに注意しピストンロッド露出部には絶対に傷、塗料および油等を付けないこと。
- ・ガスステーが伸び切った状態でピストンロッド、シリンダを回転させないこと。

(13) ヒンジ〔標準ルーフ車は3)を除く〕

- 1) ハーネス、ウォッシュノズルのヒンジへのクリップ止めを外す。
- 2) ボデーとリヤゲートに傷を付けないために図のように厚く折ったウエスをかい、リヤゲートを閉める。
- 3) カバーを外し、ルーフトリムを作業孔が見えるまで外す。
- 4) 作業孔よりヒンジを取付けているナットを外し、リヤゲートをボデーから取外す。

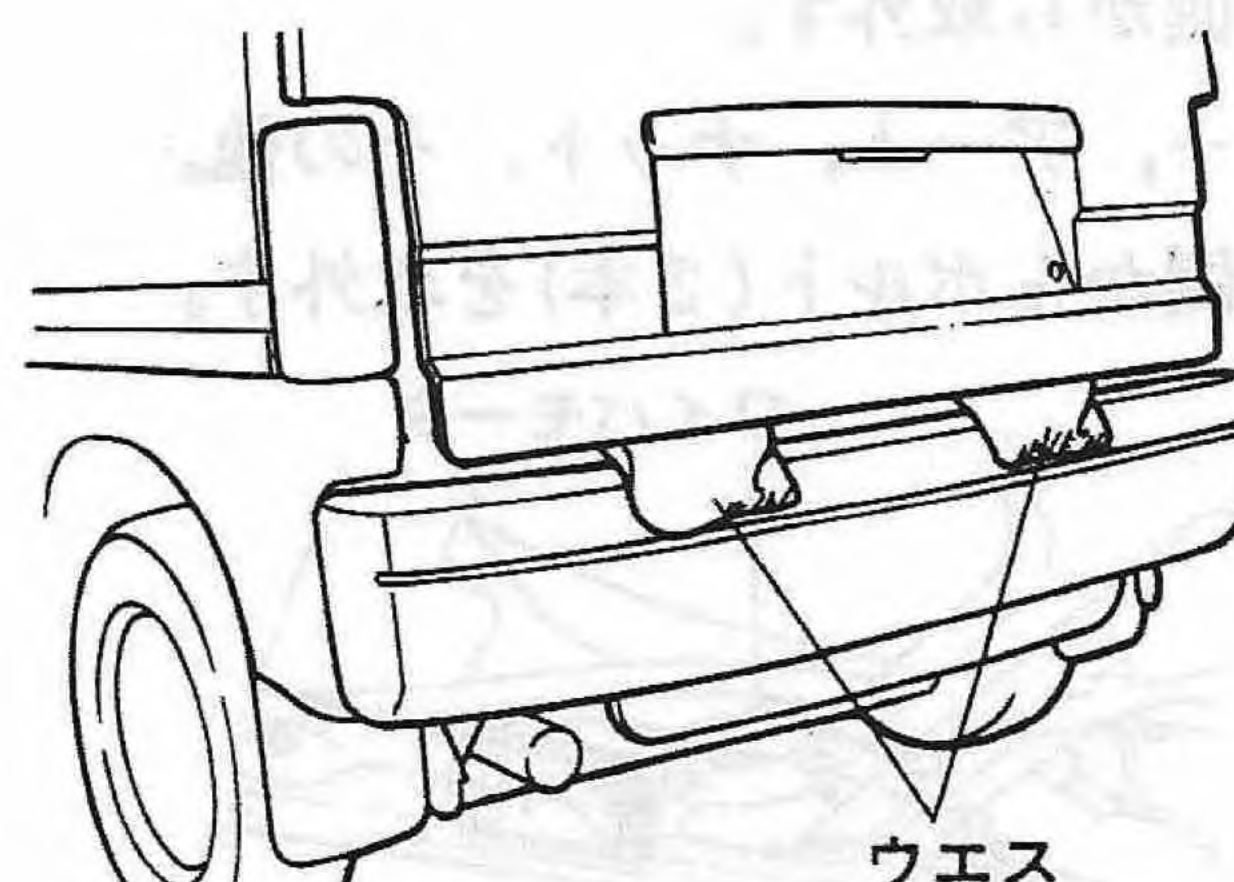


Fig.68

S5-150

- 5) 外したリヤゲートは塗装面に傷を付けないために、ウレタンまたはウエスの上に置き、ヒンジ取付ボルトを外す。

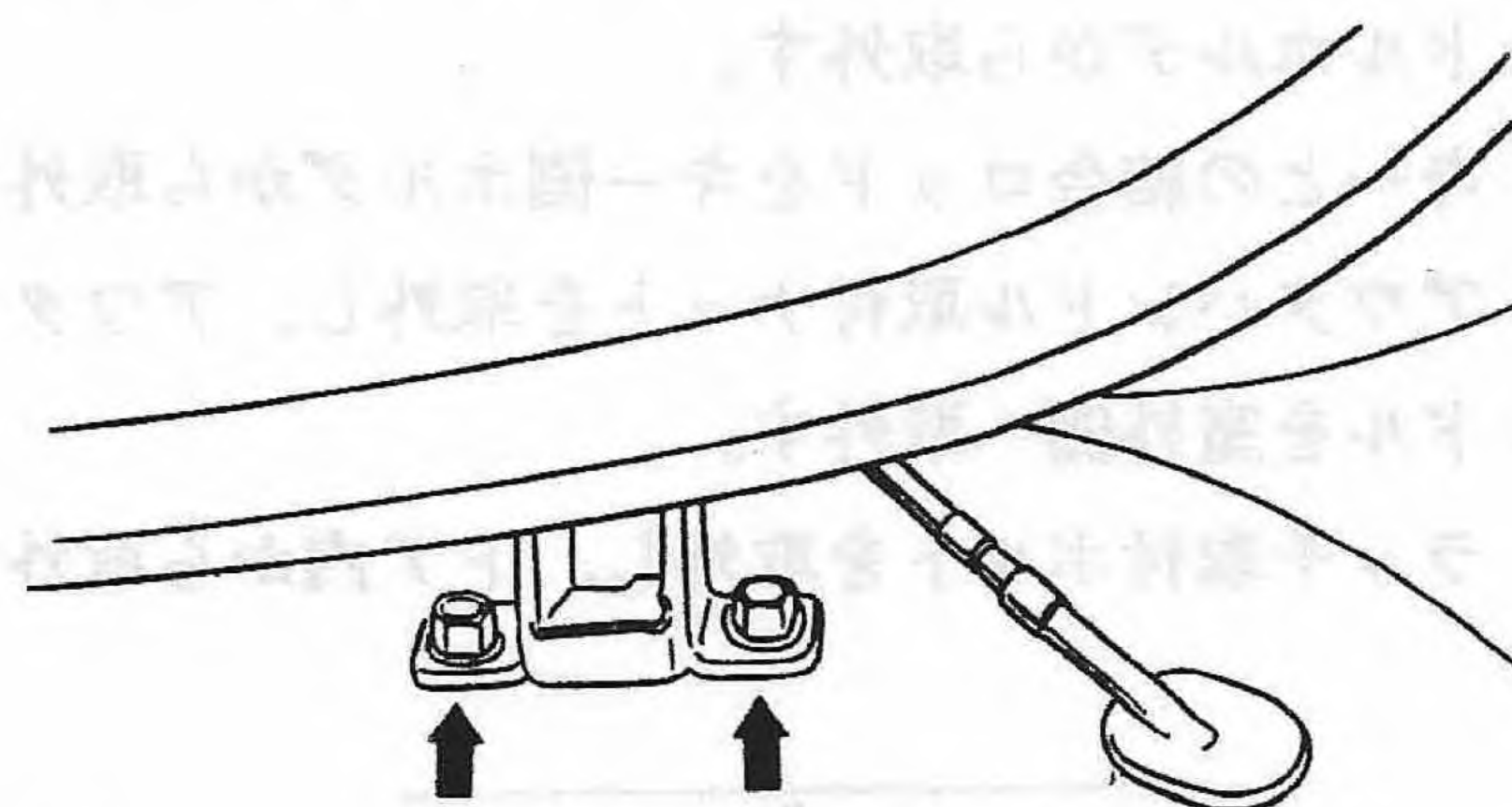


Fig.69

S5-151

注意

- ・リヤゲートをボデーより取外す時には2人で作業を行い、ドアがずれたり、落ちないように室外側から押さえること。また、リヤゲートを左右より持ち上げ、ボデーより外すこと。
- ・塗装面に傷を付けないように注意し取扱うこと。
- ・ウエザストリップを付けて作業すること。

脱着

＜取付け及び調整＞

(1) ウエザストリップ

- 1) 車体中央部にウエザストリップ長手方向のセンタマーキングが来るようにし、下図のように上部より挿入する。
- 2) ボデーフランジに確実に取付けるために全周をゴムハンマで軽くたたく。

識別マーキング	
標準ルーフ車	ハイルーフ車
○	+

Fig.70

S5-152

注意

- ・取付け方向を間違わないように取付けること。
 - ・車体中央下部にウエザストリップの継ぎ目がくるようにすること。
 - ・ゴムハンマを使用し、フランジ根元まで、ていねいに挿入すること。
- ゴムハンマで強くたたくとフランジ及びウエザストリップガーニッシュが変形するので注意する。

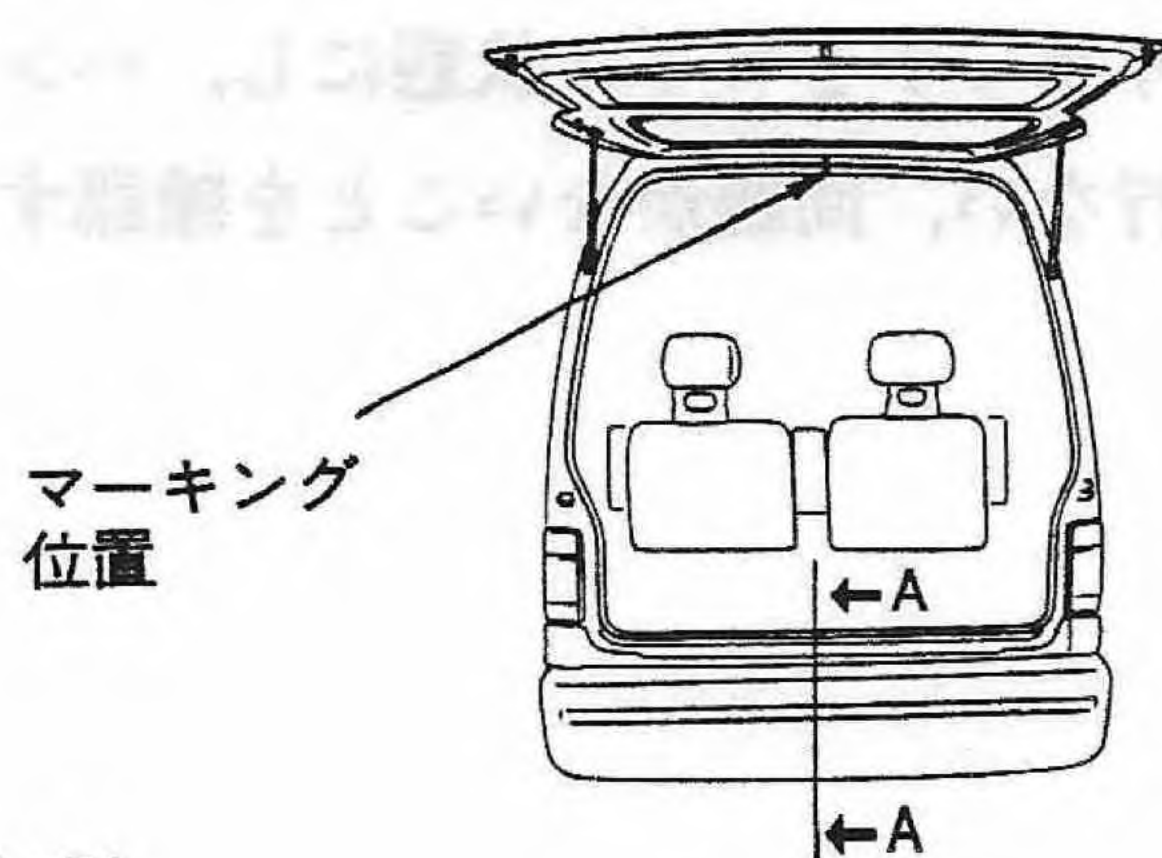


Fig.71

S5-153

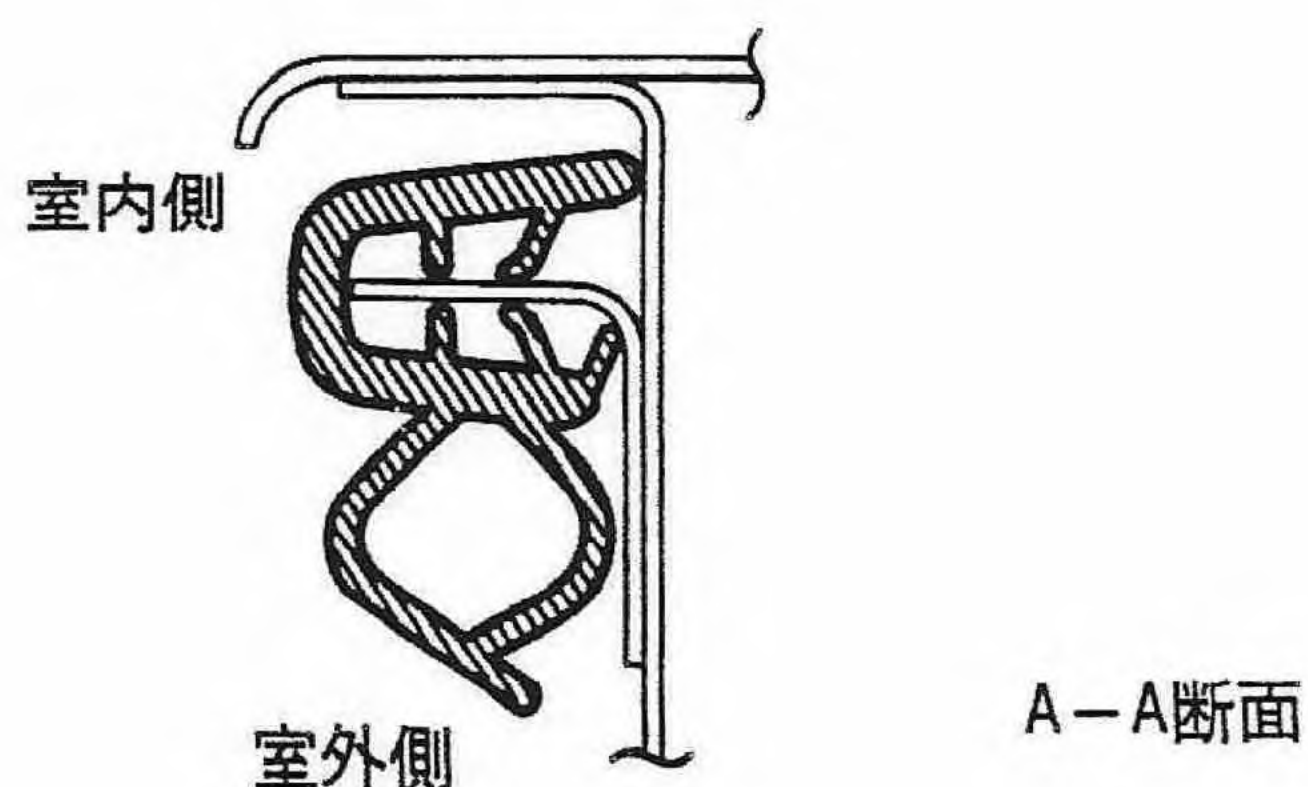


Fig.72

S5-154

(2) リヤゲート

- 1) リヤゲートにヒンジを取付ける。

締付トルク	$1.8 \pm 0.5 \text{ kg-m}$
-------	----------------------------

- 2) リヤゲートをボデーに載せ、ヒンジのボデー側ナットを仮止めする。

注意

- ・パッキンが損傷している場合、必ず交換すること。
- ・ヒンジのボルト廻りにシール剤を塗布すること。
- ・塗装面に傷を付けないように十分注意して取扱うこと。

- 3) 分割、段差等の建付け調整

図の寸法になるようにリヤゲートを動かし、調整する。

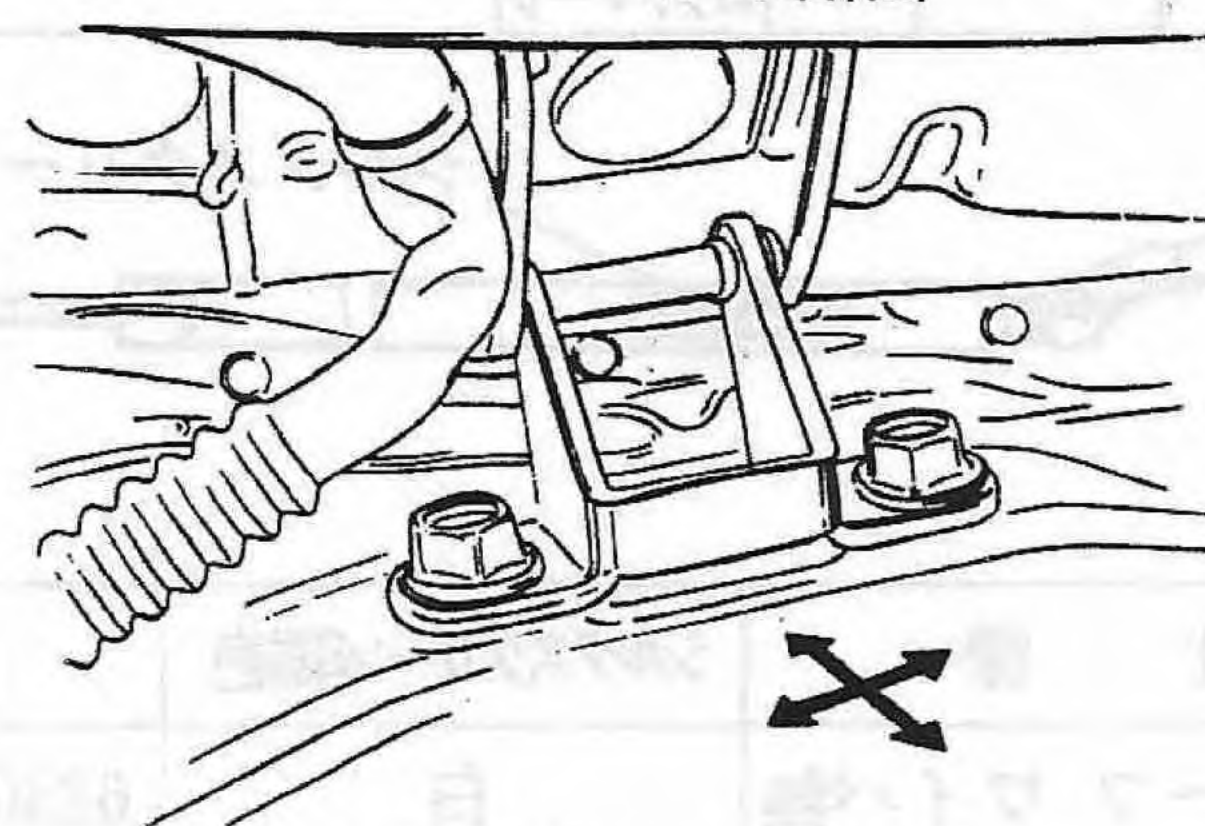
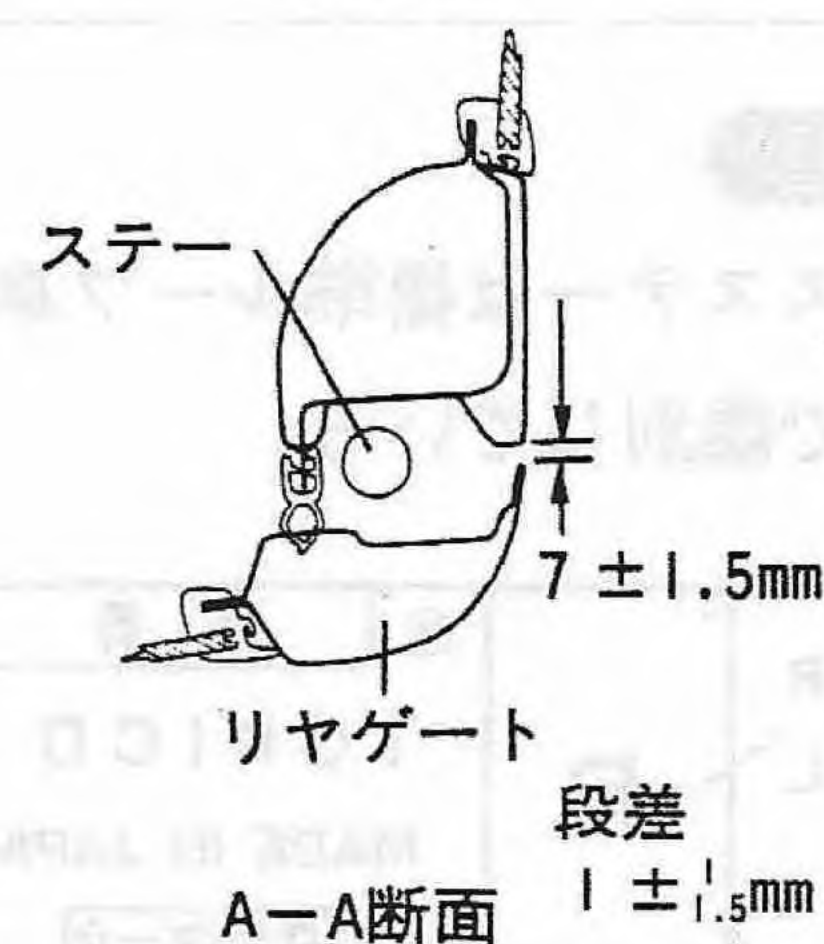
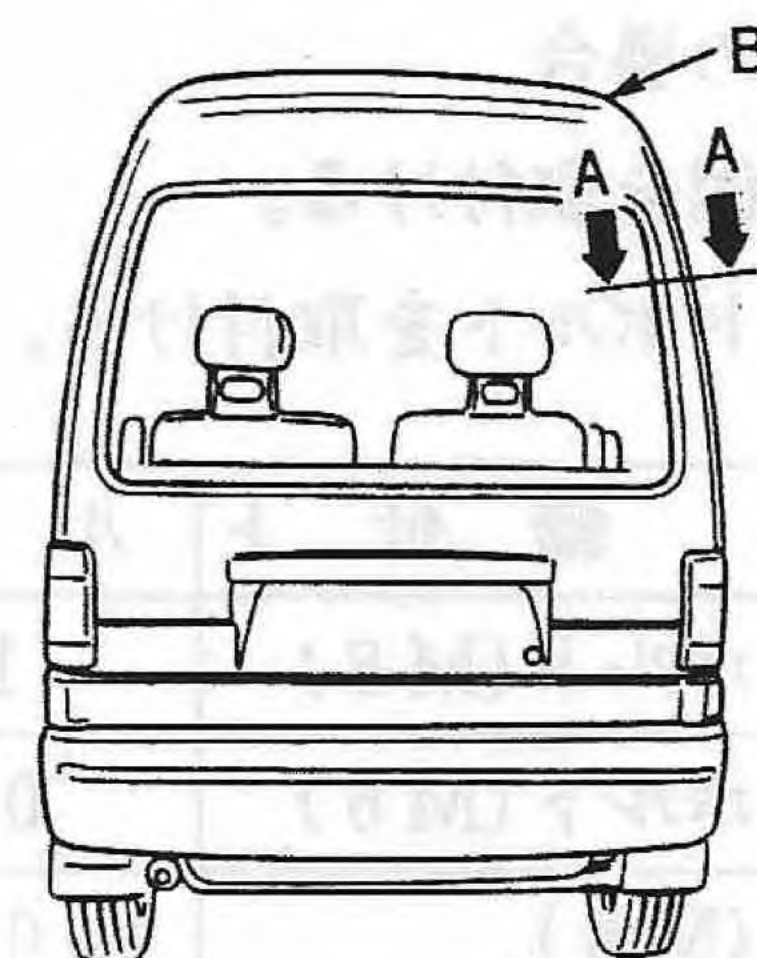


Fig.73

B詳細(ヒンジの調整)

S5-155

- 4) ヒンジ締付け

締付トルク	$1.8 \pm 0.5 \text{ kg-m}$
-------	----------------------------

脱着

(3) ガスステー

1) 新品と交換した場合

- ① スタッドボルトを取付ける。
- ② 識別を間違えずにボデー側を取付ける。
- ③ ガスステーをスタッドボルトに挿入する。

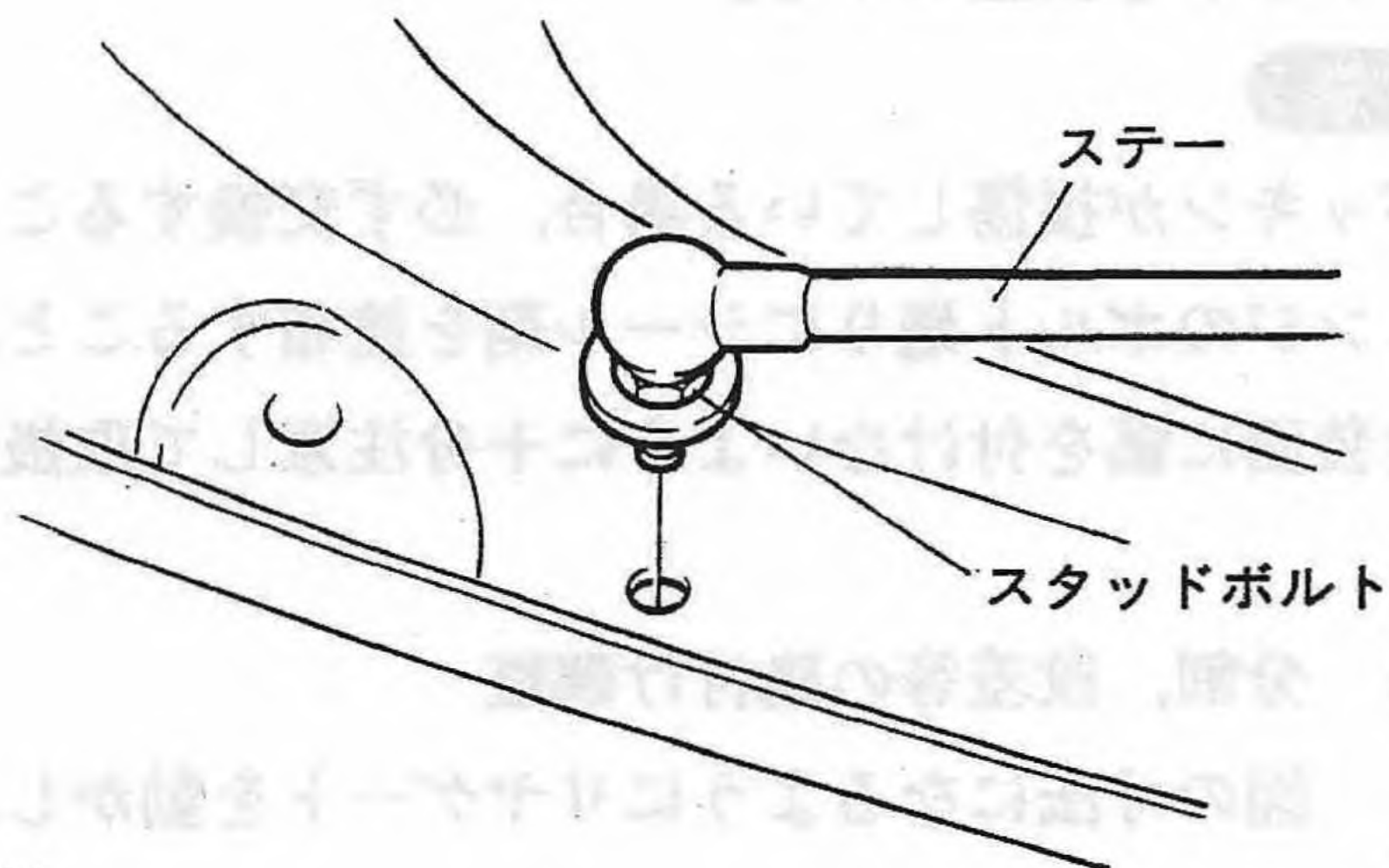


Fig.74

S5-156

2) 再使用の場合

- ① ボデー側を取付ける。
- ② スタッドボルトを取付ける。

締 付 ト ル ク	
スタッドボルト(M8)	1.8±0.3kg-m
フランジボルト(M6)	0.75±0.2kg-m
スクリュー(M6)	0.75±0.2kg-m

注意

- ・ガスステーは標準ルーフ車、ハイルーフ車仕様を下記で識別している。

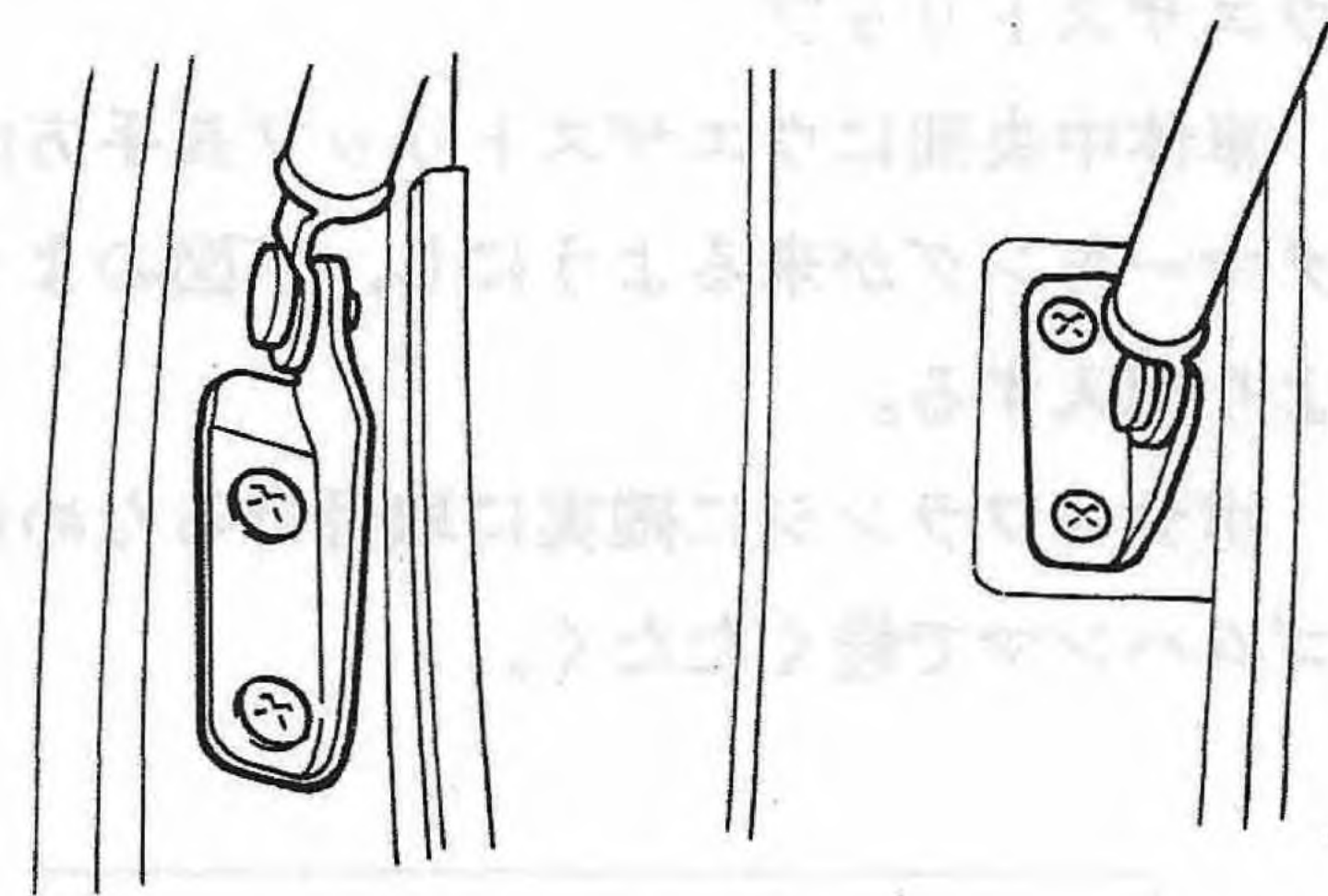


Fig.75

S5-157

仕 様	シルクスクリーン印刷色	図 番
ハイルーフ ワイパ無	白	62300TA000/010
ハイルーフ ワイパ有	青	62300TA020/030
標準ルーフ ワイパ無	白	62300TA040/050
標準ルーフ ワイパ有	青	62300TA060/070

- ・取付け方向を注意すること。



ハイルーフ車

標準ルーフ車

Fig.76

S5-158

- ・パッキンが損傷している場合、必ず交換すること。
- ・スタッドボルトへ一度挿入すると抜けなくなるので注意すること。

(4) アウタハンドル

締付トルク	0.75±0.2kg-m
-------	--------------

(5) ラッチ&キーシリンダ

締付トルク	0.75±0.2kg-m
-------	--------------

注意

- ・ドアにキーシリンダが確実に取付けられているか確認する。
- ・ドライバ等によりラッチをロック状態にし、ハンドルで解錠操作を行ない、問題がないことを確認する。

脱着

(6) ストライカ

- 1) 左右方向の調整はラッチとストライカの噛合い中心が一致するように調整する。
- 2) 前後方向は分割および圧着が建付調整図の寸法を満足するように調整する。

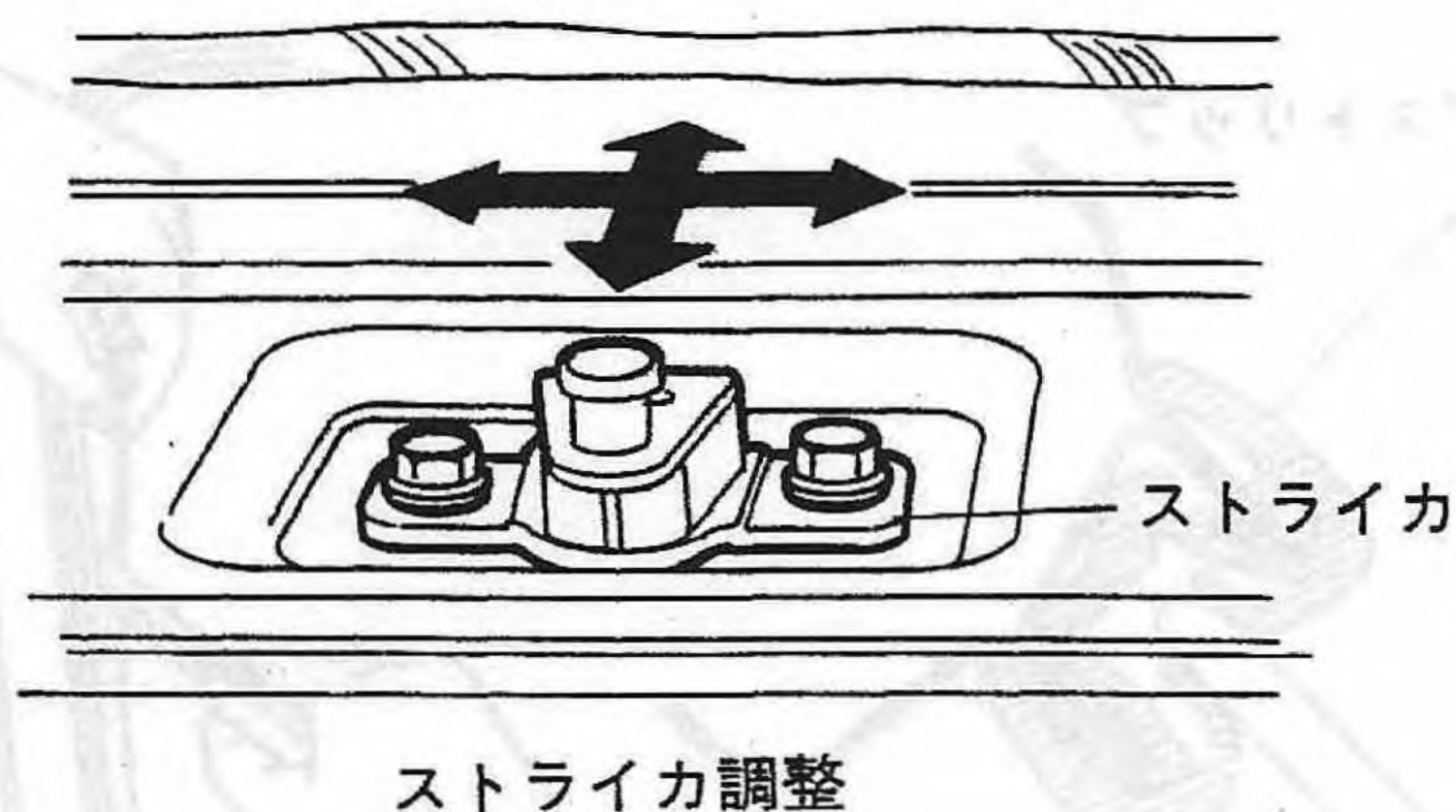


Fig.77

S5-159

締付トルク	2.5±0.3kg-m
-------	-------------

- 3) 調整しても寸法が確保できない場合はリヤゲートの姿勢を修正する。

(7) リヤワイパ

締付トルク	0.6~0.8kg-m
-------	-------------

注意

室外側締付けの時、アウトパネルに歪がでる場合があるので注意すること。

- (8) ウォッシュノズル&カバーを取付け結合する。
- (9) デフォガ端子, リヤゲートスイッチ端子, ワイパモータ用コネクタ, ライセンスランプ用コネクタを結合する。
- (10) トリムパネルを取付ける。

〔5〕 ウインドガラス ■ 整備要領 (1) フロントウインドガラス

脱着

〈取外し〉

- (1) ワイパアームを前に持ち上げる。
- (2) 室内側よりストリップドライバまたはヘラでウエザストリップのリップ部をめくり、ボデーフランジの外側へ押出す。

(ガラス上面および両側面の1/2位)

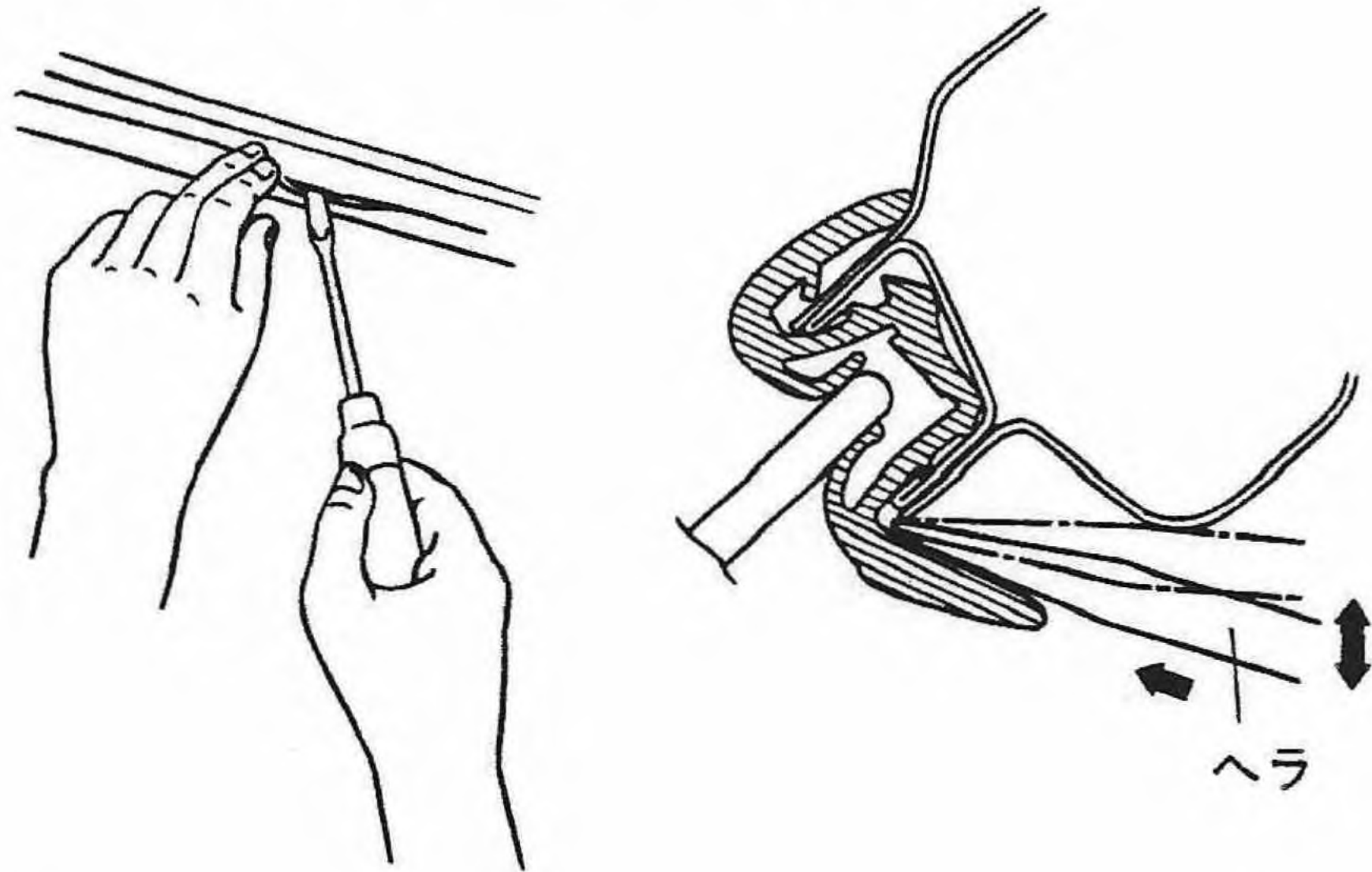


Fig.78

S5-160

- (4) 室内側よりガラスをウエザストリップとともに押出す。

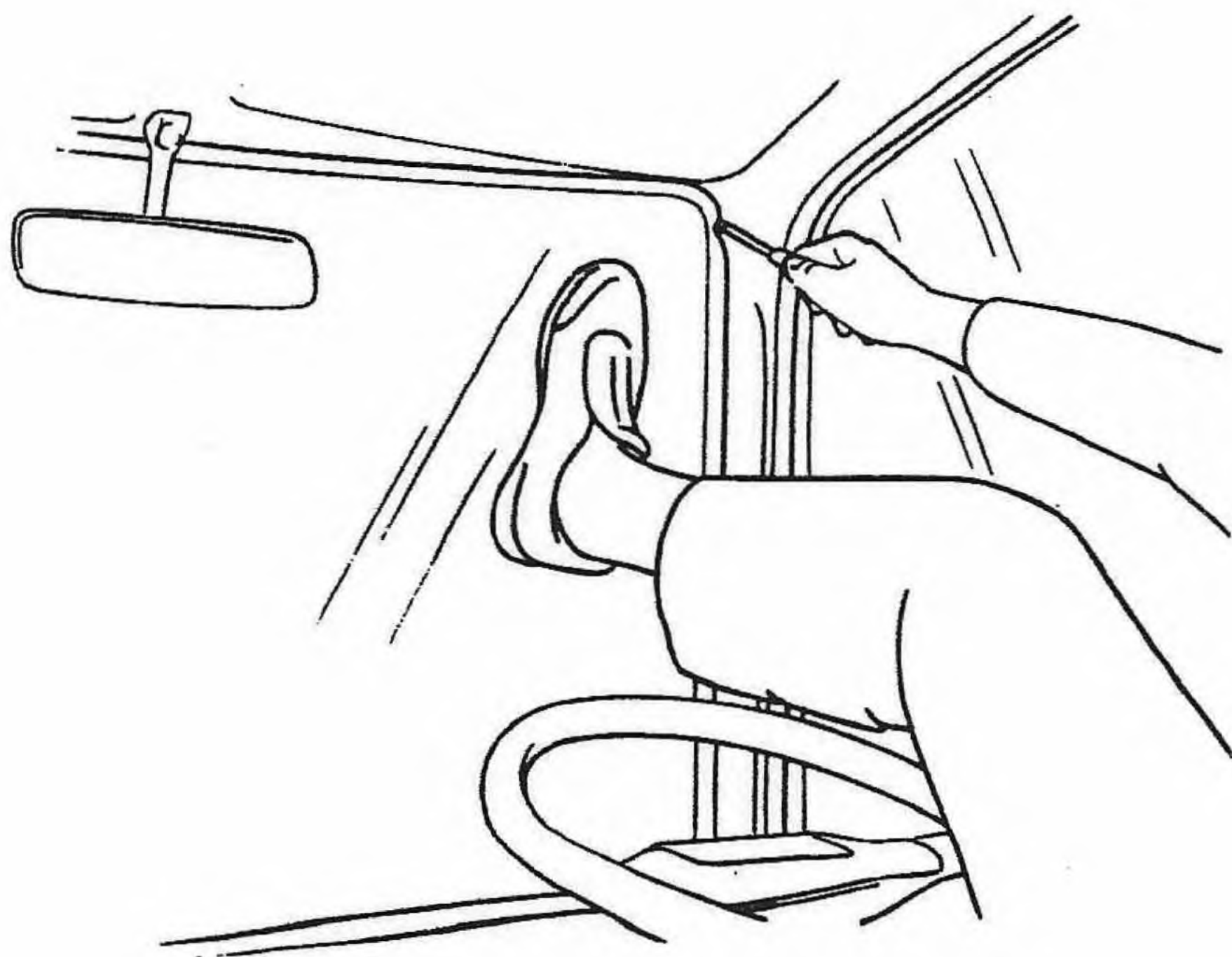


Fig.79

S5-161

注意

ガラスには均一に力を入れ、ウエザストリップに近い所を押す。

ウエザストリップを再使用しない場合はナイフ等で切断し、ガラスを取外す。

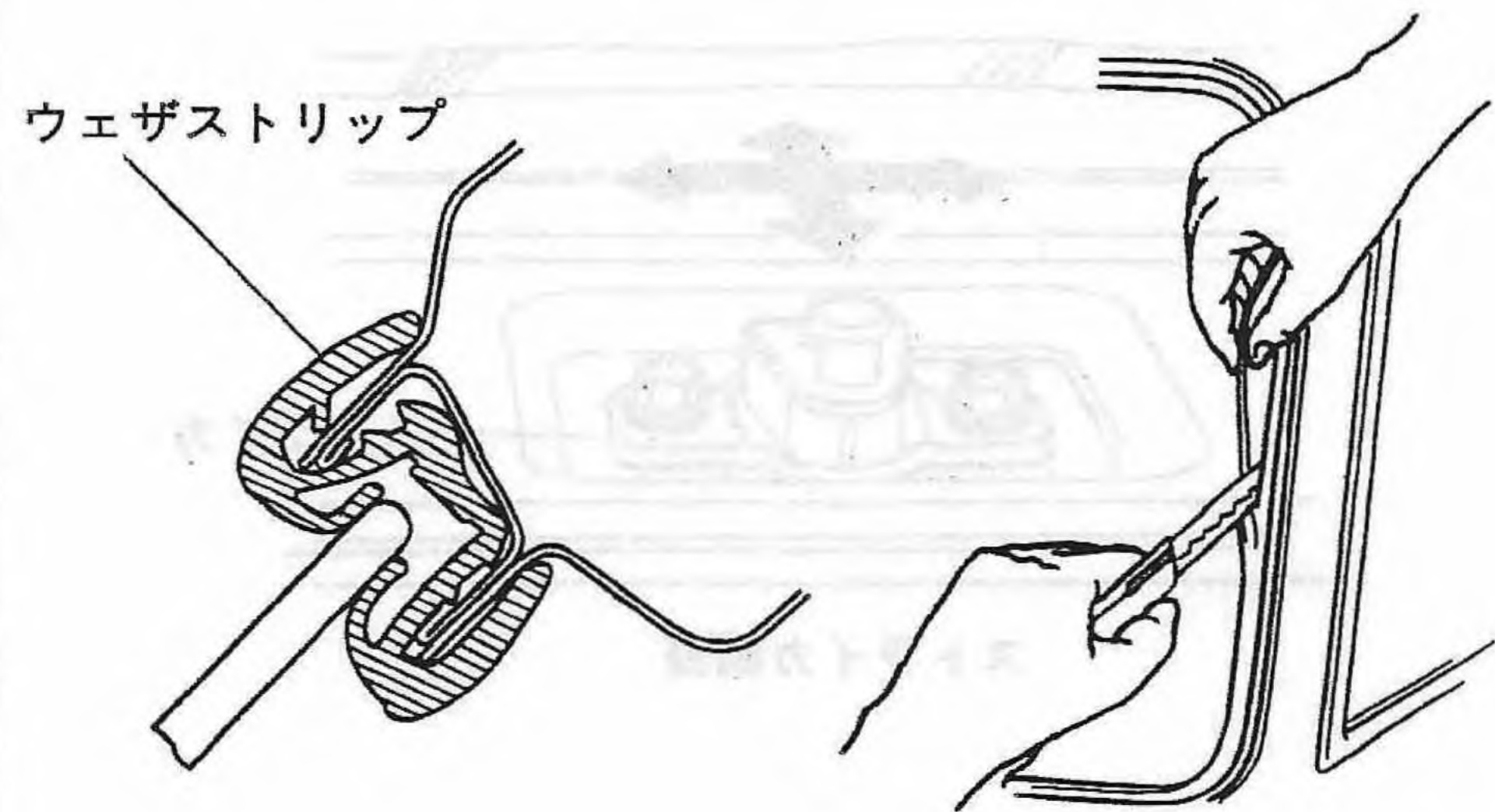


Fig.80

S5-162

脱着

〈取付け〉

- (1) ガラス、ウエザストリップについているシール剤を白ガソリンで清掃する。
- (2) ガラスにウエザストリップを組付ける時、作業ひもをウエザストリップに巻きつける。

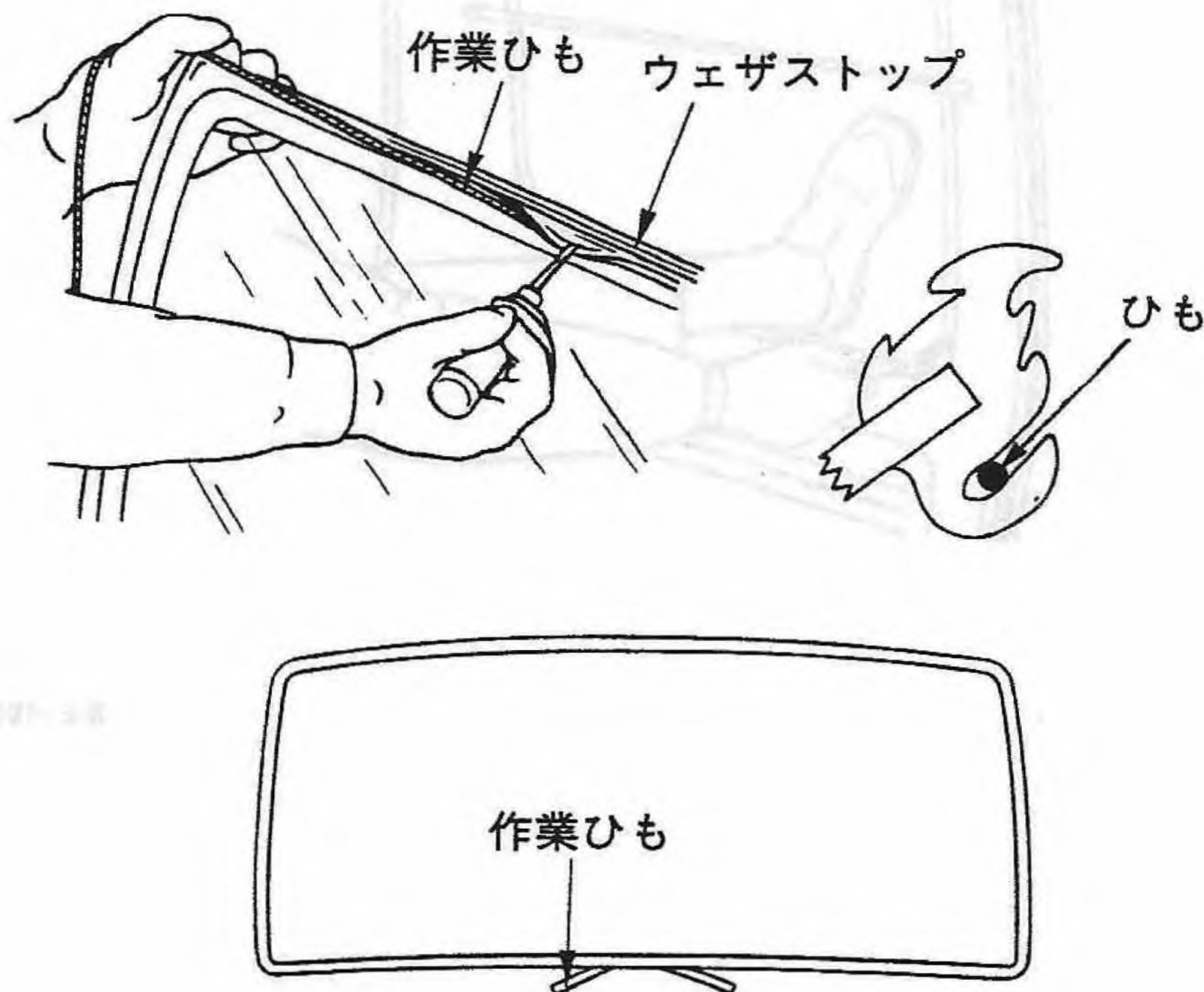


Fig.81

S5-163

注意

- ・ガラス下端で作業ひもをオーバーラップさせる。
- ・ウエザストリップに作業ひもを取付けた後、全周に白ガソリンを塗布する。

- (4) ガラスを外側より正規位置に置き、作業ひも(オーバーラップしたもの)を内側に入れる。

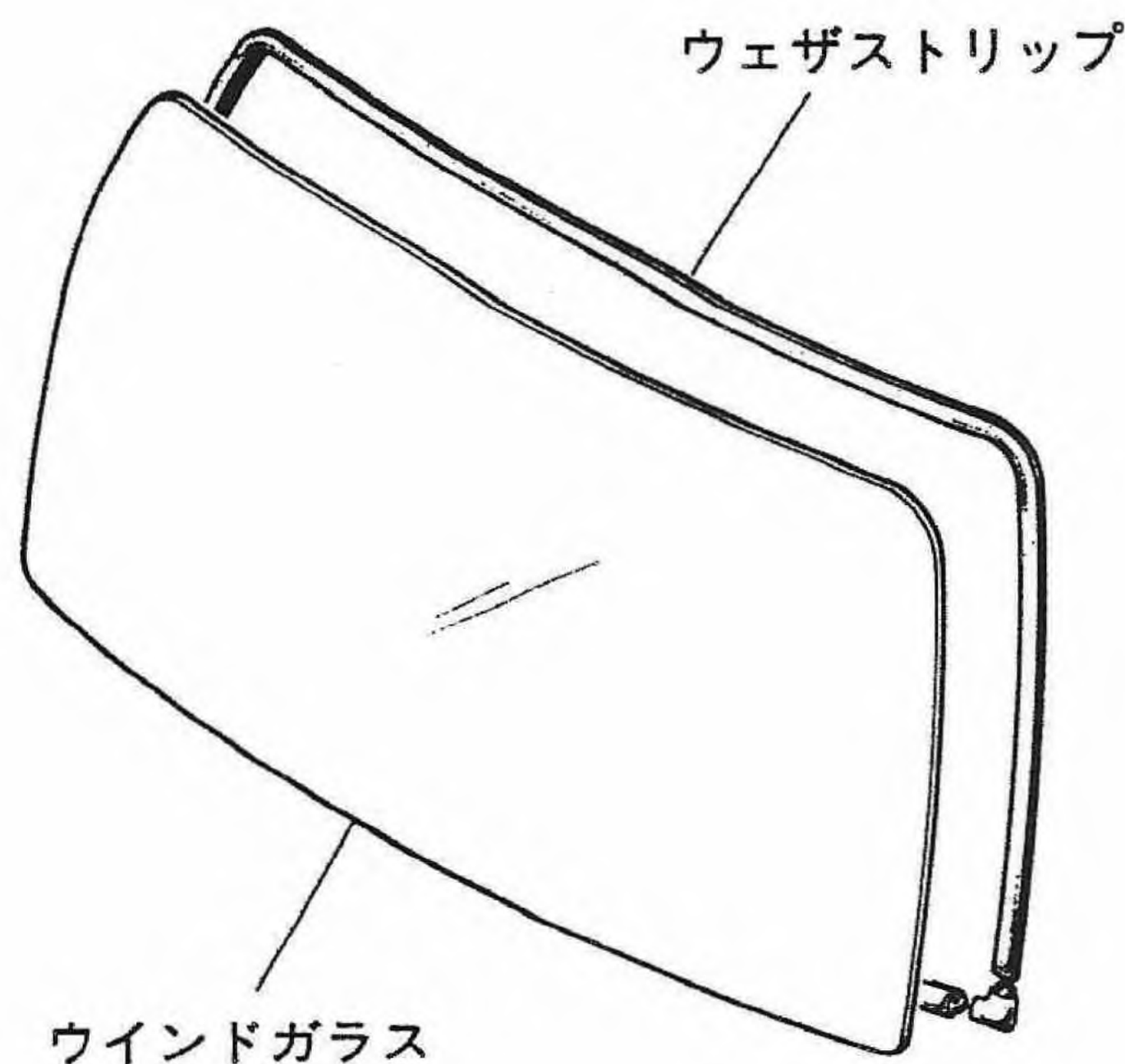


Fig.82

S5-164

注意

ボデー窓枠に対し、ガラスを左右均等に振分け真中におく。

- (5) ウエザストリップのリップ部全周に白ガソリンを塗布する。
- (6) 室内側より作業ひもを引く。

ガラス引込み用作業ひもをボデーフランジを乗り越えるような角度で引きながら外側よりガラスを手でたたき、ウエザストリップをボデーに組付ける。



ウインドガラス装着例

Fig.83

S5-165

注意

- ・作業はガラスの中心より左右に行なう。
 - ・ガラスは手のひらで外からたたく。
 - ・ボデーに対しウエザストリップを正規位置に装着させる。
- (7) ウエザストリップ外周にストリップドライバまたはヘラを通してボデーになじませる。

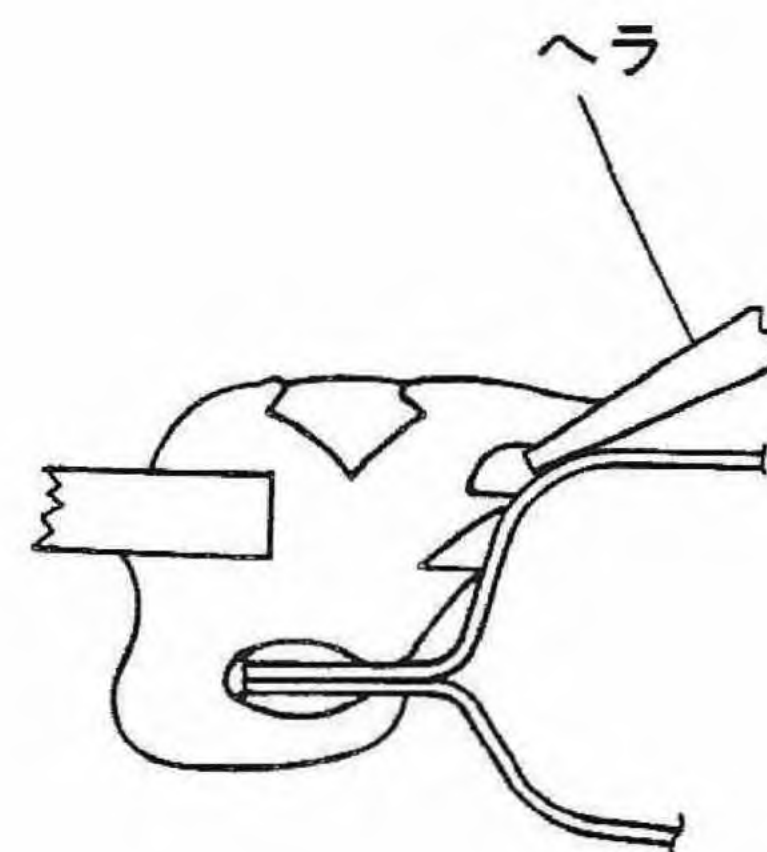


Fig.84

S5-166

- (8) ガラス全体を外側より手の平またはラバーハンマでたたき、ボデーに落ちつかせる。

(2) リヤゲートガラス&リヤクォータウインドガラス

脱着

取外し、取付けは、フロントウインドガラスと同じ要領で行なう。

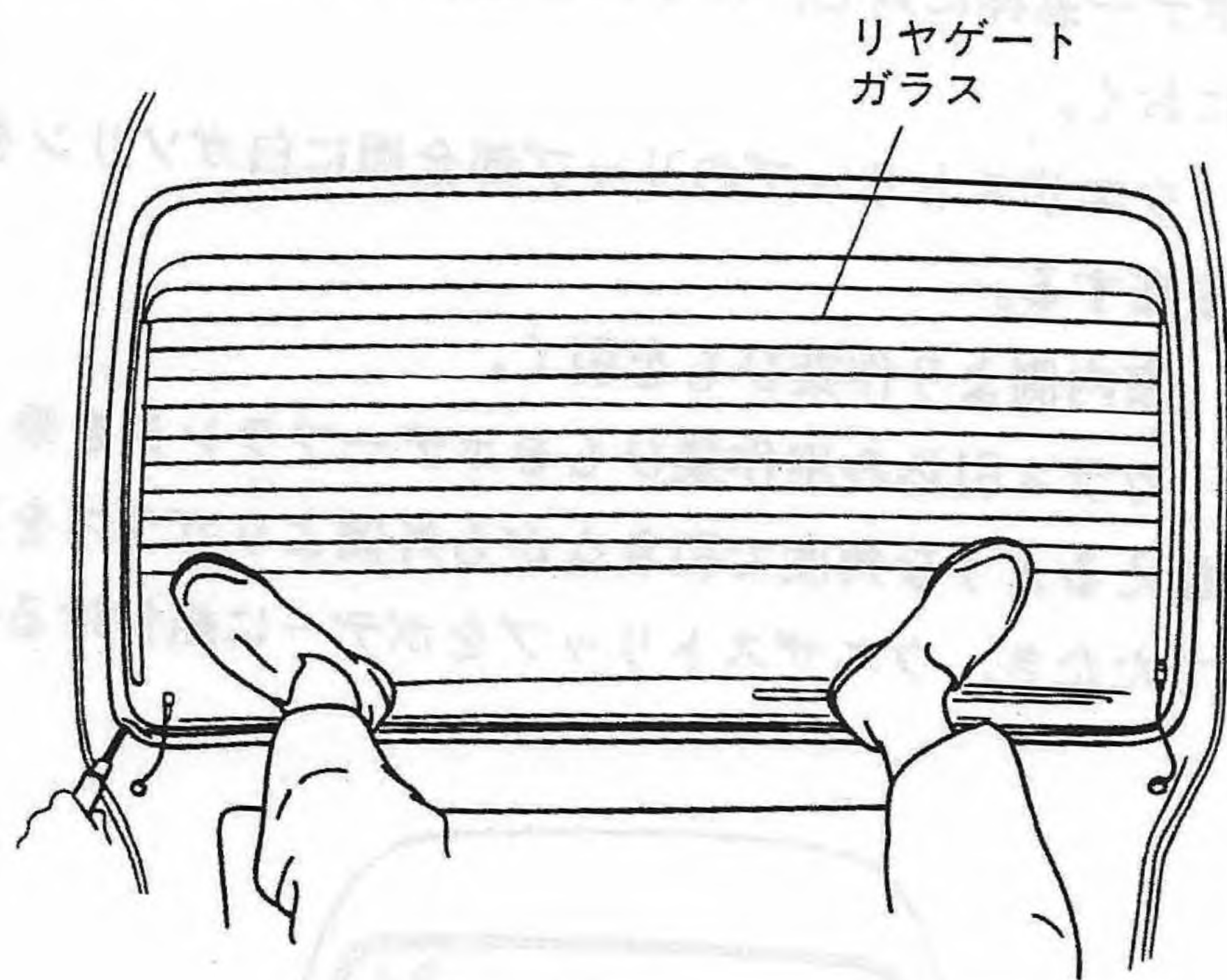
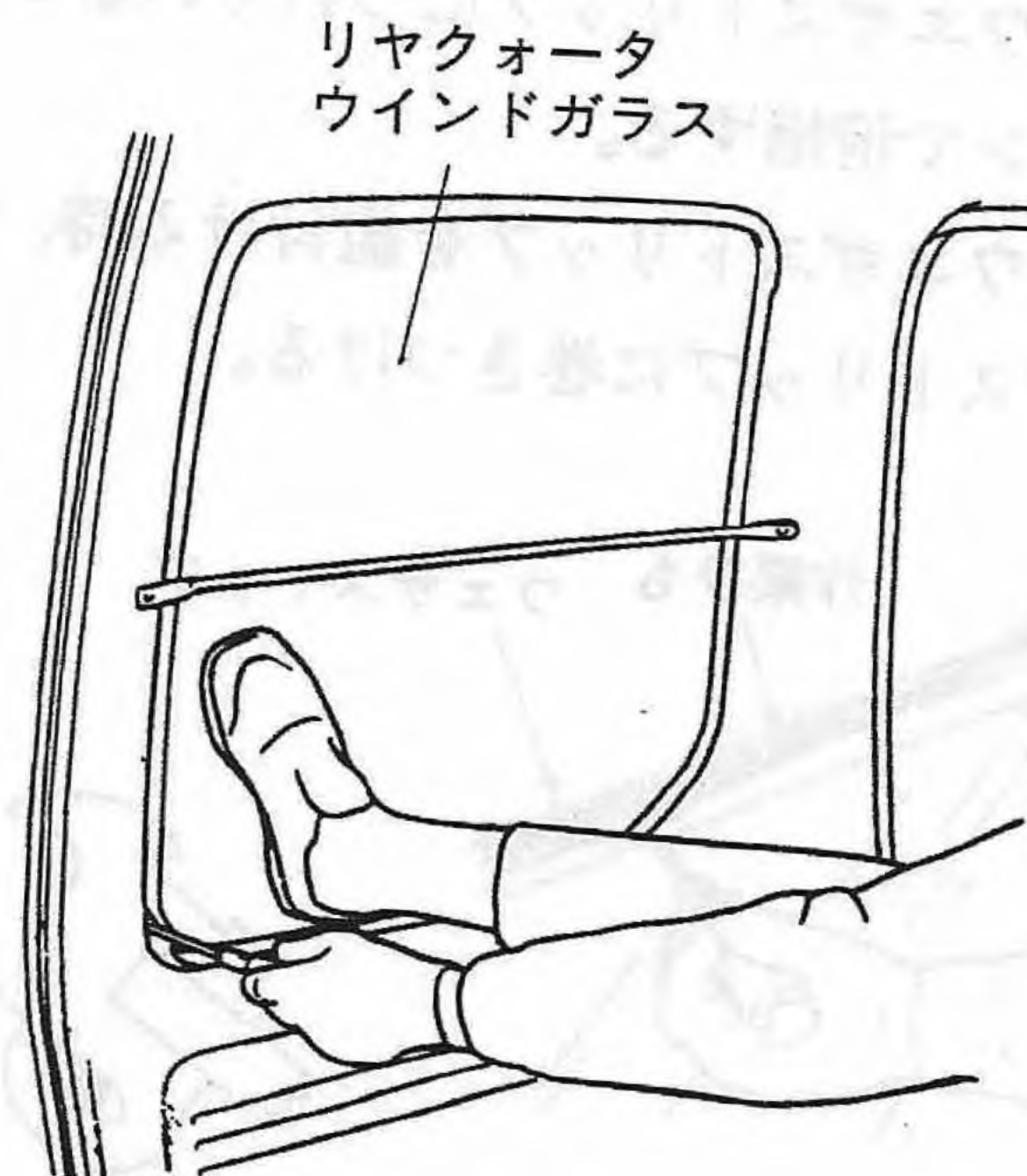


Fig.85



S 5-167



〔 6 〕 ウェザストリップ ■ 整備要領

〈取外し〉

クリッププーラを使ってドアパネル及びボデーよりウェザストリップを取外す。

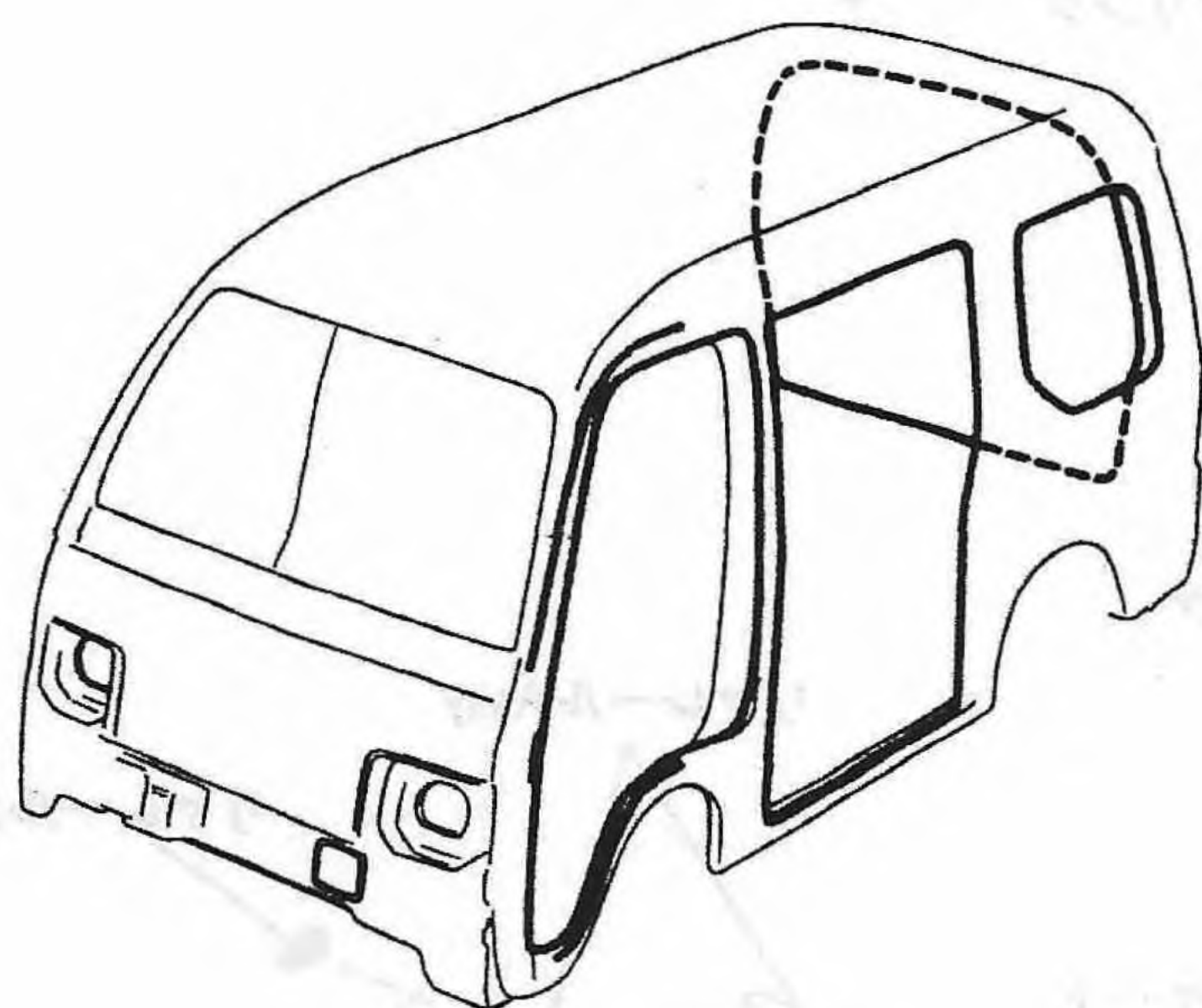
〈取付け〉

取外しの逆順序で行なう。

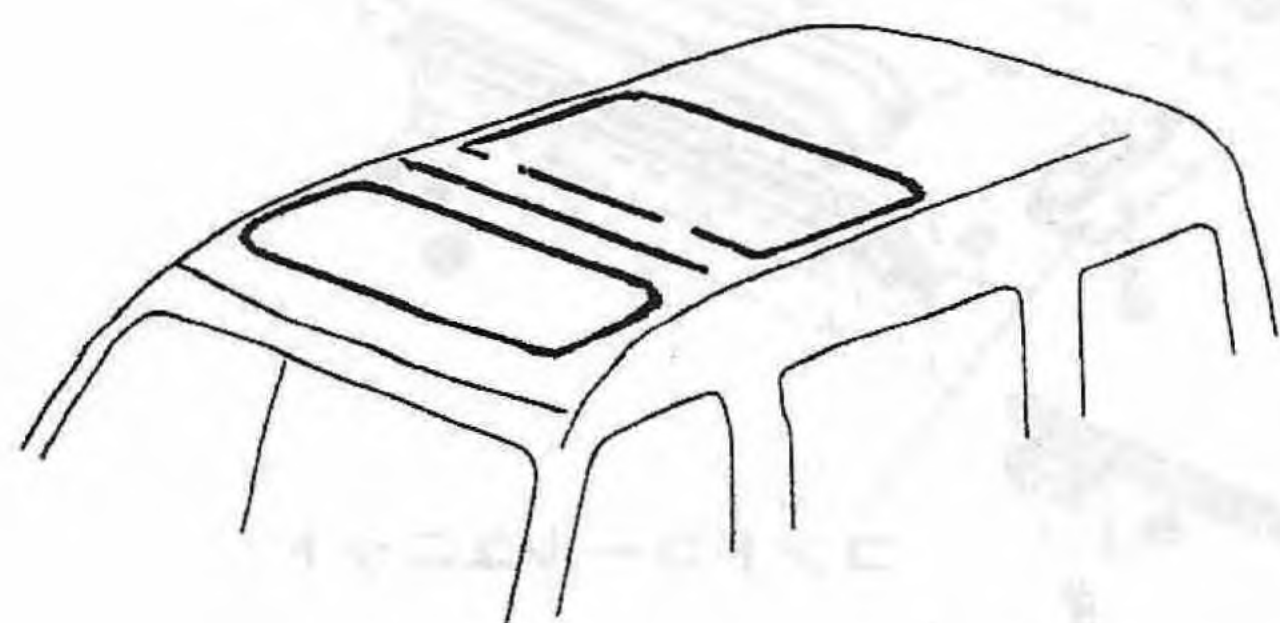
注意

- ウェザストリップは根元まで確実に挿入のこと。
- クリップは確実にパネル穴に差し込むこと。

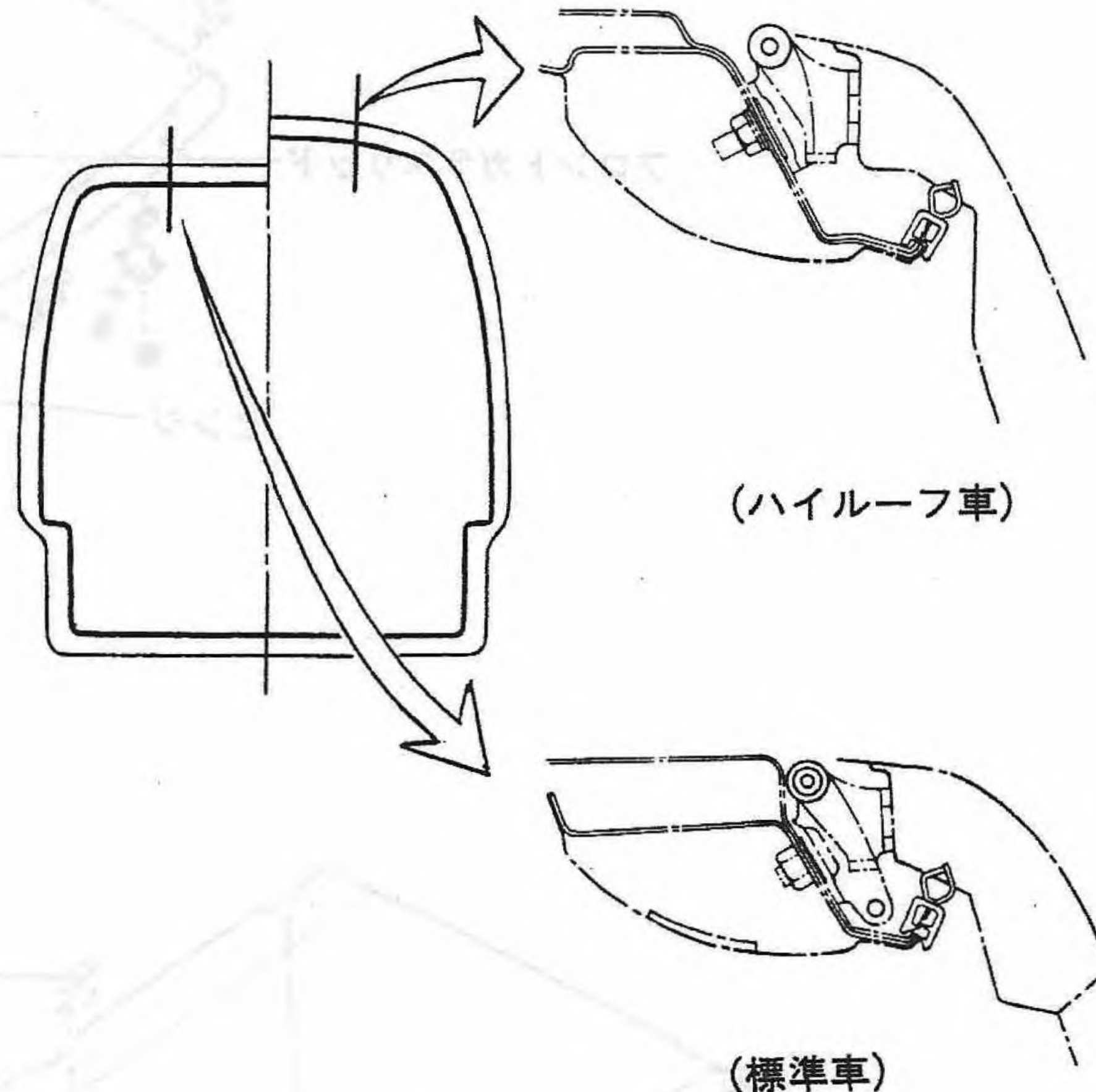
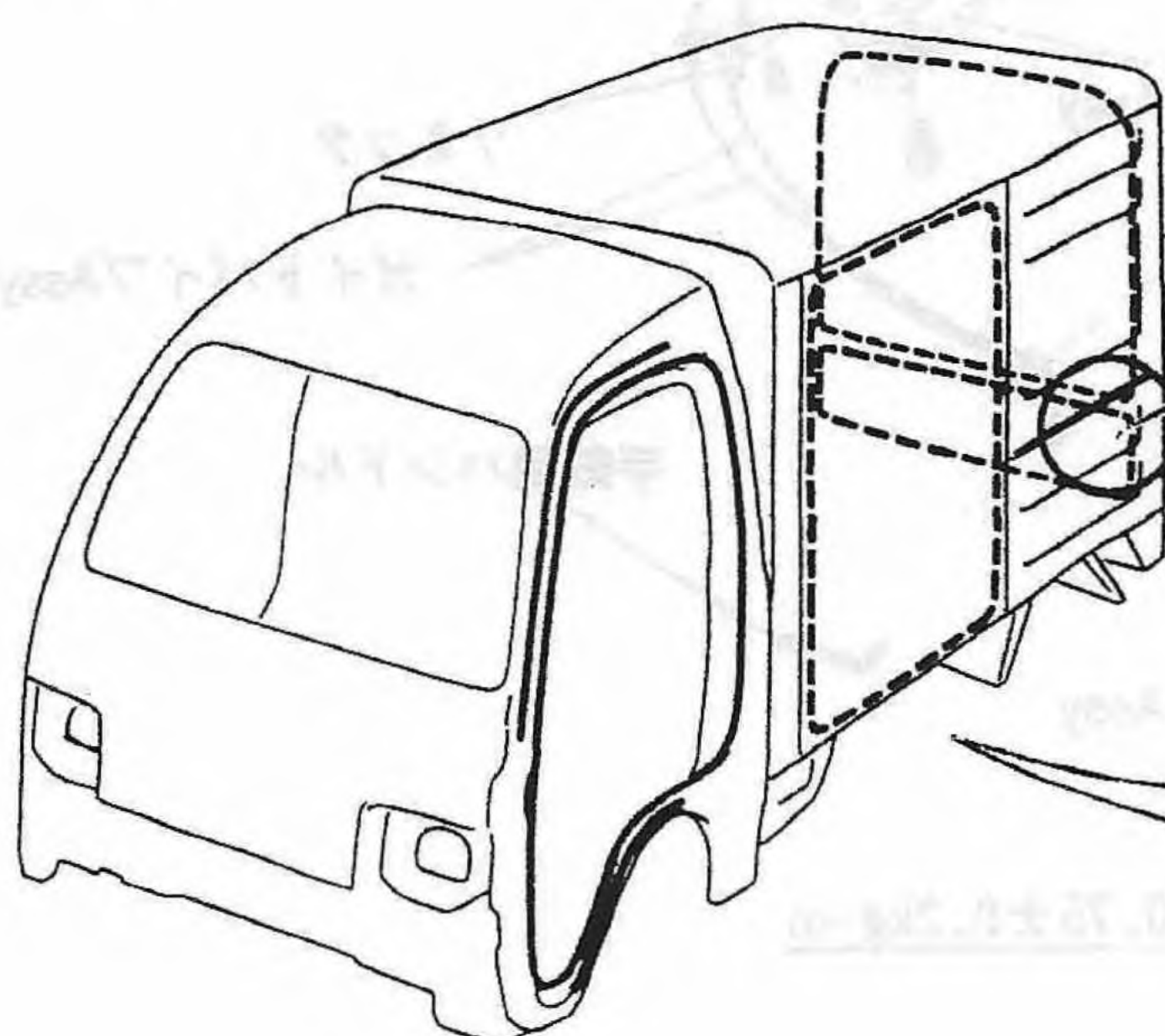
バン



(サンサンルーフ車)



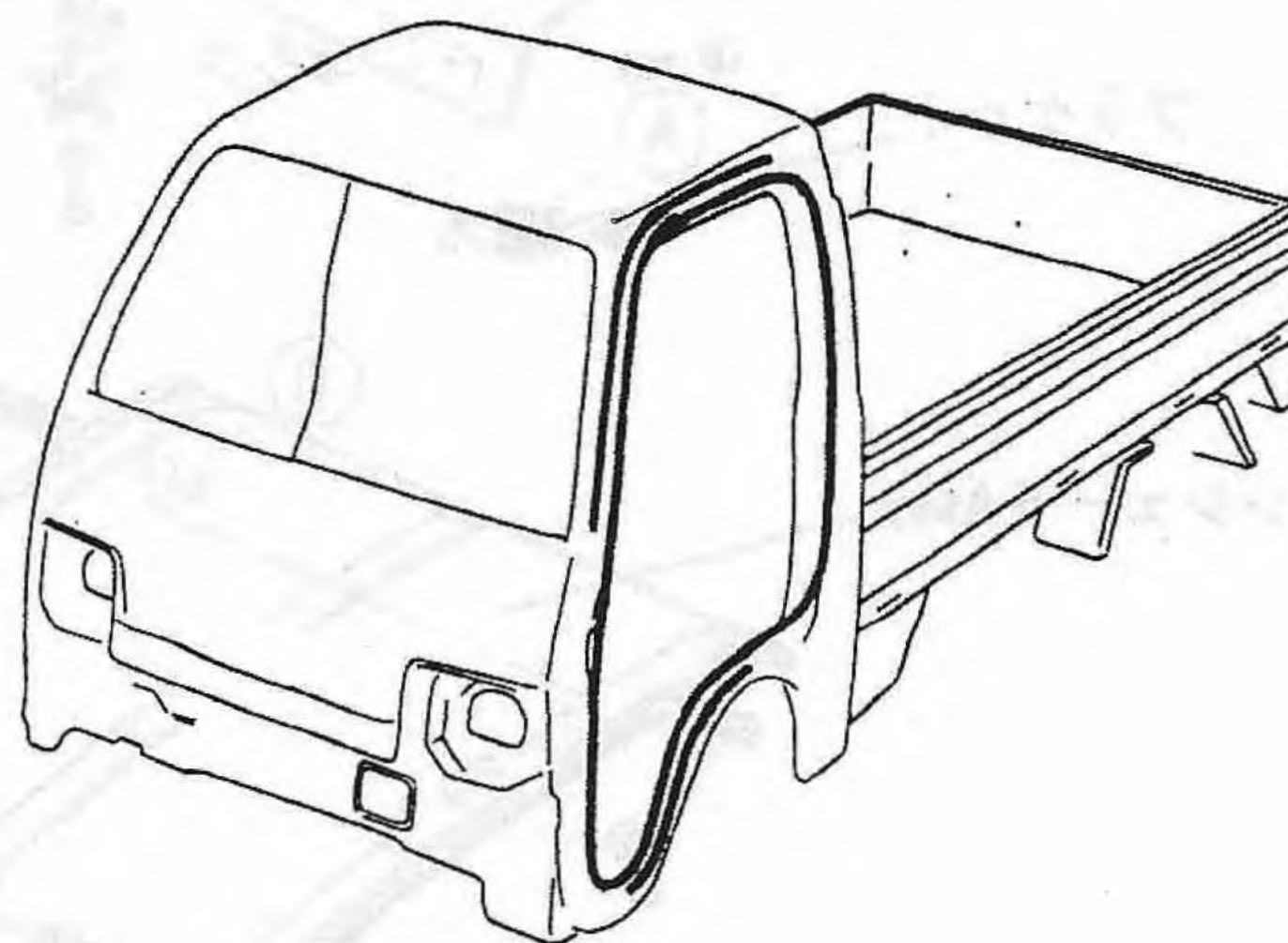
パネルバン



(ハイルーフ車)

(標準車)

トラック



クリップは確実に
挿入すること

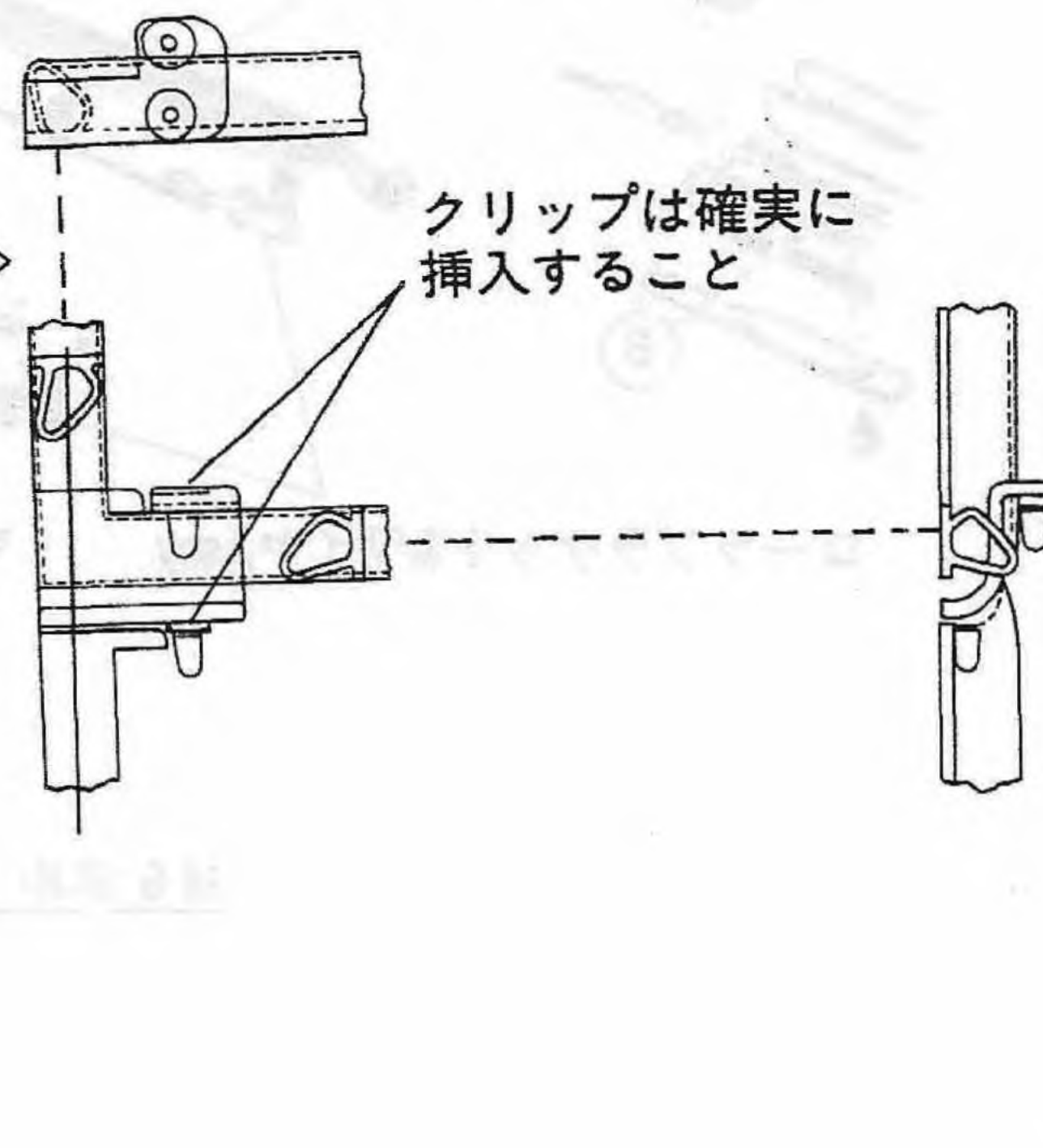
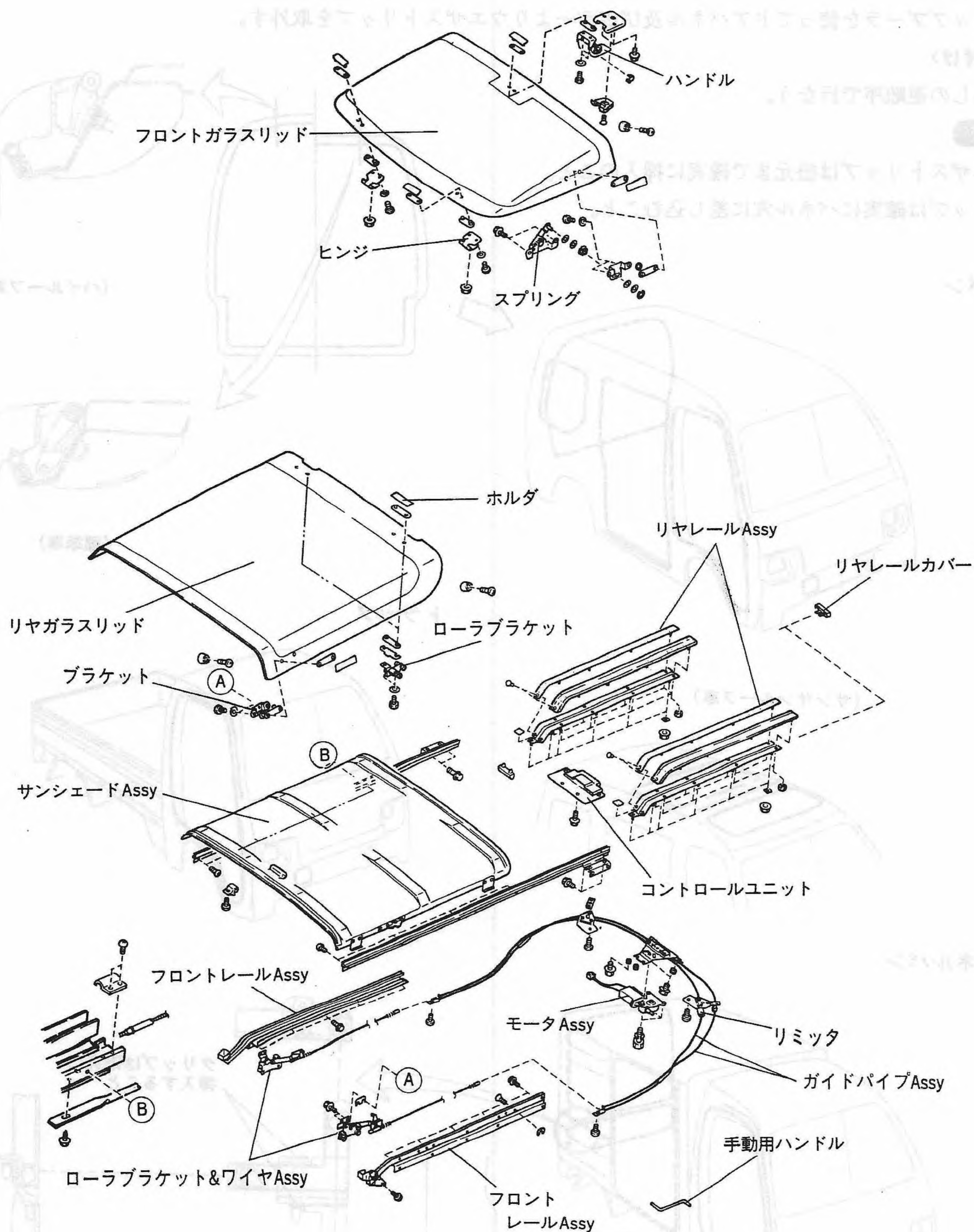


Fig.86

〔7〕 サンサンルーフ ■ 構成部品



M6 ボルト&ナット締付トルク : $0.75 \pm 0.2 \text{ kg-m}$

Fig.87

■ トラブル シューティング

故障項目	主な点検箇所
室内への水漏れ	①リヤ ガラスリッド パッキンの固定用穴が設定位置にあるか。 ②リヤ ガラスリッドとボデーのウェザ ストリップとの間に隙間はないか。
風洩れ音	①リヤ ガラスリッドとボデーのウェザ ストリップが全周にわたって圧着しているか。 ②サン シェードとルーフ トリムの隙間は適正か。
モータ部の異音	①モータの取付けはゆるんでないか。 ②ギヤの摩耗, 軸受の摩耗はないか。 ③ケーブルの摩耗はないか。 ④ケーブル パイプの変形はないか。
モータは回るがサンサン ルーフが作動しない。	①ガイド レールに物のかみこみはないか。 ②ガイド レールの取付け不良。 ③部品どうしの干渉はないか。 ④ケーブルのスライダ部カシメは正常か。 ⑤ケーブルは正規の位置に固定されているか。 ⑥クラッチ アジャスト ナットの締付け状態は適正か。
(サンサン ルーフ レンチで作動確認)	①ヒューズが切れていないか。 ②スイッチの機能は正常か。 ③モータの端子電圧は正常か。 ④リレーの作動は正常か。 ⑤アース不良 ⑥コードの断線及び端子の接続状態 ⑦コントロールユニットは正常か。 ⑧リミットスイッチの機能は正常か。

■ 整備要領 (1) フロントサンーフ

— 脱着・点検・調整 —

〈取外し〉

- (1) ルーフトリムを外す。
- (2) サンシェードを取外す。
- (3) ヒンジ取付ナット(ボデー側)を取外す。
- (4) スプリングASSY(ボデー側)を取外す。
- (5) ベースプレートからロックハンドルを外す。
- (6) ボデーを傷つけないように注意しながら、ガラスリッドをボデーより取外す。

〈取付け〉

- (1) 取外しの逆順序に行う。
- (2) 建付けの点検を行う。

分割

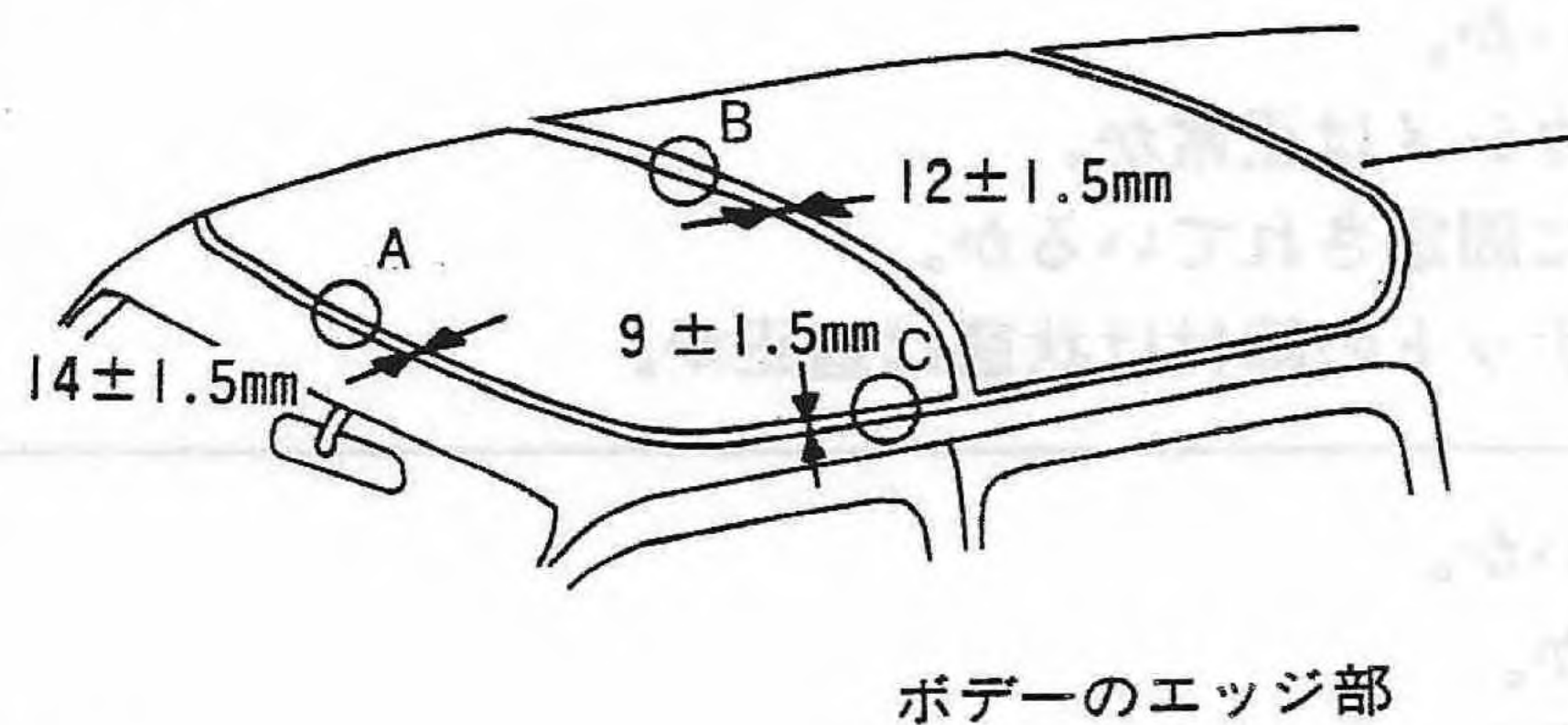


Fig.88

S5-301

段差

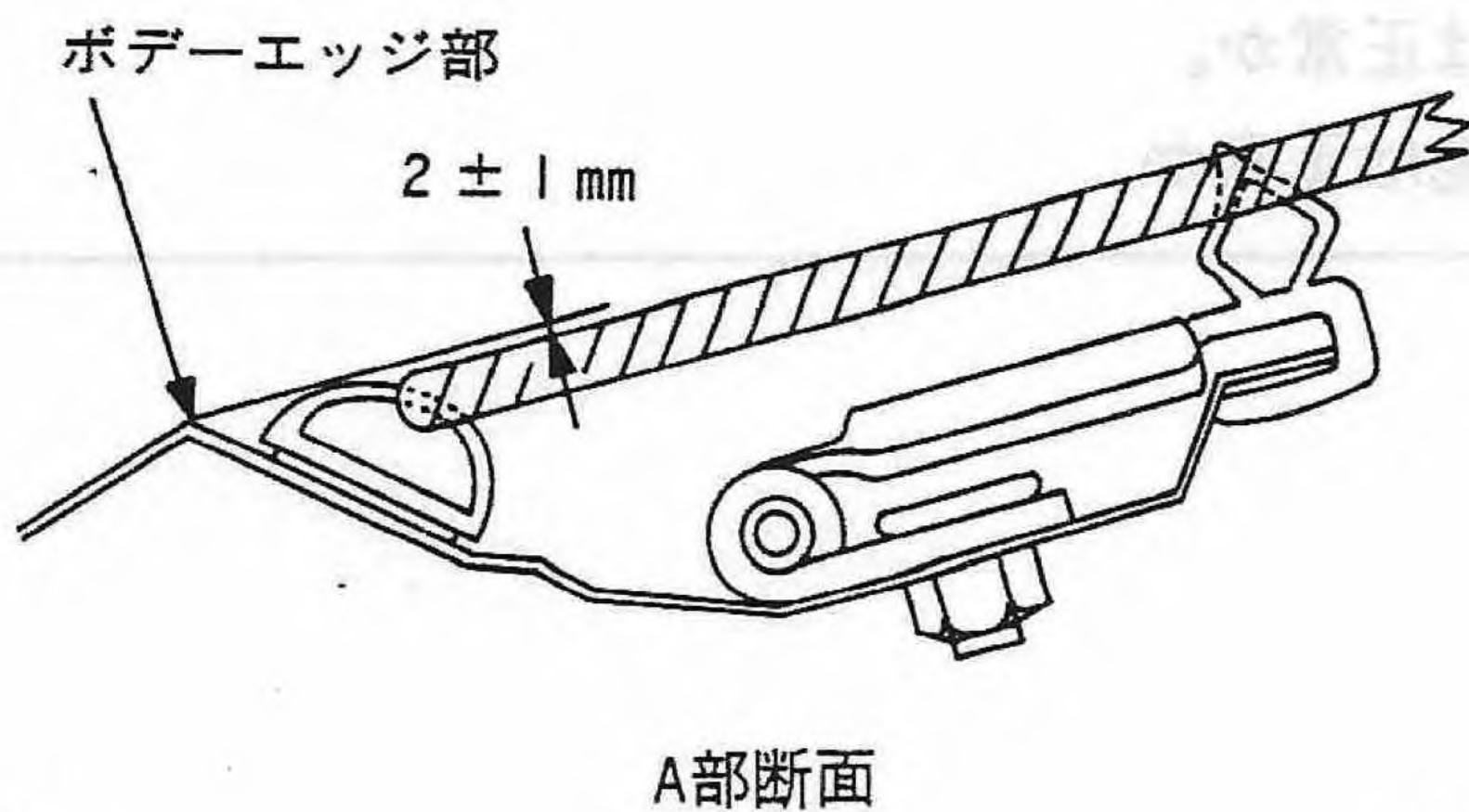


Fig.89

S5-302

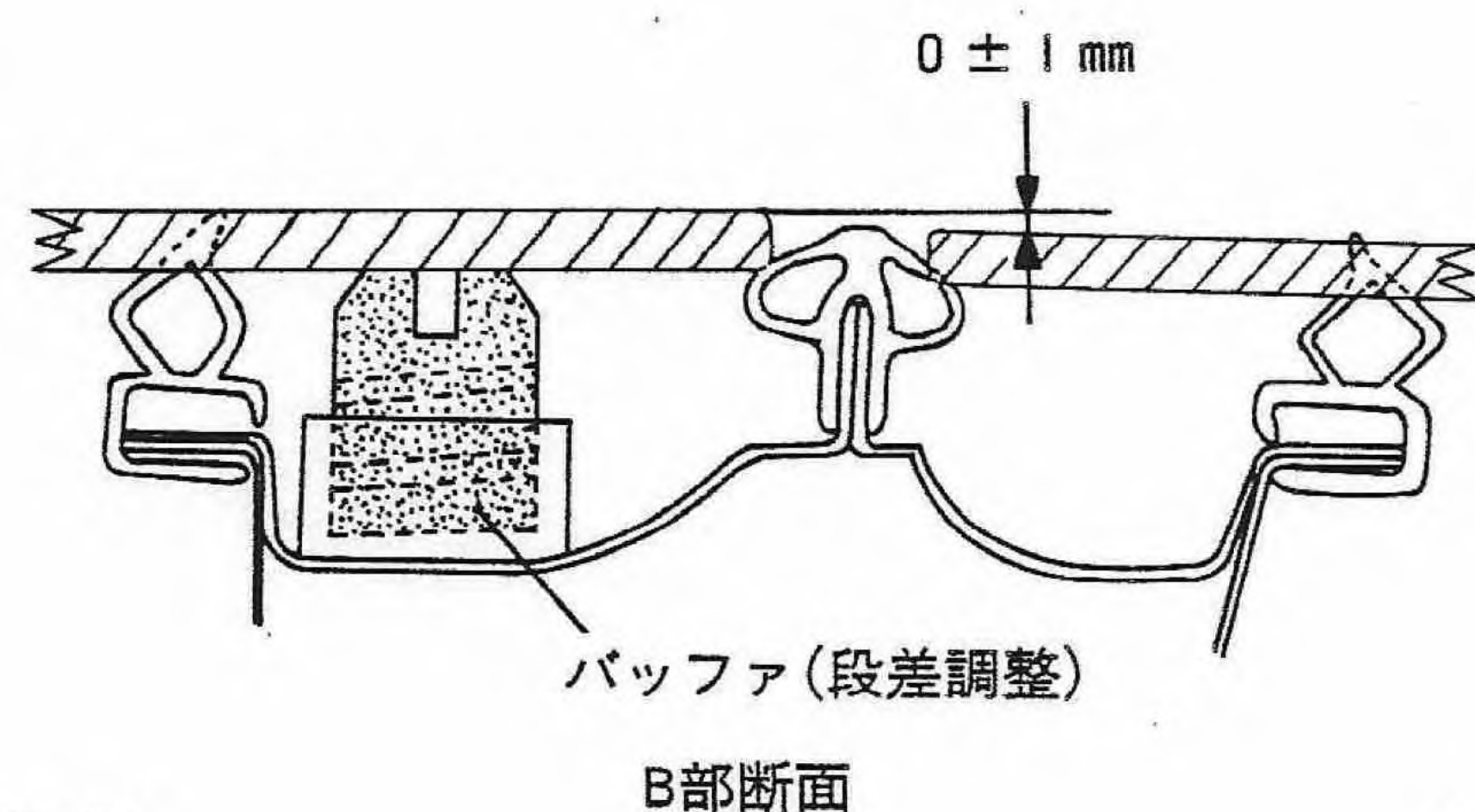


Fig.90

S5-303

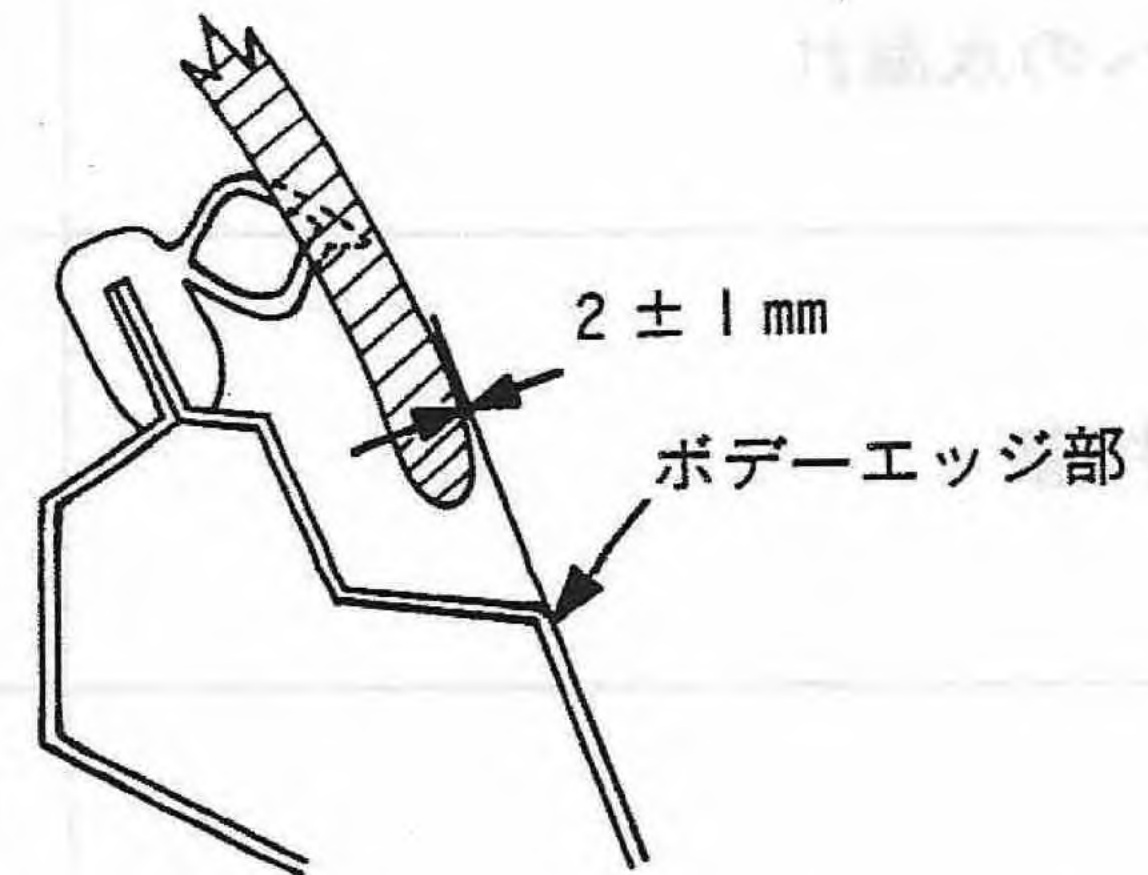


Fig.91

C部断面

S5-304

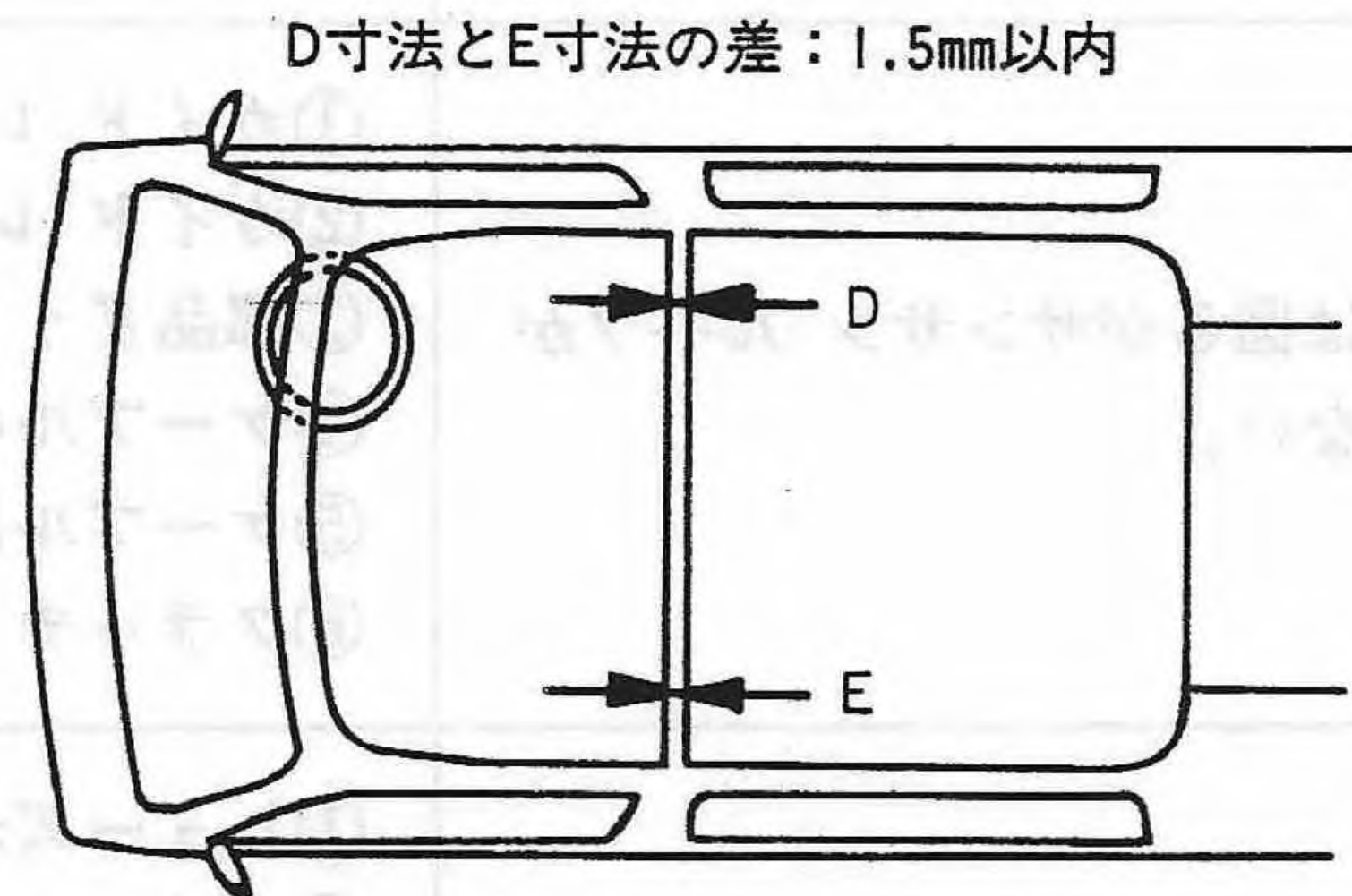


Fig.92

S5-305

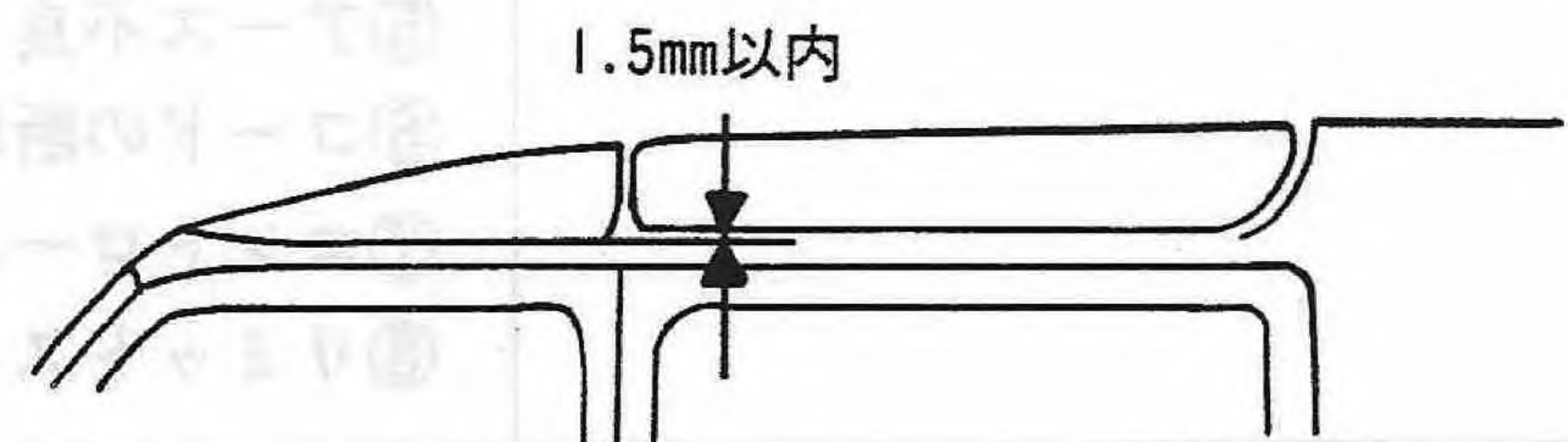


Fig.93

S5-306

〈取付け後の点検・調整〉

- ウェザストリップにしわ、折れ曲がり、リップのめくれ、コーナ部のやせ等がないこと。
- 全閉、全開状態で分割、ガタツキ、干渉等を点検し、調整を行う。
- チルトロックハンドルの開閉操作が滑らかに行なえるか点検すること。

基準値	押し上げ力	3 kg以下
	引き下げ力	4 kg以下

- サンルーフ全閉にて室内に水漏れがないこと。

(2) リヤサンルーフ

脱着・点検・調整

〈取外し〉

- (1) ルーフトリムを外す。
- (2) サンシェードASSYを取外す。

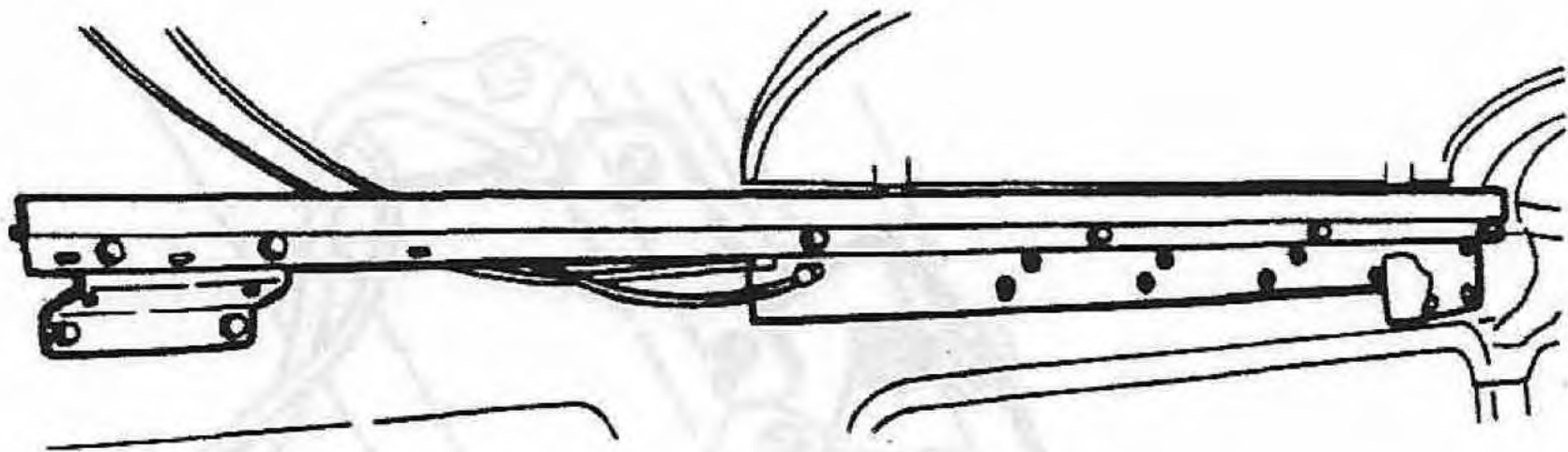


Fig.94

S5-308

- (3) ガラスリッドを下記手順に従って取外す。
 - 1) ガラスを半開きにし、ローラブラケット&ワイヤASSYとガラスリッドのブラケットを結合しているボルトを外す。

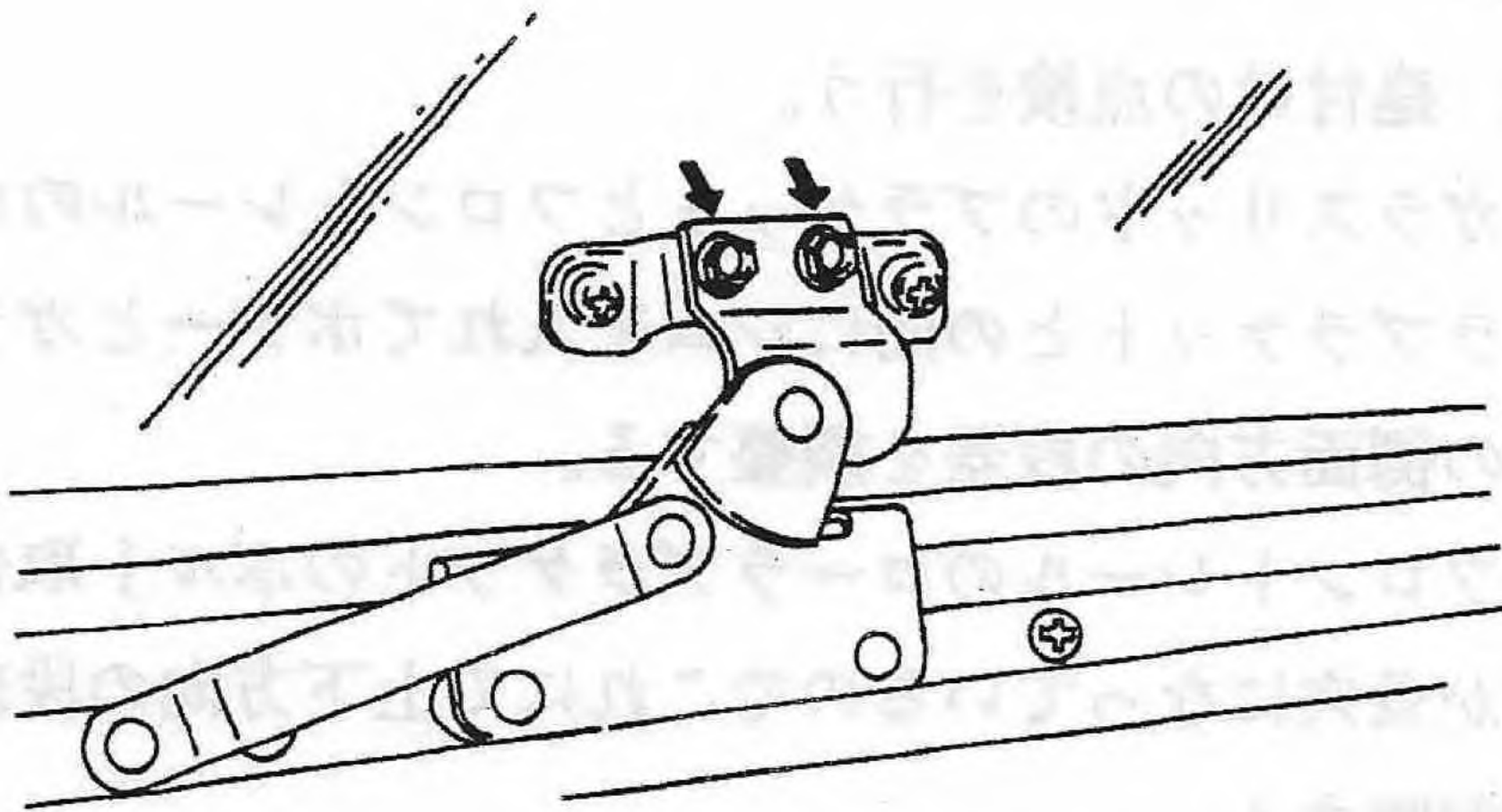


Fig.95

S5-314

- 2) リヤレールASSYをボデーに結合しているナットを外す。
- 3) ガラスリッドを全開にして、リヤレールASSY後端をボデーより浮かして、ガラスリッドを後方へ移動させ、ローラブラケットをリヤレールASSYより抜き取り、ガラスリッドを取外す。

注意 ボデーに傷を付けないように十分注意すること。

ルーフパネル上にウェスを敷くとよい。

- 4) リヤレールASSYを取外す。

- (4) モータASSYを取外す。

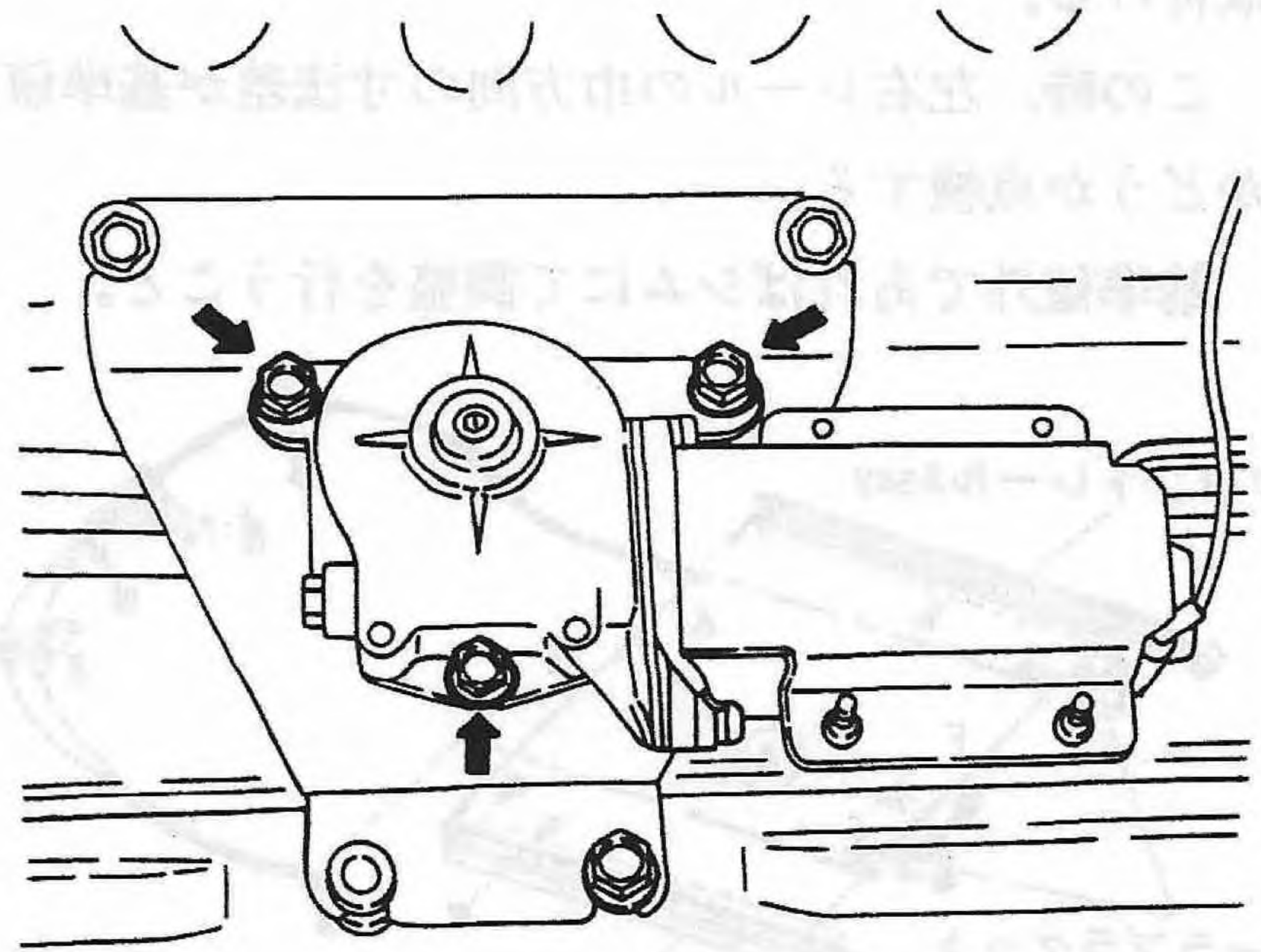


Fig.96

S5-309

- (5) フロントレールASSYをガイドパイプASSYとともに取外す。

注意 取外す際、ガイドパイプASSYを曲げたり折ったりしないこと。

脱着・点検・調整

〈取付け〉

- (1) フロントレールASSY及びガイドパイプASSYを取付ける。

この時、左右レールの巾方向の寸法差が基準値内かどうか点検する。

基準値外であればシムにて調整を行うこと。

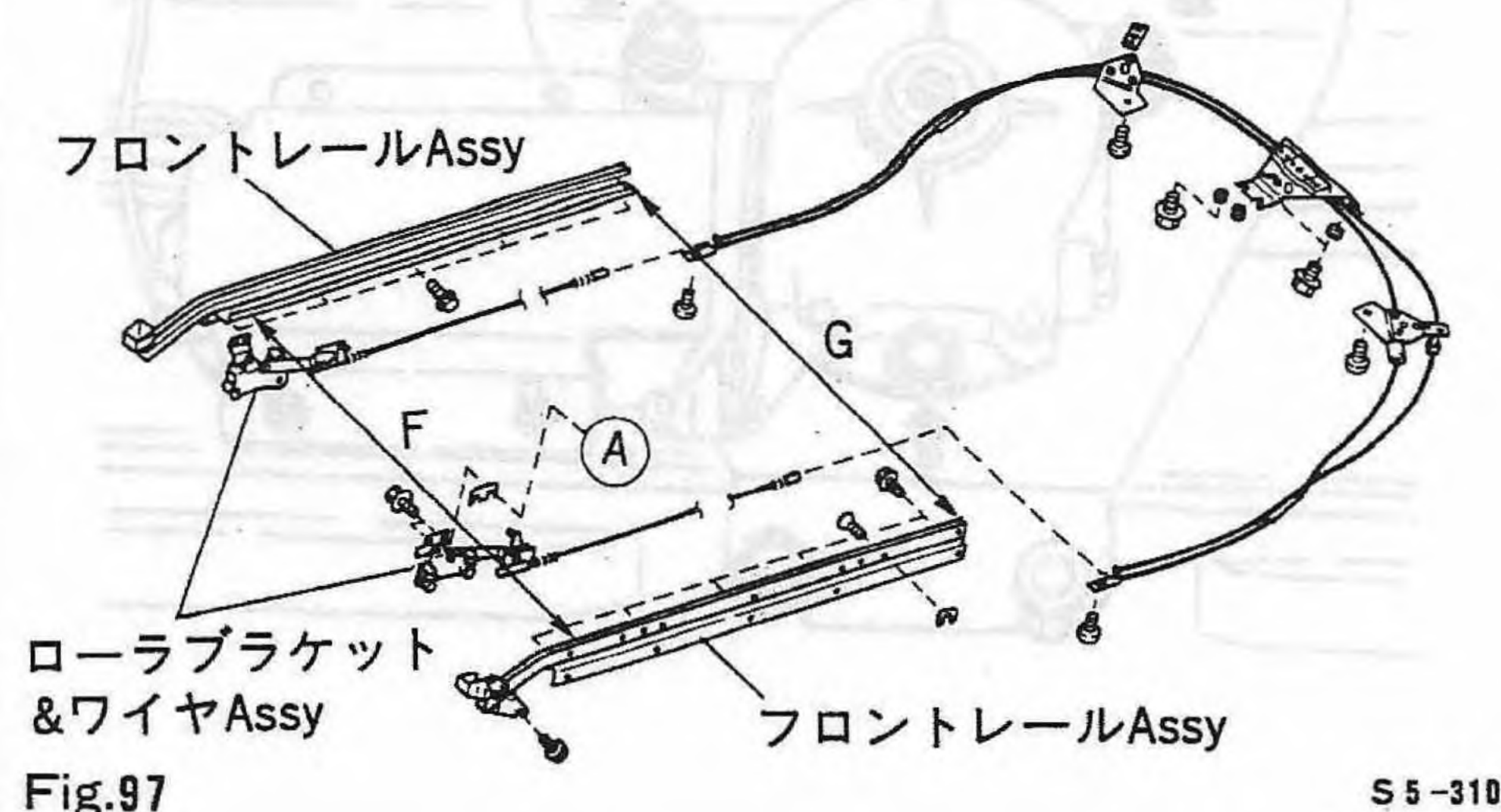


Fig.97

S5-310

基準値	F寸法とG寸法の差：2mm以内
-----	-----------------

M6 取付ボルトの締付トルク

T 0.75±0.2kg-m

- (2) リヤレールASSYをボデーに取付け、ガラスリッドをリヤレールASSYに組み付ける。

注意

- ・リヤレールASSYのボルト取付穴周辺に必ずシーリング剤を塗布すること。
- ・ボデーを傷付けないように十分注意すること。

- (3) 左右のワイヤーが等長になるように、ローラブラケットASSYをセットし、ガラスリッドを組付ける。

T 0.75±0.2kg-m

- (4) ガラスリッドを全閉にしてフロントレール先端のストッパとローラとの間にすき間があり、かつリヤレール先端のクッションにローラが突き当たっていることを点検する。

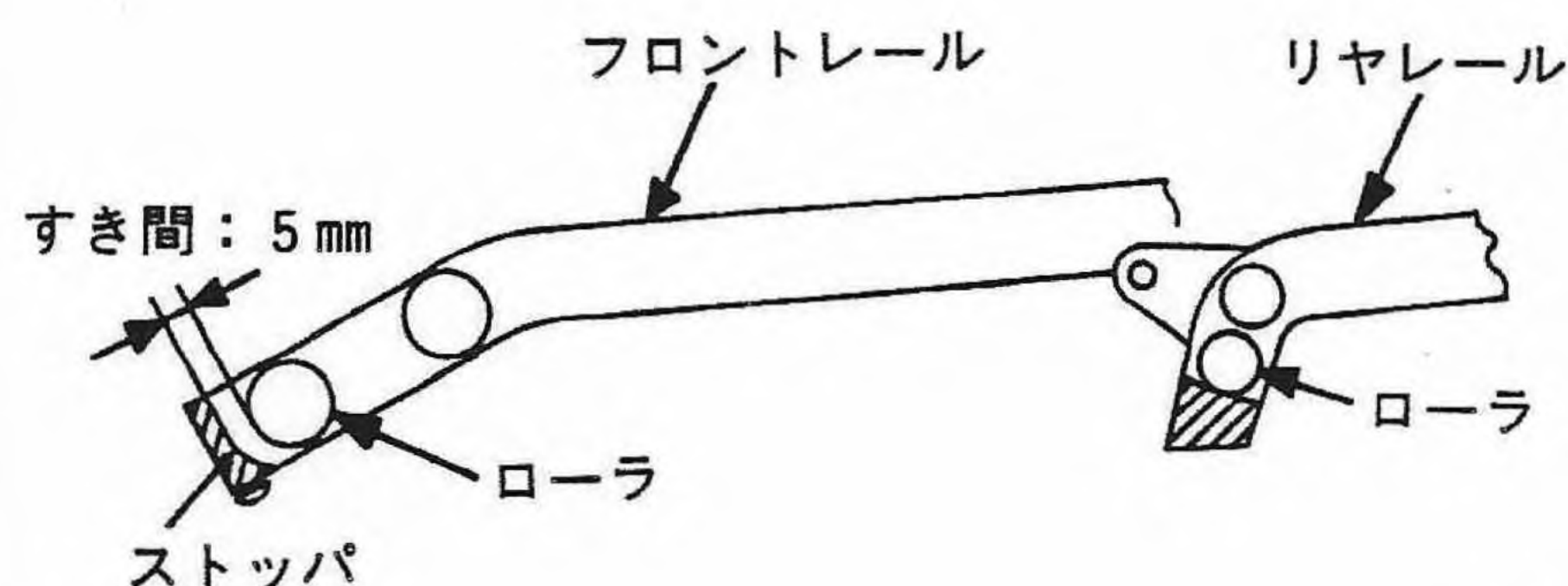


Fig.98

S5-311

- (5) モータASSYを取付ける。

注意

モータASSYを仮組みし、ハンドルを約20回まわして確実にギヤとケーブルをかみ合わせる。

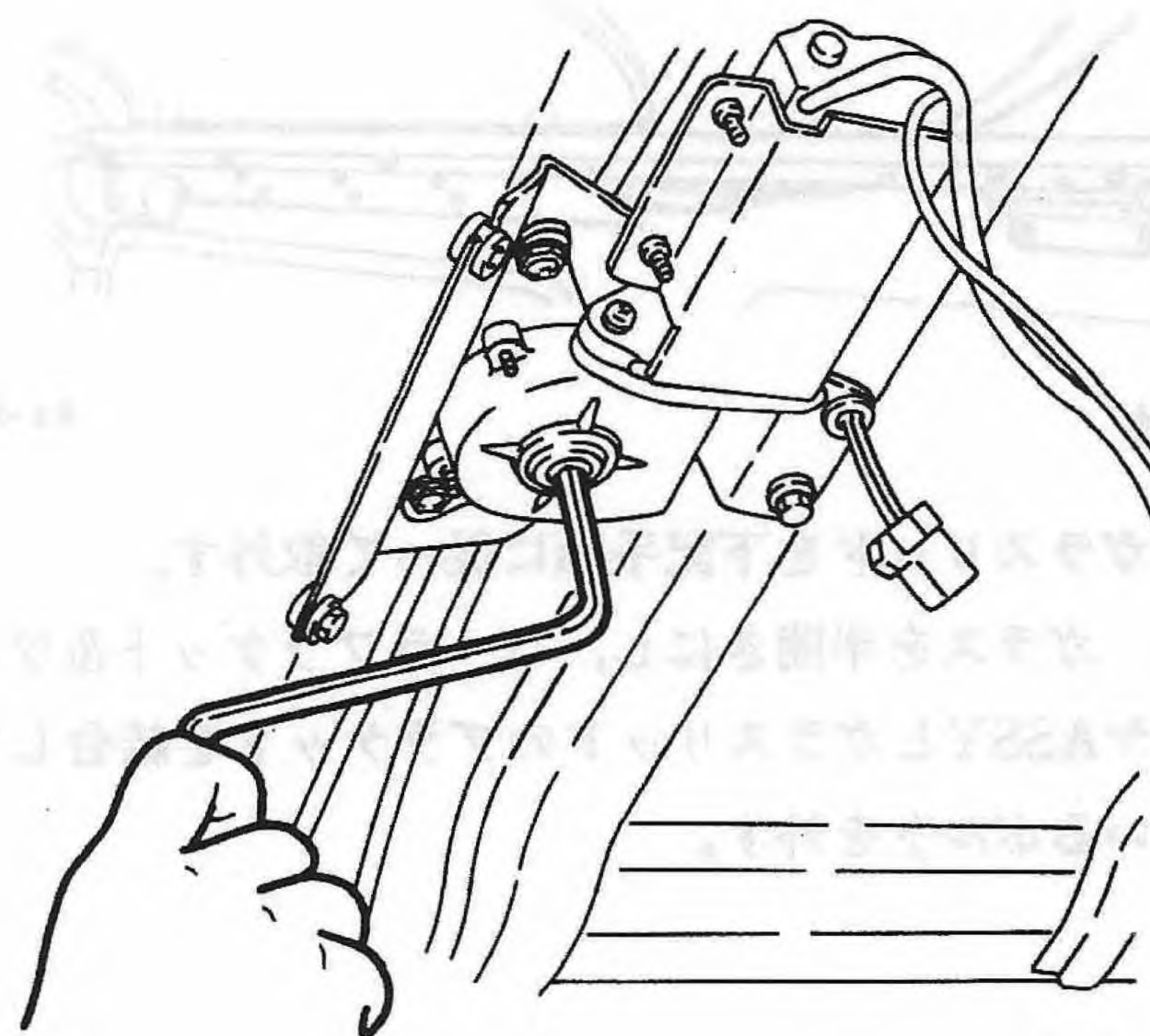


Fig.99

S5-315

- (6) 建付けの点検を行う。

- ・ガラスリッドのブラケットとフロントレールのローラブラケットとの間にシムを入れてボデーとガラスの側面方向の段差を調整する。
- ・フロントレールのローラブラケットのボルト取付穴が長穴になっているのでこれにて上下方向の段差を調整する。

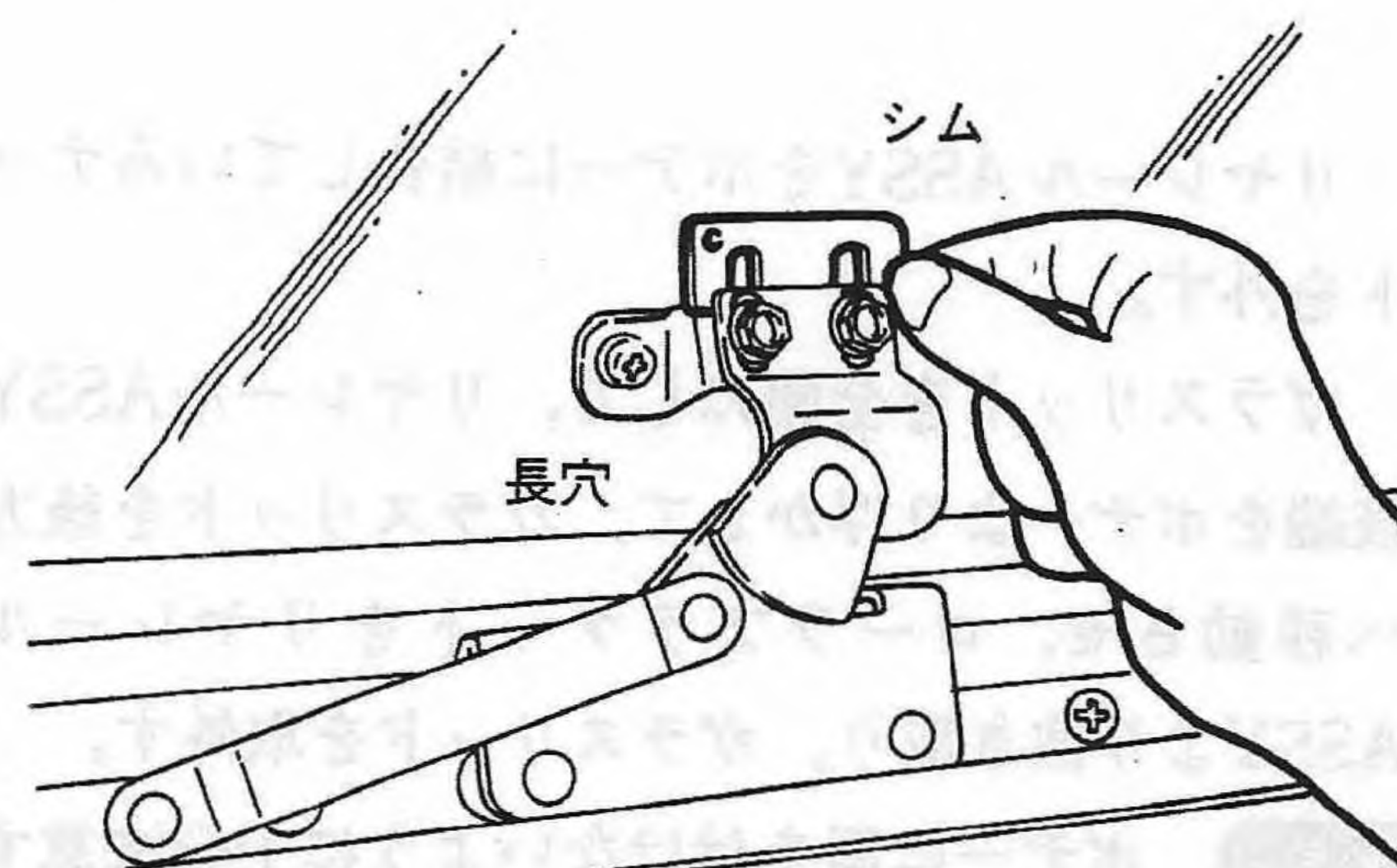


Fig.100

S5-307

脱着・点検・調整

分割

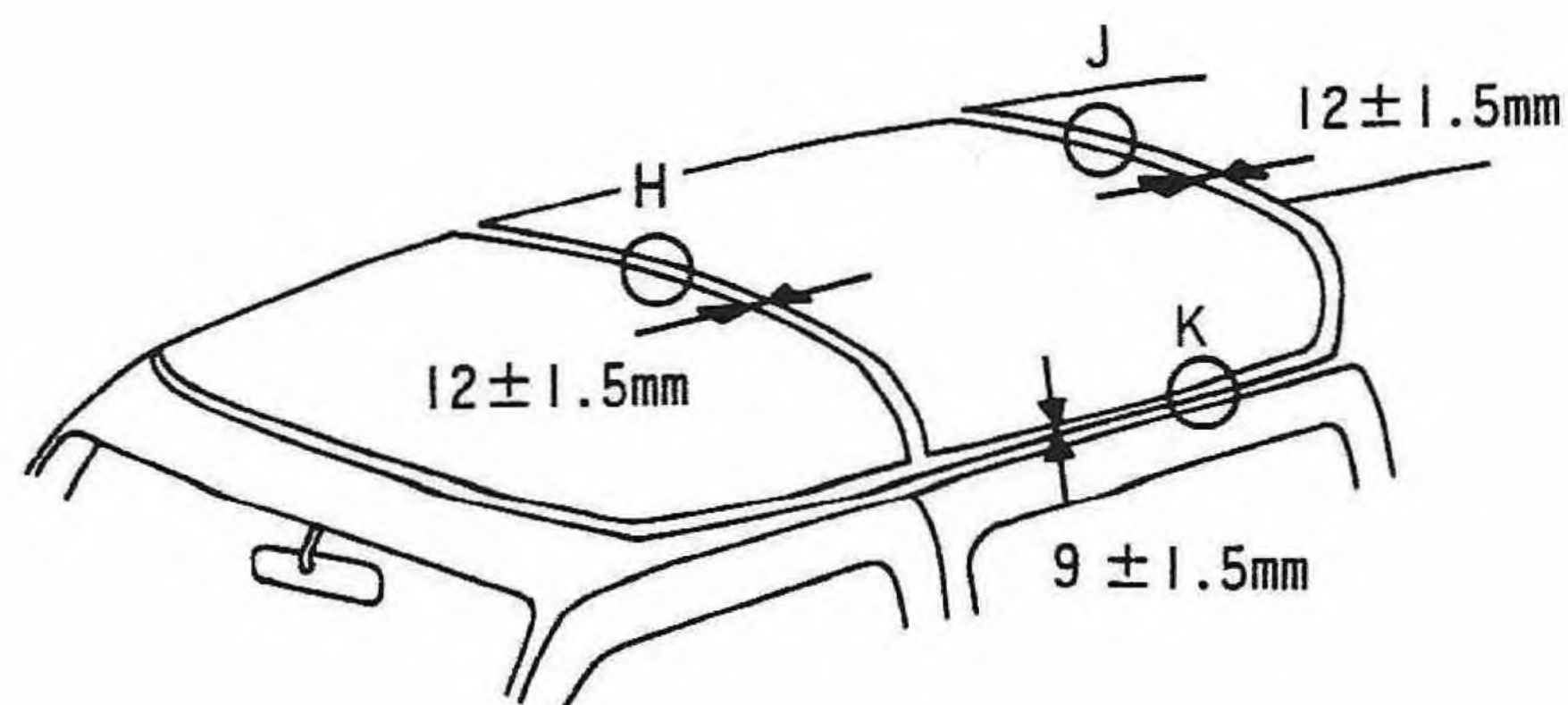
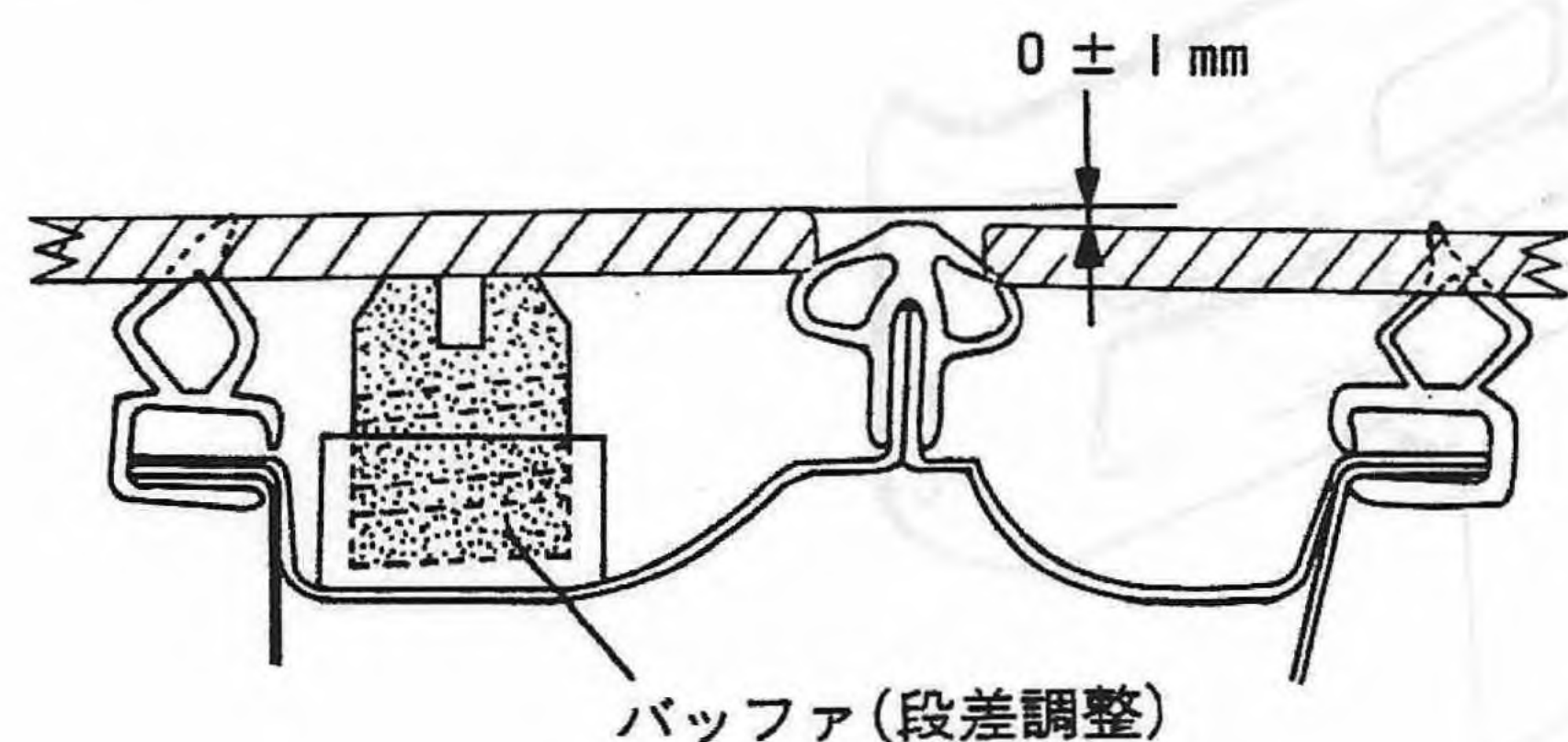


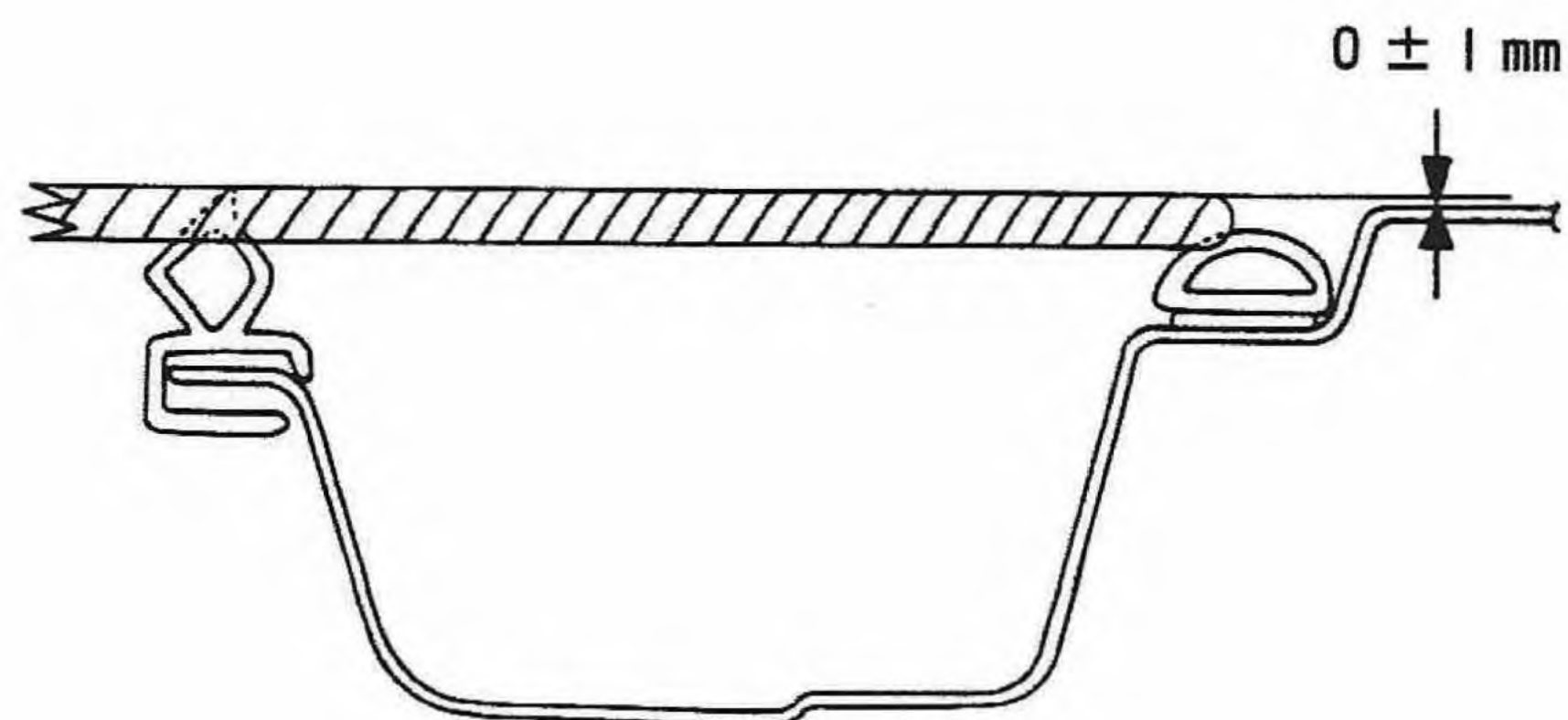
Fig.101

S5-312

段差



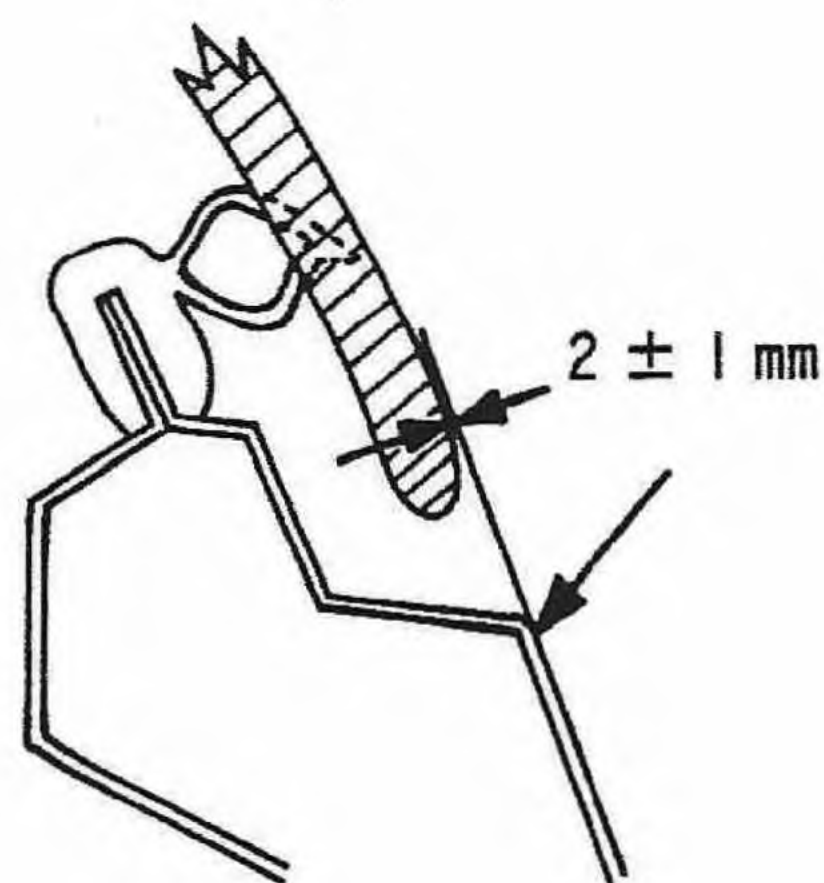
H部断面



J部断面

Fig.102

S5-313



K部断面

Fig.103

S5-304

平行度

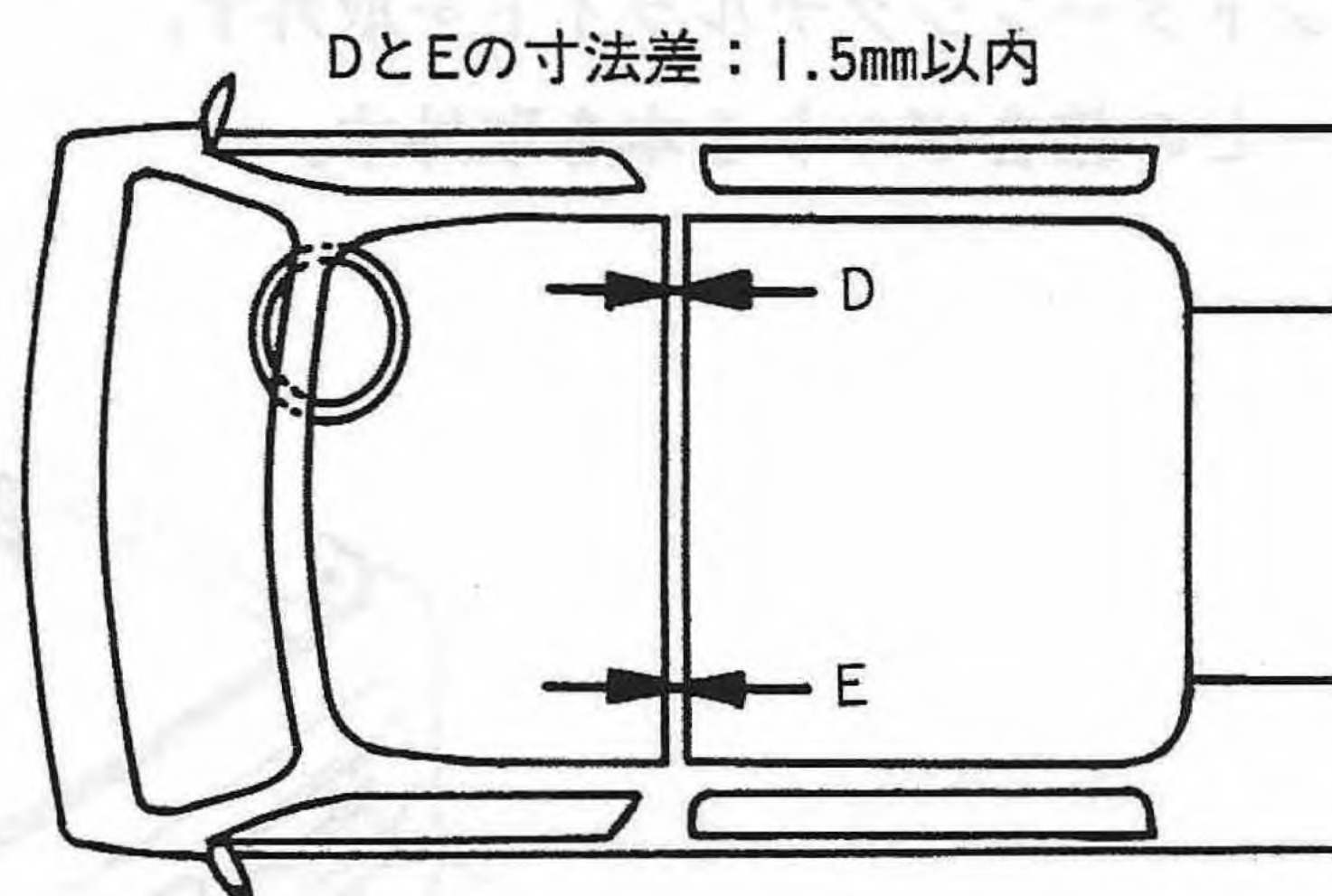


Fig.104

S5-305

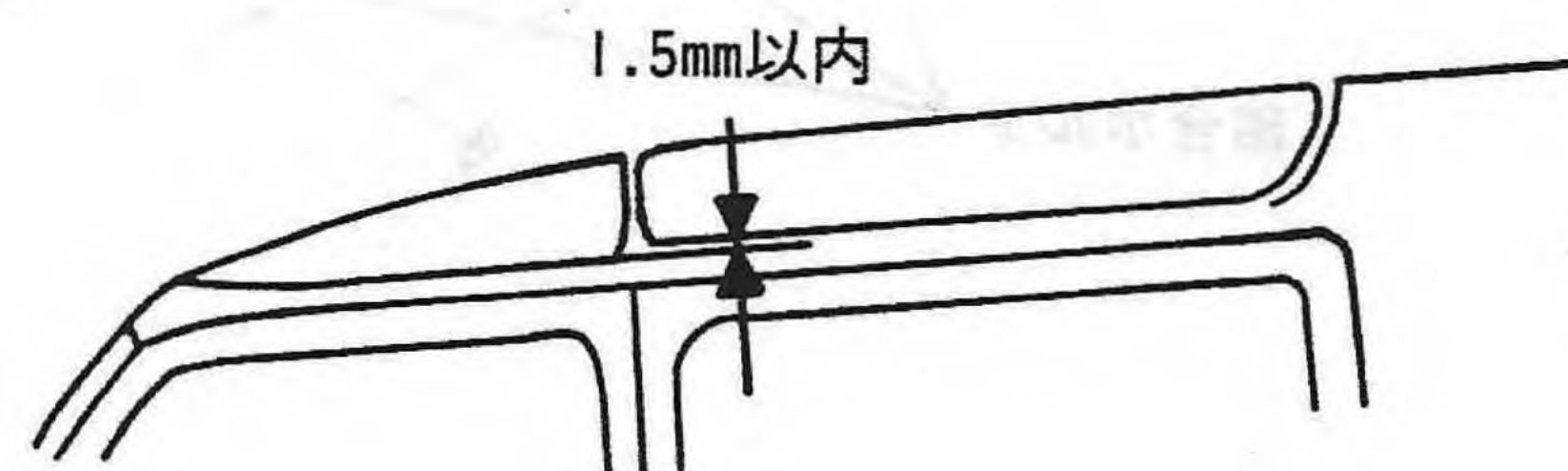


Fig.105

S5-306

(7) サンシェードを取付ける。

注意 サンシェードロックレバーのローラブラケットのピンの掛り具合を点検すること。

(8) ルーフトリムを取り付ける。

注意 ルーフトリムは取付後の点検を終了してから行うこと。

〈取付後の点検〉

- (1) 全開から全閉まで約7～9秒で作動すること。
- (2) 全閉手前約250mmにて一時停止し、再度CLOSEスイッチONにて作動すること。
- (3) ウェザストリップにしわ、折れ曲がり、リップのめくれ、コーナ部のやせ等がないこと。
- (4) 作動中に異音、引っかかり等がなく滑らかに動くこと。
- (5) サンシェードが滑らかに動き、かつハーネスと当たりなきこと。
- (6) サンルーフ全閉にて室内に水漏れがないこと。

〔1〕バンパ ■ 整備要領 (1) フロントバンパ

脱着

〈取外し〉

- (1) フロントターンシグナルライトを取外す。
- (2) ボデーとの結合ボルト 6 本を取外す。

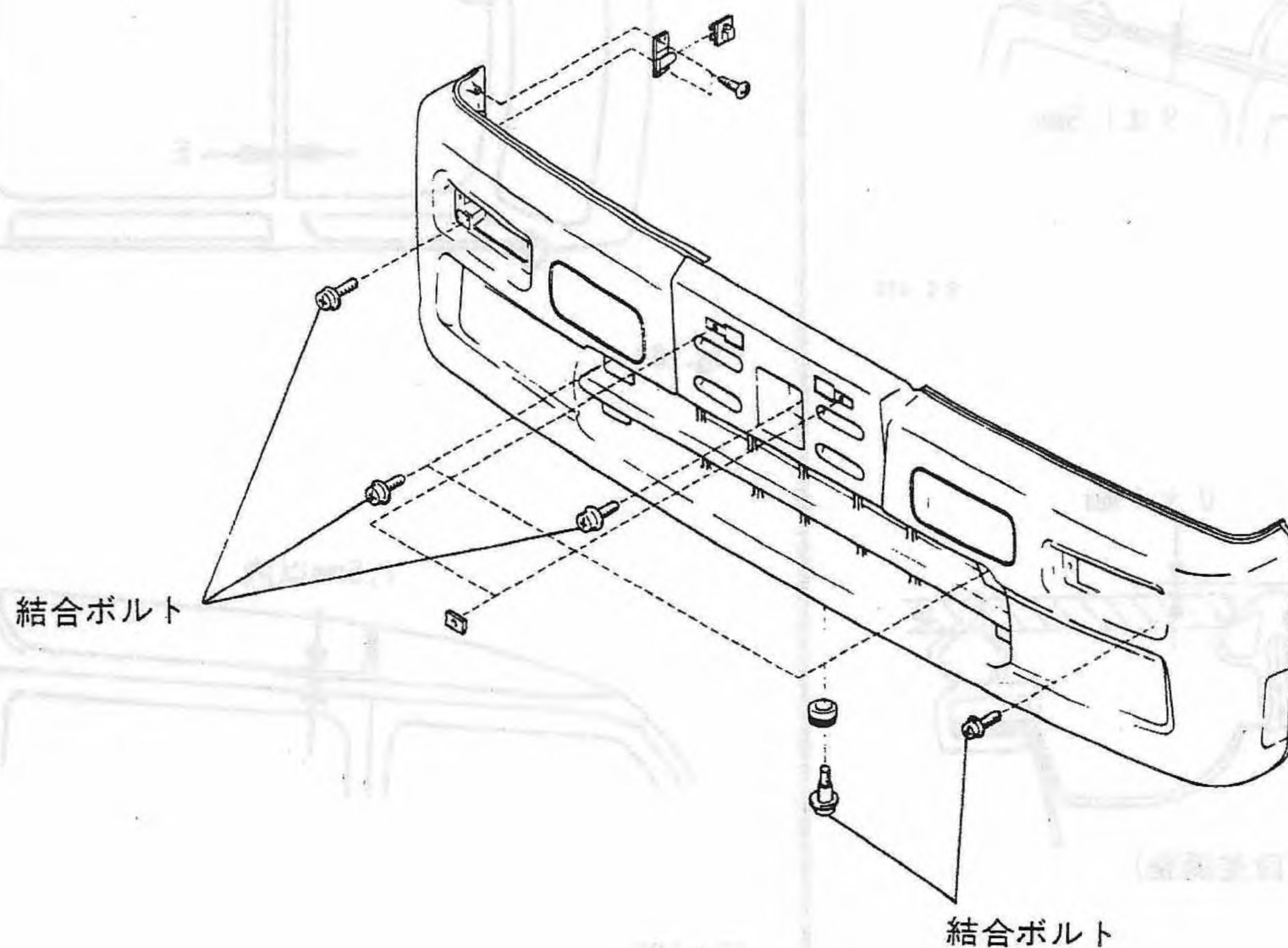


Fig. 1

S5-193

〈取付け〉

取外しの逆順序に行なう。

(2) リヤバンパ(バン系), エンジンフード(トラック系)

脱着

(エンジンフードも同様。)

〈取外し〉

(1) コネクタを外す。(トラックのみ)

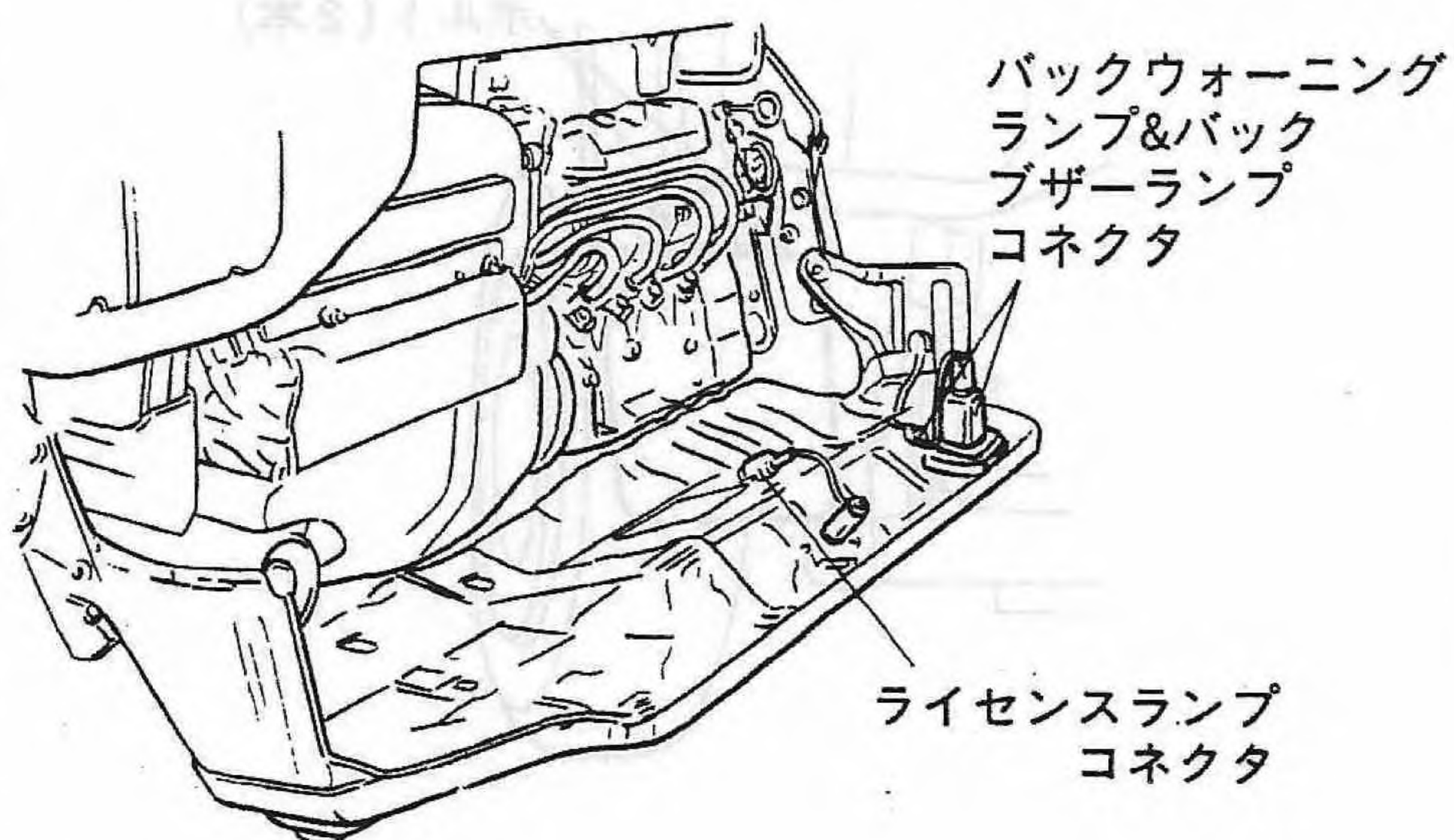


Fig. 2

S5-189

(2) 左側のヒンジ取付ナット2個を外す。

(3) 右側のヒンジ取付ボルト2本を取外す。

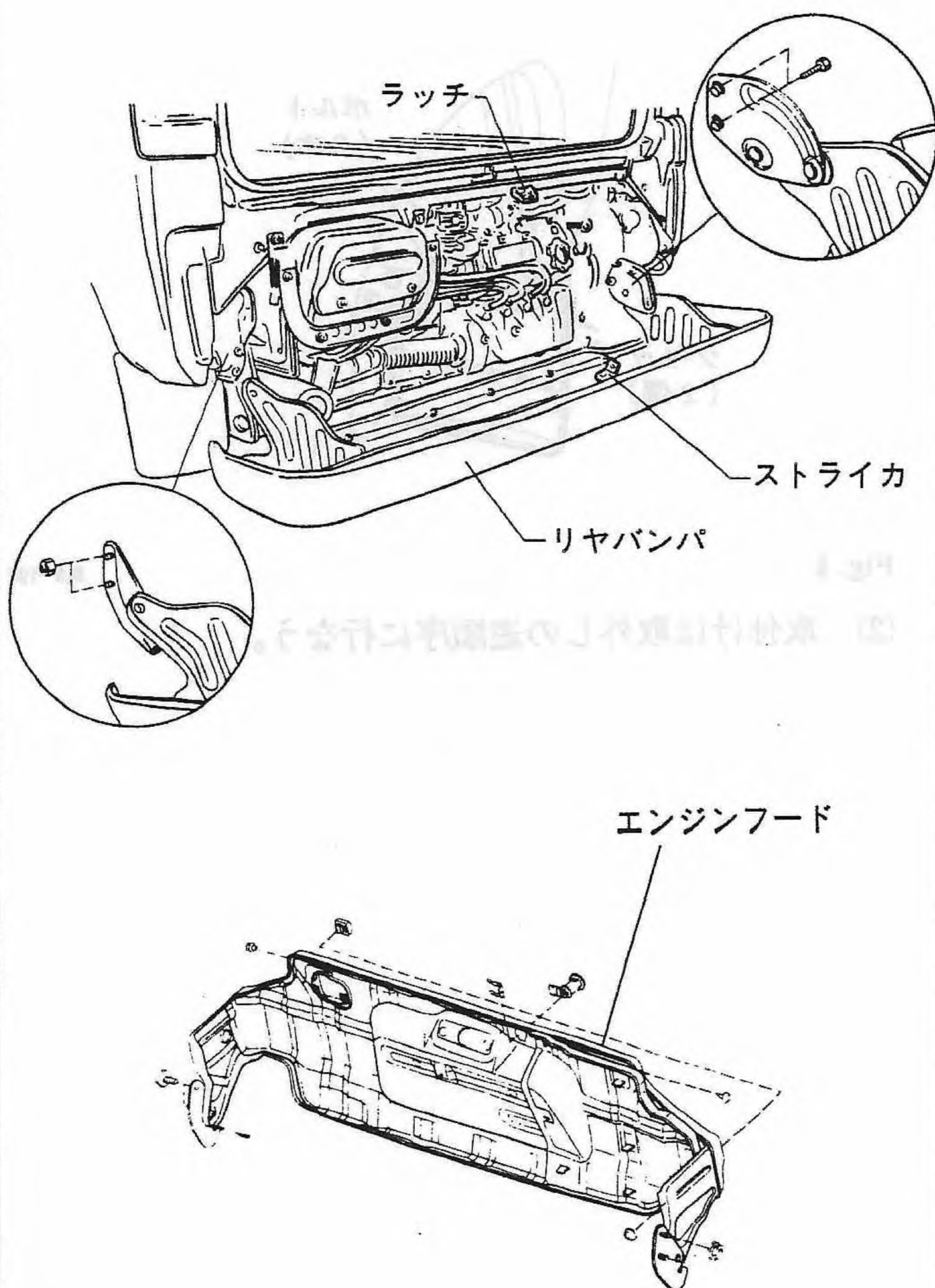


Fig. 3

S5-194

(4) バンパの右側を手前に引き、バンパを右側に移動して取外す。

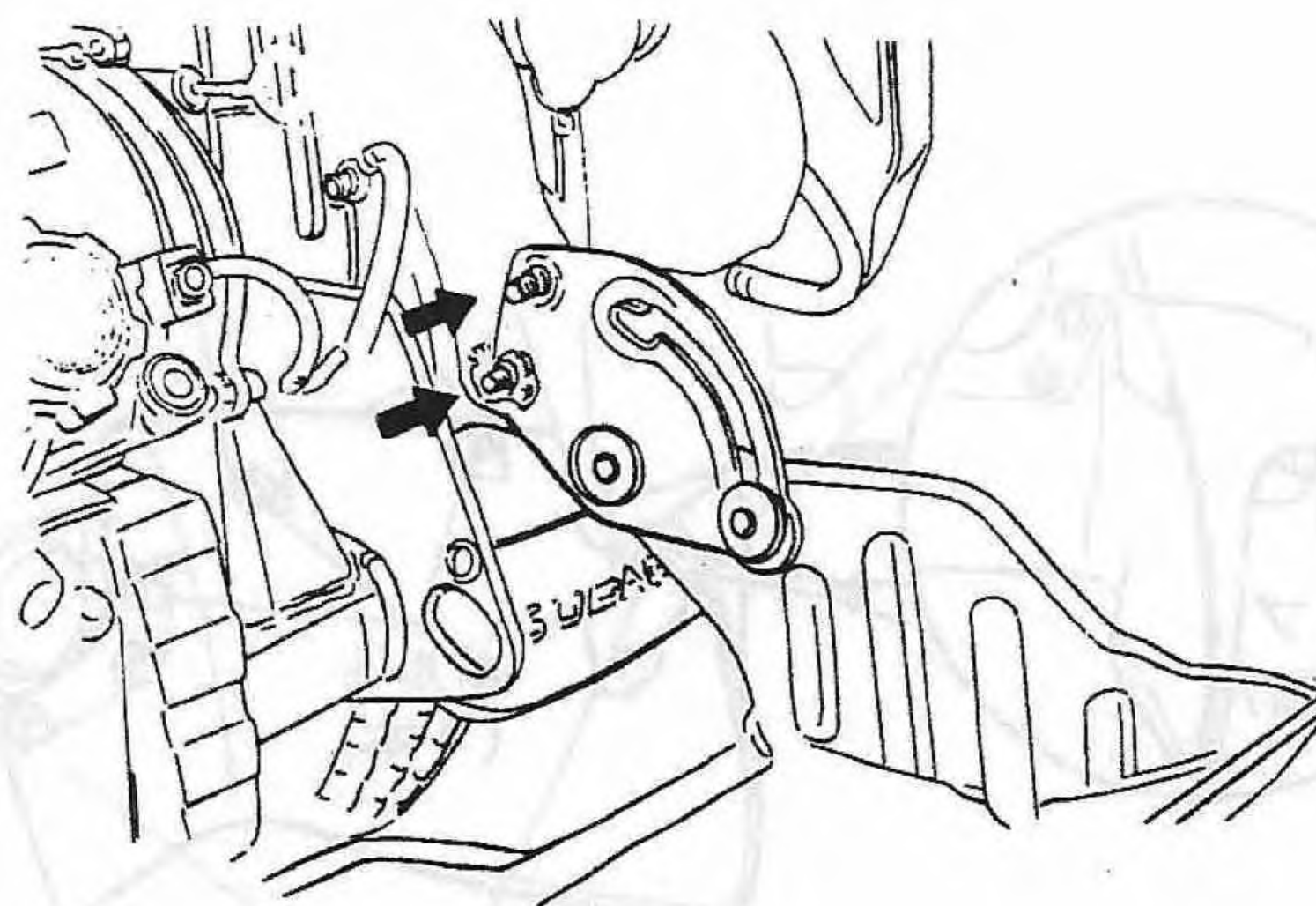


Fig. 4

S5-195

(5) ラッチとストライカを取外す場合は、取付ボルトを外して取外す。

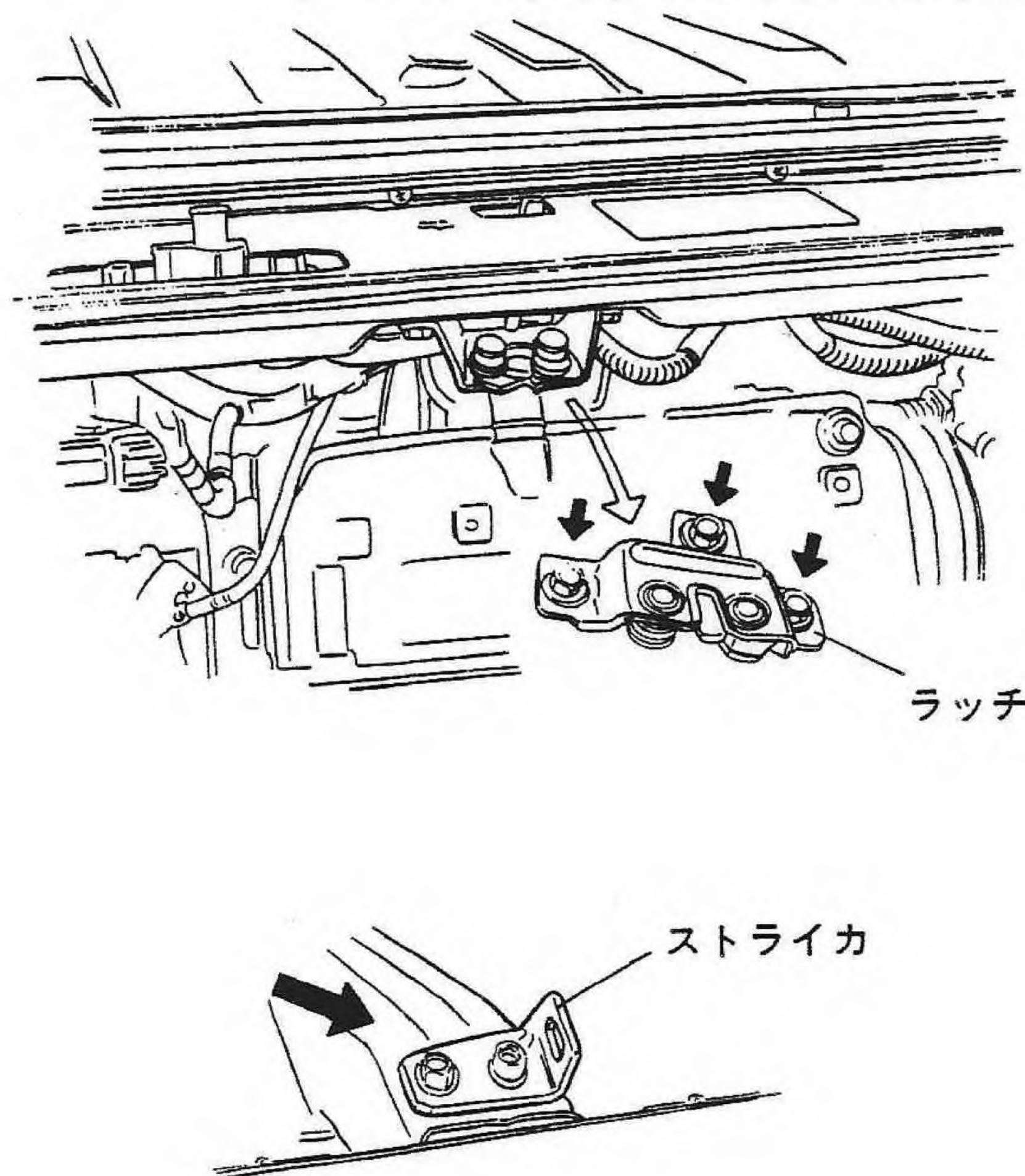


Fig. 5

S5-275

〈取付け〉

取外しの逆順序に行なう。

〔2〕 マッドガード ■ 整備要領

脱着

＜フロント＞

- (1) 取付けボルト及びクリップを外して取外す。

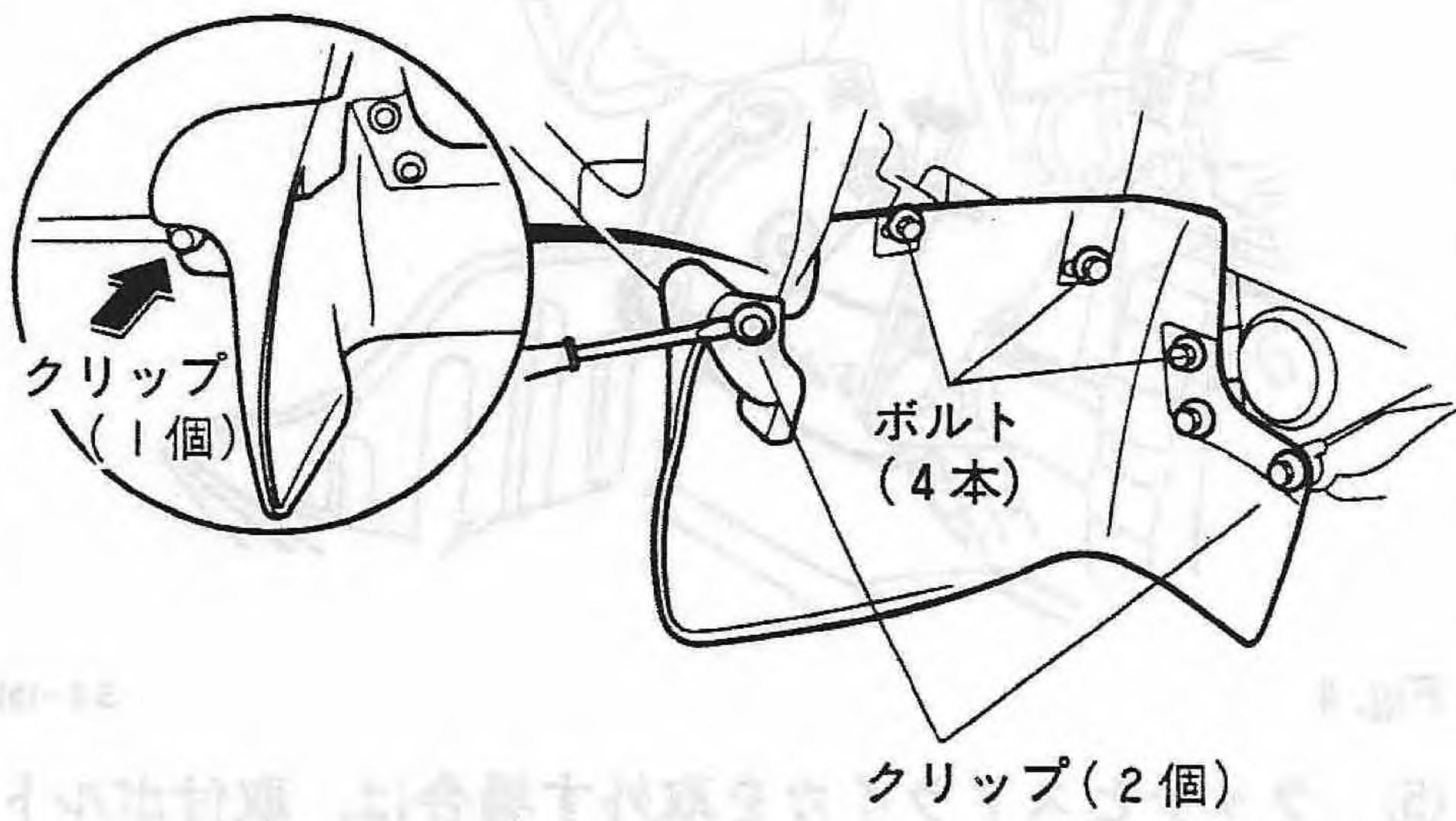


Fig. 6

S 5-196

- (2) 取付けは取外しの逆順序に行なう。

＜リヤ＞

- ・トラック

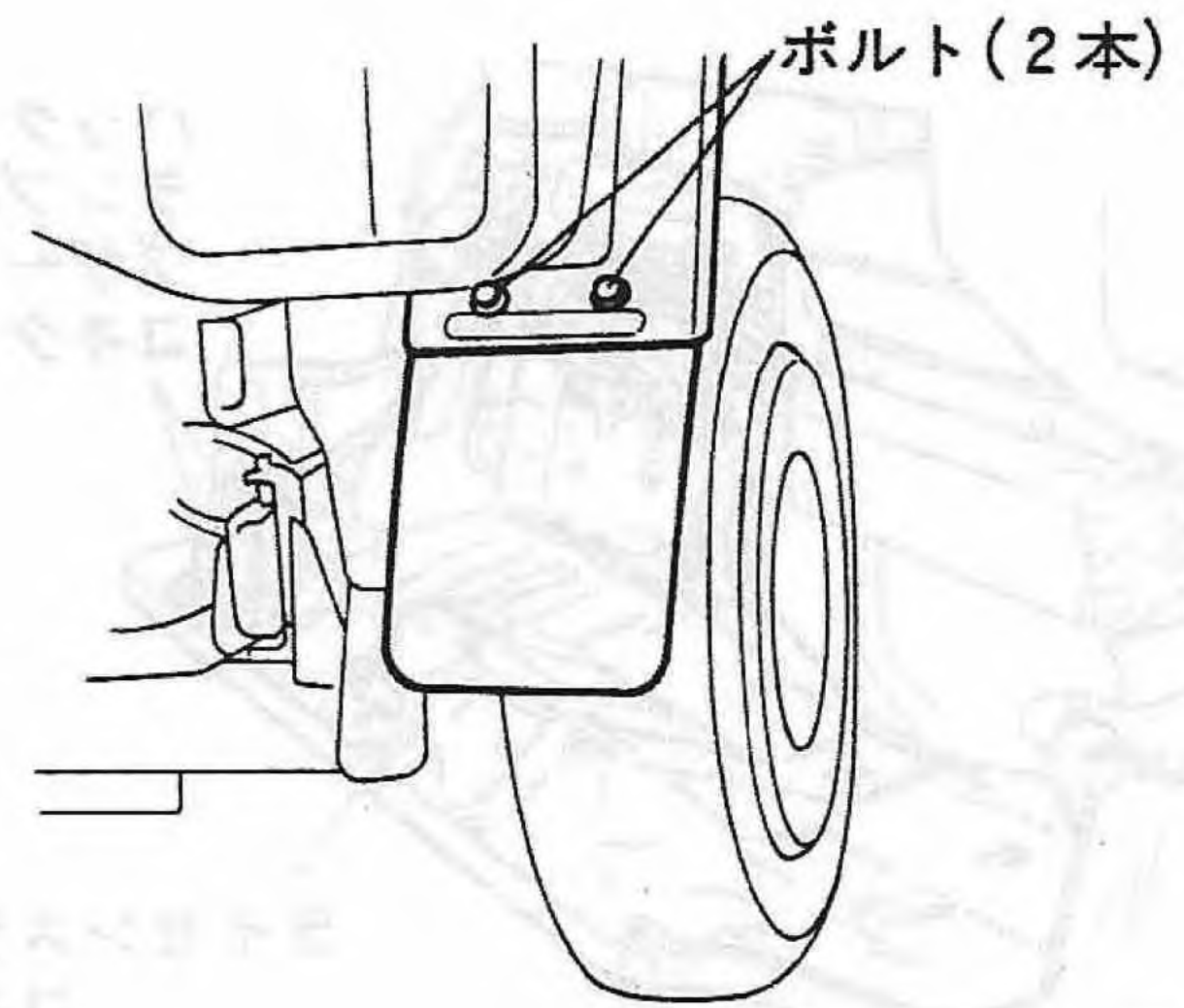


Fig. 7

S 5-197

- ・バン

- (1) 取付けボルト及びクリップを外して取外す。

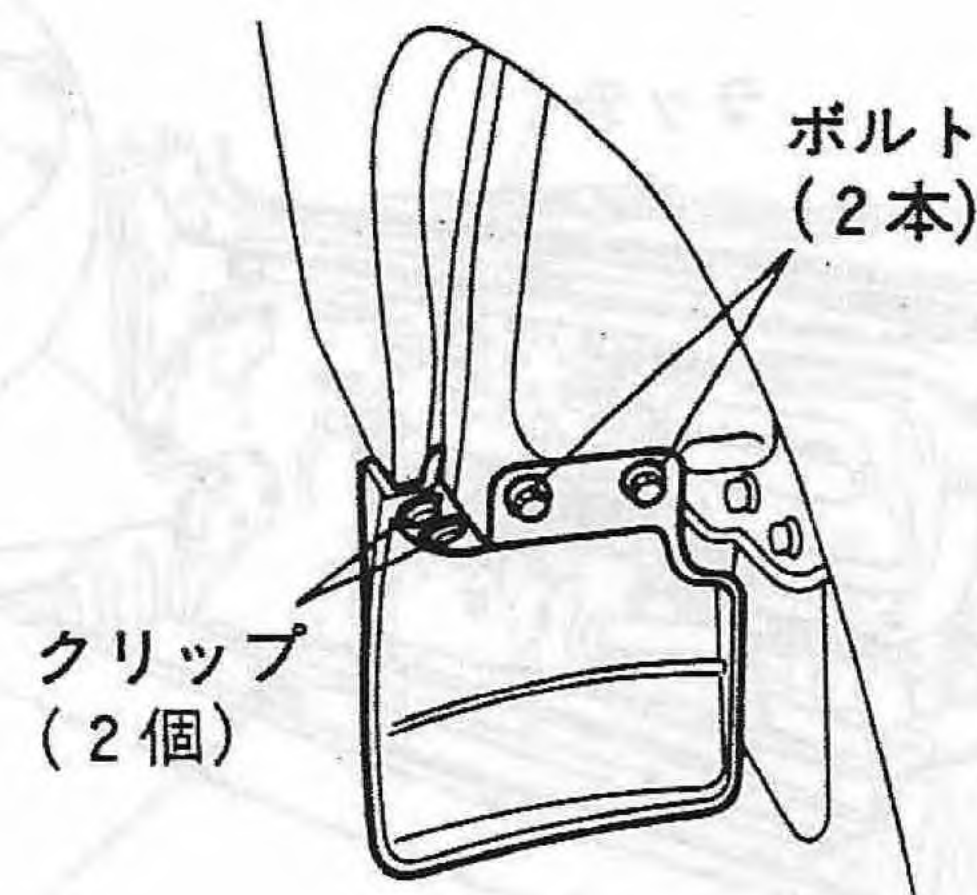


Fig. 8

S 5-198

- (2) 取付けは取外しの逆順序に行なう。

〔 3 〕 アンダガード ■ 整備要領

脱着

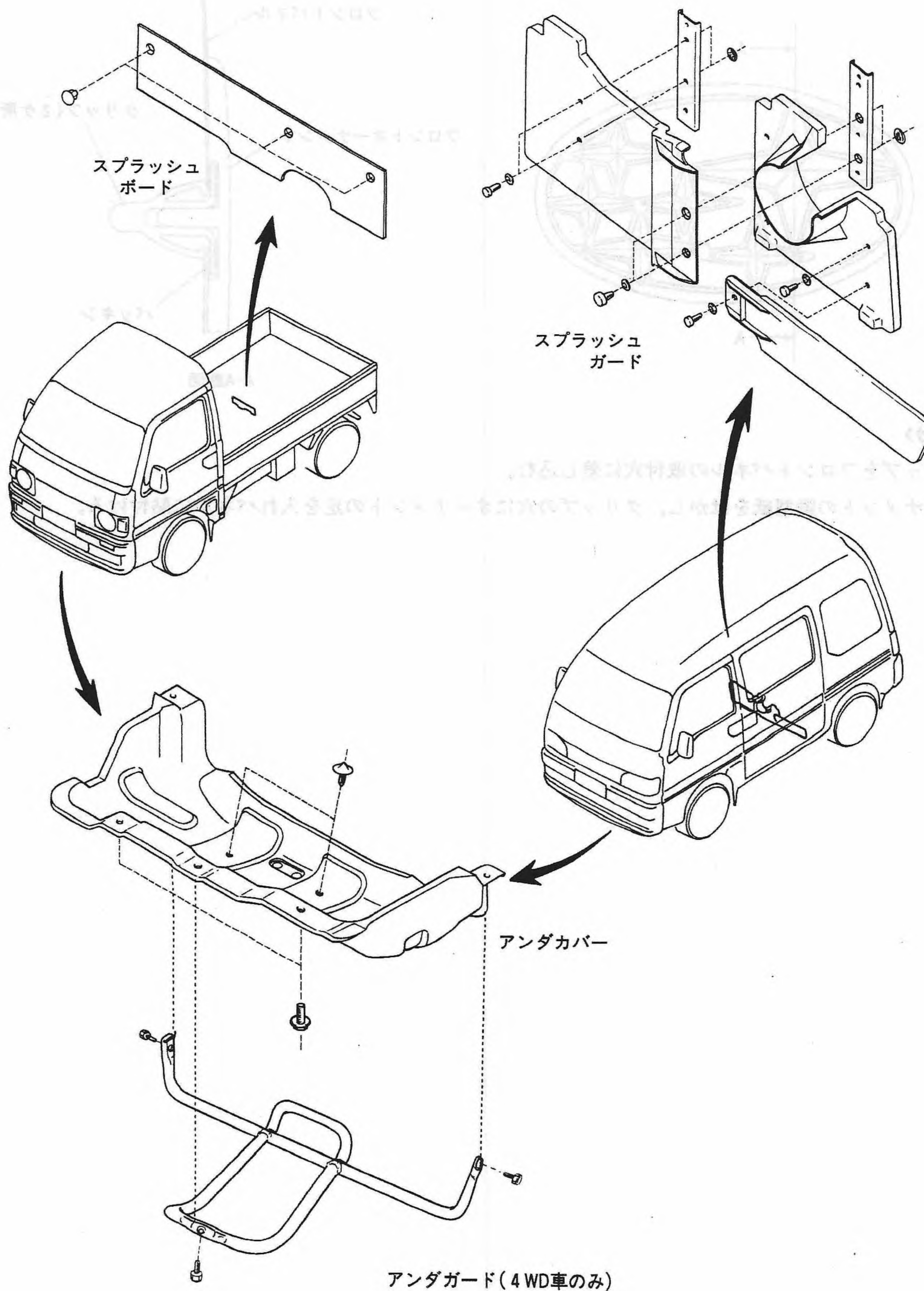


Fig. 9

〔4〕 マーク類 ■ 整備要領

脱着

- ・フロントオーナメント

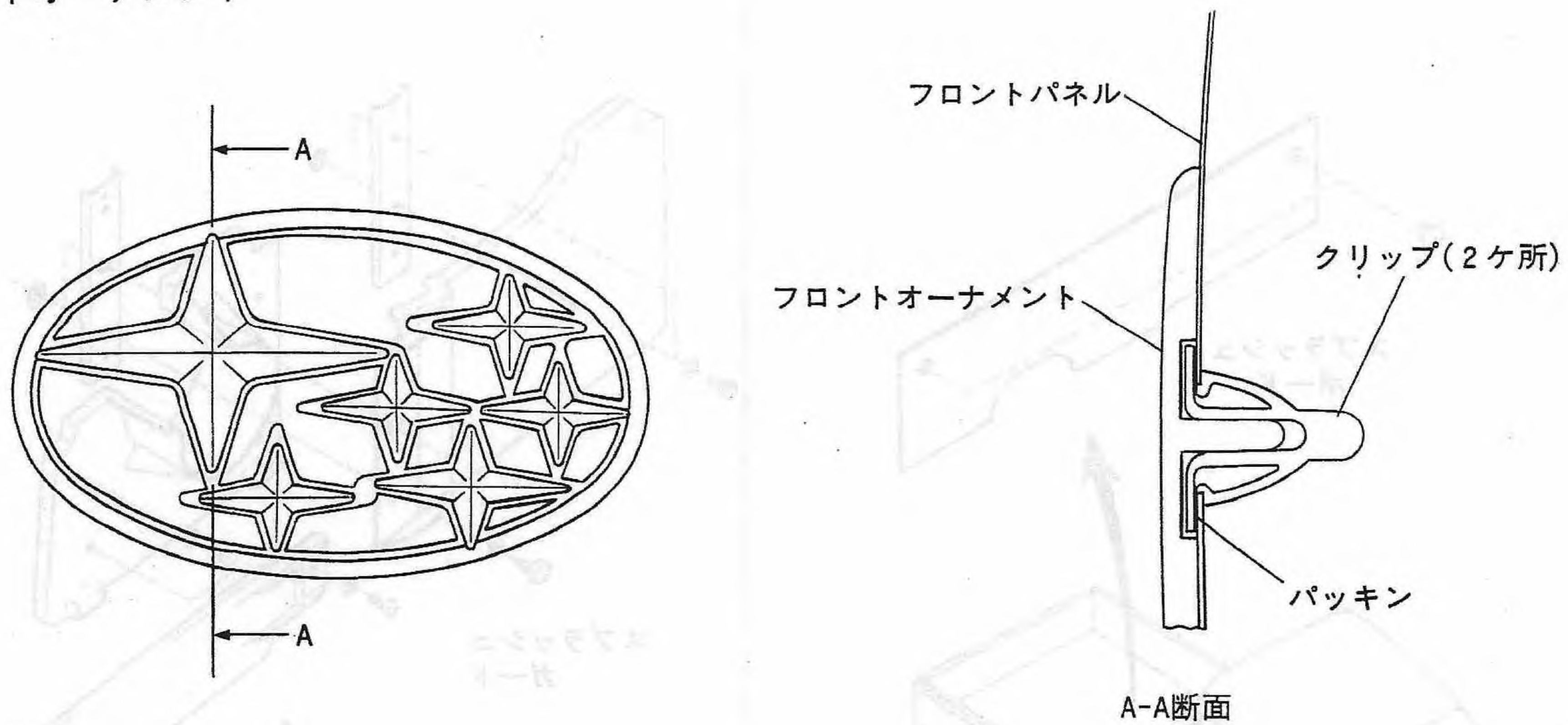


Fig.10

〈取付け〉

- (1) クリップをフロントパネルの取付穴に差し込む。
- (2) オーナメントの離型紙をはがし、クリップの穴にオーナメントの足を入れパネルに貼付ける。

S 5-200

〔5〕 アウタミラー ■整備要領

脱着

1. 一般ドアミラー

- (1) ドアトリム・カバーガセットを取外す。

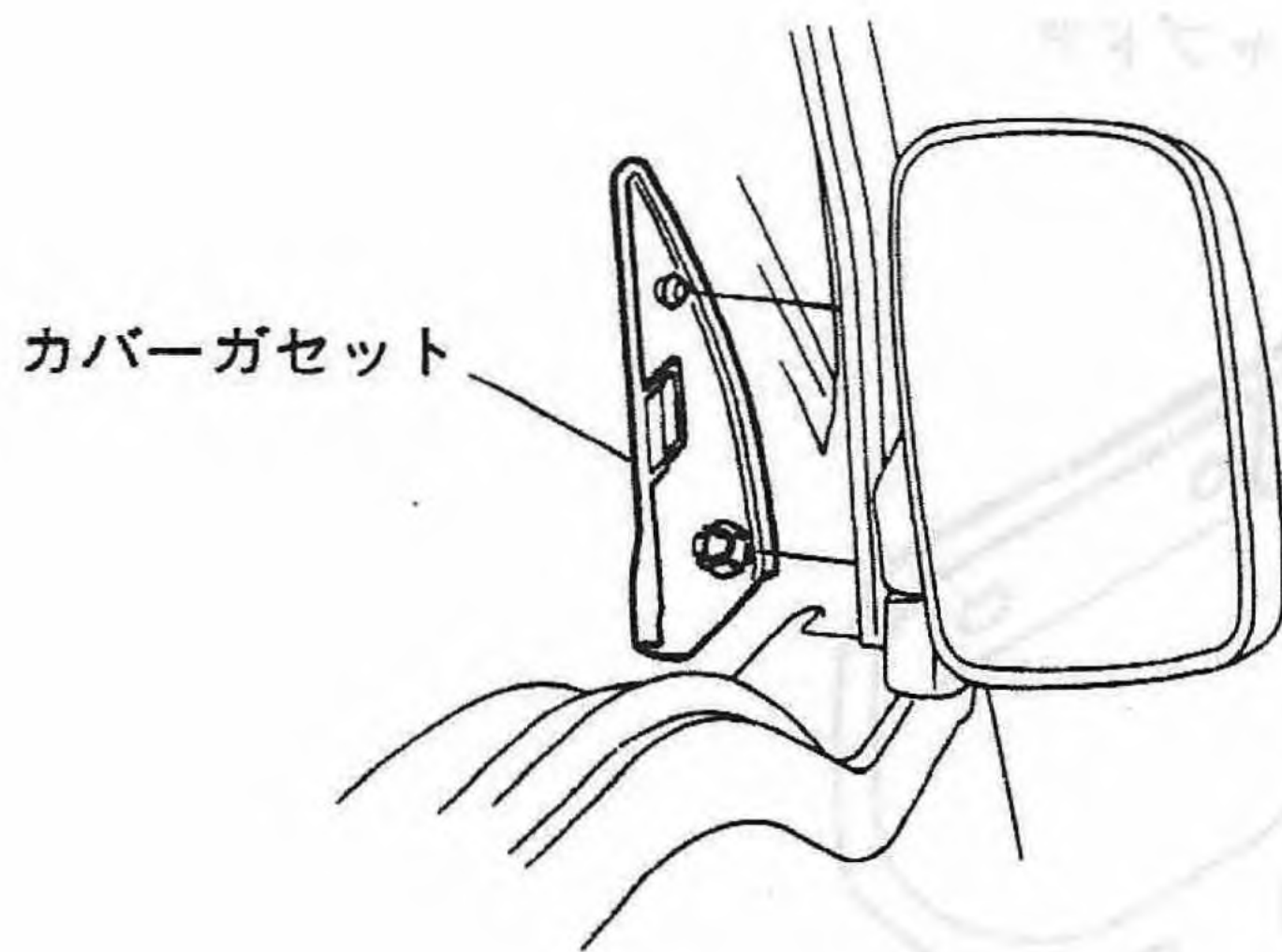


Fig.11

S5-201

- (2) フランジボルト(3本)をゆるめてミラーを取外す。

注意

ボルトを取外すとき、ドアパネル内に落とさぬよう、十分に注意すること。

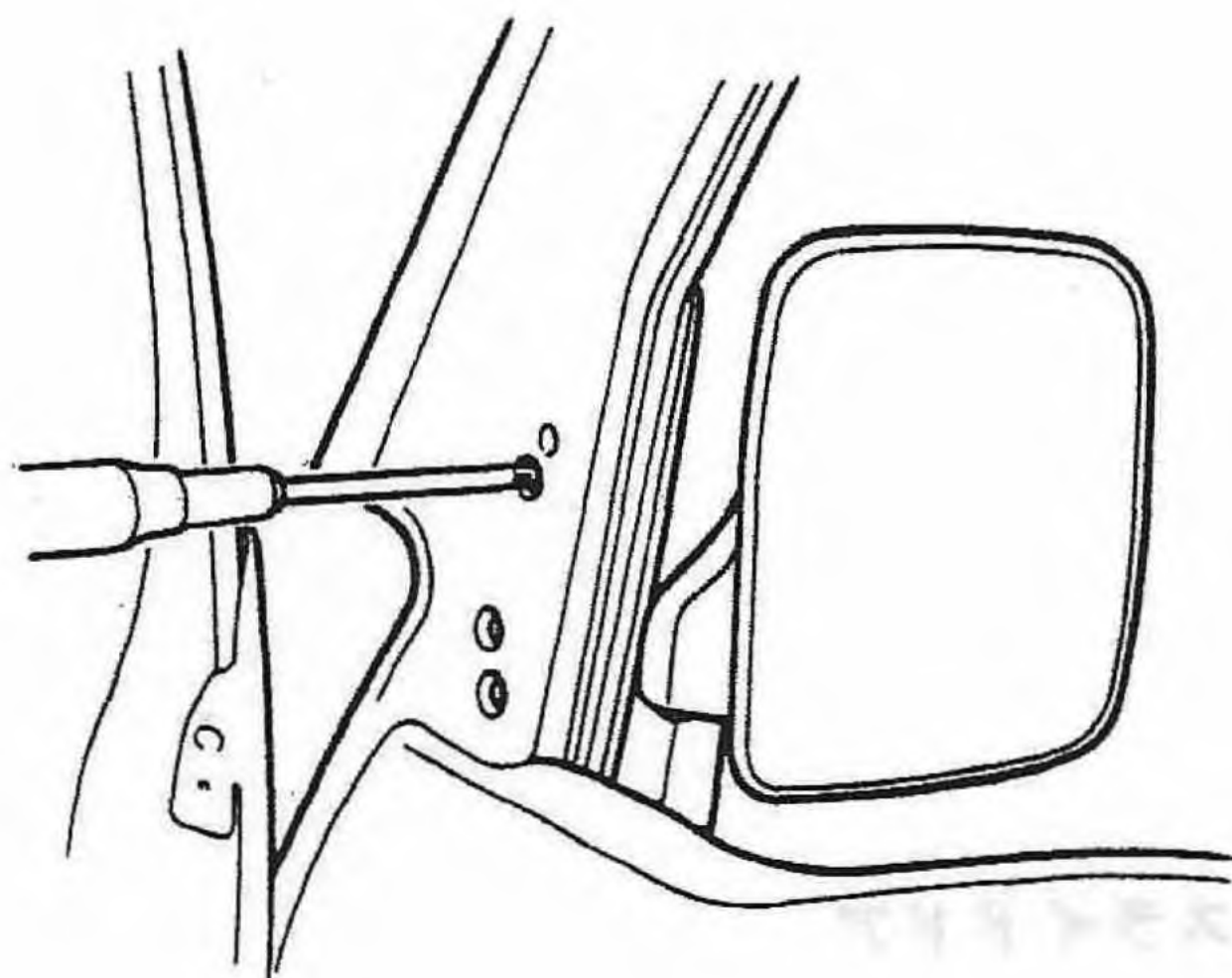


Fig.12

S5-209

- (3) 取付けは取外しの逆順序に行なう。

2. 大型ドアミラー

- (1) ドアトリム・カバーガセットを取外す。

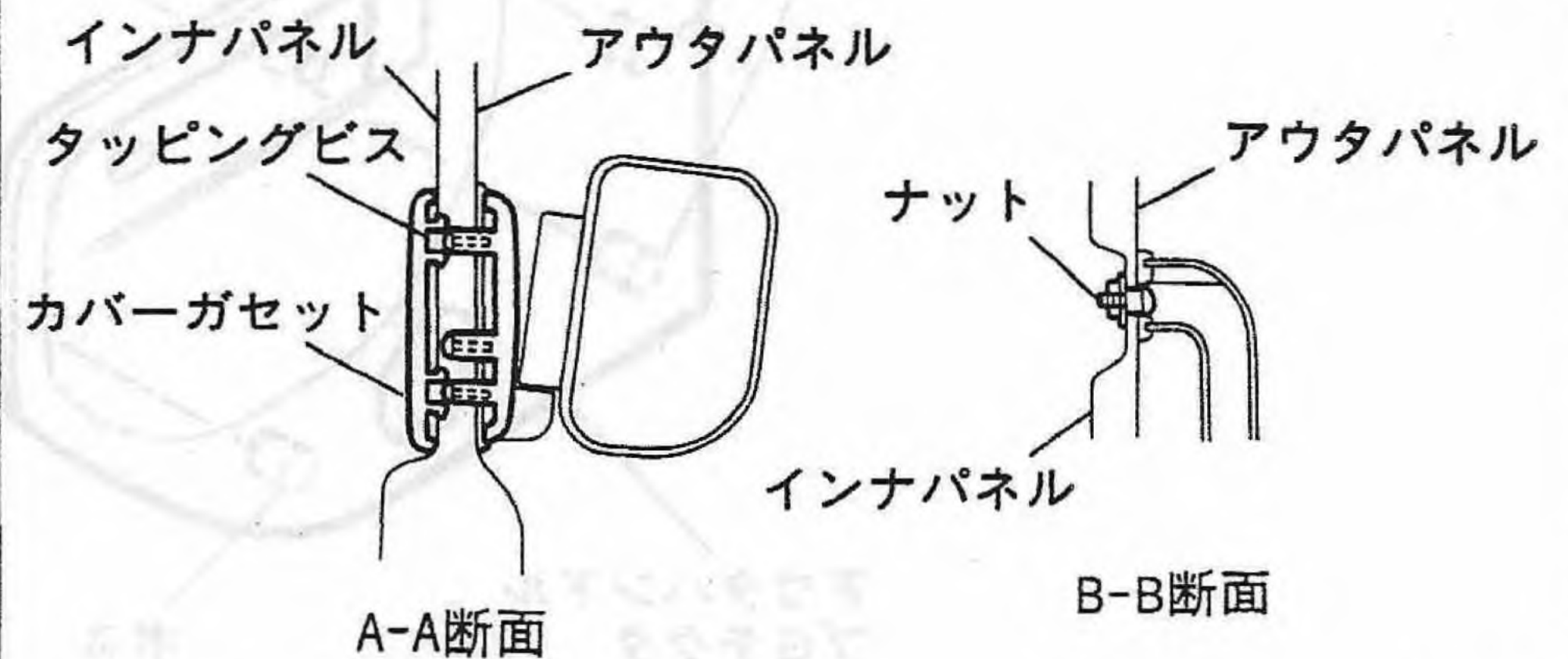
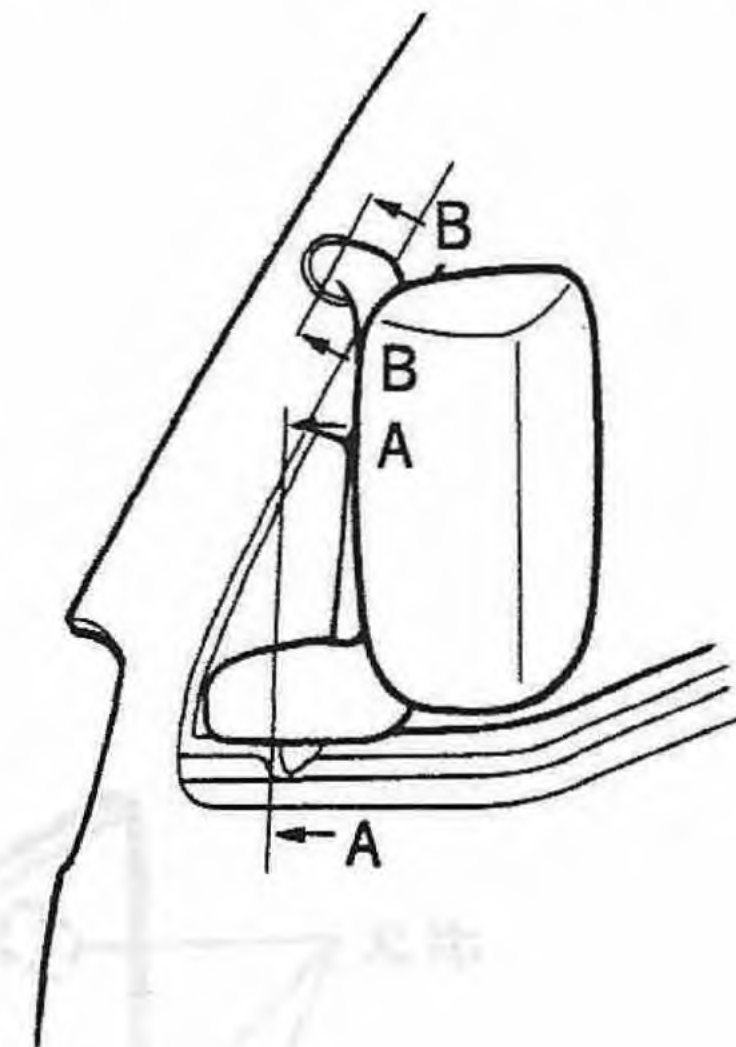


Fig.13

S5-202

- (2) ドアミラー本体を支え、タッピングスクリュ3本とナットを外し、ドアミラーを取外す。
(3) 取付けは取外しの逆順序に行なう。

〔6〕 アウトハンドルプロテクタ(トライ) ■整備要領

脱着

〈キャブドア〉

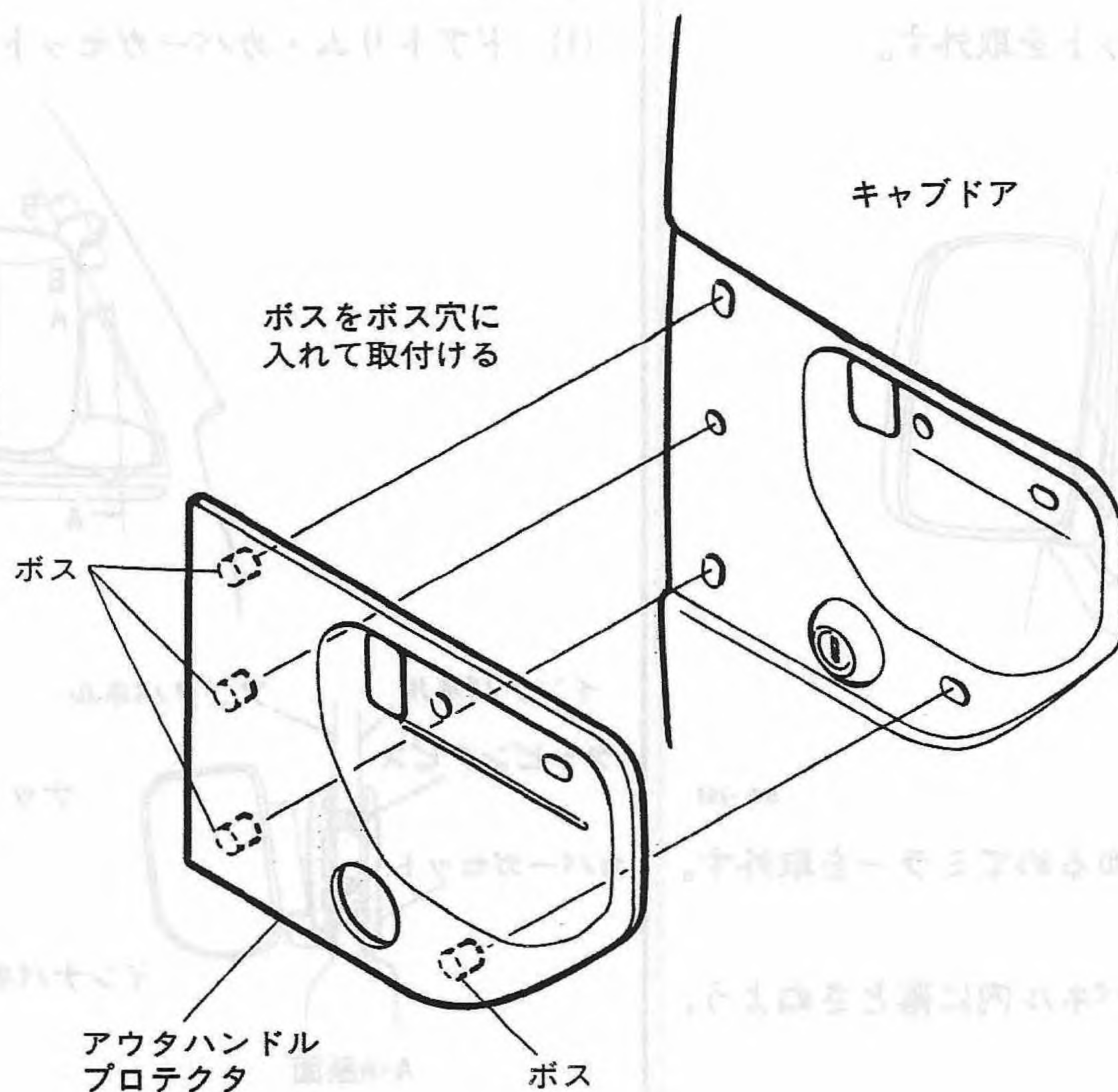


Fig. 14

S5-203

〈スライドドア〉

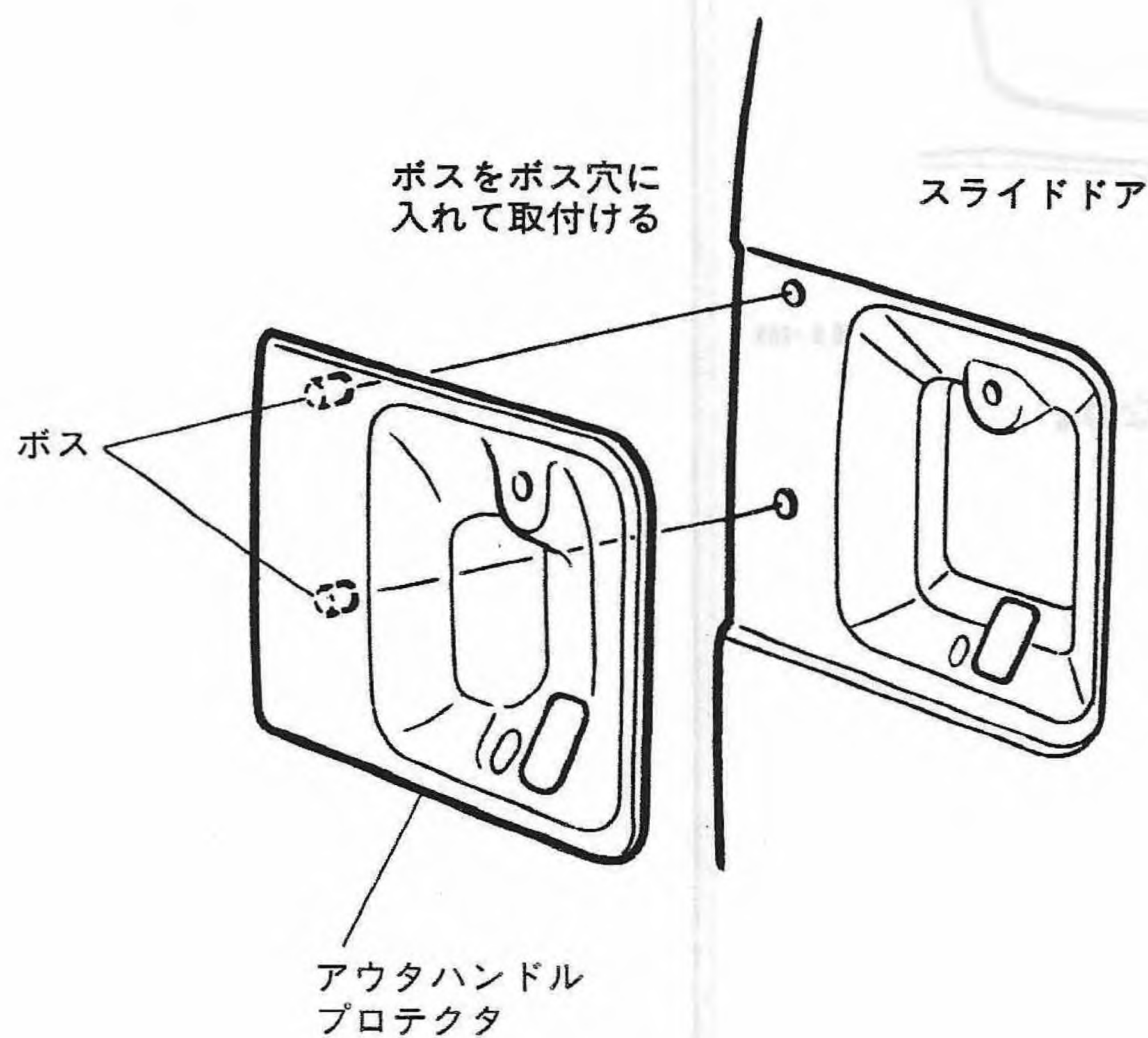


Fig. 15

S5-204

〔7〕 アウトパーツ ■整備要領

脱着

バン(トライ)

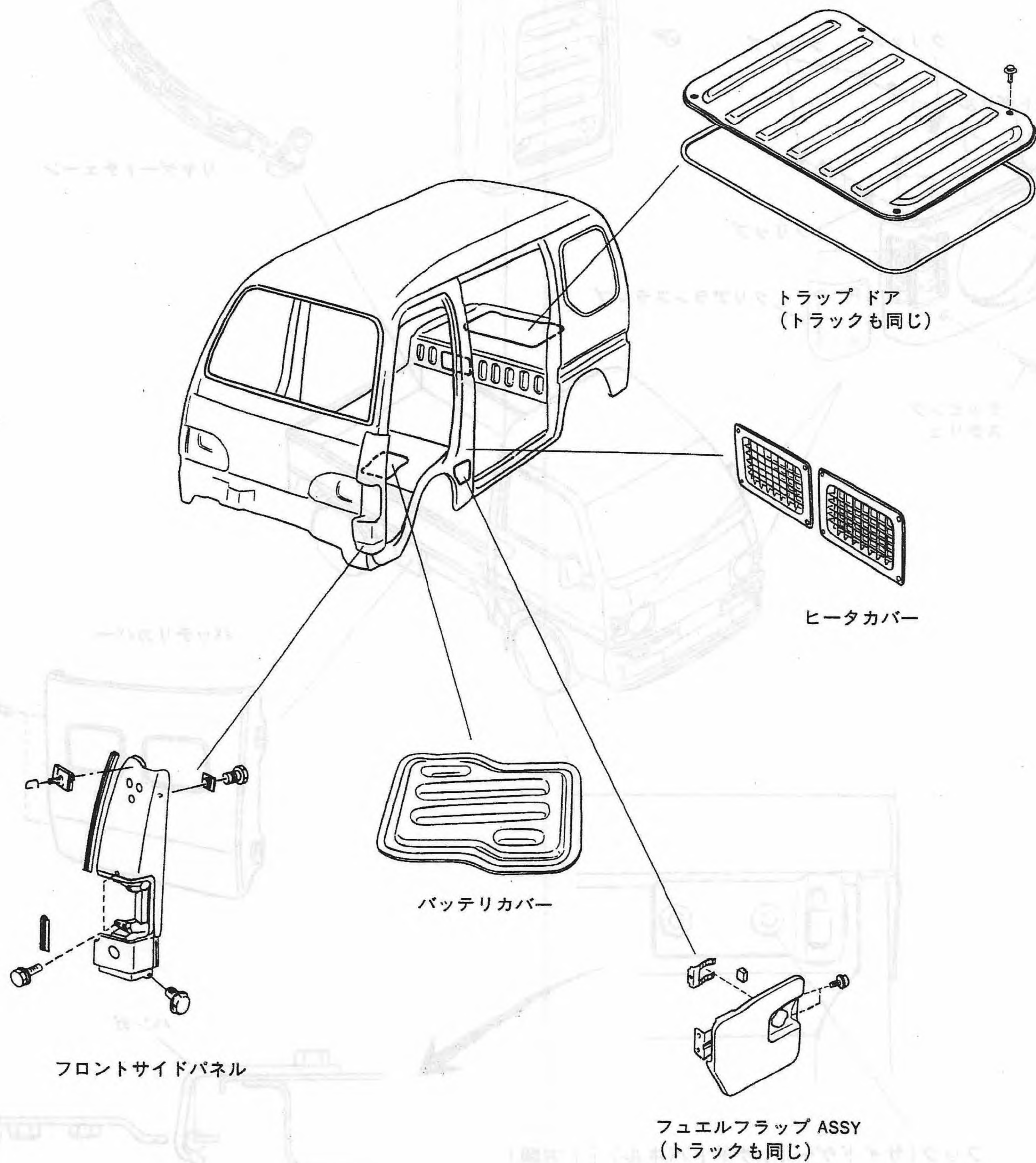


Fig.16

脱着

トラック

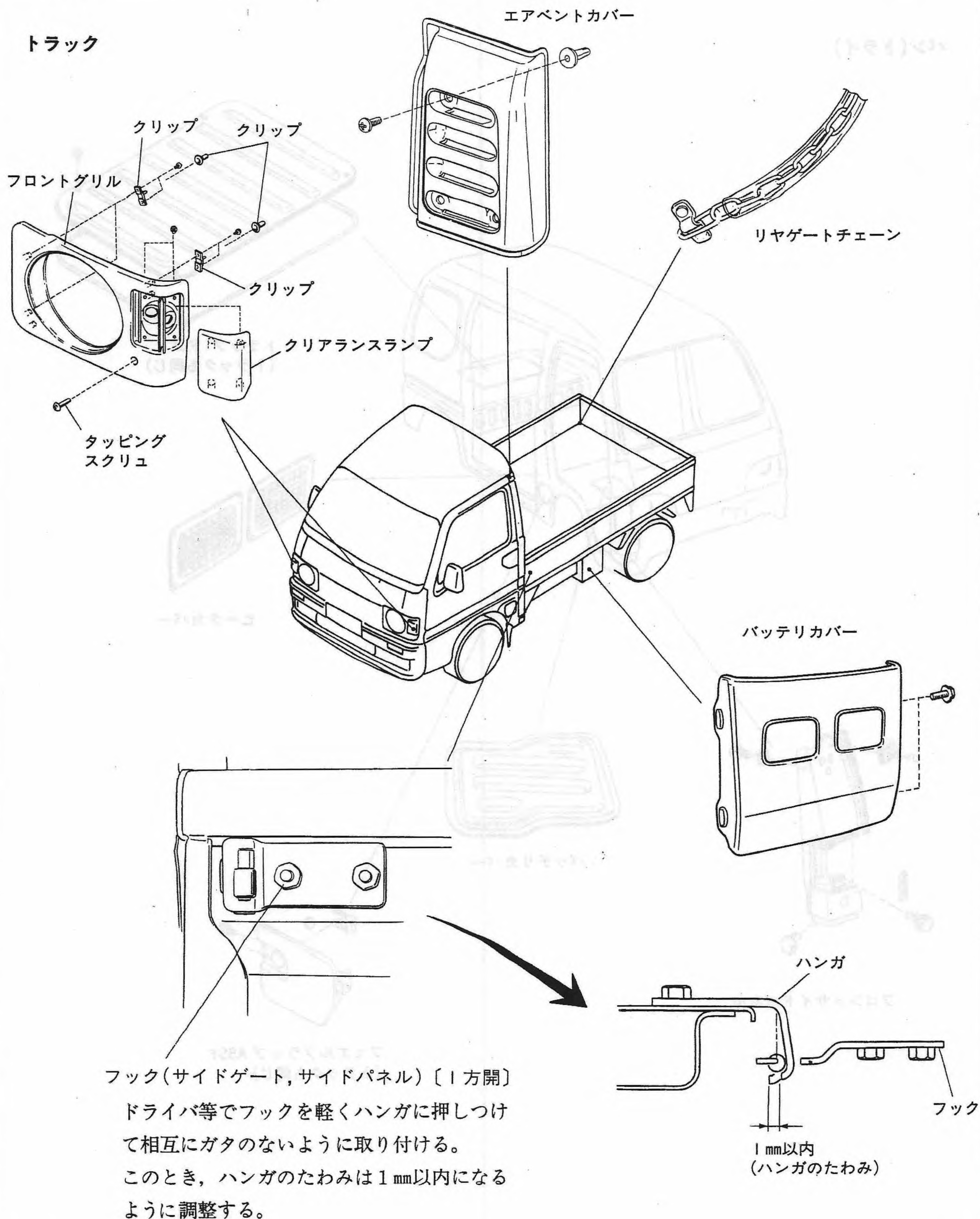


Fig.17

S 5-206

〔 8 〕 乗降用ステップ(トライXV) ■ 整備要領

脱着

〈取外し〉

- 1) フランジナット(8mm)を外す。(4個)

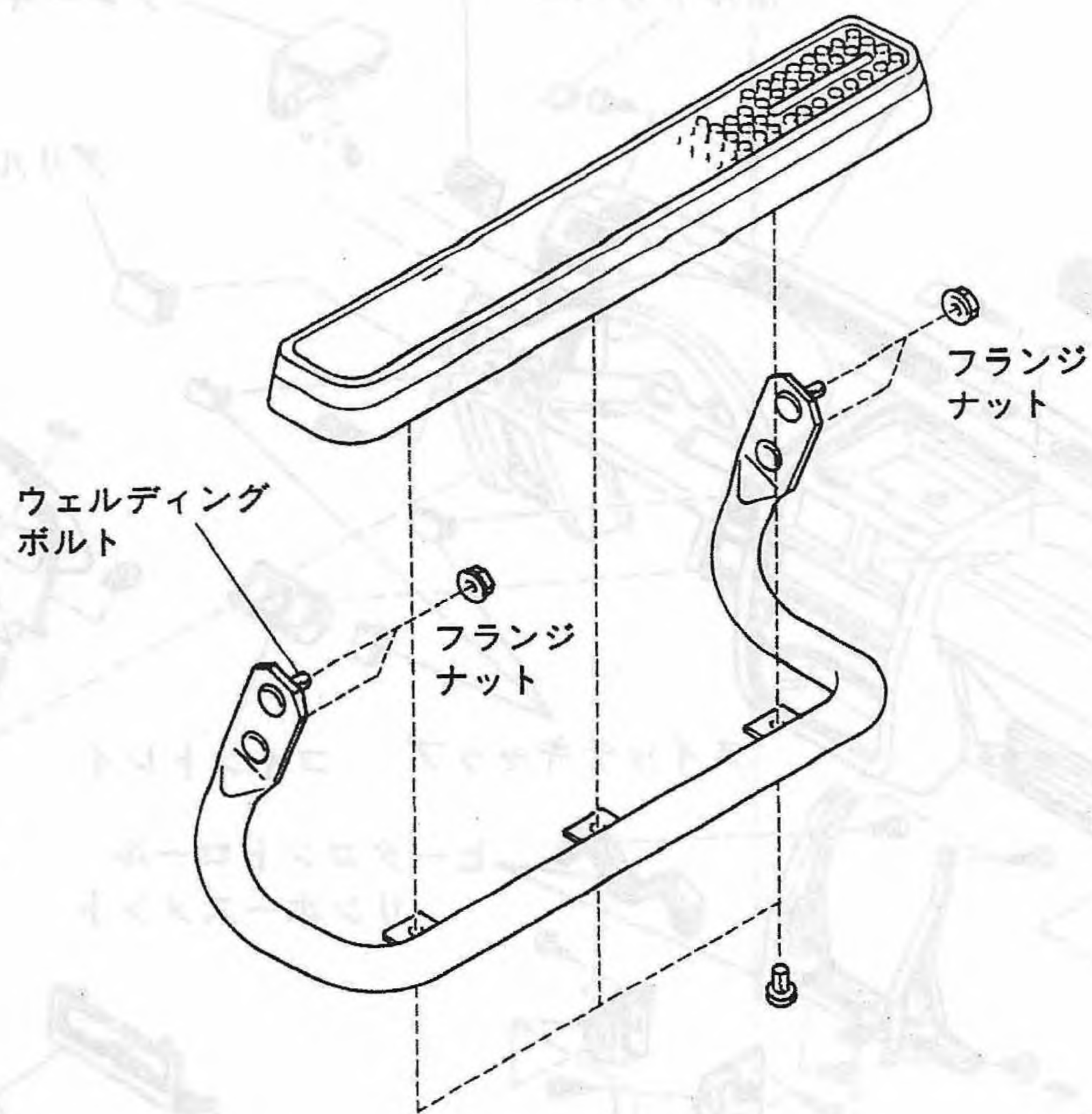


Fig.18

- 2) 傷を付けないように前側に移動しながら取外す。

〈取付け〉

取外しの逆順序に行なう。



〔1〕 インストルメントパネル ■ 構成部品

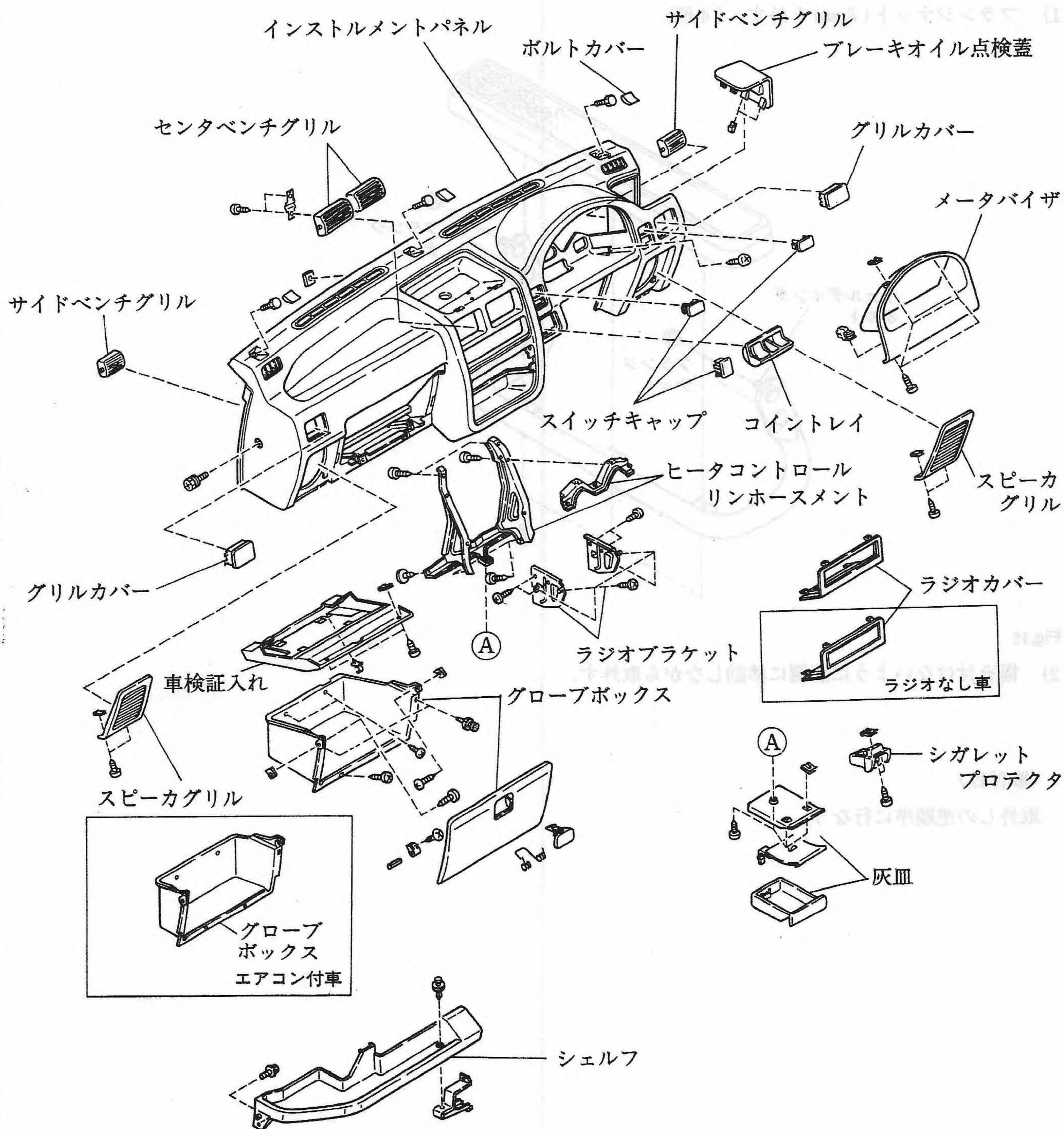


Fig. 1

S5-242

■ 整備要領

脱着

〈取外し〉

- (1) バッテリー(－)端子を外す。
- (2) ステアリングコラム取付ボルト(4本)を取外し、ステアリングシャフトを手前に傾けておく。

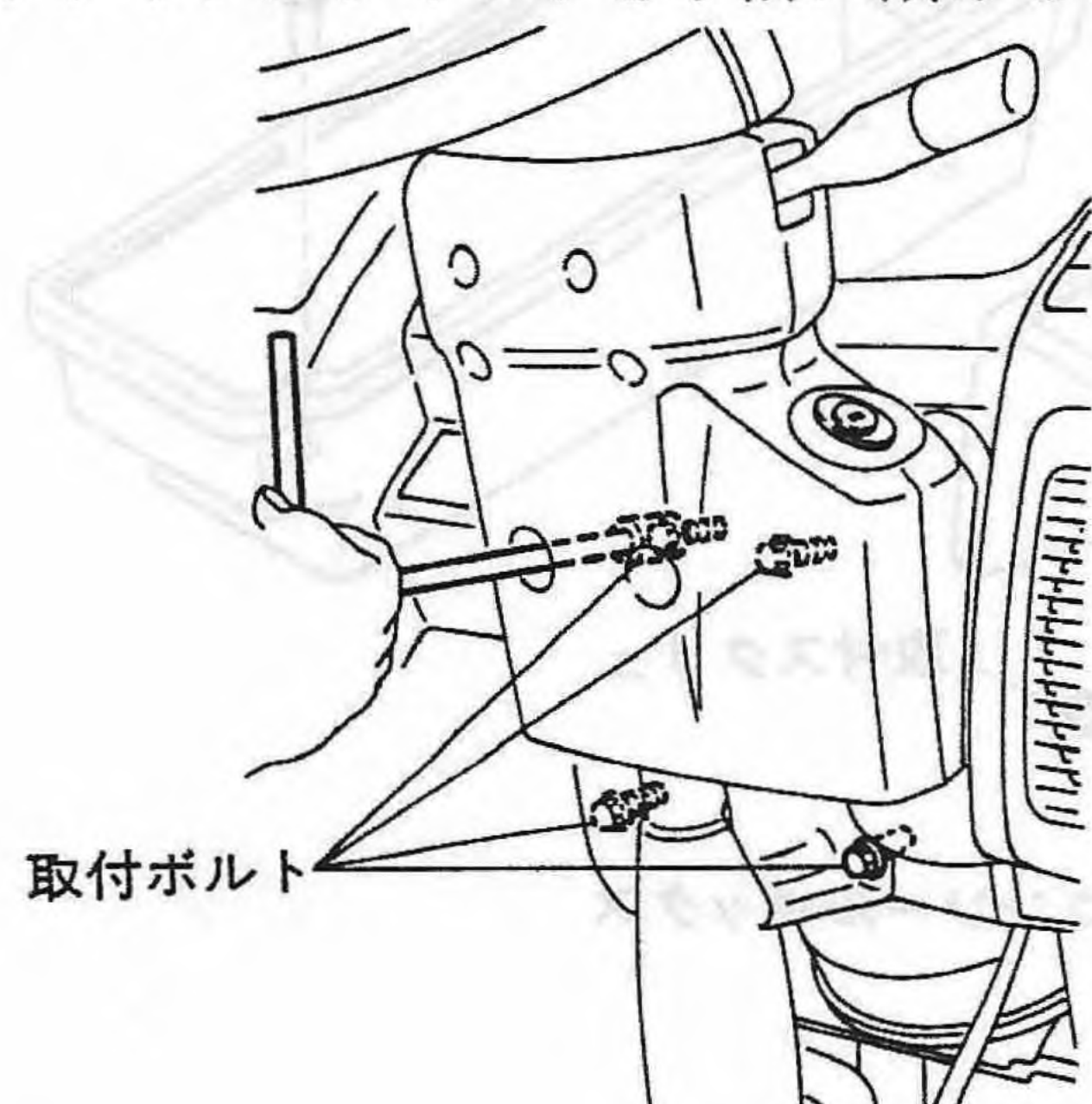
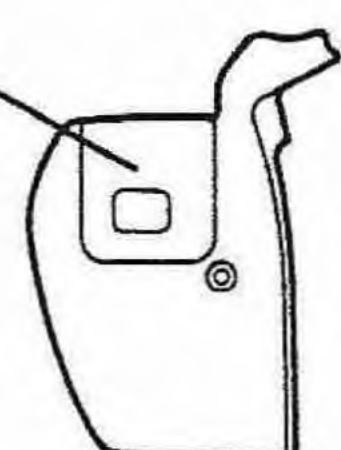


Fig. 2

S5-276

- (3) ブレーキオイル点検蓋を外し、リザーブタンクを取外す。(取付ボルト：2本)

ブレーキオイル
点検蓋



〔インストルメントパネル〕
右側面

Fig. 3

S5-277

- (4) シェルフ付車はシェルフを取外す。
- (5) ヒータユニットの各コントロールケーブルを外す。
コントロールケーブル：3本

温度コントロールケーブル——運転席側
内外気切換ケーブル
吹出し(モード)切換ケーブル } 助手席側

- (6) インストルメントパネル本体を取外す。
(取付ボルト(矢印)：6本)

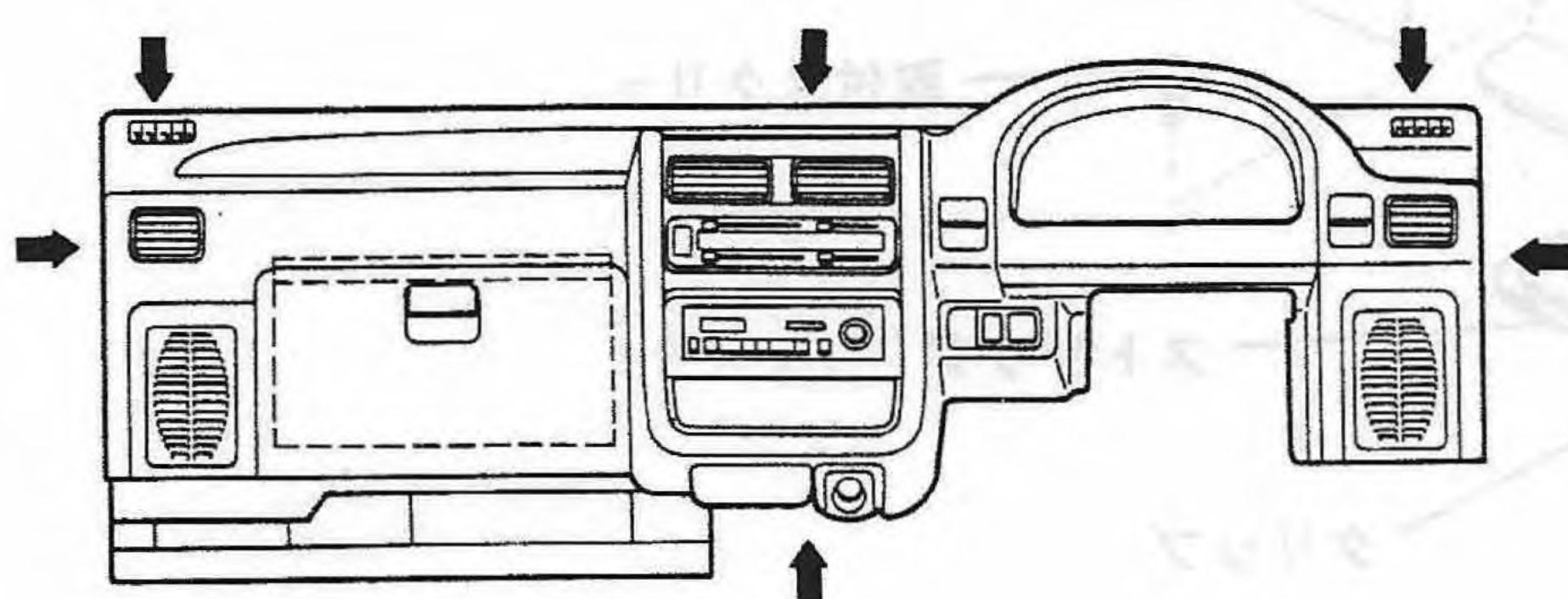


Fig. 4

S5-277

〈取付け〉

取外しの逆順序で行なう。

注意

ヒータコントロールのケーブル類は、各コントロールレバーを調整しながら取付ける。

〔2〕 コンソールボックス ■ 整備要領

脱着

＜トラック系での取外し＞

- (1) 助手席を取外す。（“フロントシート”の項参照）
- (2) リヤトレイを取外す。
- (3) コンソールボックス キャップを取外す。
- (4) 取付けスクリユを外して、本体を取外す。

＜取付け＞

取外しの逆順序で行なう。

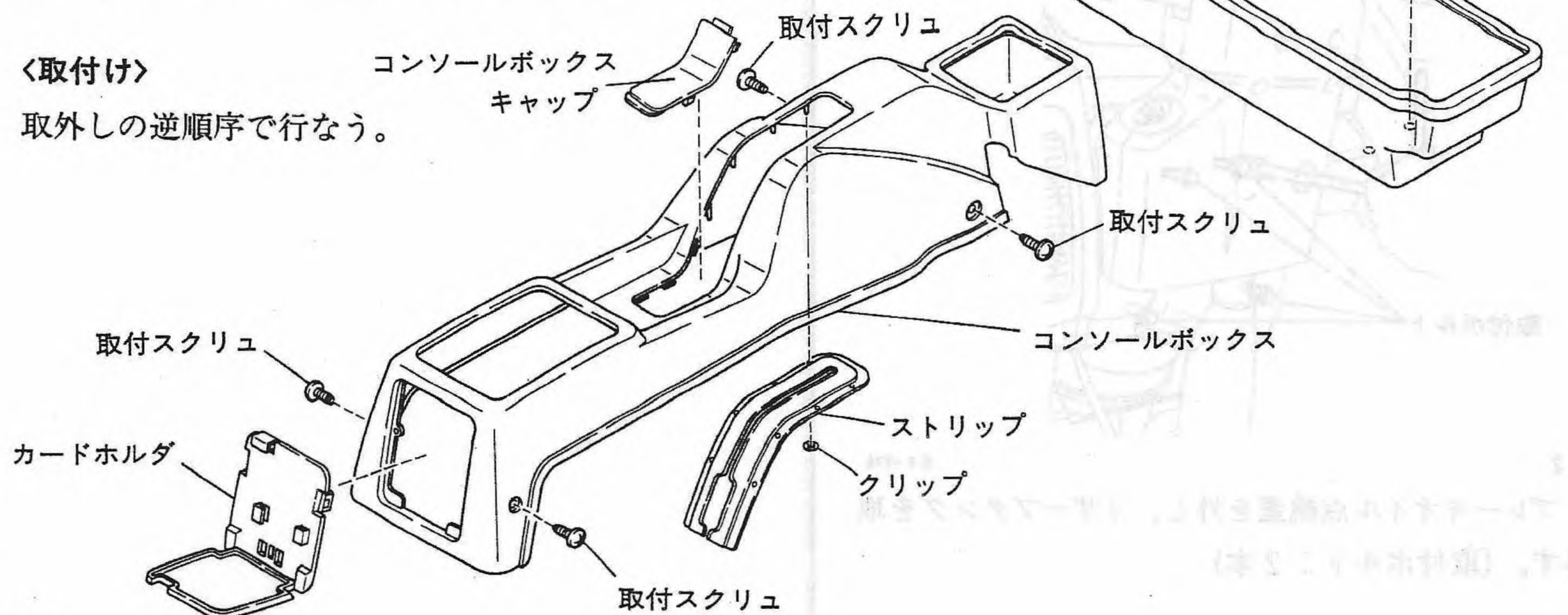


Fig. 5

S5-244

＜バン・トライ系での取外し＞

- (1) カードホルダを取外して、後のメインヒューズボックスを取外す。
- (2) コンソールボックス キャップを取外す。
- (3) 取付けスクリユを外して、本体を取外す。

＜取付け＞

取外しの逆順序で行なう。

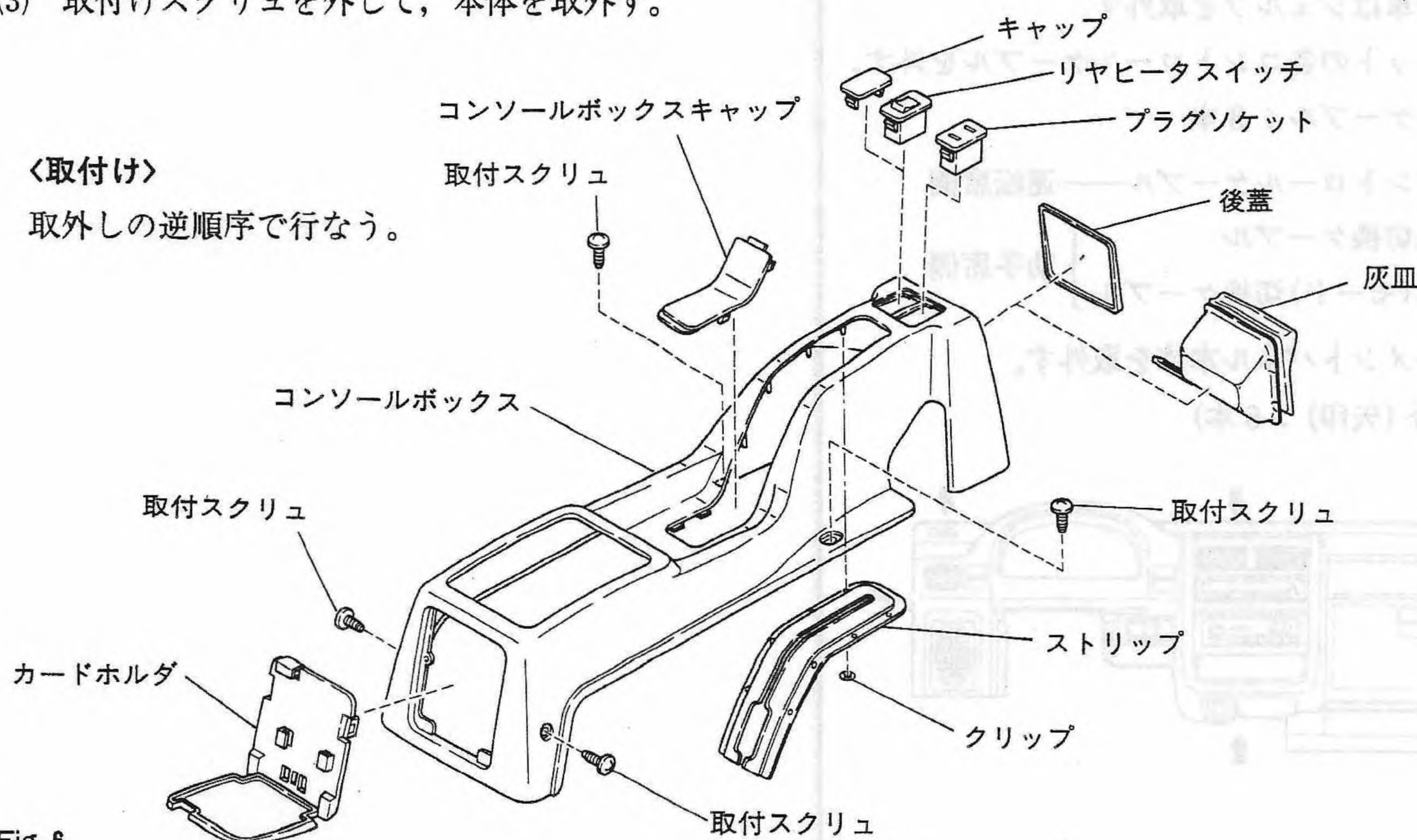


Fig. 6

S5-214

〔3〕フロントシート ■ 整備要領 (1)トラック

脱着・分解

〈運転席〉

・固定式

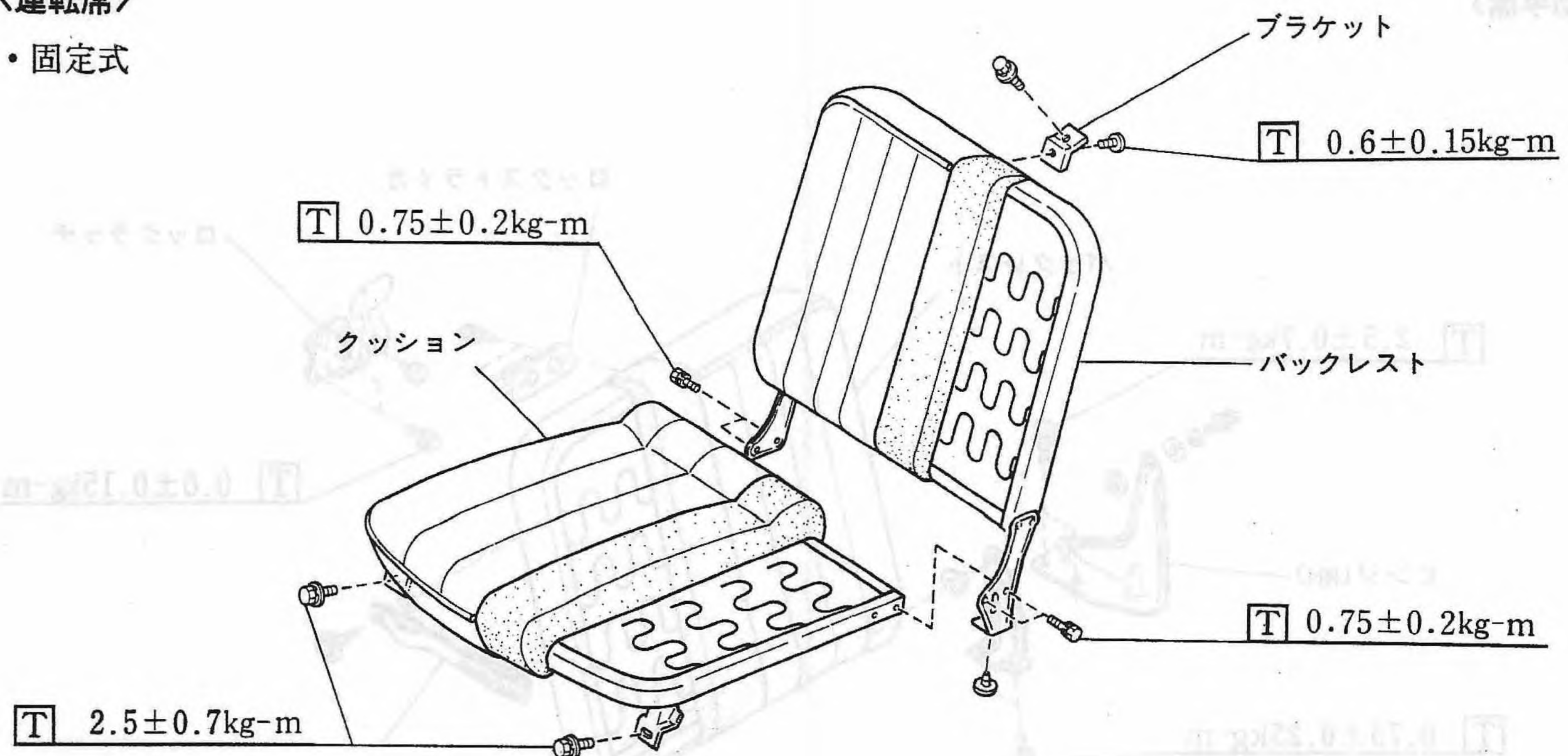


Fig. 7

S 5-246

・スライド式

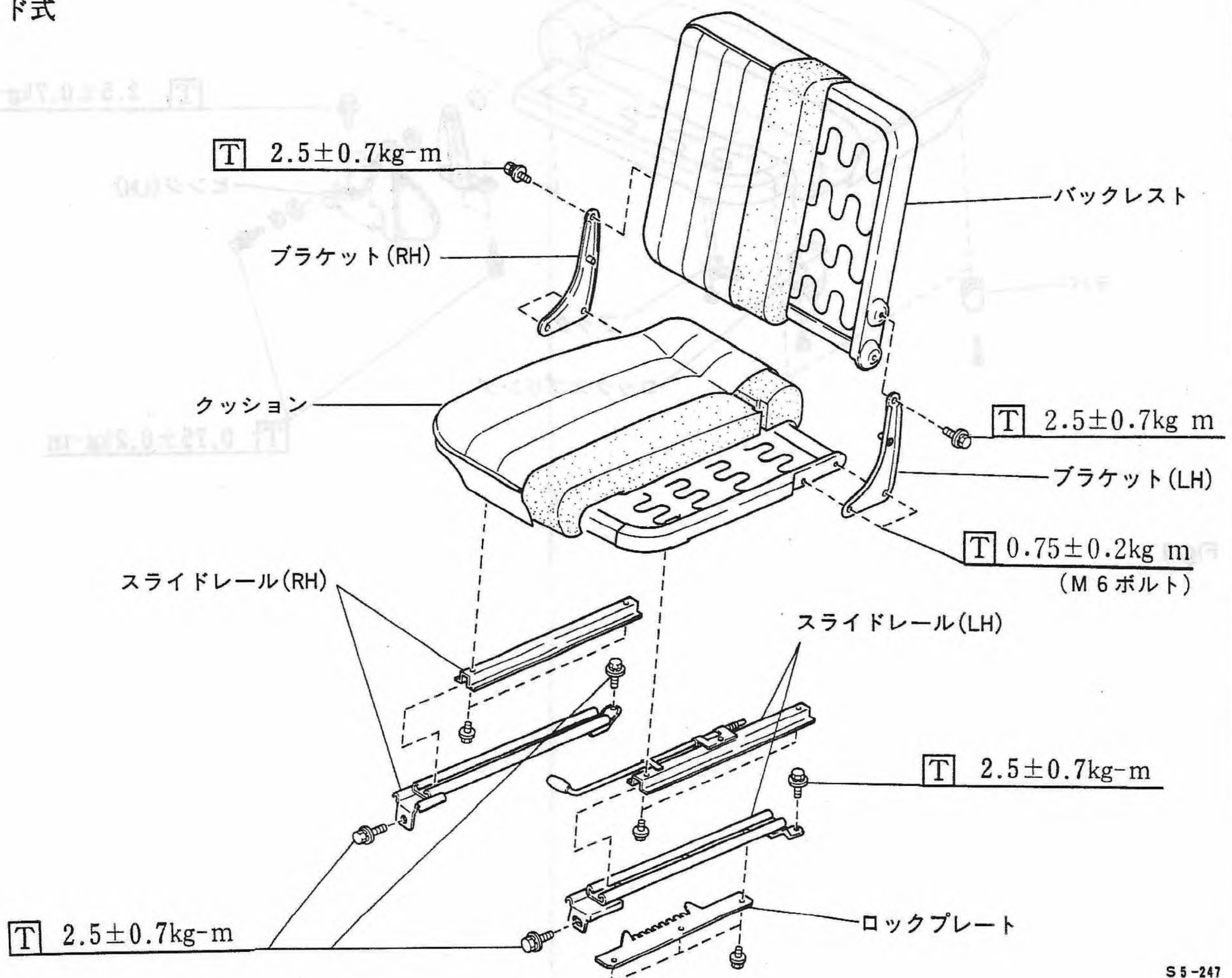


Fig. 8

S 5-247

フロントシート—トラック

脱着・分解

〈助手席〉

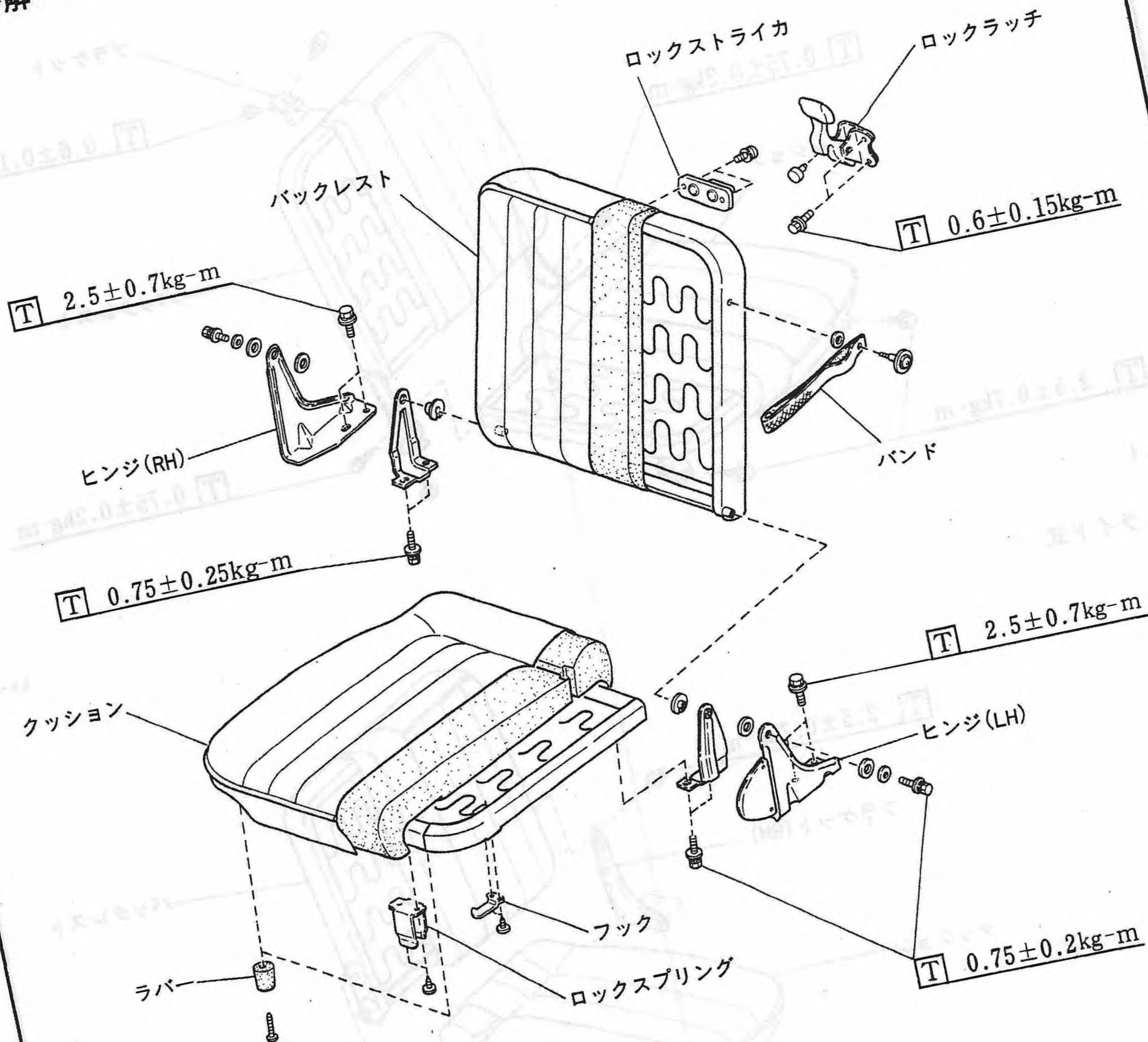


Fig. 9

S 5-248

(2) バン

脱着・分解

〈運転席〉

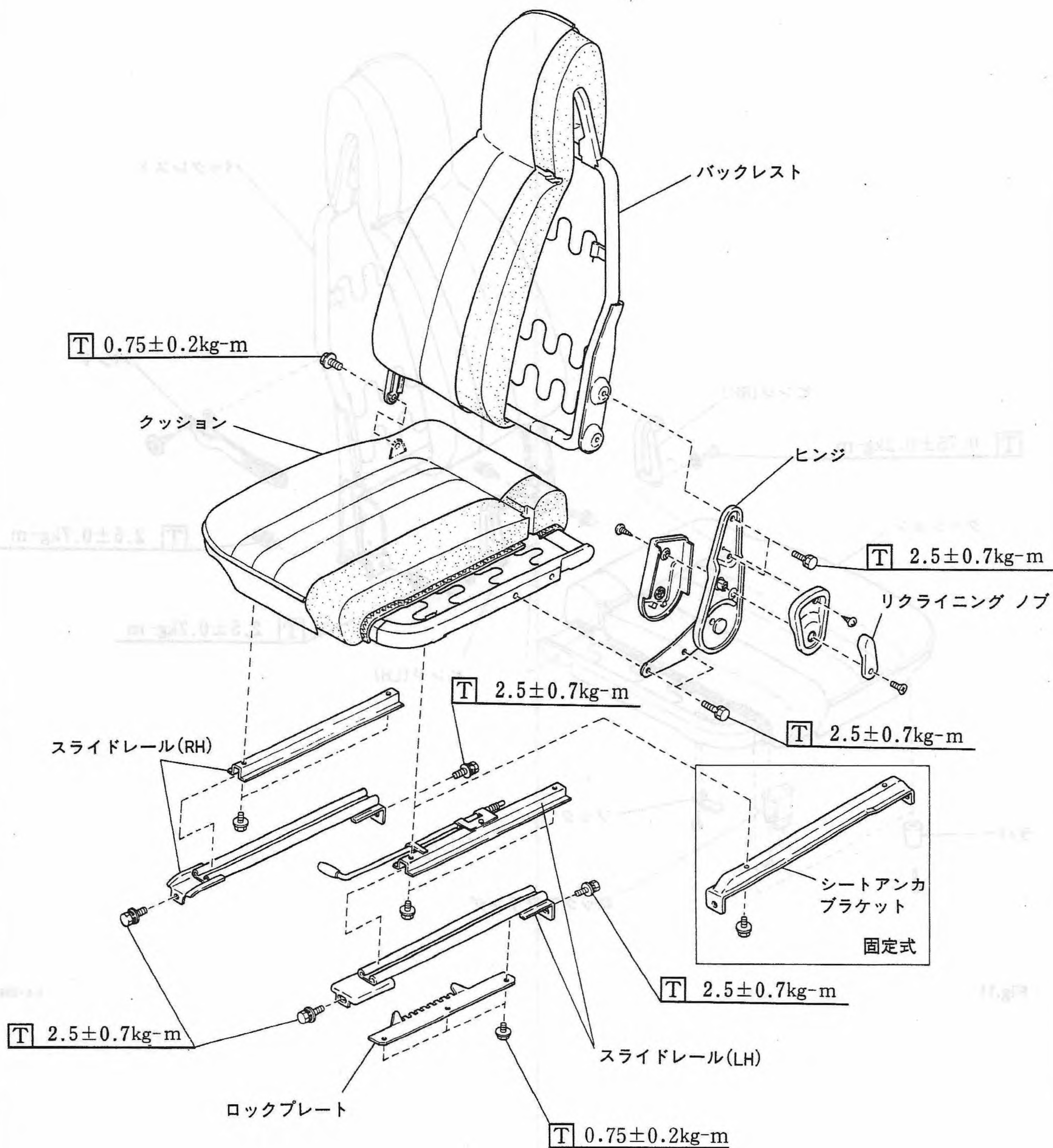


Fig.10

S5-249

脱着・分解

〈助手席〉

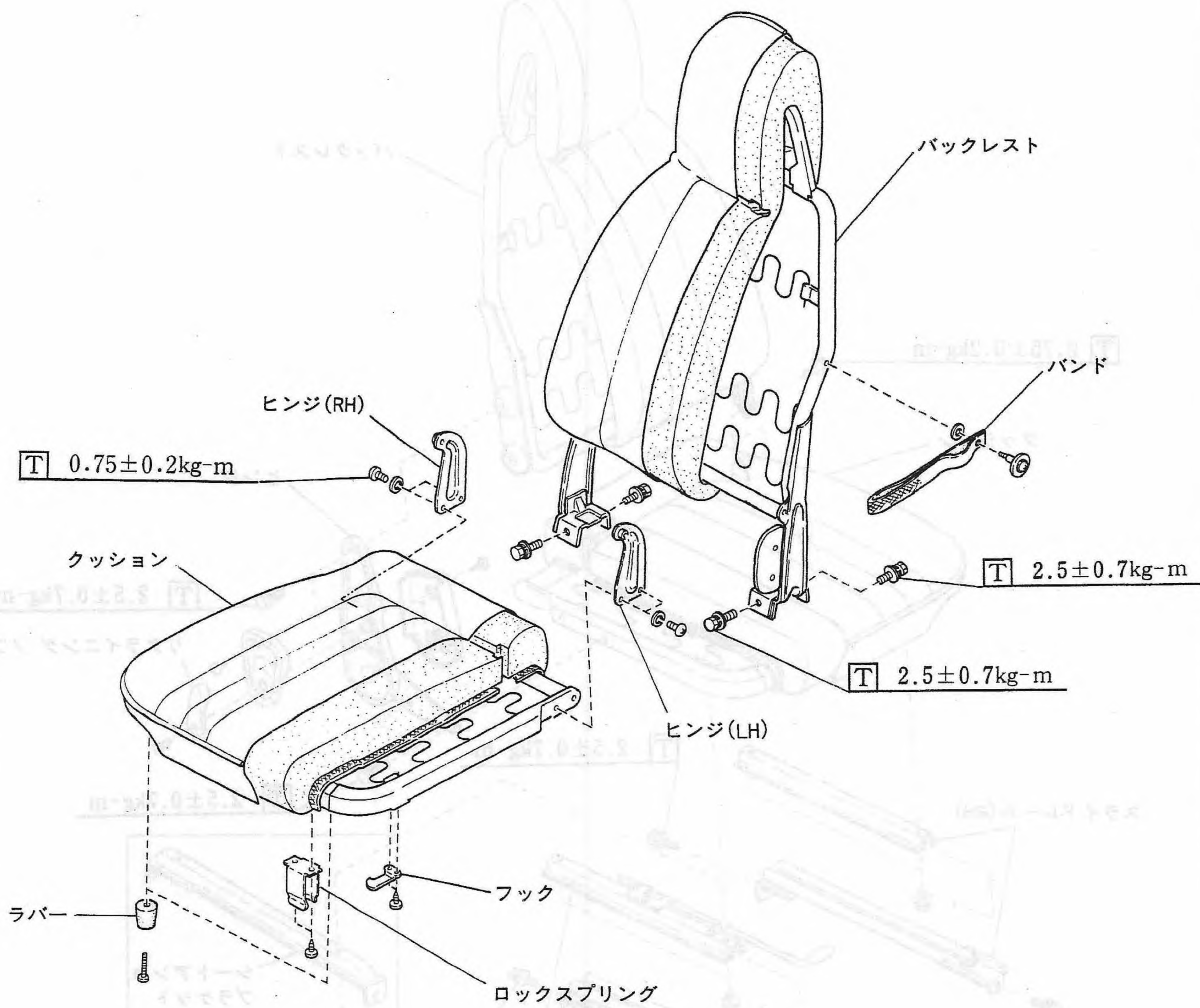


Fig.11

S5-250

(3) トライ

脱着・分解

〈運転席〉

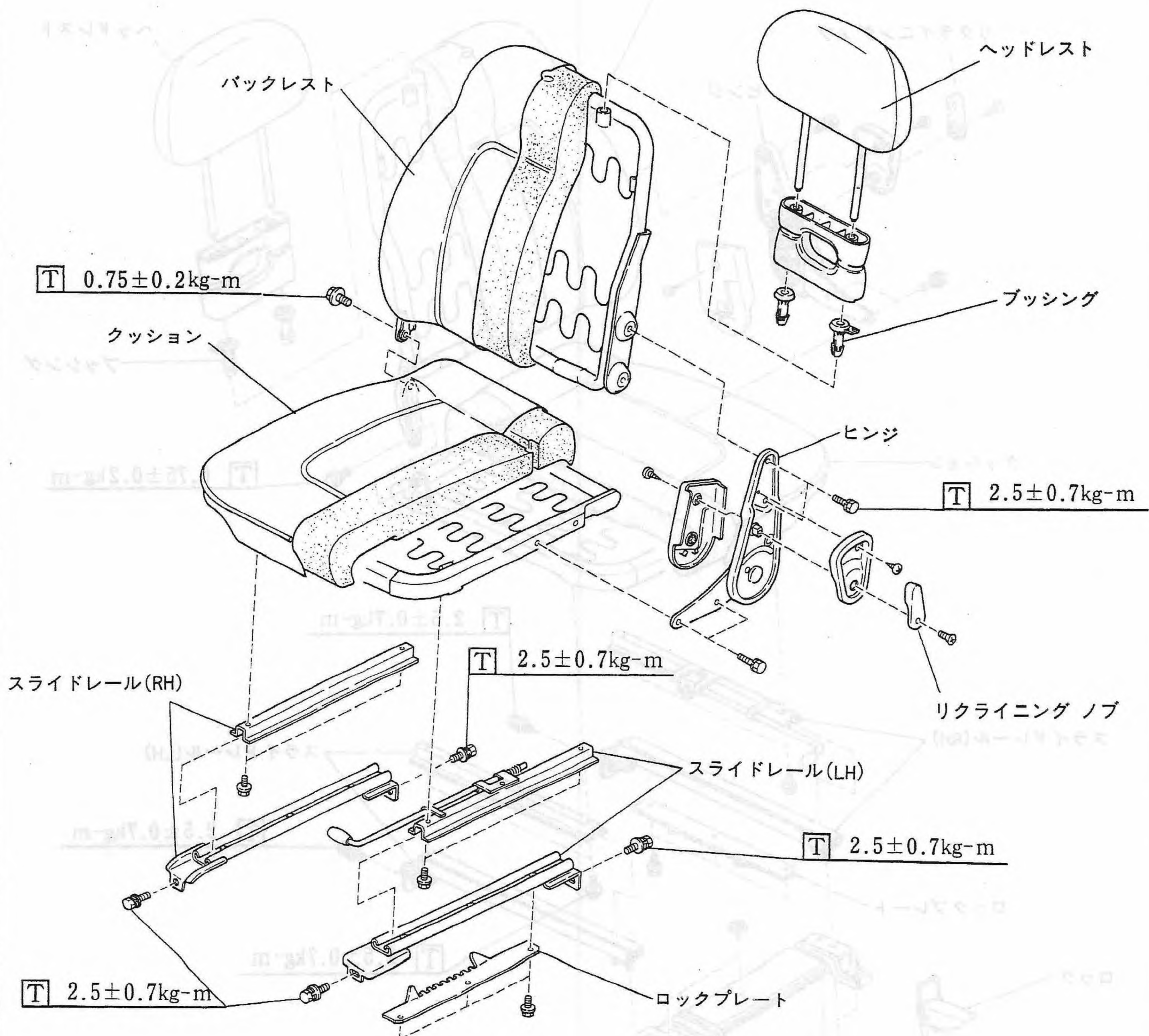


Fig.12

S5-251

脱着・分解

〈助手席〉

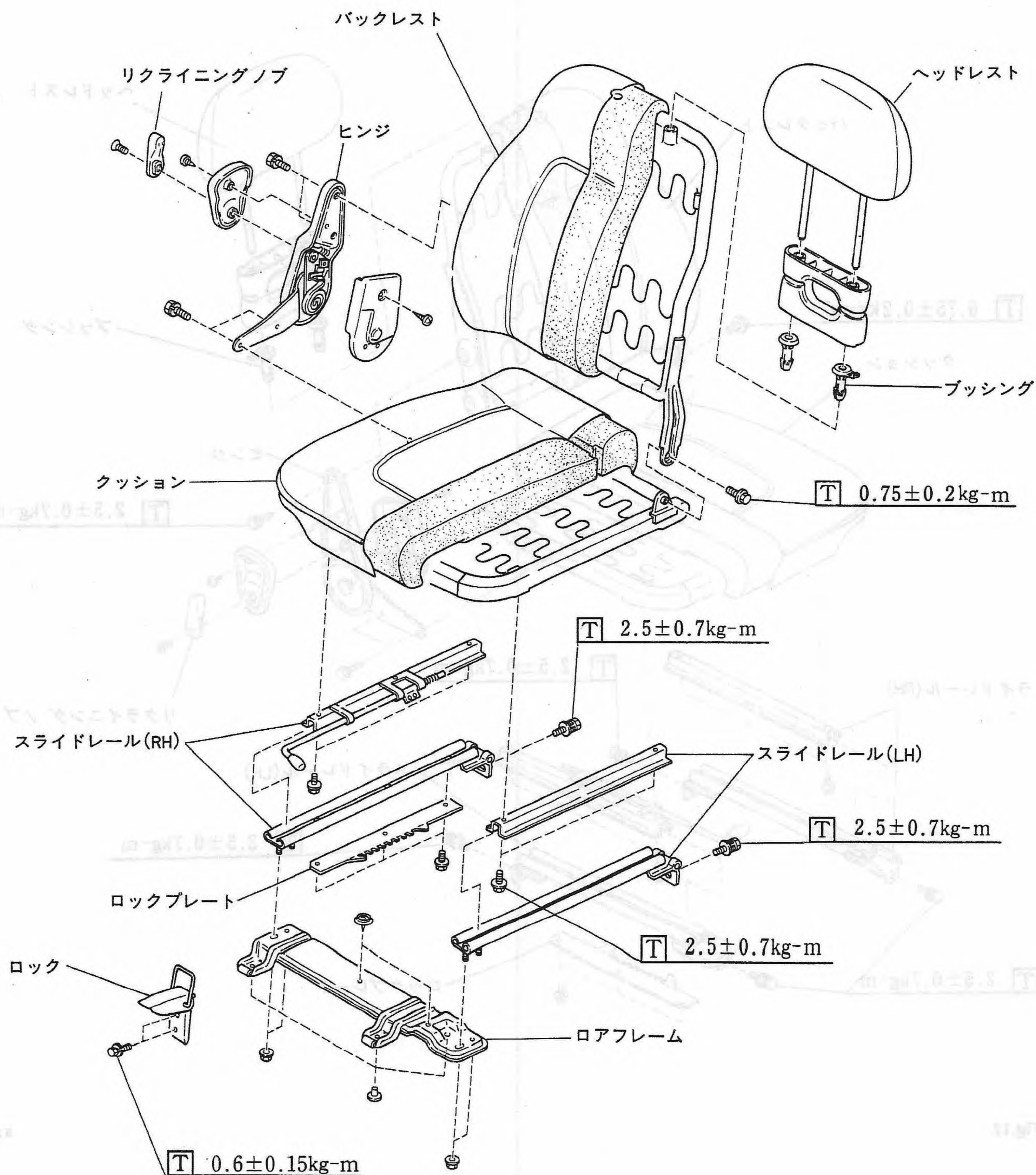


Fig.13

S 5-252

(4) 回転シート (トライ XV)

構成部品

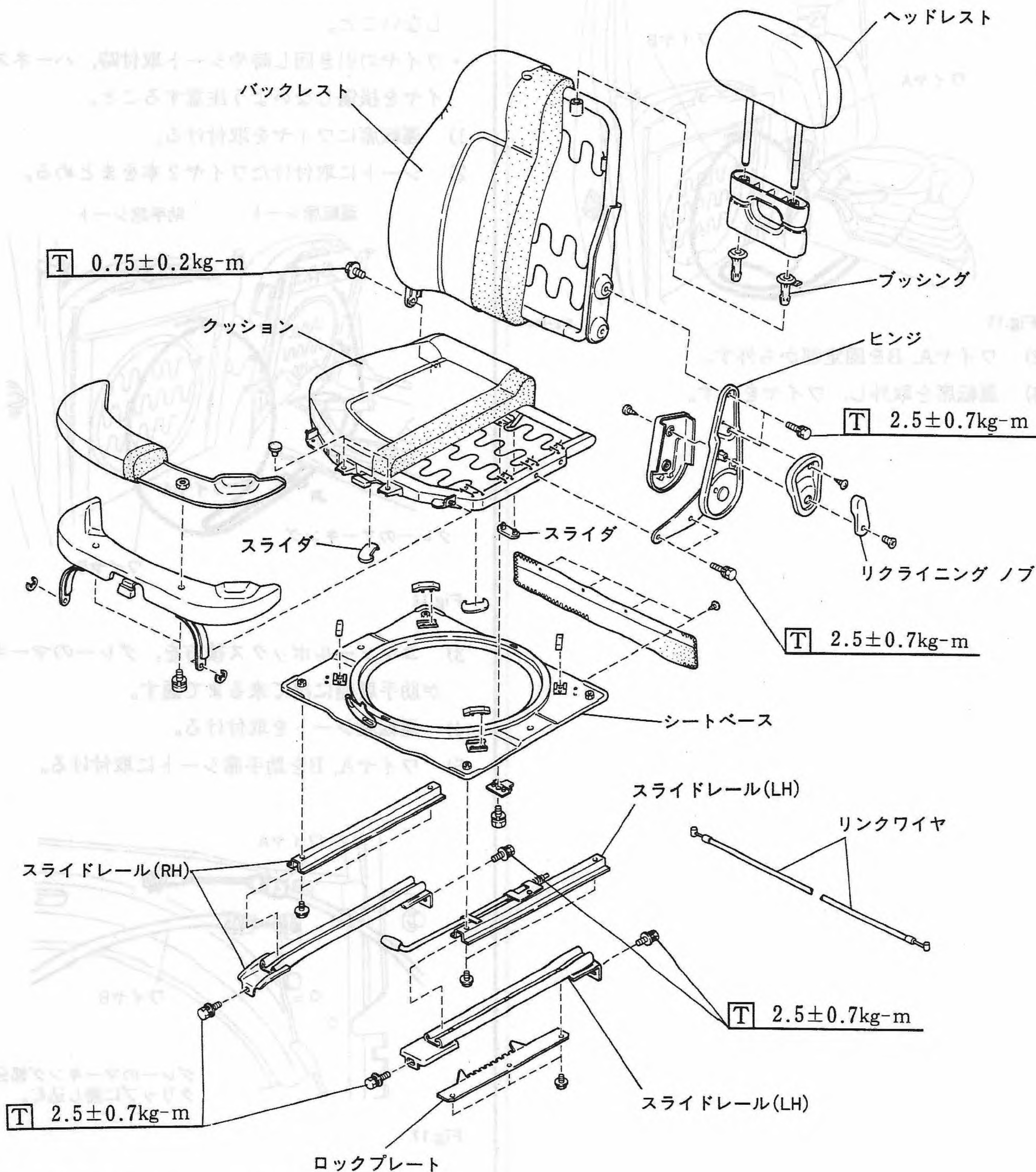


Fig.14

S5-253

脱着・分解

〈ワイヤの取外し〉

- 1) 助手席のロックを外し、シートを跳ね上げる。

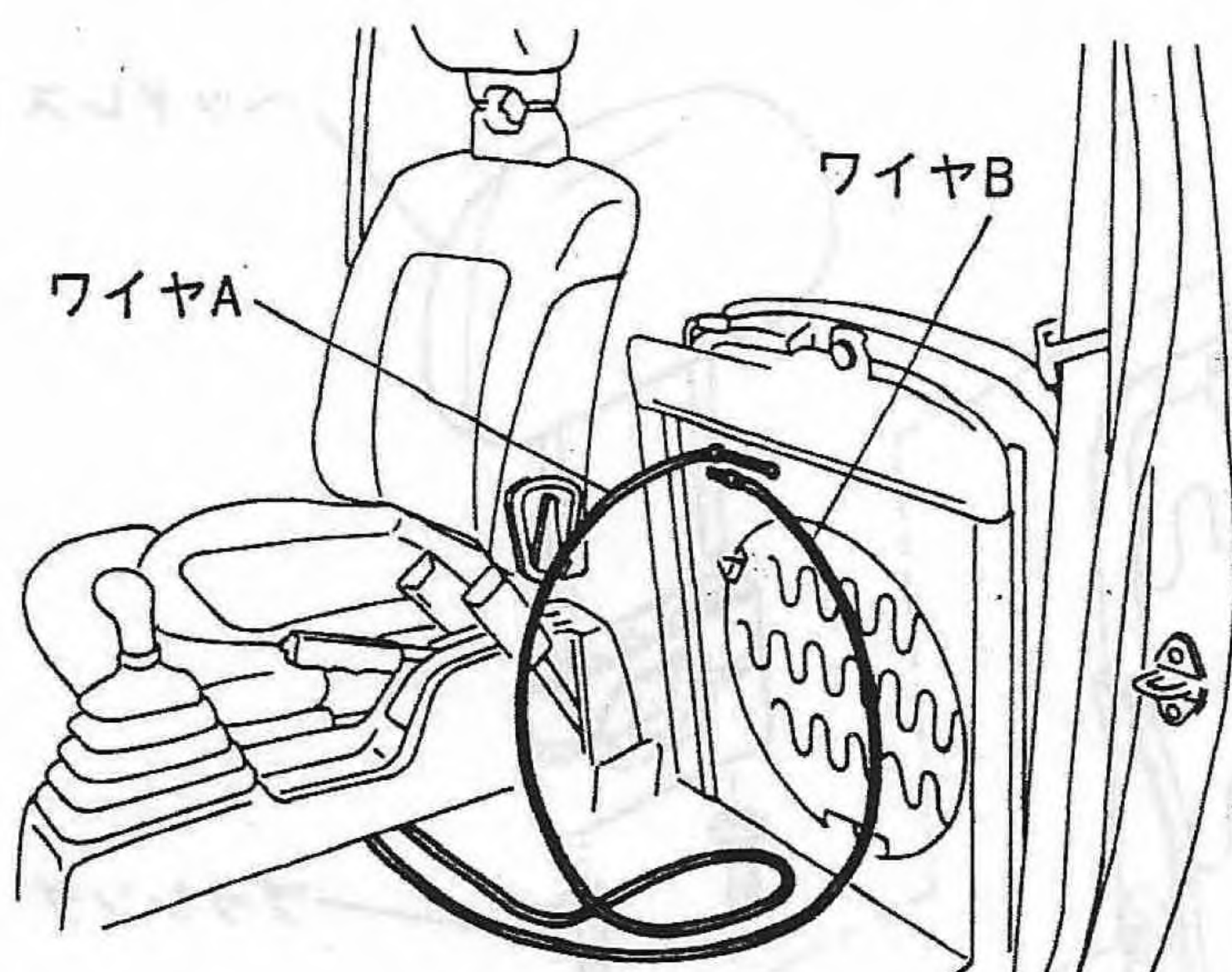


Fig.15

S5-254

- 2) ワイヤA, Bを固定部から外す。
- 3) 運転席を取外し、ワイヤを外す。

〈ワイヤの取付け〉

注意

- ・ワイヤを鋭角に折り曲げたり、過度に引っ張ったりしないこと。
- ・ワイヤの引き回し時やシート取付時、ハーネスやワイヤを損傷しないよう注意すること。

- 1) 運転席にワイヤを取付ける。
- 2) シートに取付けたワイヤ2本をまとめる。

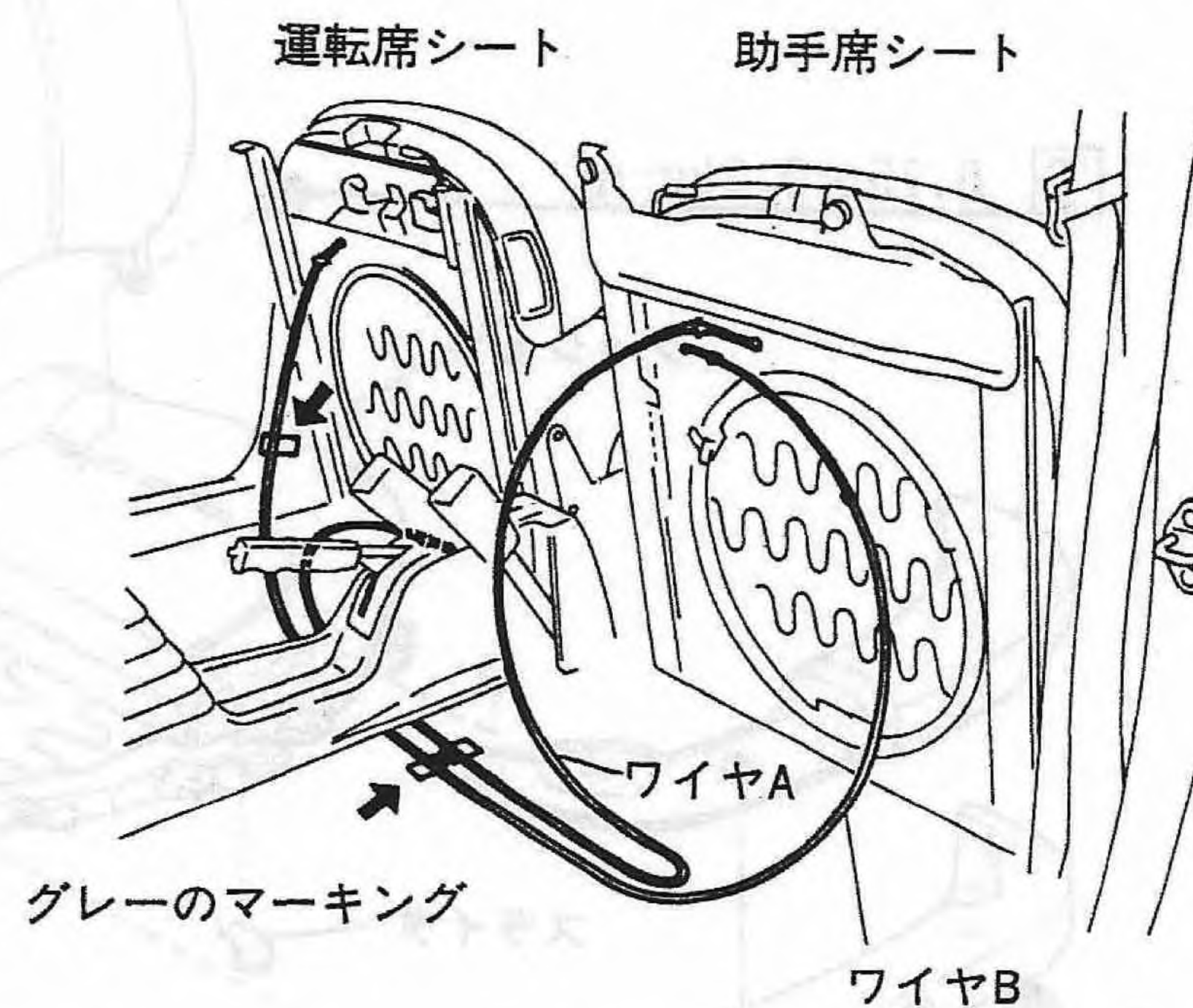


Fig.16

S5-255

- 3) コンソールボックス後方を、グレーのマーキングが助手席側に出て来るまで通す。
- 4) 運転席シートを取付ける。
- 5) ワイヤA, Bを助手席シートに取付ける。

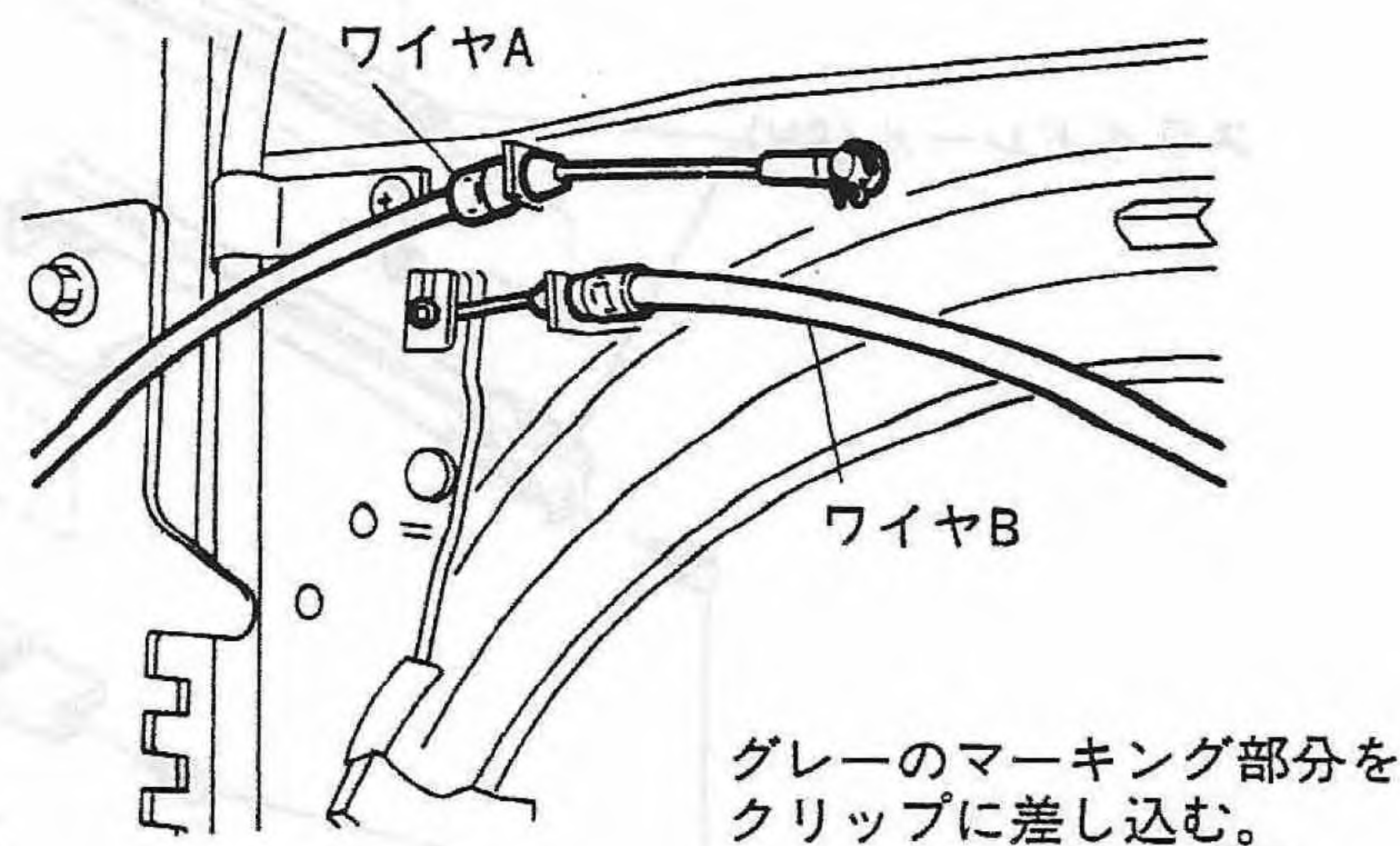


Fig.17

S5-256

- 6) 助手席シートを復元し、ロックを確実に掛ける。

リヤシート—バン

〔4〕リヤシート ■ 整備要領 (1) バン

脱着

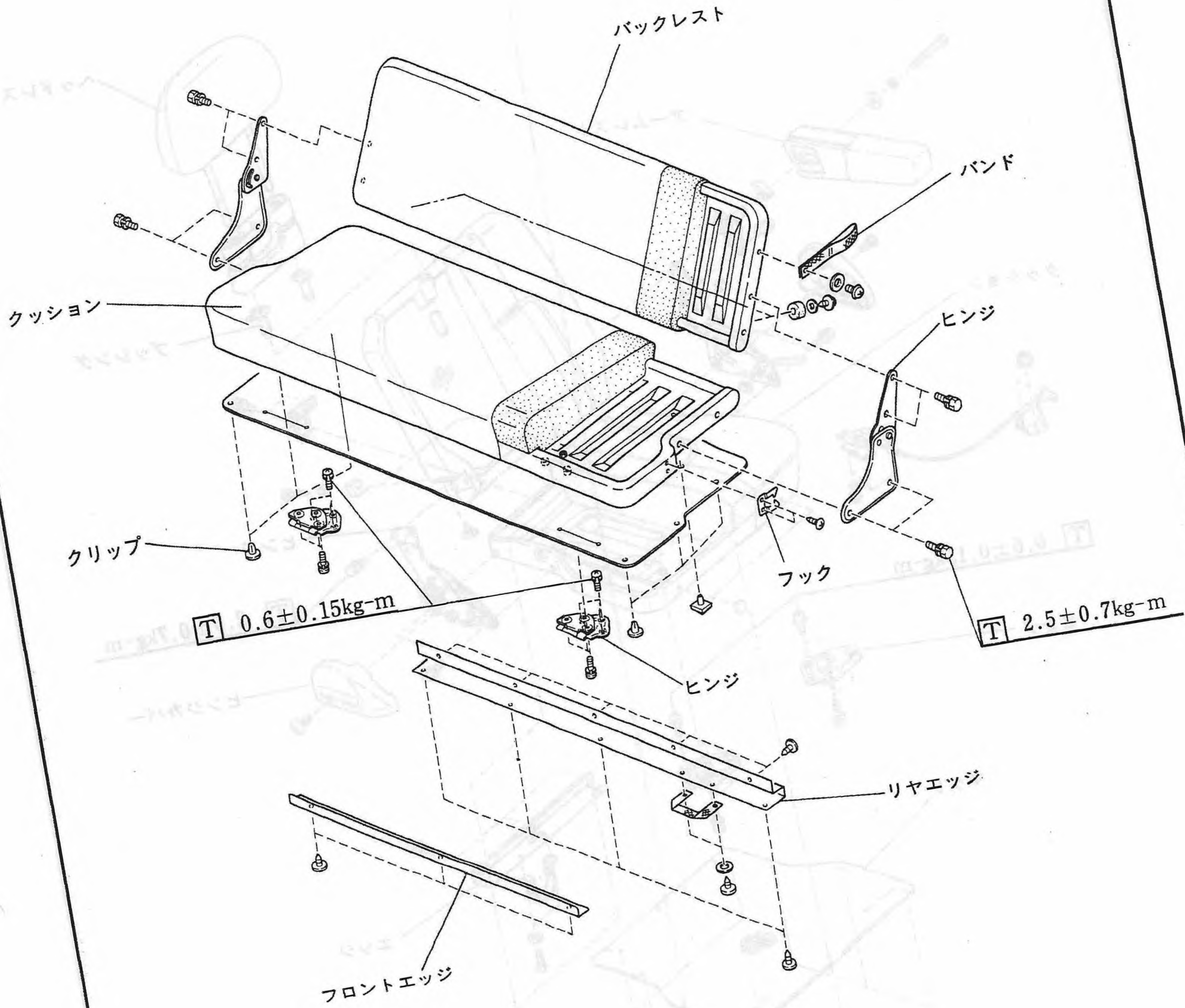


Fig.18

S5-257

(2) ト ラ イ

脱着・分解

(図はセパレートシート右席を示す。)

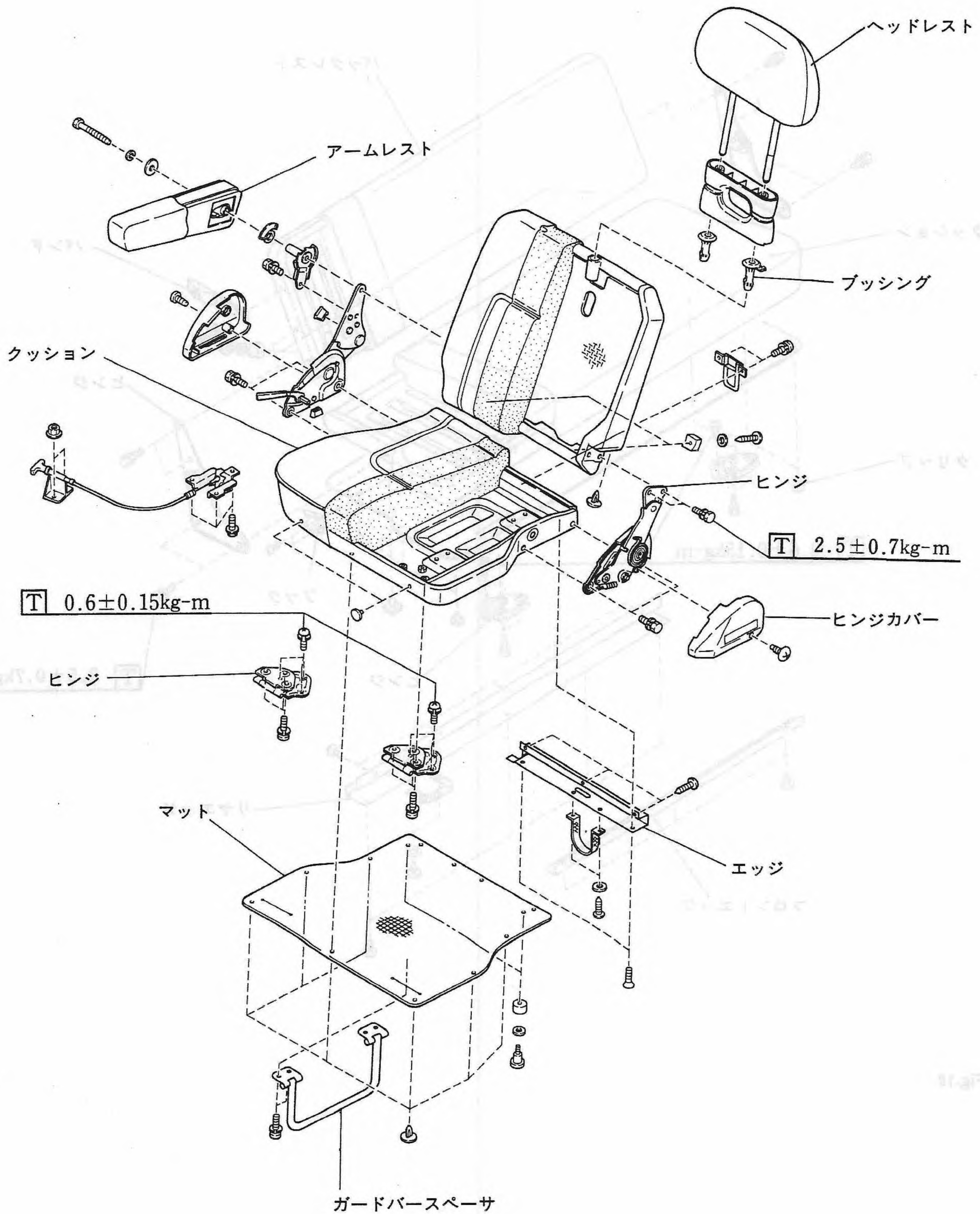


Fig.19

S 5-258

〔5〕 シートベルト ■ 整備要領

脱着

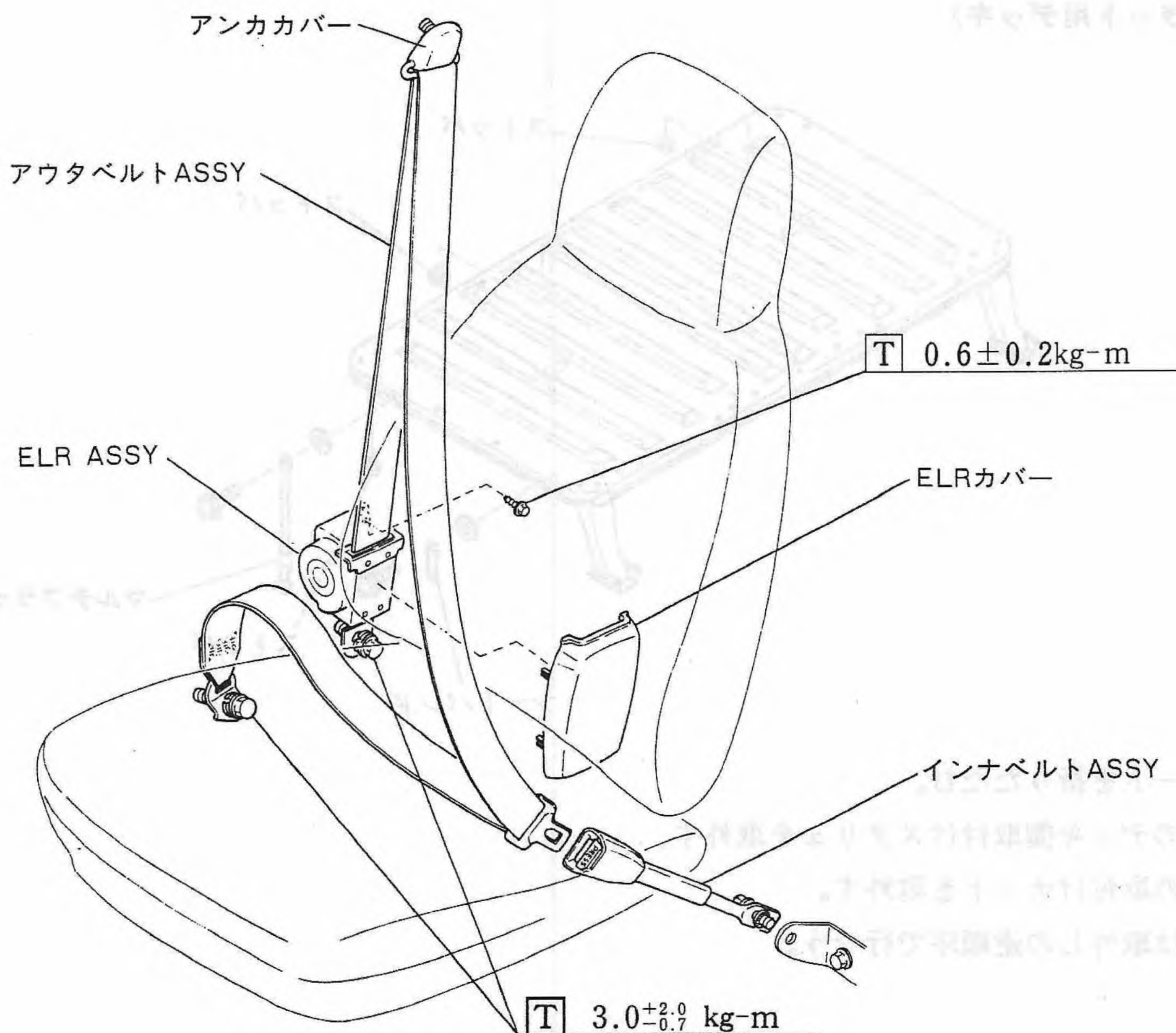


Fig.20

S5-259

- (1) フロントシートを前倒しにする。
 - (2) 〔トラック〕
トラックの助手席はリヤトレイ及びシートを取外す。
 - (3) アウタベルト ASSY のサイドシル部アンカボルトを外す。
 - (4) ELRカバーを外して、ELR ASSY のアンカボルトを外す。
 - (5) アンカカバーを外し、ボルトを外す。
 - (6) インナベルト ASSY を取外す。
- (トラックの助手席はコンソールボックスをはずしてから行なう。)

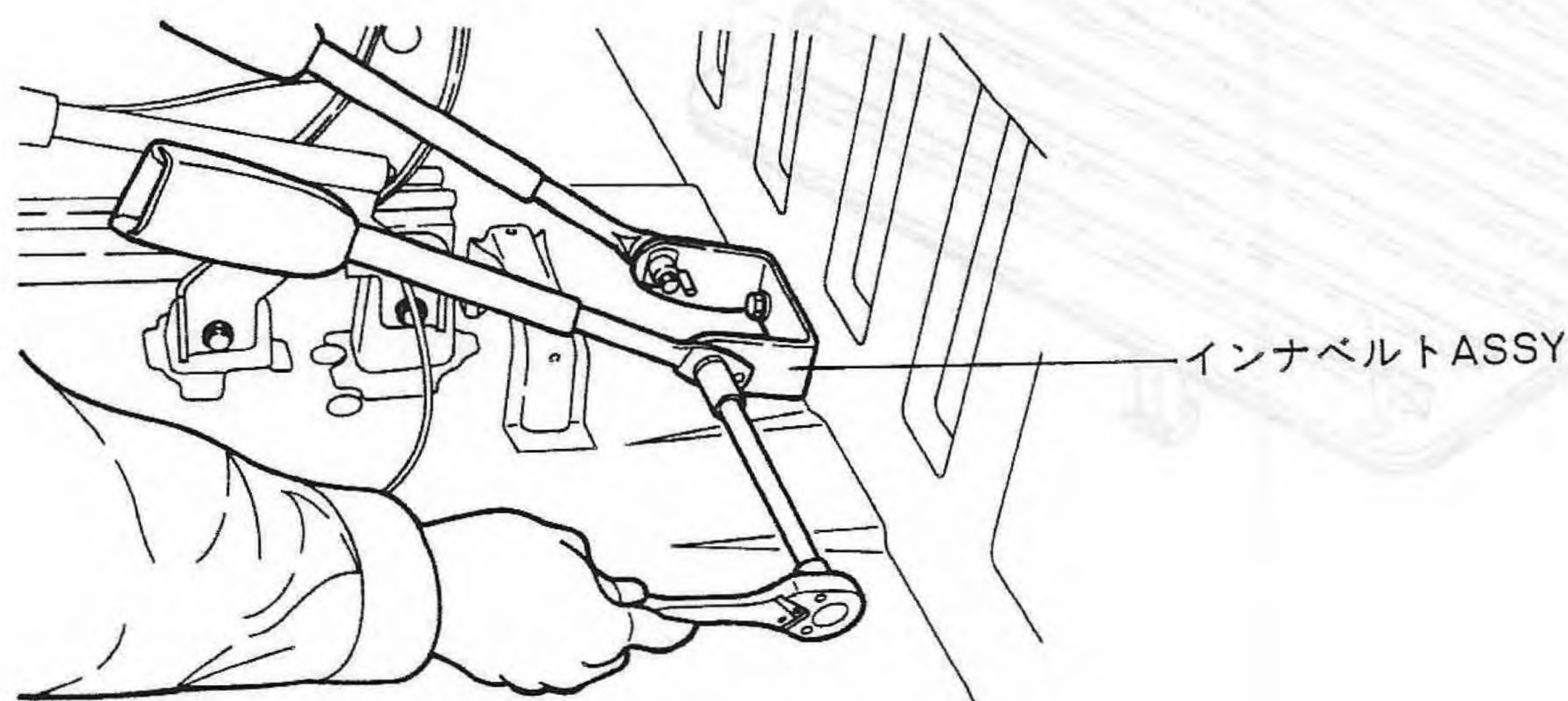


Fig 21

S5-260

〔 6 〕 デッキ ■ 整備要領

脱着

〈マルチフラット用デッキ〉

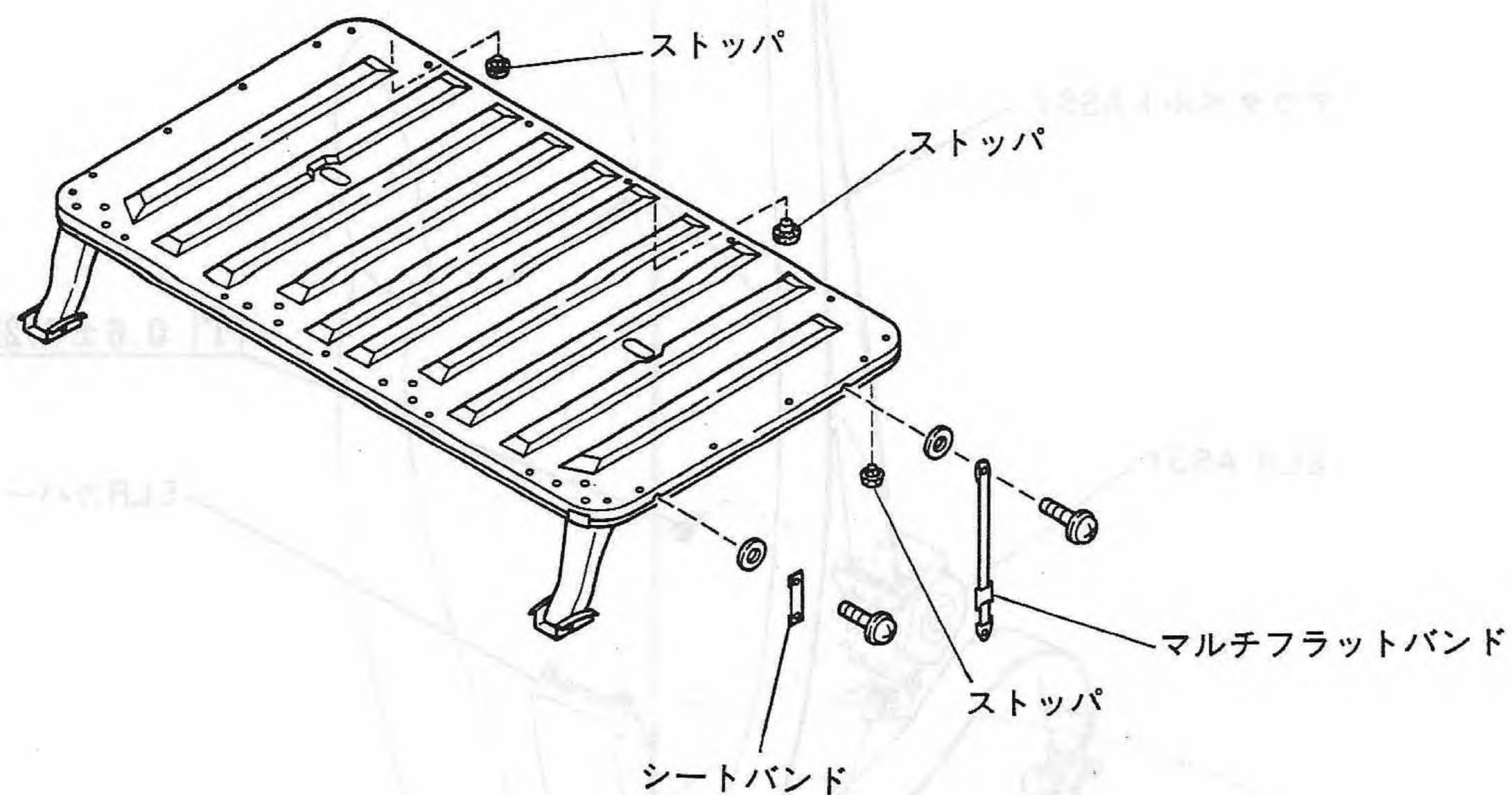


Fig. 22

S5-222

- (1) リヤシートを折りたたむ。
- (2) ヒンジのデッキ側取付けスクリュを取外す。
- (3) ヒンジの取付けナットを取外す。
- (4) 取付けは取外しの逆順序で行なう。

〈2 シータ車用デッキ〉

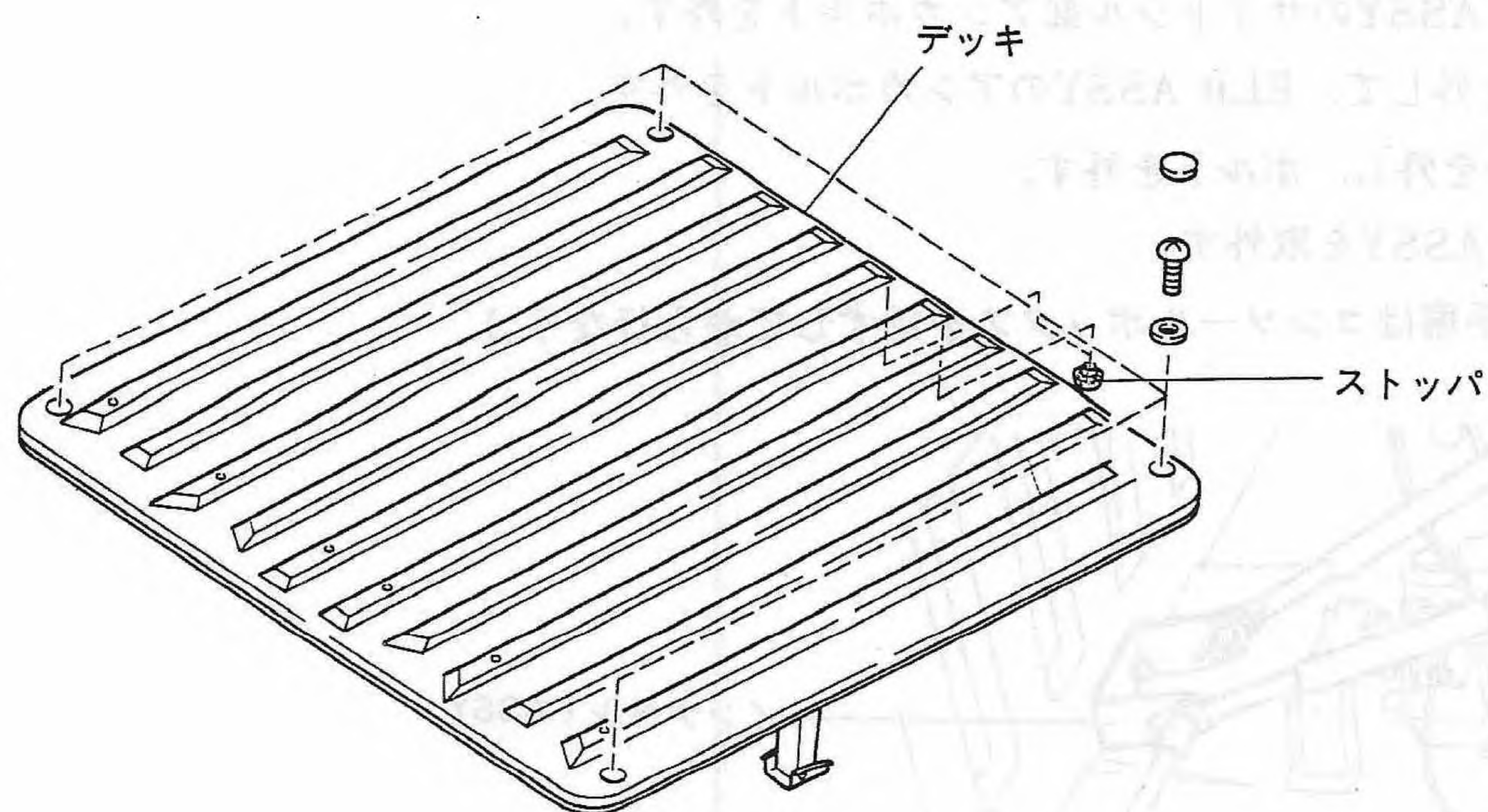


Fig.23

S5-223

〔7〕トリム類 ■整備要領 (1) インテリアトリム

脱着

〈トラック〉

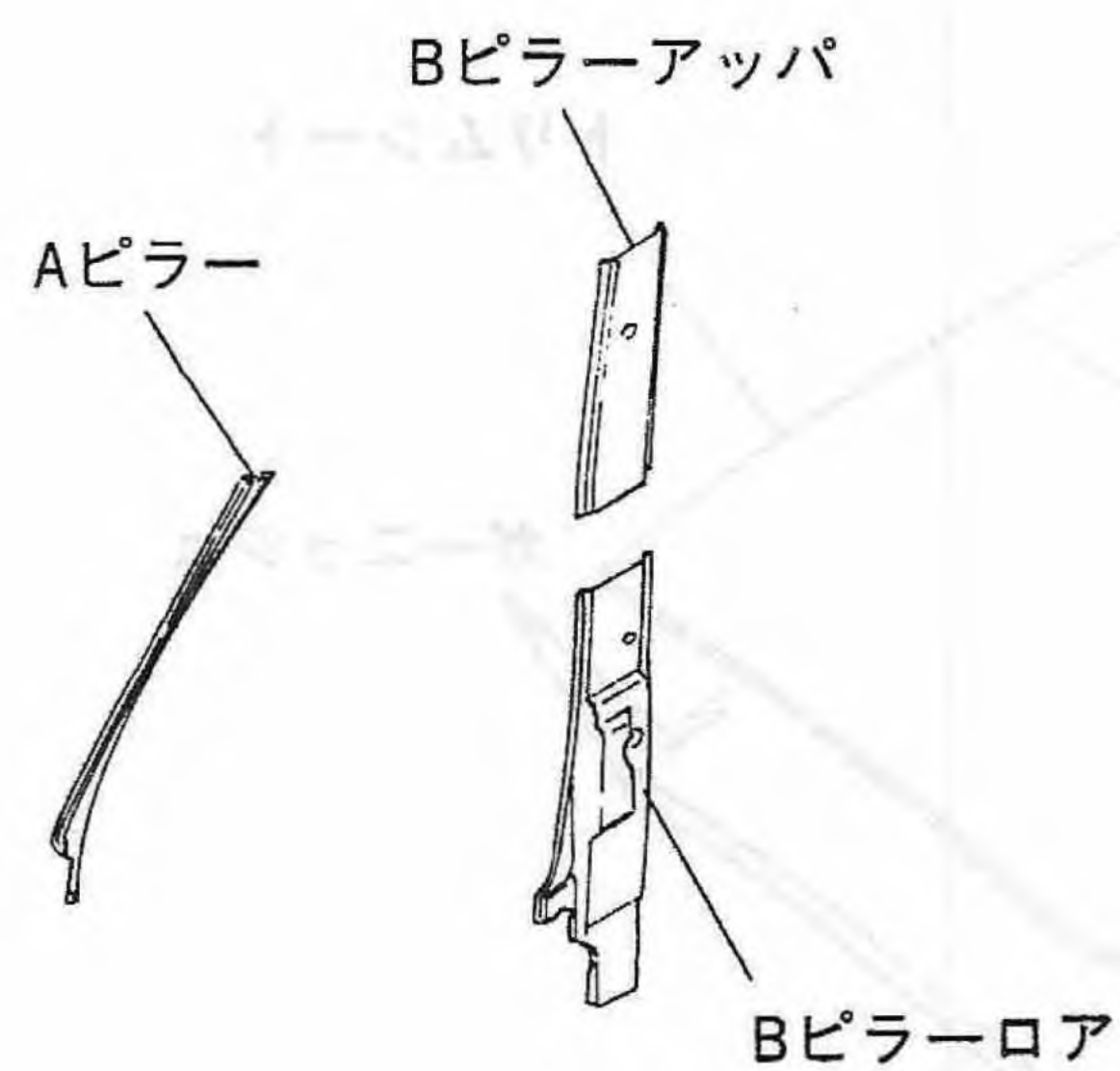


Fig.24

S5-261

〈バン、トライ〉

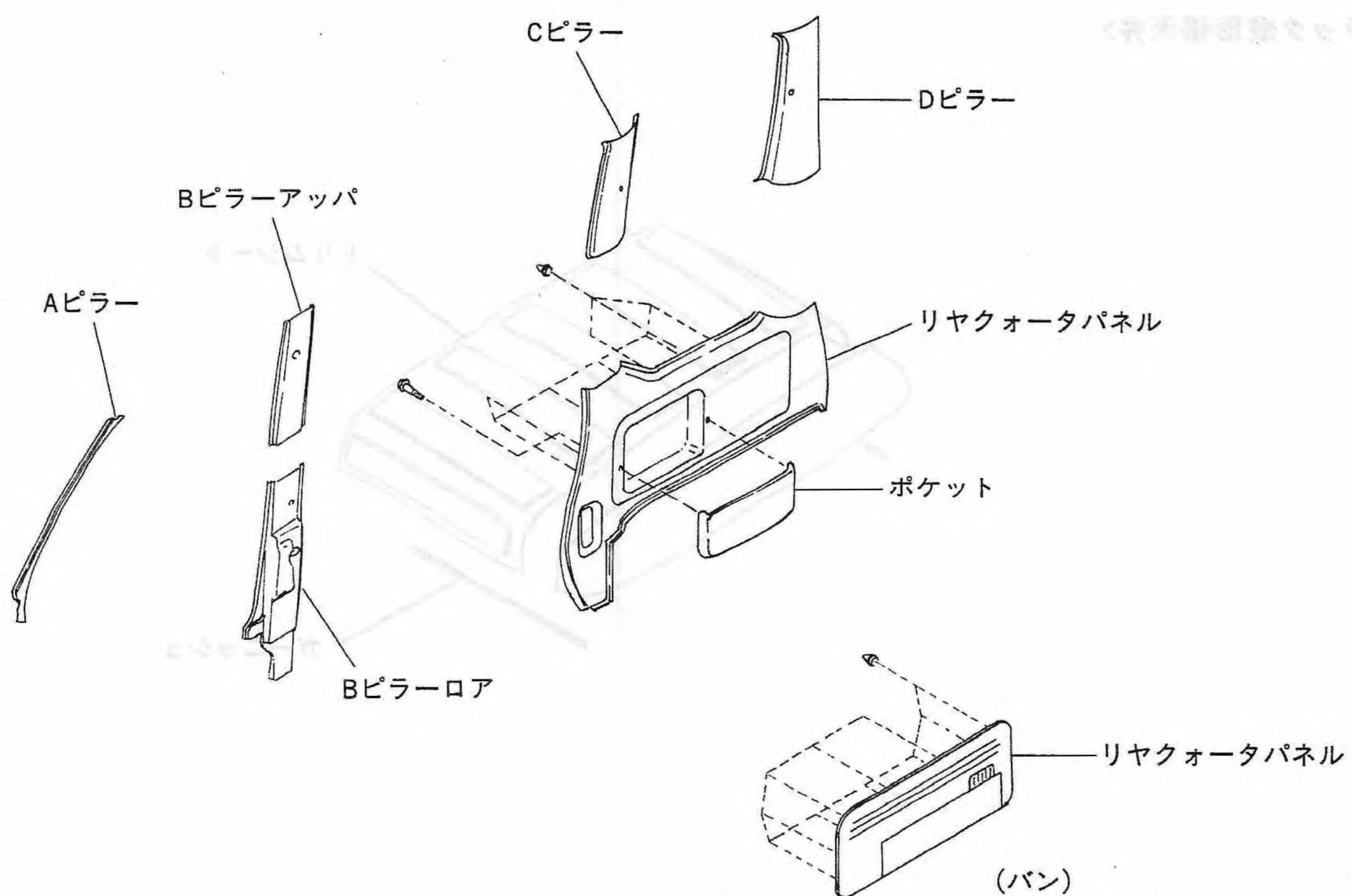


Fig.25

S5-262

(2) ルーフトリム

構成部品

〈トラック張天井〉

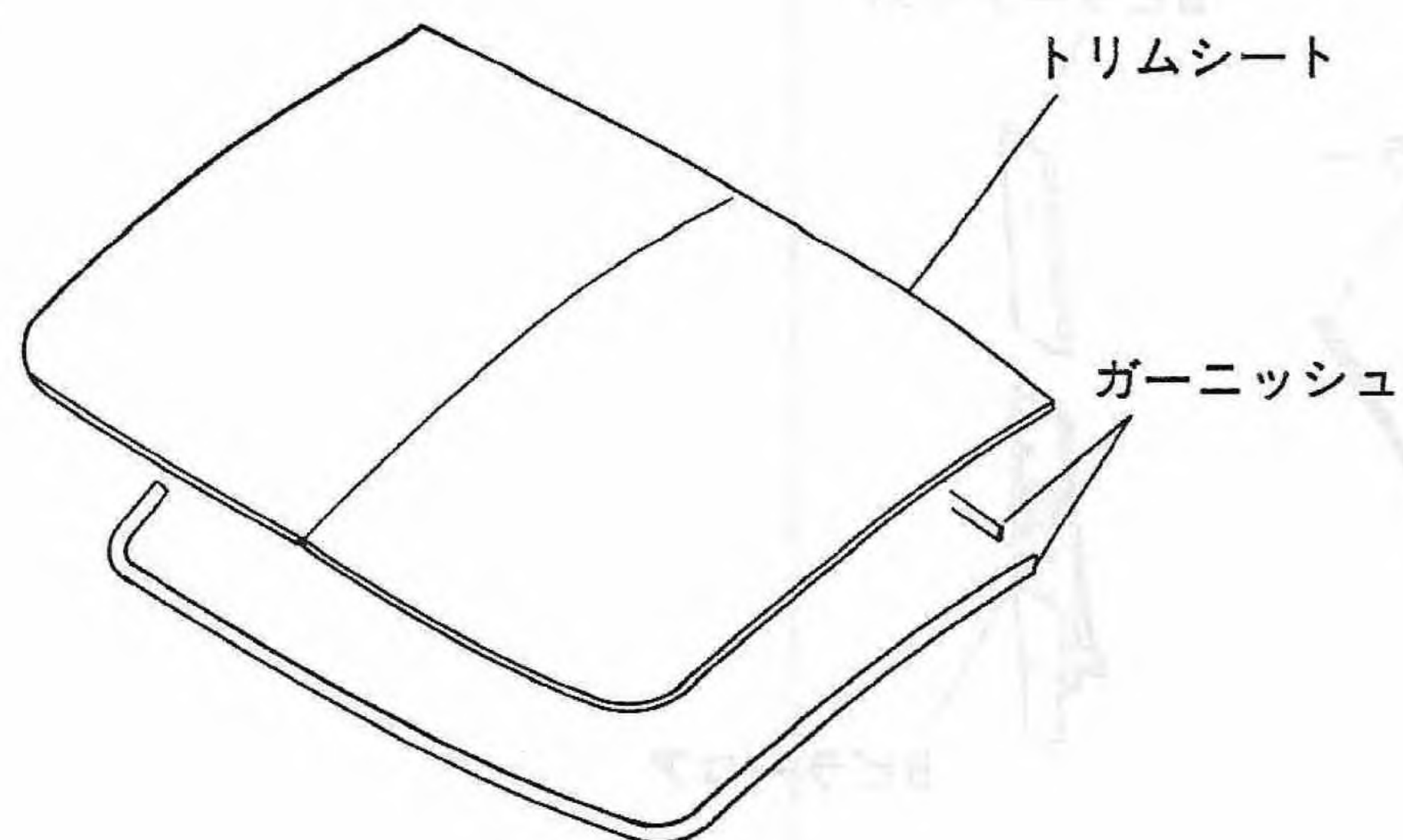


Fig.26

S 5-229

〈トラック成形張天井〉

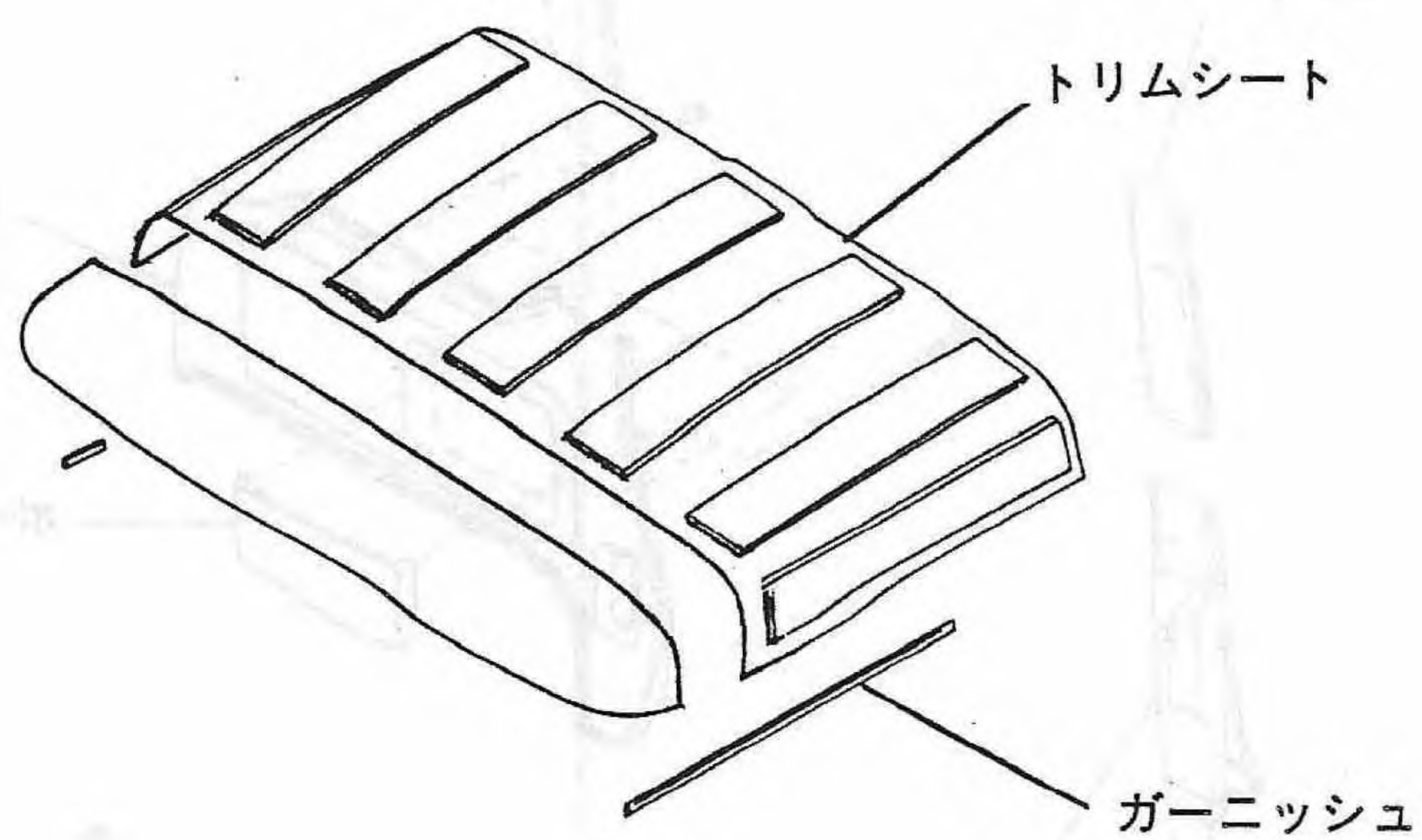


Fig.27

S 5-230

構成部品

〈バン張天井〉

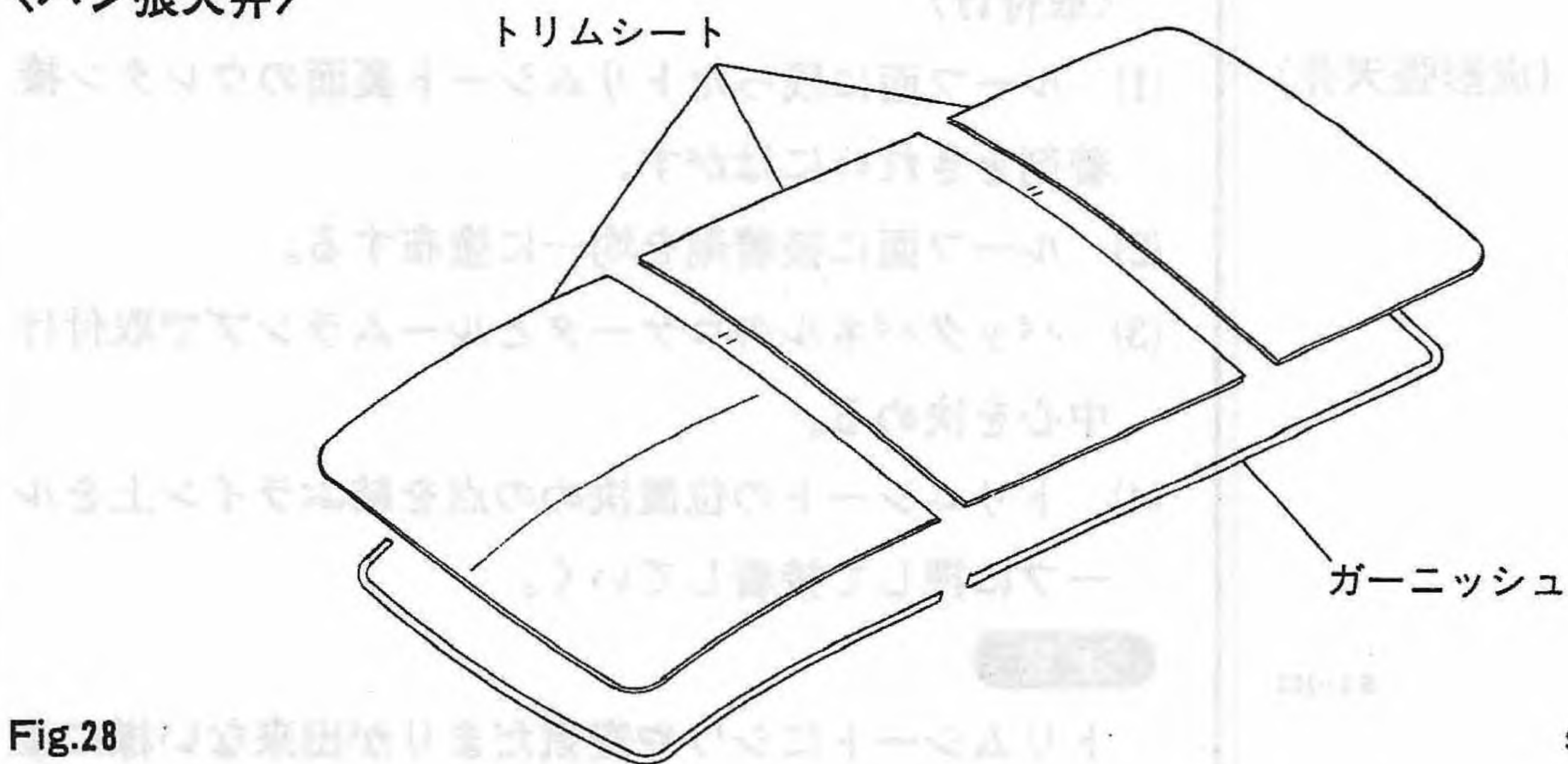


Fig.28

S5-231

〈バン、トライ、ハイルーフ吊天井〉

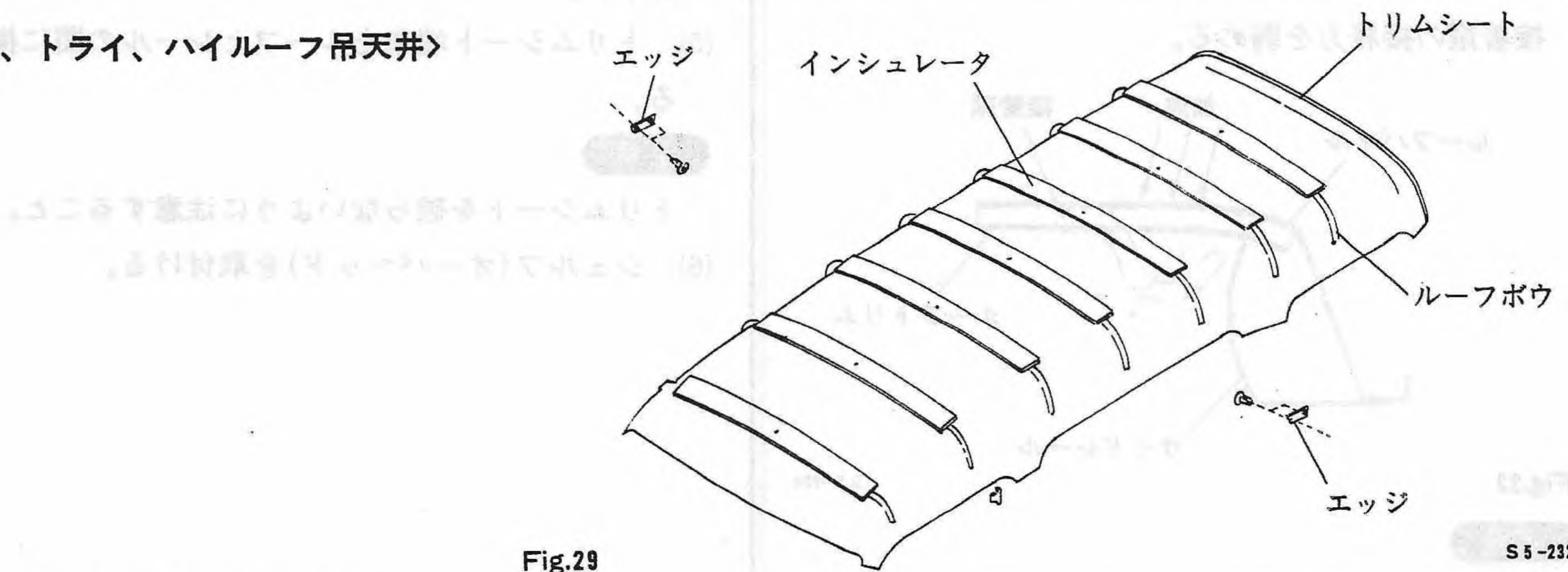


Fig.29

S5-232

〈トライサンサンルーフ成形天井〉

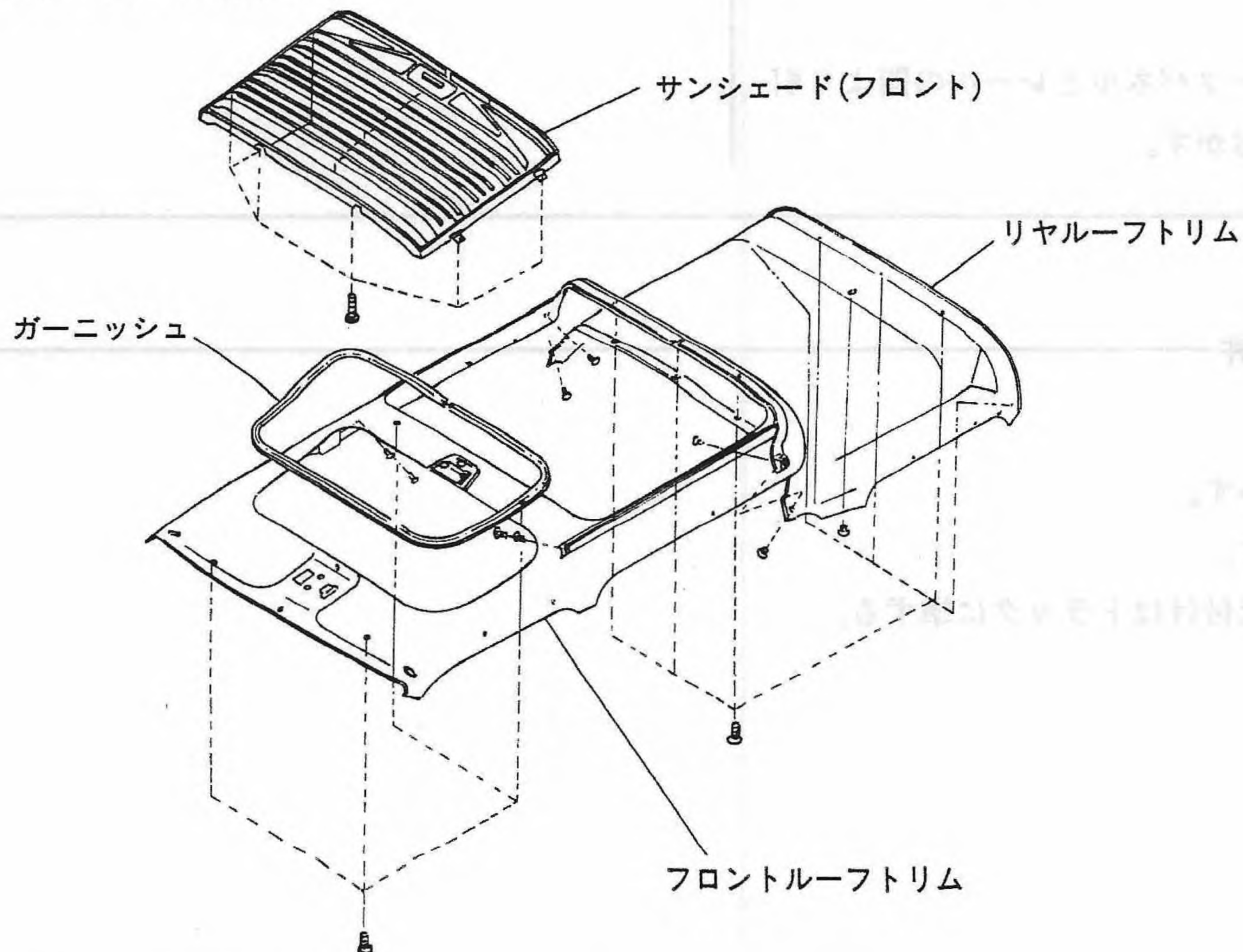


Fig.30

S5-233

脱着—トラック張天井 & 成形張天井—

〈取外し〉

- (1) シェルフ(オーバヘッド)を取外す。(成形張天井)

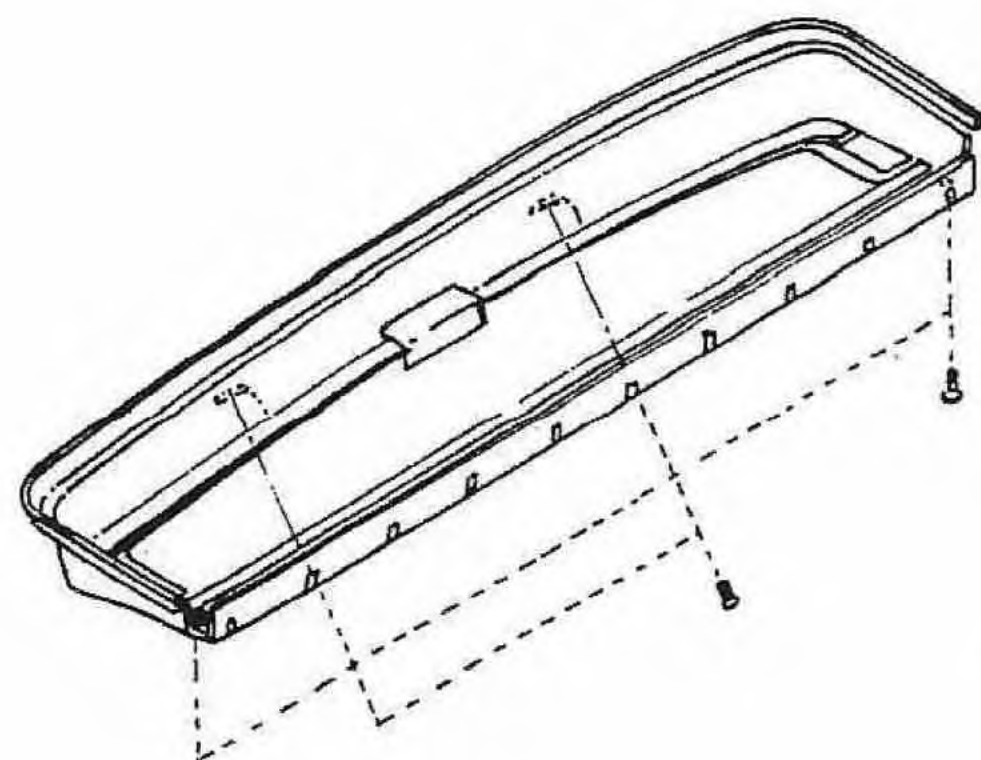


Fig.31

S5-263

- (2) ルーフ面を赤外線ランプ等で熱し、トリム裏面の接着剤の接着力を弱める。

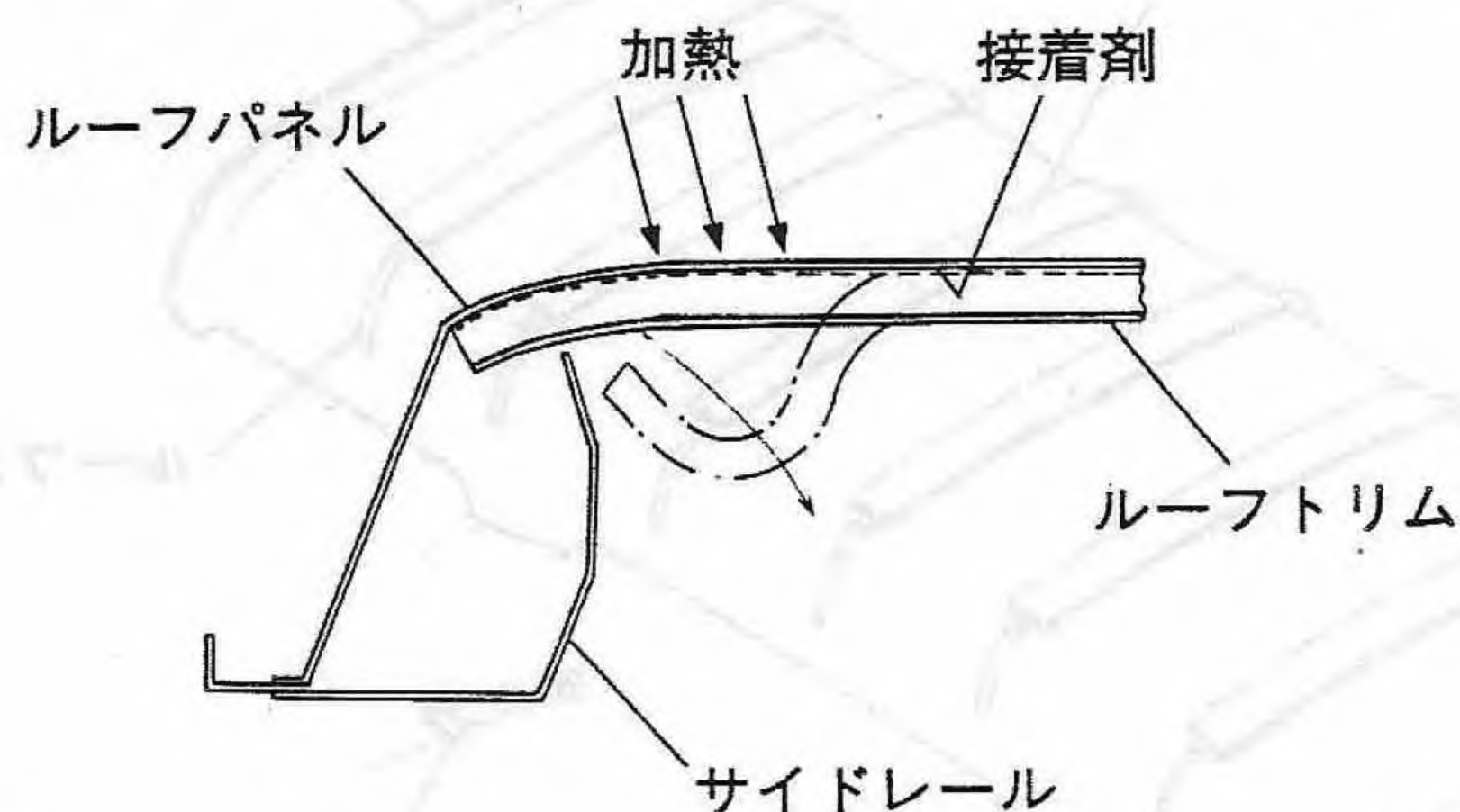


Fig.32

S5-264

注意

赤外線ランプ等の照射はルーフ塗装面を傷めない様にする。

- (3) トリムシートをルーフパネルとレールの間より引出し、端末より順にはがす。

〈取付け〉

- (1) ルーフ面に残ったトリムシート裏面のウレタン接着剤をきれいにはがす。
 (2) ルーフ面に接着剤を均一に塗布する。
 (3) バックパネルのロケータとルームランプで取付け中心を決める。
 (4) トリムシートの位置決め点を結ぶライン上をルーフに押しつけて接着していく。

注意

トリムシートにシワや空気だまりが出来ないように接着する。

- (5) トリムシート端末をルーフとレールの間に挿入する。

注意

トリムシートを破らないように注意すること。

- (6) シェルフ(オーバヘッド)を取付ける。

脱着—バン張天井—

〈取外し〉

- (1) ルーフブレースを外す。
 (2) ガーニッシュを外す。

以下、取外し及び取付けはトラックに準ずる。

脱着—吊天井(バン, トライ, ハイルーフ)—

〈取外し〉

- (1) フロントウインド, リヤゲートのウェザーストリップを取外す。
- (2) ルームミラー, サンバイザ, ルームランプを取外す。
- (3) トリムを外す。
- (4) ボデーフランジ及びサイドレールに両面接着テープで接着しているトリムシートを順次はがしていく。

注意

ボデーフランジ, サイドレールについている両面接着テープは, はがして廃却すること。

- (5) 後方のルーフボウから前方に回転させて車体中心側に寄せ, サイドレール部のフランジより引き抜く。

〈取付け〉

ルーフトリムASSYは新品を使用する。

- (1) 両面接着テープをボデーフランジ, サイドレールに確実に貼る。(離形紙は, はがしておく)

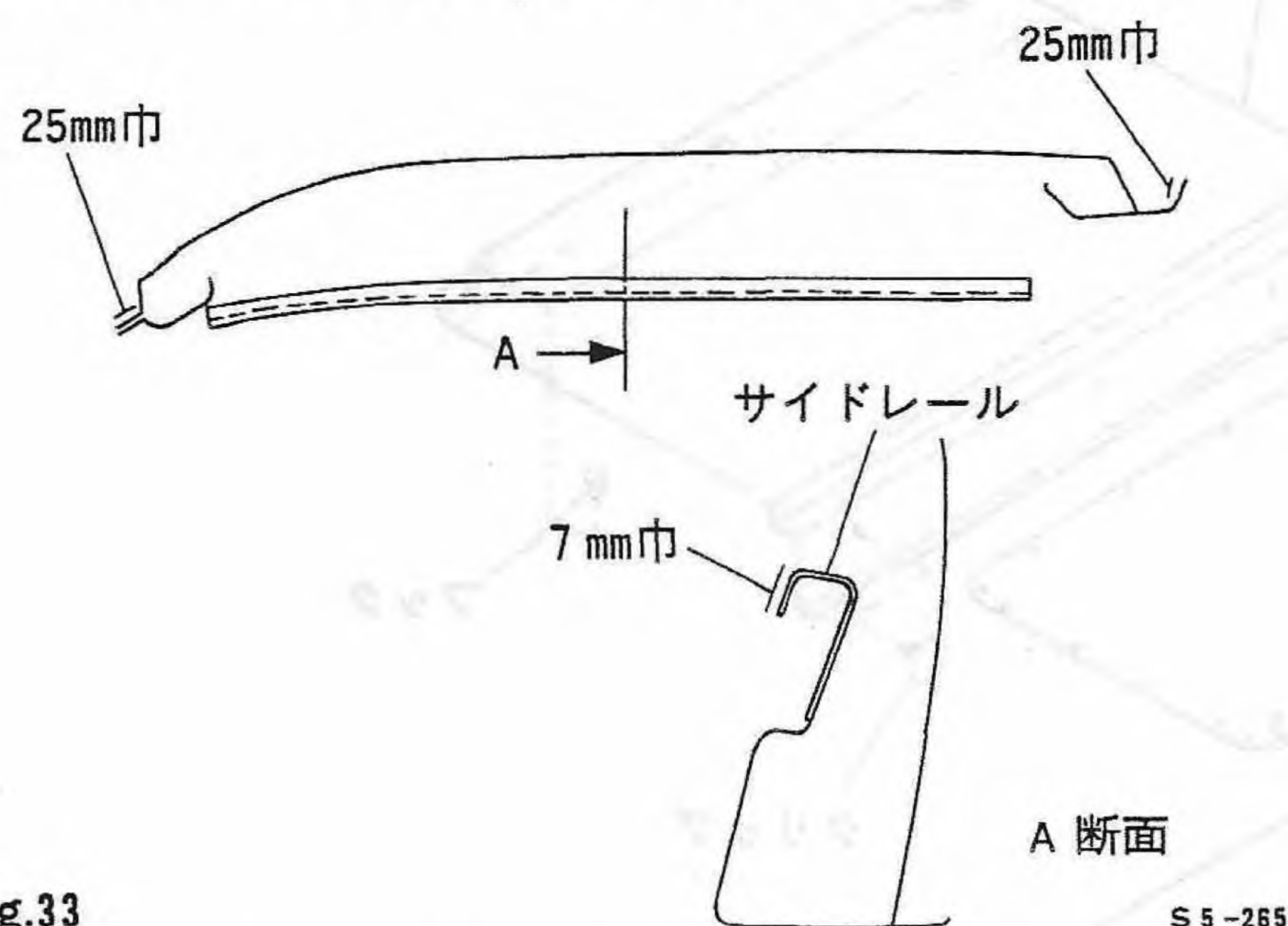


Fig.33

- (2) ルーフトリムASSYを赤外線ランプ等で暖める。
- (3) 下記のようにルーフトリムASSYを張り込む。
 - ①ルーフボウに張りをもたせてサイドレールのブラケットに両端末を差込む。
 - ②ルーフボウを上方に回転させ, インシュレータ(ルーフ)に当てる。

注意

前側から2番目と6番目のルーフボウはブレースのブラケットに確実に引掛ける。

ルーフボウはインシュレータから外れぬよう注意すること。

- ③トリムシート車体中心部を前方に引張り, フロントレールのフランジに接着する。

- ④フロントレールと同じように, リヤレール部にトリムシートを接着する。

- ⑤トリムシートのシワを取りながらサイドレールに接着する。

注意

トリムシート接着後に, かならずサイドレールの爪に引掛ける。

- ⑥トリムレールを取付ける。

- ⑦ルームミラー, サンバイザ, ルームランプ取付穴を⊕ドライバ等であける。

- (4) その後の手順は取外しの逆順序に行なう。

注意

- ・ルーフトリム張り込み時は, 常に引張りをかけてシワが出ないようにする。
- ・ルーフトリムに部品取付穴をあけるときは注意する。
- ・ルームランプ用ハーネスには注意すること。
- ・吊天井の仕上りをよくするためにルーフボウには張りを与える。

脱着—成形天井(サンサンルーフ)—

〈取外し〉

- (1) フロントガーニッシュ, サンバイザ, ルームミラー, アシストグリップ及びルームランプを取外す。
- (2) ルーフトリム取付スクリュ及びクリップを外す。

注意

クリップには図のような突起が四方に出ている為, ルーフトリムを損傷させないこと。ルーフトリムとルーフの間にクリッププーラを差込んでルーフトリムと共に取外す。

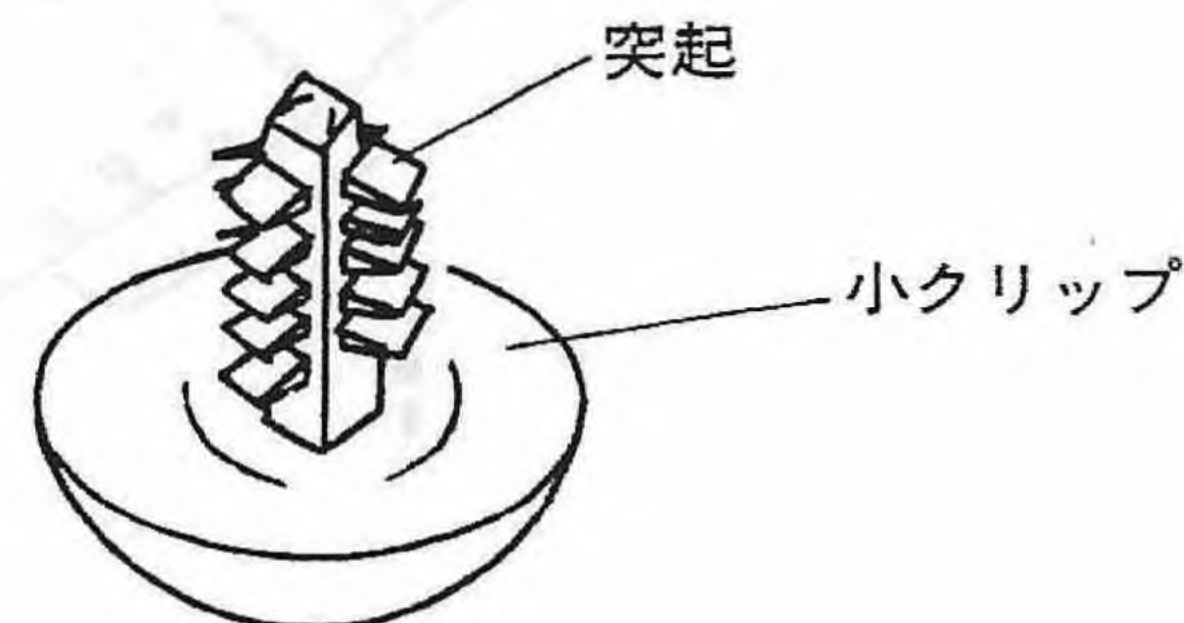


Fig.34

〈取付け〉

取外しの逆順序に行なう。

〔8〕フロアマット ■ 整備要領

脱着

＜トラック＞

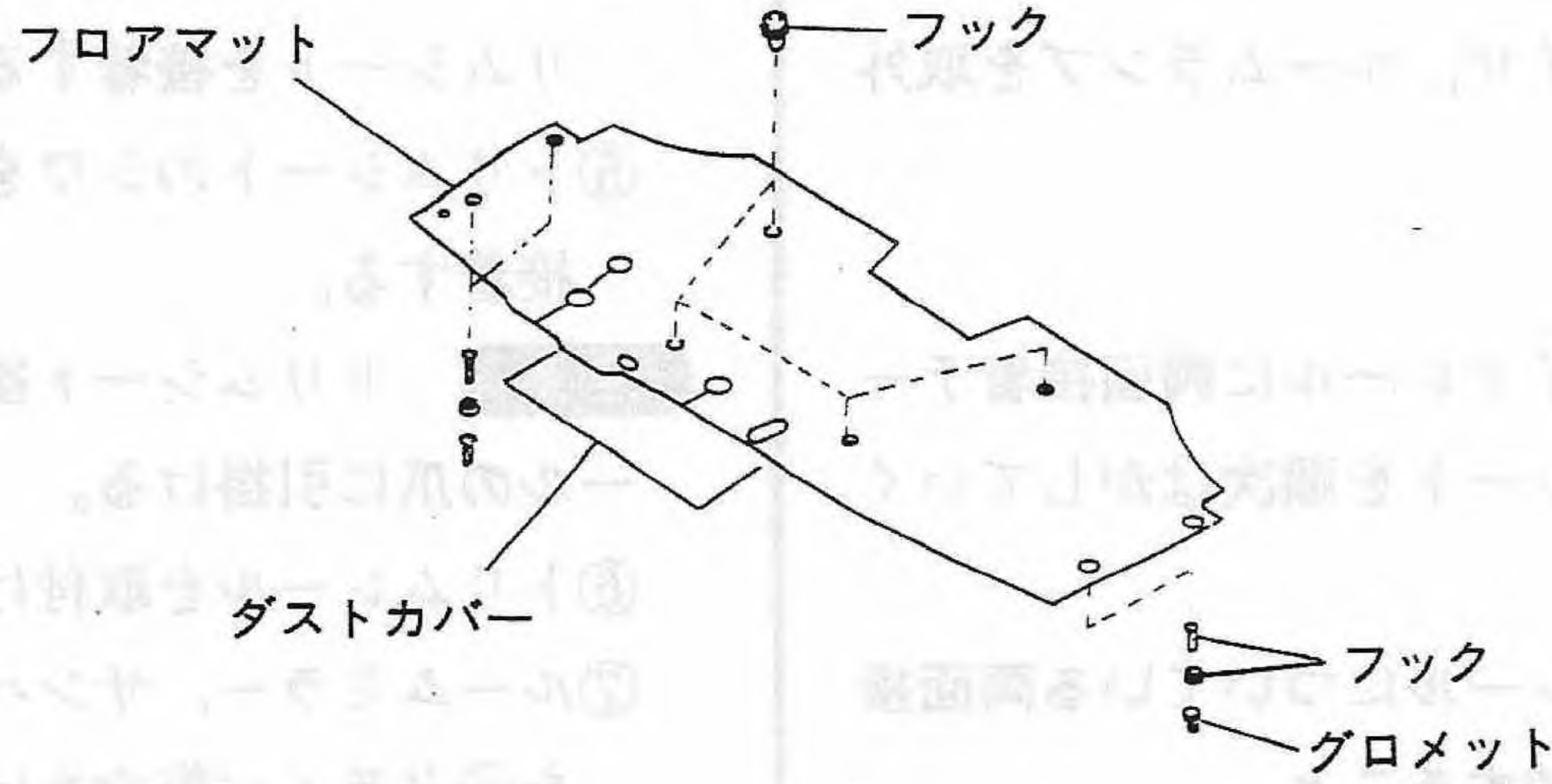


Fig.35

S5-234

＜バン＞

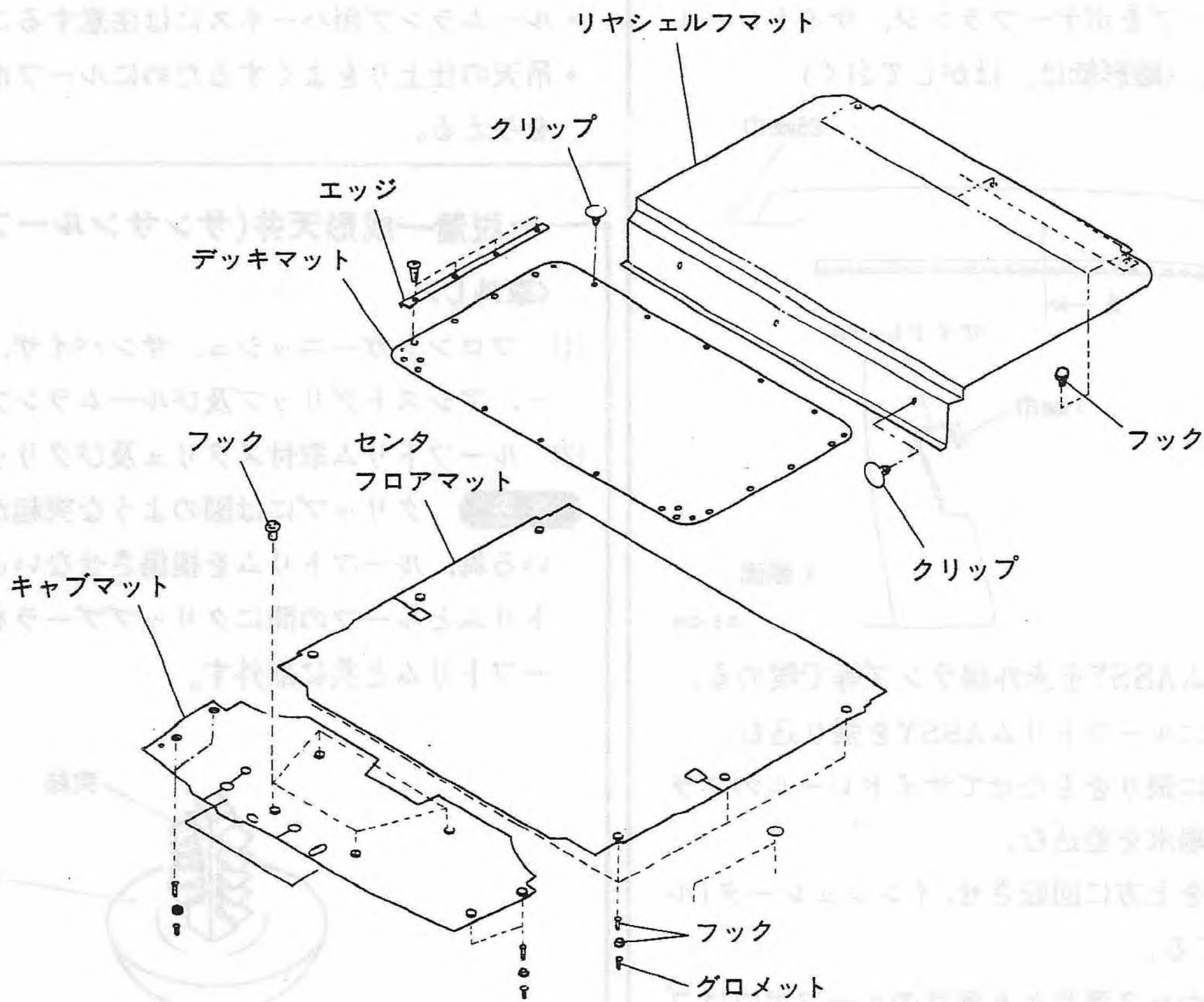


Fig.36

S5-235

脱着

〈トライ〉

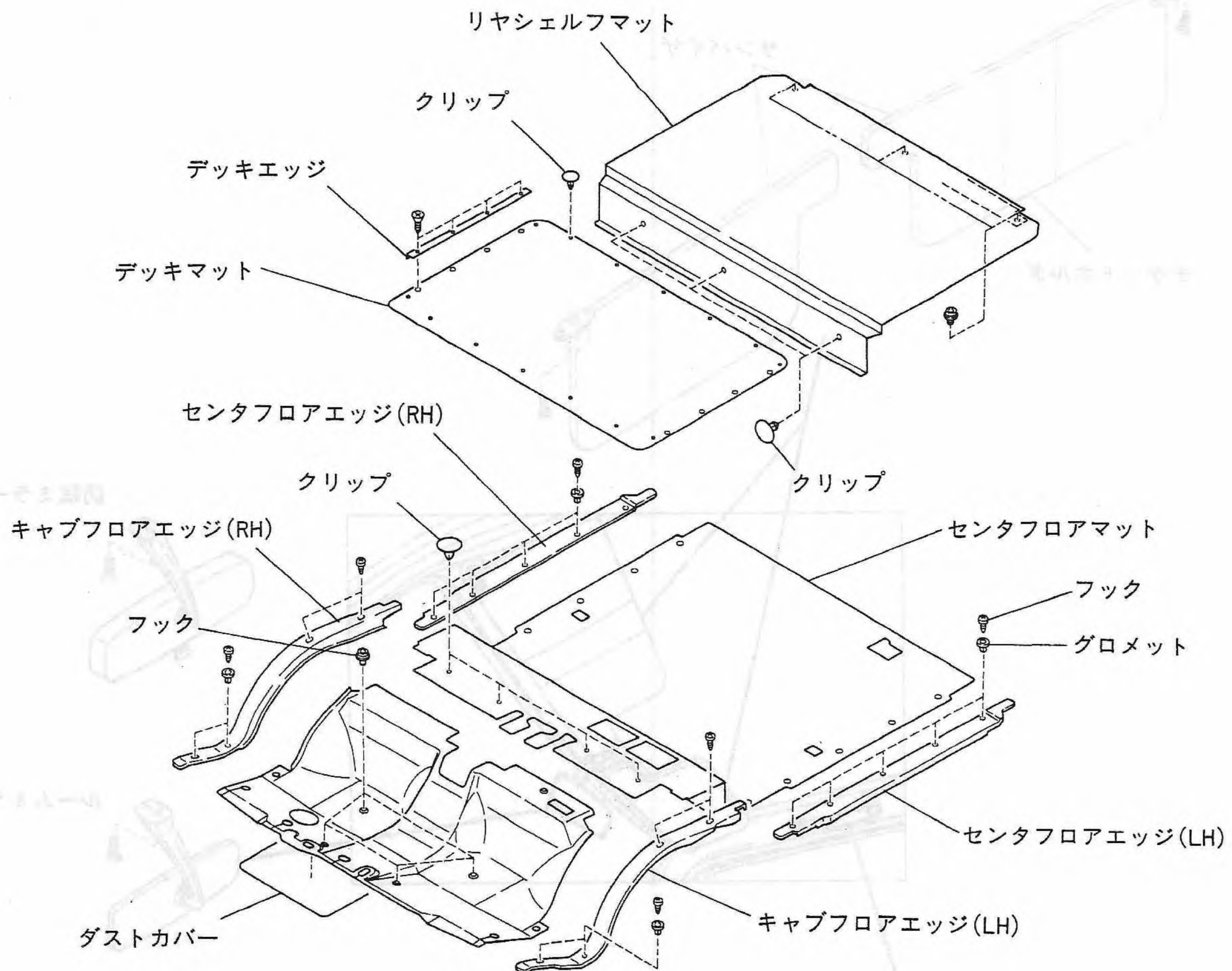


Fig.37

S 5-268

〔 9 〕 インテリア アタッチメント ■ 整備要領

脱着

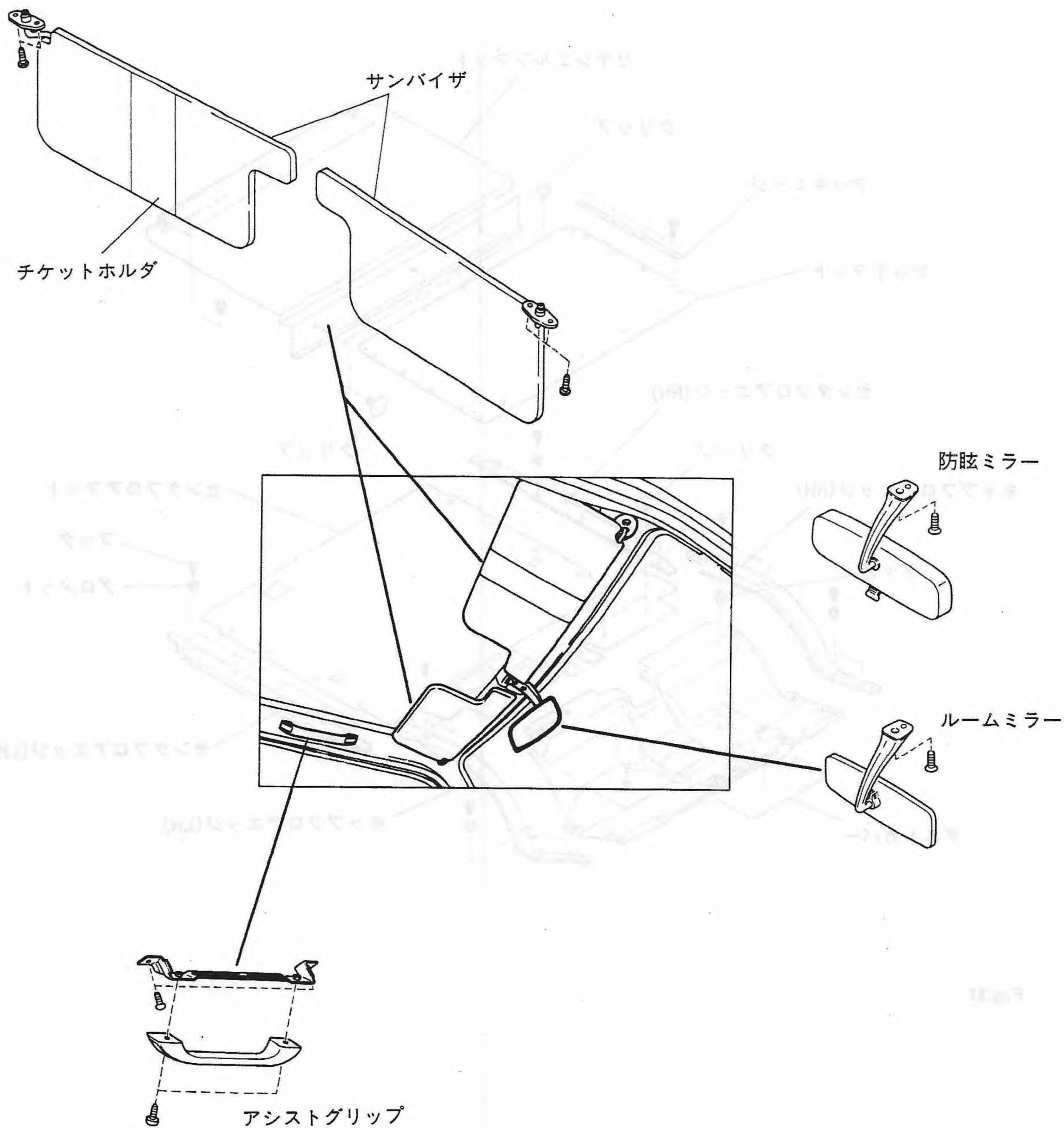


Fig.38

S 5 - 269